KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub C353/C253/C203

ユーザーズガイド　ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub C353/C253/C203 のネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

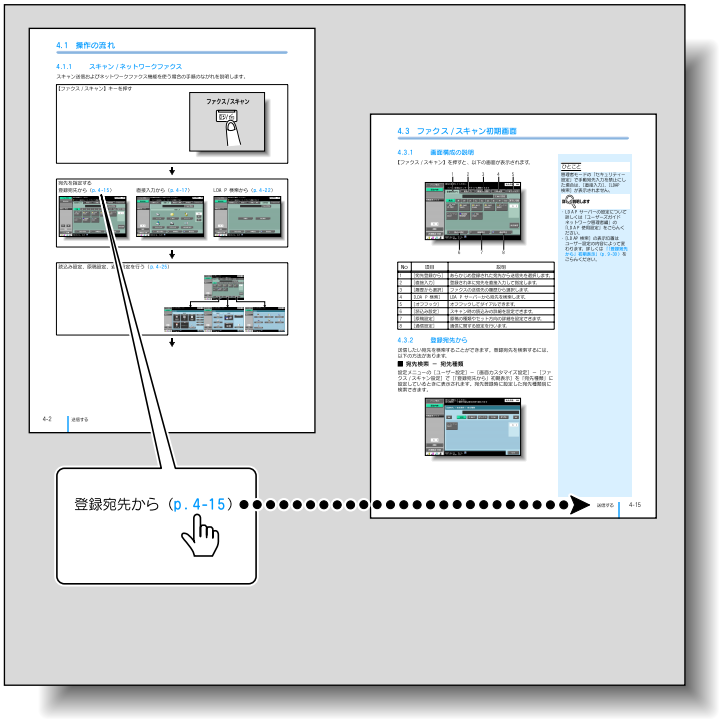
ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

使いたい機能を調べるには

本書では、機能の設定方法や詳細について、以下のように紹介しています。

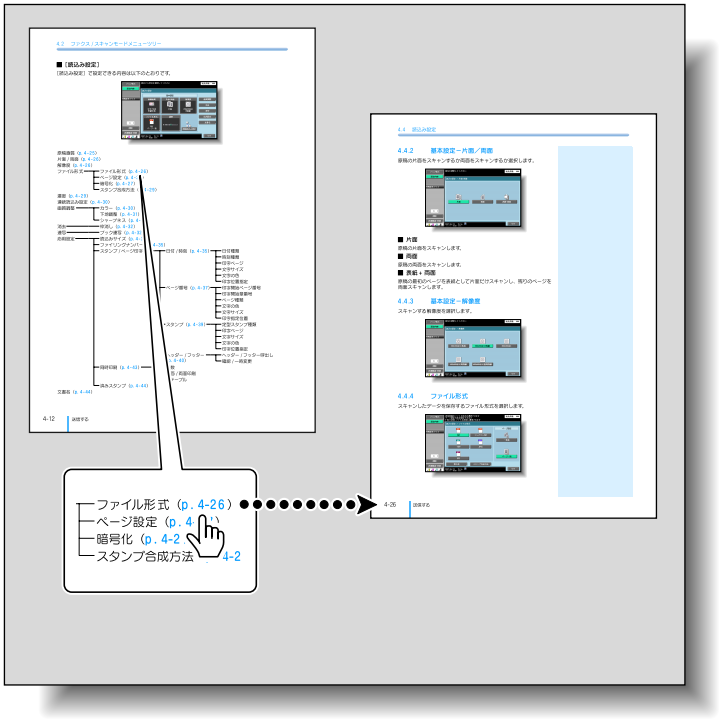
「操作の流れ」を理解する

本書で説明するおもな機能の使いかたについて、「操作の流れ」という章を設けています。このページでスキャンやファクス送信のしかたなど、大まかな操作の流れをフロー図で理解してください。
フロー図のリンクをクリックすると、該当する機能設定のページへジャンプして詳細を調べることができます。



「メニューツリー」からさらに詳しく知る

本機では多くの機能を設定できます。設定したい項目がどのボタンの下にあるのかを知りたいときや設定できる項目の一覧を確認したいときは、「メニューツリー」のページをごらんください。メニューツリーのページは、ひとつのボタンの下が階層に分かれていて、メニューツリーのリンクをクリックすると、該当する機能設定のページへジャンプして詳細を調べることができます。



もくじ

はじめに 1

使いたい機能を調べるには 2
「操作の流れ」を理解する 2
「メニューツリー」からさらに詳しく知る 2

もくじ 3

本書について 10
本書の構成 10
本書で説明している機能 11
表記について 11
ページの見かた 12

マニュアル体系について 13
印刷物のユーザーズガイド 13
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド 13

第 1 章　ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に

1.1　知っておいていただきたいこと 1-2
1.1.1　送信機能について 1-2
1.1.2　ユーザーの認証 1-4
1.1.3　ファイル名の制限 1-5

1.2　概要 1-6
1.2.1　ネットワークスキャン機能でできること 1-6
1.2.2　ファクス機能でできること 1-9
1.2.3　ネットワークファクス機能でできること 1-10

第 2 章　操作パネル / 液晶画面

2.1　操作パネル 2-2

2.2　タッチパネル 2-4
2.2.1　全体の画面構成 2-4
2.2.2　オプションの有無による表示の違い 2-5
2.2.3　左エリアの表示と操作 2-6

第 3 章　基本情報の登録

3.1　はじめて使用する場合 3-2
3.1.1　必要な環境と設備 3-2
3.1.2　ネットワークの接続と設定 3-2
3.1.3　SIP-FAX アダプターの接続 3-3
3.1.4　モジュラーケーブルの接続 3-3

3.2　宛先登録 3-4
3.2.1　短縮宛先 3-4
3.2.2　グループ宛先 3-4

3.3　その他必要に応じて行う設定 3-5

3.4　Web サービスを使用する場合 3-6
3.4.1　Web サービスを使用するために必要な設定 3-6
3.4.2　コンピューターに本機をインストールする 3-6

第 4 章　送信する

4.1　操作の流れ 4-2
4.1.1　スキャン / ネットワークファクス 4-2
4.1.2　ファクス（G3） 4-4

4.1.3 プログラムの呼び出し 4-6
4.1.4 同報送信 4-8
4.2 仕上りプレビューを使う 4-10
4.2.1 プレビュー詳細画面 4-10
4.2.2 仕上りプレビューを使った送信 4-12
4.3 ファクス / スキャンモードメニューツリー 4-14
4.4 ファクス / スキャン初期画面 4-19
4.4.1 画面構成の説明 4-19
4.4.2 登録宛先から 4-19
4.4.3 直接入力 4-21
4.4.4 直接入力ーファクス 4-22
4.4.5 直接入力ー SIP ファクス 4-22
4.4.6 直接入力ー E-mail 4-22
4.4.7 直接入力ーボックス 4-23
4.4.8 直接入力ーインターネットファクス 4-23
4.4.9 直接入力ー IP アドレスファクス 4-24
4.4.10 直接入力ーファイル送信（SMB） 4-24
4.4.11 直接入力ーファイル送信（FTP） 4-25
4.4.12 直接入力ーファイル送信（WebDAV） 4-26
4.4.13 直接入力ー Web サービス 4-27
4.4.14 履歴から選択（G3） 4-27
4.4.15 LDAP 検索ー単検索 4-27
4.4.16 LDAP 検索ー複合検索 4-28
4.4.17 オフフック（G3） 4-29
4.5 読込み設定 4-30
4.5.1 基本設定ー原稿画質 4-30
4.5.2 基本設定ー片面／両面 4-31
4.5.3 基本設定ー解像度 4-31
4.5.4 ファイル形式 4-31
4.5.5 基本設定ー濃度 4-34
4.5.6 基本設定ー連続読込み設定 4-35
4.5.7 画質調整 4-35
4.5.8 消去 4-36
4.5.9 連写ーブック連写 4-37
4.5.10 応用設定ー読込みサイズ 4-39
4.5.11 応用設定ーファイリングナンバー 4-40
4.5.12 応用設定ースタンプ／ページ印字ー日付／時刻 4-40
4.5.13 応用設定ースタンプ／ページ印字ーページ番号 4-42
4.5.14 応用設定ースタンプ／ページ印字ースタンプ 4-44
4.5.15 応用設定ースタンプ／ページ印字ーヘッダー / フッター 4-45
4.5.16 応用設定ー同時印刷 4-48
4.5.17 応用設定ー済みスタンプ （G3/IP/SIP/I-FAX） 4-49
4.5.18 文書名 （E-mail/BOX/SMB/FTP/WebDAV/I-FAX） 4-49
4.6 原稿設定 4-50
4.6.1 原稿指定ー混載原稿 4-50
4.6.2 原稿指定ー Z 折れ原稿 4-50
4.6.3 原稿指定ー長尺原稿 4-50
4.6.4 方向指定ー原稿セット方向 4-50
4.6.5 方向指定ー原稿のとじしろ 4-51
4.6.6 原稿枚数指定（G3） 4-51
4.6.7 汚れ軽減モード 4-52

4.7 通信設定 4-53
4.7.1 回線設定（G3） 4-53
4.7.2 E-mail 設定（E-mail/I-FAX） 4-54
4.7.3 URL 通知先設定（FTP/SMB/WebDAV） 4-55
4.7.4 送受信方法設定（G3） 4-56
4.7.5 メールの暗号化（E-mail） 4-60
4.7.6 デジタル署名の追加（E-mail） 4-60
4.7.7 ファクス発信元設定（G3/SIP/IP/I-FAX） 4-60
4.8 リダイアル （G3/IP/SIP）について 4-61
4.8.1 オートリダイアル 4-61
4.8.2 手動リダイアル 4-61
4.8.3 再送信（G3） 4-61

第 5 章 受信する（G3/IP/SIP/I-FAX）

5.1 受信する（G3：外部電話を接続しない） 5-2
5.1.1 自動受信（ファクス専用） 5-2
5.2 受信する（G3: 外部電話を接続する） 5-3
5.2.1 自動受信（TEL/FAX 自動切換え） 5-3
5.2.2 外部電話機の留守番電話機能を設定するときは 5-4
5.2.3 手動受信（電話専用） 5-4
5.3 受信する（I-FAX） 5-6
5.4 受信する（IP/SIP） 5-7
5.5 メモリー代行受信 5-8
5.5.1 メモリー代行受信とは 5-8
5.5.2 メモリー代行受信したジョブの転送（G3） 5-8
5.6 受信時の記録 5-9
5.6.1 縮小して記録するとき 5-9
5.6.2 用紙におさまるように縮小して記録するとき 5-9
5.6.3 等倍で記録するとき 5-12
5.6.4 受信時の記録方法 5-13
5.7 受信情報 5-14

第 6 章 電話をかける / 受ける（G3）

6.1 電話をかける 6-2
6.2 電話を受ける 6-3

第 7 章 便利な機能（G3/IP/SIP/I-FAX）

7.1 強制メモリー受信 （G3/IP/SIP/I-FAX） 7-2
7.2 PC-FAX 受信（G3） 7-3
7.3 TSI 受信振分け（G3） 7-4
7.4 親展通信（G3） 7-5
7.5 中継配信（G3） 7-6
7.5.1 中継配信とは 7-6
7.5.2 中継配信を行うには 7-6
7.5.3 中継配信局にファクスを送る 7-7
7.6 ポーリング送信 / 受信（G3） 7-8
7.6.1 ポーリング送信 7-8
7.6.2 ポーリング受信 7-8

7.7 掲示板（G3）..... 7-9
7.8 増設回線を使用した送受信（G3）..... 7-10
7.9 ファクス転送（G3）..... 7-11

第 8 章 レポート / リストの見かた

8.1 レポート / リストの種類 8-2
8.1.1 レポート 8-2
8.1.2 リスト 8-3
8.2 共通のリスト 8-4
8.2.1 短縮宛先リスト 8-4
8.2.2 グループ宛先リスト 8-5
8.2.3 プログラム宛先リスト 8-6
8.3 G3/IP/SIP/I-FAX 共通のレポート / リスト 8-8
8.3.1 通信管理レポート 8-8
8.3.2 送信結果レポート 8-10
8.3.3 同報送信結果レポート 8-10
8.3.4 設定値リスト 8-10
8.4 G3 ファクスで出力されるレポート 8-14
8.4.1 ポーリング送信結果レポート 8-14
8.4.2 ポーリング受信結果レポート 8-14
8.4.3 順次ポーリング受信結果レポート 8-14
8.4.4 通信予約レポート 8-15
8.4.5 ポーリング送信予約レポート 8-15
8.4.6 同報送信予約レポート 8-15
8.4.7 1 宛先ポーリング受信予約レポート 8-16
8.4.8 順次ポーリング受信予約レポート 8-16
8.4.9 親展受信レポート 8-16
8.4.10 掲示板送信結果レポート 8-17
8.4.11 中継結果レポート 8-17
8.4.12 中継依頼受付レポート 8-18
8.4.13 PC-FAX 送信エラーレポート 8-18
8.5 インターネットファクスで出力されるレポート 8-19
8.5.1 ネットワークファクス受信エラーレポート 8-19
8.5.2 MDN メッセージ印刷 8-19
8.5.3 DSN メッセージ印刷 8-20
8.5.4 正常受信メール本文 8-20
8.5.5 件名 / 本文リスト 8-21
8.6 IP/SIP で出力されるレポート 8-22
8.6.1 ネットワークファクス受信エラーレポート 8-22

第 9 章 ユーザーモード設定

9.1 ユーザーモードのメニューツリー 9-2
9.1.1 宛先 / ボックス登録 9-2
9.1.2 ユーザー設定 9-4
9.1.3 プログラム呼び出し / 登録 9-4
9.2 宛先 / ボックス登録 9-5
9.2.1 宛先 / ボックス登録画面を表示させる 9-5
9.2.2 短縮宛先登録－ E-mail 送信 9-5
9.2.3 短縮宛先登録－ボックス保存 9-7
9.2.4 短縮宛先登録－ファクス送信 9-8

9.2.5 短縮宛先登録－ SIP ファクス送信 9-11
9.2.6 短縮宛先登録－ファイル送信（SMB） 9-13
9.2.7 短縮宛先登録－ファイル送信（FTP） 9-16
9.2.8 短縮宛先登録－ファイル送信（WebDAV） 9-18
9.2.9 短縮宛先登録－ IP アドレスファクス送信 9-20
9.2.10 短縮宛先登録－インターネットファクス送信 9-22
9.2.11 グループ宛先登録 9-24
9.2.12 E-mail －件名 （E-mail/I-FAX） 9-26
9.2.13 E-mail －本文 （E-mail/I-FAX） 9-26
9.2.14 ファクス / スキャンプログラム 9-27
9.2.15 着信拒否宛先登録（G3） 9-31
9.2.16 ボックス登録－親展ボックス（G3） 9-32
9.2.17 ボックス登録－掲示板ボックス（G3） 9-32
9.2.18 ボックス登録－中継ボックス（G3） 9-32
9.2.19 参照許可設定－宛先レベル設定 9-32
9.3 ユーザー設定 9-34
9.3.1 ユーザー設定画面を表示させる 9-34
9.3.2 画面カスタマイズ設定－ファクス / スキャン設定 9-34
9.3.3 画面カスタマイズ設定－ファクス動作中画面 （G3/IP/SIP/I-FAX） 9-36
9.3.4 画面カスタマイズ設定－検索オプション設定 (E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/G3/IP/SIP/I-FAX) 9-37
9.3.5 ファクス / スキャン設定 9-37

第 10 章 管理者モード設定

10.1 はじめに設定してください 10-2
10.1.1 E-mail 10-2
10.1.2 ボックス 10-2
10.1.3 SMB 送信 10-2
10.1.4 FTP 送信 10-2
10.1.5 G3 ファクス 10-2
10.1.6 インターネットファクス 10-3
10.1.7 IP アドレスファクス 10-3
10.1.8 SIP ファクス 10-3
10.2 管理者モードのメニューツリー 10-4
10.2.1 環境設定 10-4
10.2.2 ファクス設定 10-4
10.2.3 セキュリティー設定 10-6
10.3 管理者設定 （E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV） 10-7
10.3.1 管理者設定画面を表示させる 10-7
10.3.2 環境設定－ユーザー操作禁止設定 10-7
10.3.3 環境設定－リセット設定－モードリセット－次ジョブー送信後設定解除 10-8
10.3.4 環境設定－スタンプ設定－ヘッダー / フッター設定 10-8
10.3.5 セキュリティー設定－セキュリティ詳細 10-10
10.4 管理者設定 （G3） 10-11
10.4.1 環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行 10-11
10.4.2 環境設定－出力設定－受信印刷出力設定－ファクス 10-11
10.4.3 環境設定－ユーザー操作禁止設定 10-11
10.4.4 環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定 10-12
10.4.5 ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録 10-12
10.4.6 ファクス設定－発信元 / 受信情報 10-13
10.4.7 ファクス設定－回線パラメーター設定 10-16

10.4.8 ファクス設定－送信 / 受信設定 10-19
10.4.9 ファクス設定－機能設定 10-23
10.4.10 ファクス設定－ PBX 接続設定 10-30
10.4.11 ファクス設定－レポート出力設定 10-30
10.4.12 ファクス設定－設定値リスト 10-34
10.4.13 ファクス設定－増設回線設定 10-34
10.4.14 セキュリティー設定－セキュリティ詳細 10-37
10.5 管理者設定 （IP/SIP/I-FAX） 10-39
10.5.1 環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行 10-39
10.5.2 環境設定－出力設定－受信印刷出力設定－ファクス 10-39
10.5.3 環境設定－ユーザー操作禁止設定 10-39
10.5.4 環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定 10-39
10.5.5 ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録 10-39
10.5.6 ファクス設定－発信元 / 受信情報 10-39
10.5.7 ファクス設定－回線パラメーター設定 （IP/SIP） 10-39
10.5.8 ファクス設定－送信 / 受信設定 10-40
10.5.9 ファクス設定－機能設定 10-40
10.5.10 ファクス設定－レポート出力設定 10-40
10.5.11 ファクス設定－設定値リスト 10-41
10.5.12 ファクス設定－ネットワークファクス設定 10-42
10.5.13 セキュリティー設定－セキュリティ詳細 10-43

第 11 章 PageScope Web Connection

11.1 PageScope Web Connection の使いかた 11-2
11.1.1 動作環境 11-2
11.1.2 アクセス方法 11-2
11.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について 11-3
11.1.4 画面の構成 11-4
11.2 ログインとログアウト 11-6
11.2.1 ログインとログアウトのながれ 11-6
11.2.2 ログアウト 11-8
11.2.3 ログイン 11-8
11.3 ユーザーモードの概要 11-11
11.3.1 情報表示 11-11
11.3.2 ジョブ確認 11-12
11.3.3 ボックス 11-12
11.3.4 ダイレクトプリント 11-13
11.3.5 宛先登録 11-14
11.4 管理者モードの概要 11-15
11.4.1 メンテナンス 11-15
11.4.2 セキュリティー 11-16
11.4.3 ボックス 11-17
11.4.4 プリンター設定 11-17
11.4.5 宛先登録 11-18
11.4.6 ネットワーク 11-19

第 12 章 ファクス / スキャン機能で困ったとき

12.1 送信できない 12-2
12.1.1 G3 ファクス 12-2

12.1.2 インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス / ネットワークスキャン送信（E-mail/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス）... 12-2
12.2 受信できない ... 12-4
12.2.1 G3 ファクス ... 12-4
12.2.2 インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス ... 12-5
12.3 エラーメッセージが表示された ... 12-6
12.3.1 G3 ファクス ... 12-6
12.3.2 HDD Ready 表示が HDD 異常の場合 ... 12-6
12.3.3 ネットワークファクスエラーコード表 ... 12-7
12.4 「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール） ... 12-10

第 13 章 付録

13.1 製品仕様 ... 13-2
13.1.1 スキャナー機能 ... 13-2
13.1.2 ファクス機能 ... 13-2
13.2 こんなときには ... 13-3
13.2.1 ファクス情報サービスを利用する ... 13-3
13.2.2 メモリーへの蓄積枚数について ... 13-3
13.2.3 コンピューターからスキャンの指示をする（Web サービス） ... 13-4
13.3 文字を入力するには ... 13-6
13.3.1 キーボードの拡大表示 ... 13-6
13.3.2 英数字を入力する ... 13-7
13.3.3 ひらがなを入力する ... 13-7
13.3.4 カタカナを入力する ... 13-8
13.3.5 漢字を入力する ... 13-8
13.3.6 文字コードで入力する ... 13-10
13.4 入力文字一覧 ... 13-11
13.5 スキャン用語集 ... 13-18
13.6 インターネットファクス用語集 ... 13-23
13.7 ファクス用語集 ... 13-24

第 14 章 索引

14.1 使用別索引 ... 14-2
14.2 項目別索引 ... 14-4

本書について

本書は、bizhub C353/C253/C203 のネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスに関するユーザーズガイドです。

ここでは、本書の構成や製品名などの表記について説明します。

本書はコンピューターの基本操作、および本機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方法は、それぞれの操作説明書をごらんください。

本書の構成

本書は、以下の章から構成されています。

第 1 章 ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に

本機のファクス / スキャン機能を使用する前に知っておいていただきたい項目を説明しています。

第 2 章 操作パネル / 液晶画面

操作パネルのキーのはたらきや、タッチパネルの使い方について説明しています。

第 3 章 基本情報の登録

本機のファクス / スキャン機能を使用する前に必要な登録作業について説明しています。

第 4 章 送信する

ネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスを送信する操作の流れと、設定できる項目を説明しています。おもな操作はフロー図で説明しています。各種操作の流れはフロー図を参考にしてください。また、ファクス / スキャン機能を使うときに設定できる項目のメニューツリーも紹介しています。メニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 5 章 受信する（G3/IP/SIP/I-FAX）

G3 ファクス、ネットワークファクスの受信の概要について説明しています。

第 6 章 電話をかける / 受ける（G3）

本機に外部電話機を接続した場合、電話のかけかた、受けかたを説明しています。

第 7 章 便利な機能（G3/IP/SIP/I-FAX）

G3 ファクス、ネットワークファクスの便利な機能について説明しています。

第 8 章 レポート / リストの見かた

ファクス / スキャン機能を使うと自動的に印刷されるレポートや、設定メニューで印刷できるリストを紹介しています。

第 9 章 ユーザーモード設定

ファクス / スキャン機能に関係のある設定メニューの「ユーザーモード」の項目を説明しています。ユーザーモードでは宛先の登録などを設定できます。章のはじめに記載されているメニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 10 章 管理者モード設定

ファクス / スキャン機能に関係のある設定メニューの「管理者モード」の項目を説明しています。管理者モードでは回線パラメーターなどを設定できます。章のはじめに記載されているメニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 11 章 PageScope Web Connection

ネットワーク上のコンピューターから Web ブラウザを使って本機の設定を行えるユーティリティーソフトウェアの概要を説明しています。

第 12 章 ファクス / スキャン機能で困ったとき

エラーメッセージが表示されたときや、うまく送受信できないときの対処方法が記載されています。

第 13 章 付録

文字の入力方法、用語集が掲載されています。

第 14 章 索引

製品仕様や、操作パネルで入力できる文字について説明します。

本書で説明している機能

■ ネットワークスキャン機能

本機でスキャンしたイメージデータを、ネットワークを経由して送信する機能です。ネットワークスキャンには、以下の送信方法があります。

- E-mail 送信
- ファイル送信（SMB）
- ファイル送信（FTP）
- ファイル送信（WebDAV）
- ボックス保存
- Web サービス

■ G3 ファクス機能

本機でスキャンしたイメージを、電話回線を経由して送信する機能です。

■ ネットワークファクス機能

本機でスキャンしたイメージデータを、ネットワークを経由して送信する機能です。G3 ファクス機能のように、主に対応している機器の間で送受信を行いますが、ネットワークを経由することで通信コストをかけずに類似した機能を実現できます。ネットワークファクスには、以下の送信方法があります。

- インターネットファクス
- SIP ファクス
- IP アドレスファクス

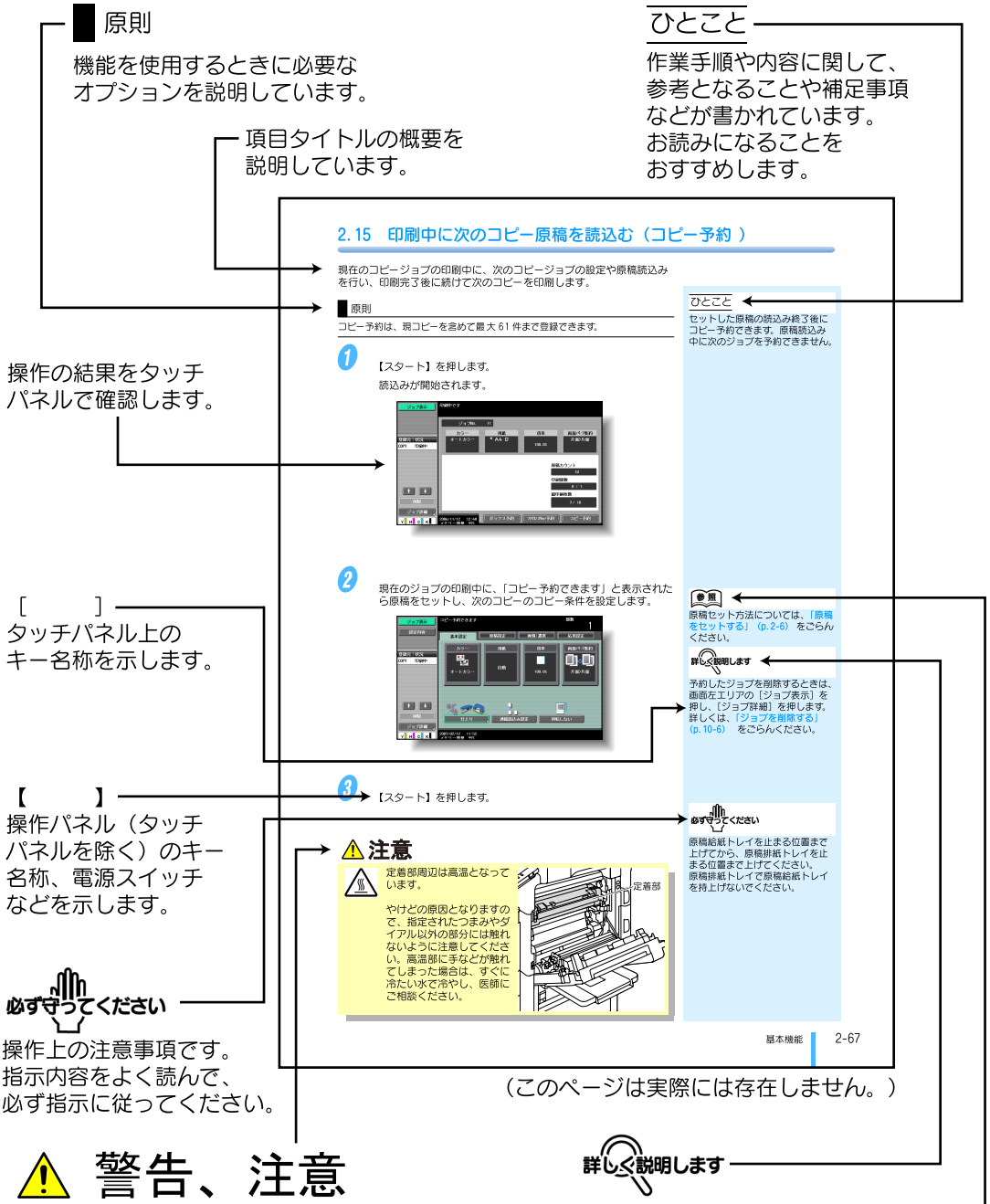
表記について

製品名	本書の表記
bizhub C353/C253/C203	本機、本製品、C353/C253/C203
Microsoft Windows NT 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft Windows 2000	Windows 2000
Microsoft Windows XP	Windows XP
Microsoft Windows Vista	Windows Vista
上記 OS を組み合わせて併記する場合	Windows NT 4.0/2000/XP

本書では、機能名の見出しのあとに、該当する送信方法を略称で記載しています。

送信方法	略称
G3 ファクス	G3
インターネットファクス	I-FAX
SIP ファクス	SIP
IP アドレスファクス	IP
E-mail 送信	E-mail
ファイル送信（FTP）	FTP
ファイル送信（SMB）	SMB
ファイル送信（WebDAV）	WebDAV
ボックス保存	BOX
G3 ファクス、SIP ファクス、インターネットファクスを組み合わせて併記する場合	G3/SIP/I-FAX

ページの見かた


原則
機能を使用するときに必要な
オプションを説明しています。
項目タイトルの概要を
説明しています。
ひとこと
作業手順や内容に関して、
参考となることや補足事項
などが書かれています。
お読みになることを
おすすめします。
2.15 印刷中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約 ）
現在のコピージョブの印刷中に、次のコピージョブの設定や原稿読込み
を行い、印刷完了後に続けて次のコピーを印刷します。
原則
コピー予約は、現コピーを含めて最大 61 件まで登録できます。
ひとこと
セットした原稿の読込み終了後に
コピー予約できます。原稿読込み
中に次のジョブを予約できません。
操作の結果をタッチ
パネルで確認します。
1 【スタート】を押します。
読込みが開始されます。
2 現在のジョブの印刷中に、「コピー予約できます」と表示されたら原稿をセットし、次のコピーのコピー条件を設定します。
参照
原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 2-6）をごらんください。
詳しく説明します
予約したジョブを削除するときは、画面左エリアの［ジョブ表示］を押し、［ジョブ詳細］を押します。詳しくは、「ジョブを削除する」（p. 10-6）をごらんください。
［ ］
タッチパネル上の
キー名称を示します。
【 】
操作パネル（タッチ
パネルを除く）のキー
名称、電源スイッチ
などを示します。
3 【スタート】を押します。
必ず守ってください
原稿給紙トレイを止まる位置まで上げてから、原稿排紙トレイを止まる位置まで上げてください。
原稿排紙トレイで原稿給紙トレイを持上げないでください。
注意
定着部周辺は高温となっています。
やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイアル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。
定着部
基本機能 2-67
必ず守ってください
操作上の注意事項です。
指示内容をよく読んで、
必ず指示に従ってください。
（このページは実際には存在しません。）
警告、注意
機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。
詳しく説明します
操作手順や内容に関して、
さらに詳しく説明しています。
参照
参照先を指示します。
必要に応じてごらんください。

マニュアル体系について

本製品のユーザーズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザーズガイドと、ユーザーズガイド CD に収められた PDF のユーザーズガイドがあります。

印刷物のユーザーズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド

●ユーザーズガイド（コピー機能編）

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。

用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

拡大表示機能の操作について記載しています。

拡大表示画面でのコピー機能、スキャナー機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（プリンター機能編）

標準装着のプリンターコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。

プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。

ボックスへのデータ保存、ボックスからのデータ取出し、データ転送方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編）＜本書＞

ネットワークスキャン機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能について記載しています。

E メールや FTP などによるネットワークスキャン機能や G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスの使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザーズガイド（ネットワーク管理者編）

ネットワークを利用した各機能について、おもに PageScope Web Connection を使用した設定方法を記載しています。

ネットワーク機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

●ユーザーズガイド（拡張機能編）

オプションのライセンスキットを登録することで有効化して利用できる各機能と、アプリケーションと連携させることで利用できる各機能の概要と使い方について記載しています。

各機能を効果的にご使用いただくために、このユーザーズガイドをごらんください。

拡張機能は以下の機種に対応しています。

bizhub C650/C550/C451/C353/C253/C203

●商標／ライセンスについて

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

第１章
ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能を使用する前に

本機のファクス、スキャン機能を使用する前に知っておいていただきたいことを説明します。

1.1　知っておいていただきたいこと 1-2
1.2　概要 1-6

1.1 知っておいていただきたいこと

1.1.1 送信機能について

■ 機能の種類

本機では、スキャンした画像をネットワークや電話回線を通じて送受信できます。このユーザーズガイドで紹介している機能は以下のとおりです。

ネットワークスキャン機能	・E-mail 送信 ・FTP 送信 ・SMB 送信 ・ボックス保存 ・WebDAV 送信 ・Web サービス
ファクス機能	・G3 ファクスの送受信 ・ポーリング
ネットワークファクス機能	・インターネットファクス（I-FAX） ・SIP ファクス（SIP-FAX） ・IP アドレスファクス

■ ファクス機能（G3）使用時の注意

本機はカラーでファクスを送受信することはできません。

本機を接続することのできる電話回線は以下のとおりです。

- 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
- PBX（構内交換機 2 線式）

使用する電話回線について以下の項目を確認してください。

- 外部電話としてビジネスホンを接続することはできません。
- キャッチホンとの併用はできません。
- お客様のお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、SuperG3 による通信ができなくなる可能性があります。

ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域をぎりぎりまで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様がお使いのネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ ネットワークファクス使用時の注意

ネットワークファクス機能を使用するためには、以下の環境が必要です。

- 本機がネットワークに接続されている<必須>

TCP/IP ネットワークの環境下で使用できます。はじめにネットワークに接続するためのケーブルを接続します。

詳しくは、「ネットワークの接続と設定」（p. 3-2）をごらんください。また、ネットワーク上で使用するためには本機の IP アドレスなどの設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

必ず守ってください

【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと正常に機能しないことがあります。

ひとこと

ファクス機能を使用するには、オプションの FAX キットが必要です。

■ インターネットファクス使用時の注意

- インターネットファクス機能を使用できる環境は以下のとおりです。
  - ❍ 本機がネットワークに接続され、電子メールの送受信ができる
  - ❍ 管理者設定の「ネットワークファクス機能設定」でインターネットファクス機能が「ON」に設定されている
- 電子メールの送信を行った場合、ネットワークの状況などにより添付ファイルが破損する場合があります。送信文書の添付ファイルが破損していないか必ず確認してください。
- 送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。「----」はサーバーまでは通常に通信できたことを示しています。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「OK」が表示されます。重要な内容を送受信する場合は、G3 ファクスを使用してください。

■ SIP ファクス /IP アドレスファクス使用時の注意

- SIP ファクス、IP アドレスファクス機能を使用する場合、増設回線は使用できません。
- SIPファクスとIPアドレスファクスを同時に使用することはできません。
- SIPファクスを使用するには、SIPサーバーおよびSIP-FAXアダプターが必要です。
- SIPファクスおよびIPアドレスファクスは、弊社製の対応機種間でのみ動作します。対応機種以外での動作は保証できません。

詳しく説明します

インターネットファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

「ネットワークファクス機能設定」については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

詳しく説明します

SIP ファクス、IP アドレスファクス機能を使用する場合は、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

ひとこと

SIP ファクス /IP アドレスファクスを使用するには、オプションの FAX キットが必要です。

1.1.2　ユーザーの認証

本機の使用にあたって、部門名やユーザー名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名やユーザー名は管理者に確認してください。

■ 本体装置認証

ユーザー名とパスワードを入力し、［ログイン］または【ID】を押します。



■ 外部サーバー認証

ユーザー名、パスワード、認証するサーバーを指定し、［ログイン］または【ID】を押します。



■ 部門認証

部門名とパスワードを入力し、［ログイン］または【ID】を押します。



ひとこと

・管理者設定の「認証操作禁止機能」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
・PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。

1.1.3　ファイル名の制限

- 保存する文書のデータに名前を付けることができます。
- 名称の長さは半角で 30 文字までです。
- 名称は保存したあとから変更することもできます。
- 名称は保存時に指定できますが、指定せずに保存したときはあらかじめ設定された名称が付けられます。
- 名称は以下の内容を組み合わせて付けられます。
「CKMBT_C35308102315230」を例に説明します。

項目	説明
C	保存したときのモードを表しています。 C：コピー S：ファクス / スキャン P：プリンター
KMBT_C353	データを読込んだデバイス（機器）の名称です。出荷時の設定は「KMBT_（製品名）」となっています。この名称は管理者設定の「管理者 / 本体登録」の「装置名」で変更できます。10 文字以内で設定します。
08102315230	読込みを行った年（西暦の下 2 桁）、月日、時間、分を続けて表示します。最後の 1 桁は分の中で続けて読込みした場合に連番がつきます。
_0001	複数ページのデータを読込んだとき、ページを表します。この数字は「文書名」の画面では表示されませんが、送信時に自動的にファイル名の一部として付けられます。FTP 送信時などにサーバーのファイル名受付の条件がある場合、この部分も考慮して名称を付けてください。
.TIF	指定したデータ形式の拡張子です。この文字は「文書名」の画面では表示されませんが、送信時に自動的にファイル名の一部として付けられます。

ひとこと

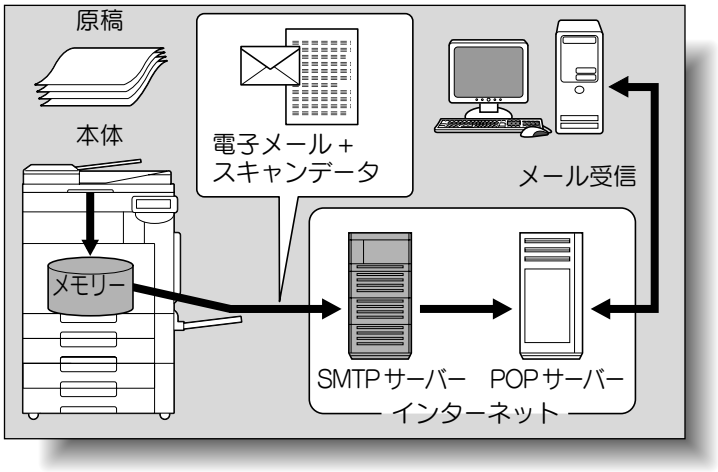
ファクス / スキャン画面、ボックス画面で保存した文書はすべて「S」となります。

1.2.1 ネットワークスキャン機能でできること

本機の ADF または原稿ガラスから原稿の画像を読取ることを「スキャンする」といいます。スキャン機能ではデータを一時的に本体内部のメモリーに保存することで、ネットワークを通じた送信が可能です。

■ E-mail 送信

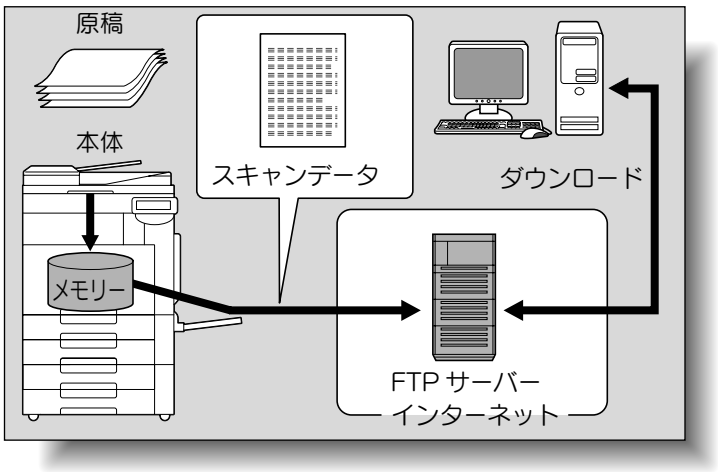
スキャンしたデータを指定した電子メールアドレスに送信できます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。



■ FTP 送信

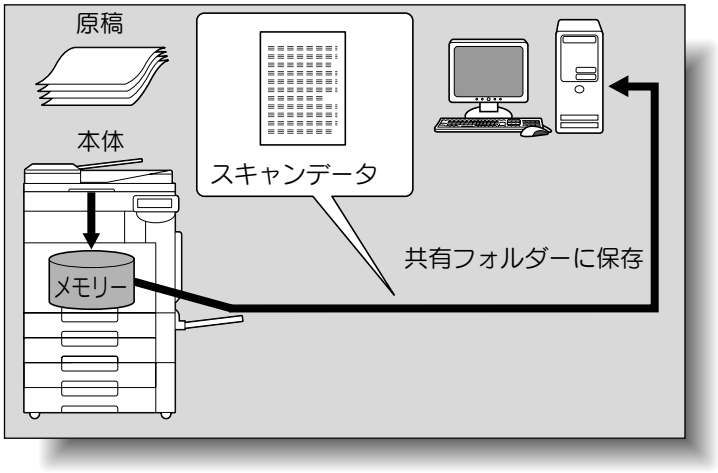
スキャンしたデータを指定した FTP サーバーにアップロードします。本機のタッチパネルで FTP サーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。

FTP サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターからダウンロードできます。



■ SMB 送信

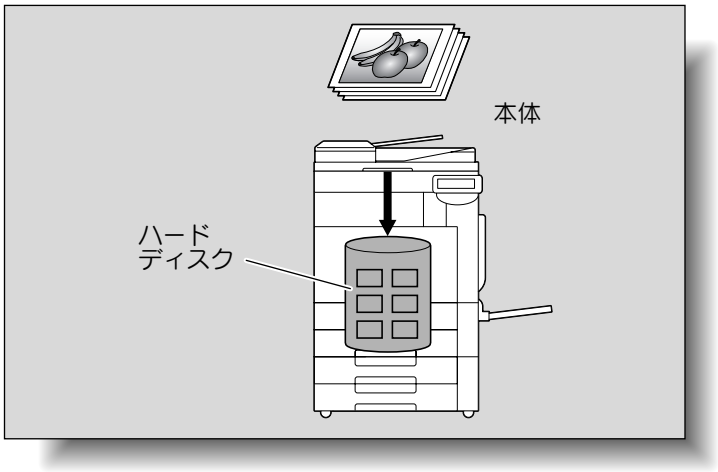
スキャンしたデータを指定したコンピューターの共有フォルダーに送信できます。本機のタッチパネルで対象となるホスト名やファイルパスなどを入力します。



■ ボックス保存

スキャンしたデータを、本体内部のハードディスクに作成したボックスに保存し、データの再利用ができます。保存時に本機のタッチパネルで文書名を入力できます。

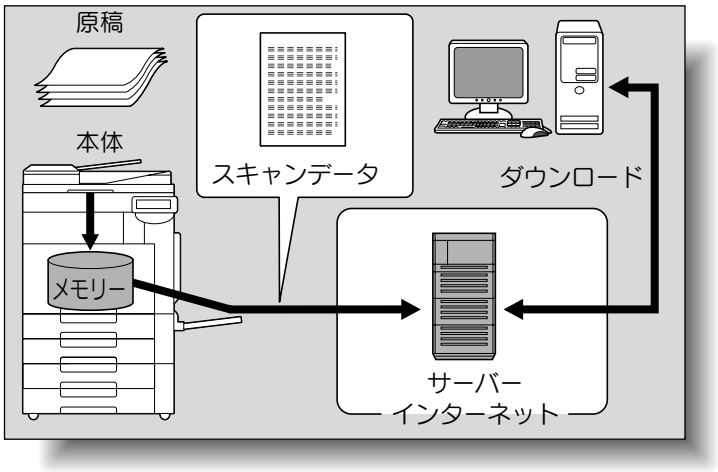
ボックスには他にもファクス受信したデータを保存することもできます。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。



■ WebDAV 送信

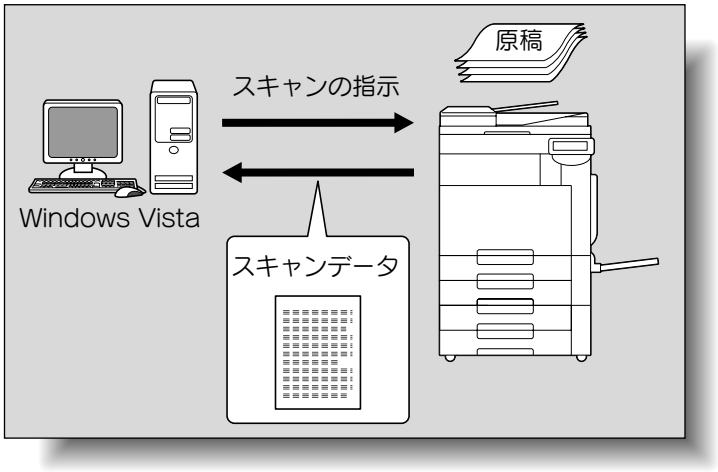
スキャンしたデータを指定したサーバーにアップロードします。本機のタッチパネルでサーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。

サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターからダウンロードできます。



■ Web サービス

ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista）が本機を認識した状態でドライバをインストールすると、コンピューターからスキャンの指示をしたり、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。



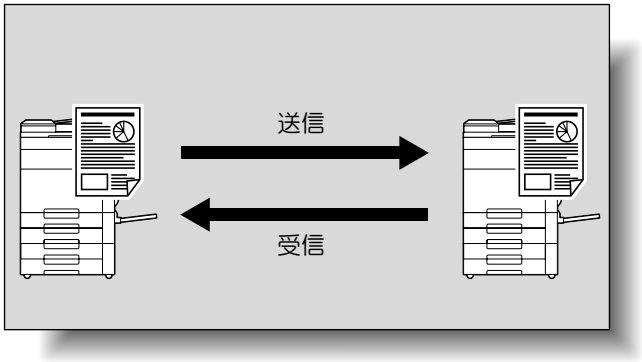
ひとこと

オプションのイメージコントローラ IC-409 を装着している場合には使用できません。

1.2.2 ファクス機能でできること

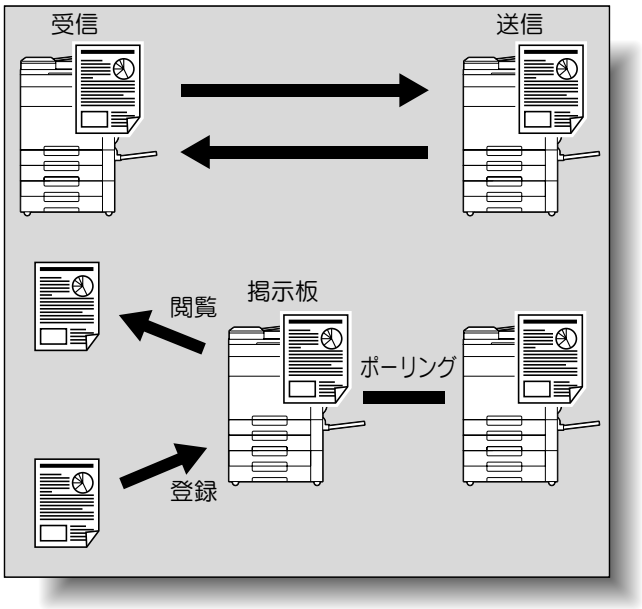
■ G3 ファクスの送受信

G3 ファクスの送受信ができます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、同報で送信すること以外に、スキャン送信で使用できる編集機能の一部を付加して送信できます。



■ ポーリング

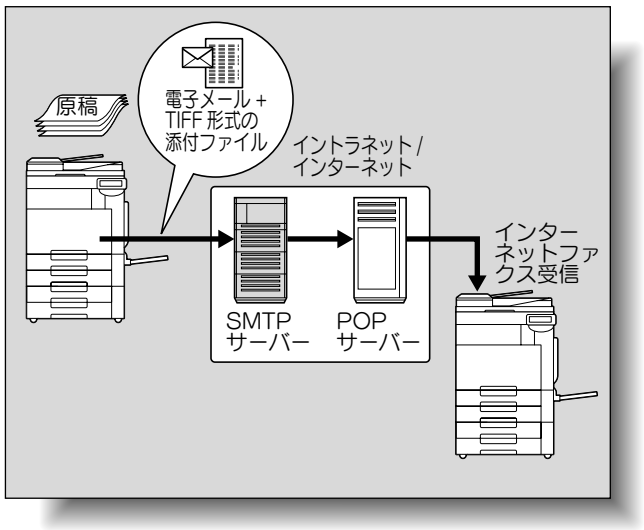
ポーリング指示を送ることで相手先ファクスから原稿を受信したり（ポーリング受信）、相手先からの指示で送信される原稿をあらかじめ登録する（ポーリング送信）ことができます。ポーリング送信ではポーリング送信ボックスを使う方法と、掲示板ボックスを使う方法があります。



1.2.3 ネットワークファクス機能でできること

■ インターネットファクス

イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由して、読取った原稿を、電子メールの添付ファイル（TIFF 形式）として送受信します。イントラネット / インターネット経由で通信するため、一般のファクス通信に比べて通信コストを大幅に削減できます。相手先の E-mail アドレスを指定して送信します。

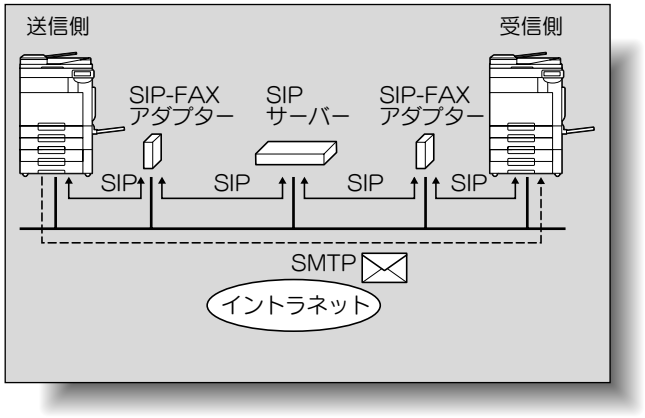


■ SIP ファクス

IP ネットワーク上で通信できるファクスで、SIP（Session Initiation Protocol）を用いて相手先とピアツーピア通信を行います。相手先の SIP ファクス番号を指定して送信します。

G3 ファクスやインターネットファクスとの違いは以下のとおりです。

- イメージデータ送受信のプロトコルには SMTP を使用します。
- イントラネット（企業内ネットワーク）でのみ使用できます。
- インターネットファクスのようにメールサーバーは必要ありません。
- カラーでファクスの送受信ができます。



ひとこと

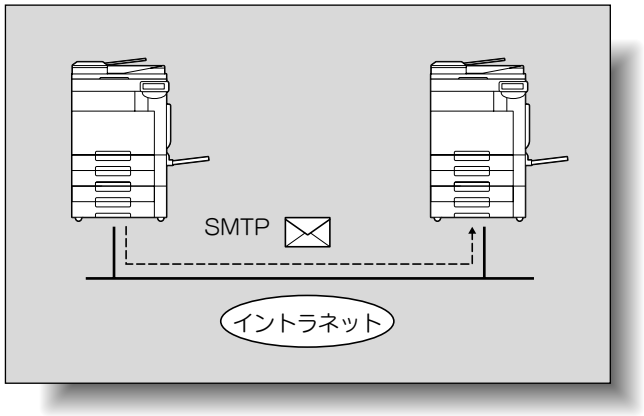
SIP ファクスを使用するには、オプションの SIP-FAX アダプターが必要です。

■ IP アドレスファクス

IP ネットワーク上で通信できるファクスで、相手先ファクスの IP アドレスまたはホスト名を指定して送信します。
G3 ファクスやインターネットファクスとの違いは以下のとおりです。

- イメージデータ送受信のプロトコルには SMTP を使用します。
- イントラネット（企業内ネットワーク）でのみ使用できます。
- インターネットファクスのようにメールサーバーは必要ありません。
- カラーでファクスの送受信ができます。

・相手先の IP アドレスまたはホスト名を指定して送信する



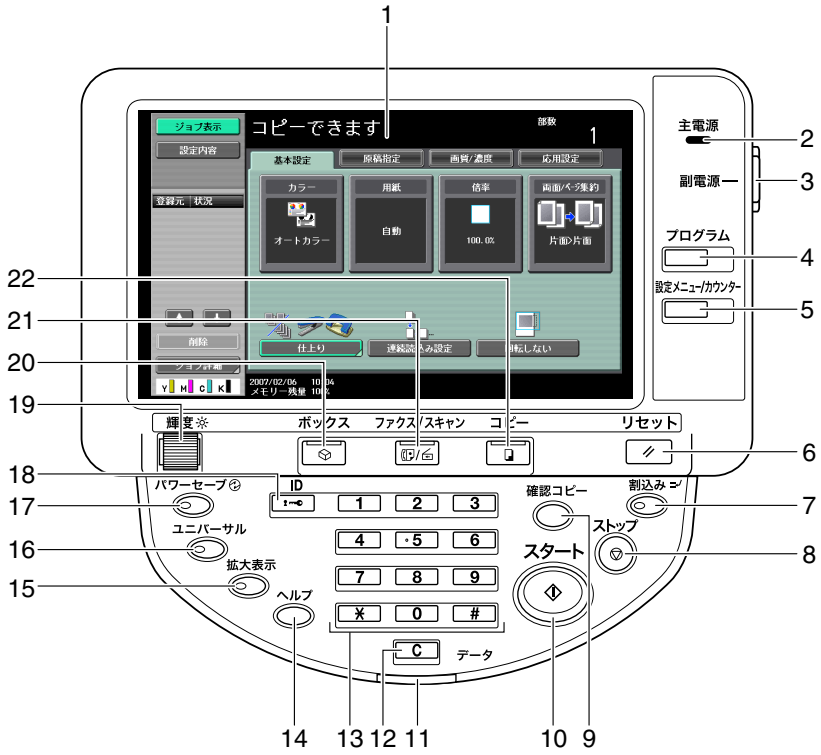
第 2 章
操作パネル / 液晶画面

本機を操作するパネルと液晶画面（タッチパネル）のはたらきについて説明します。

2.1　操作パネル 2-2
2.2　タッチパネル 2-4

2.1　操作パネル

ファクス / スキャンの操作は操作パネルから行います。操作パネルのキーやスイッチについて説明します。



No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。パネルに直接タッチして設定を行います。
2	主電源ランプ	主電源が ON のときに緑色に点灯します。
3	【副電源スイッチ】	コピー、プリント、スキャンなど本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
4	【プログラム】キー	目的のコピー / スキャン条件を登録（書込み）したり、登録したコピー / スキャン条件を呼出します。
5	【設定メニュー / カウンター】キー	設定メニュー画面、セールスカウンター画面を表示します。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力したすべての設定（登録した設定は除く）がクリアされます。
7	【割込み】キー	割込み機能に切換わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。
8	【ストップ】キー	スキャン中に【ストップ】を押すと、スキャンが一時停止します。
9	【確認コピー】キー	複数部数のコピーを行うときに、先に 1 部だけプリントして仕上りを確認できます。スキャンやコピーの前に押すと、タッチパネル上で仕上り表示を確認できます。
10	【スタート】キー	スキャンを開始します。本機がスキャンを開始できる状態のときは【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはスキャンを開始できません。 一時停止中のジョブが再開します。

No	名称	説明
11	データランプ	プリントジョブを受信中は、青色に点滅します。 データをプリントするときは、青色に点灯します。
12	【C】キー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）がクリアされます。
13	テンキー	部数を設定します。 倍率を入力します。 各種の設定値を入力します。
14	【ヘルプ】キー	ヘルプ画面に切換わります。各機能の説明や操作方法を画面上で表示できます。
15	【拡大表示】キー	拡大表示機能に切換わります。PageScope Authentication Manager にて認証を行っている場合、拡大表示画面に切換わりません。
16	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。
17	【パワーセーブ】キー	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
18	【ID】キー	ユーザー認証および部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。 ログオフ時にも使用します。
19	コントラスト調整ダイアル	タッチパネルのコントラストを調整します。
20	【ボックス】キー	ボックスモードに切換わります。 ボックスモード中は【ボックス】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
21	【ファクス / スキャン】キー	ファクス / スキャン機能に切換わります。 ファクス / スキャン機能中は【ファクス / スキャン】が緑色に点灯します。
22	【コピー】キー	コピー機能に切換わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。） コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

⚠注意

タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

2.2 タッチパネル

2.2.1 全体の画面構成



No	名称	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。
2	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。このエリアで各種機能を設定します。キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切換わります。
3	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。
4	左エリア	実行中 / 待機中のジョブを表示する［ジョブ表示］、設定中の仕上り状態を表示する［設定内容］などのキーが表示されます。 左エリアの表示と内容については、「左エリアの表示と操作」(p. 2-6)をごらんください。
5	トナー残量表示	イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各色のトナー残量を表示します。

■ タッチパネルに表示されるアイコン

アイコン表示エリアには、本機の状態を示すアイコンが表示されることがあります。表示されるアイコンの種類は以下のとおりです。

アイコン	説明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	画像安定化機能、印刷機能、スキャナー機能に異常が発生していることを示します。 このアイコンを押すと警告コードを確認できる画面に切換わります。
	警告発生中に警告表示画面を閉じた場合に、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切換わります。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあるときに表示されます。キーを押してメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。
	POP サーバーへの接続エラー時に表示されます。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。
	給紙トレイにセットされている用紙が残り少ないことを示します。

アイコン	説明
	オプションのイメージコントローラを装着している場合、このアイコンを押すとイメージコントローラの設定画面が表示されます。
	セキュリティ強化設定が適用されていることを示します。
	外部メモリーが装着されていることを表示します。

2.2.2　オプションの有無による表示の違い

オプションのファクスキットを装着しているかどうかで、表示される項目が異なります。

■ ファクスキットを装着していない場合



ファクス宛先やファクスに関する機能は表示されません。

■ ファクスキットを装着している場合



ファクスの送信履歴から選択できる［履歴から選択］タブ、オフフックからダイアルできる［オフフック］が表示されます。また、［直接入力］タブや送信設定では、ファクス送信に関する設定ができます。

2.2.3　左エリアの表示と操作

タッチパネルの左エリアには、ジョブの状態や設定内容を確認できるキーが表示されます。ファクス / スキャンモードで表示される左エリアのキーは以下のとおりです。



No	名称	説明
1	［ジョブ表示］	本機が実行中のジョブやジョブの履歴を確認できます。
2	［設定内容］	選択したボックスの情報や、読込み、印刷、送信の各種設定内容を確認できます。

■ ジョブ表示

ボックスへの保存や、保存した文書の印刷 / 送信などの動作の指示をジョブと呼びます。［ジョブ表示］を選択すると、現在動作中のジョブが表示されます。



■ ジョブ表示ー削除

実行中のジョブを削除し、動作を中止することができます。ジョブ表示の一覧から削除するジョブを選択し、［削除］を押します。表示されるメッセージを確認して削除してください。



■ ジョブ表示－ジョブ詳細

［ジョブ詳細］を押すと右側のエリアにジョブの実行中リストと履歴リストが表示され、確認できます。ジョブには以下の 4 種類があります。



項目	説明
［印刷］	コピー、コンピューターからの印刷、受信ファクスの印刷のジョブリストです。
［送信］	スキャン送信、ファクス送信のジョブリストです。
［ファクス受信］	受信ファクスのジョブリストです。
［保存］	ボックスへ文書を保存したジョブリストです。

＜［印刷］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	No.：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 登録元：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 状態：ジョブの状態（受信中 / 印刷待ち / 印刷中 / 印刷停止 / 印刷エラー / 蓄積中）です。 文書名：印刷時のファイル名です。 登録時間：ジョブの登録時間です。 原稿：原稿枚数です。 部数：印刷部数をカウント表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。
［優先出力］	印刷するジョブの優先度を変更できます。
［蓄積解除］	蓄積されたジョブの設定変更、印刷、削除ができます。
［設定内容］	選択したジョブの設定内容を確認できます。［←前画面］または［次画面→］を押して確認します。
［詳細］	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、原稿枚数、印刷部数を確認できます。ジョブを削除するときは［削除］を押します。

ひとこと

・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

ひとこと

・管理者設定のジョブ優先順位変更を「禁止」に設定している場合は、優先出力は設定できません。
・印刷中のジョブが割込み可能な設定の場合は、印刷を中断して優先出力ジョブを印刷します。中断されたジョブは、割込んだジョブの印刷が完了したあと自動的に印刷されます。

＜［印刷］の履歴リスト＞

印刷されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	No.：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 登録元：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 文書名：印刷時のファイル名です。 登録時間：ジョブの登録時間です。 原稿：原稿枚数です。 部数：印刷部数をカウント表示します。 実行結果：ジョブの実行結果（正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / 一部のモード解除）を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［消去ジョブ］/［終了ジョブ］/［全ジョブ］	ジョブの種類を切換えて表示します。
［詳細］	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、終了時間、原稿枚数、印刷部数を確認できます。

ひとこと

・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

＜［送信］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	No.：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 宛先種類：宛先の種別（ファクス、E-mail、ファイル FTP、ファイル SMB、WebDAV、TWAIN、その他）です。 状態：ジョブの状態（送信中 / 送信待ち / ダイアル中 / リダイアル待ち）です。 宛先：相手のファクス番号、E-mail アドレス、ボックス名などを表示します。 登録時間：ジョブの登録時間です。 原稿：原稿枚数です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［タイマー通信ジョブ］	メモリーに蓄積されている送信予約状態を表示します。ジョブを削除するときは［削除］を押します。
［L1］［L2］	オプションの回線拡張キットを装着している場合に表示されます。選択した回線別のリストを表示します。
［削除］	選択したジョブを削除します。
［リダイアル］	状態が「リダイアル待ち」のジョブを選択し、リダイアルを実行します。
［設定内容］	選択したジョブの設定内容を確認できます。［←前画面］または［次画面→］を押して確認します。
［詳細］	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、宛先種類、宛先、登録時間、通信時間、原稿枚数、外部サーバー情報を確認できます。ジョブを削除するときは［削除］を押します。

ひとこと

・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。
・［詳細］の外部サーバー情報は、外部サーバー認証時に表示されます。
・Web サービスで送信したジョブは「TWAIN」と表示されます。

＜［送信］の履歴リスト＞

ファクスの送信またはスキャン送信されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	No.：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 宛先種類：宛先の種別（ファクス、E-mail、ファイル FTP、ファイル SMB、WebDAV、TWAIN、その他）です。 宛先：相手のファクス番号、E-mail アドレス、ボックス名などを表示します。 登録時間：ジョブの登録時間です。 原稿：原稿枚数です。 実行結果：ジョブの実行結果（正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去）を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［消去ジョブ］/［終了ジョブ］/［全ジョブ］	ジョブの種類を切換えて表示します。
［通信リスト］	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
［詳細］	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、宛先種類、登録時間、通信時間、原稿枚数、外部サーバー情報を確認できます。

ひとこと

・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。
・［詳細］の外部サーバー情報は、外部サーバー認証時に表示されます。
・Web サービスで送信したジョブは「TWAIN」と表示されます。
・ファクスの受信後に転送または中継送信された場合にも、［送信］の履歴リストに表示されます。

＜［ファクス受信］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	No.：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 登録元：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 状態：ジョブの状態（受信中 / ダイアル中（ポーリング受信時）/ 印刷待ち / 印刷中 / 印刷停止 / 印刷エラー / メモリ保存中）です。 文書名：受信または保存した文書名を表示します。 登録時間：ジョブの登録時間です。 原稿：受信した原稿枚数です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。
［リダイアル］	状態が「リダイアル待ち」のジョブを選択し、リダイアルを実行します。
［転送］	メモリー代行受信したファクスを転送します。転送する宛先は登録宛先または直接入力で指定します。
［詳細］	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、通信時間、原稿枚数を確認できます。 ジョブを削除するときは［削除］を押します。

ひとこと

・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

＜［ファクス受信］の履歴リスト＞
ファクスを受信、転送、中継送信されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	No.：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 登録元：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 文書名：受信または保存した文書名を表示します。 登録時間：ジョブの登録時間です。 原稿：原稿枚数です。 実行結果：ジョブの実行結果（正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / モード解除）を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［消去ジョブ］/［終了ジョブ］/［全ジョブ］	ジョブの種類を切換えて表示します。
［通信リスト］	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
［詳細］	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、通信時間、原稿枚数を確認できます。

ひとこと
・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。
・ファクスの受信後にプリントされた場合は、［ファクス受信］の履歴リストには表示されず、［印刷］の履歴リストに表示されます。

＜［保存］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	No.：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 登録元：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 状態：ジョブの状態（受信中、メモリー保存中）です。 文書名：保存した文書名を表示します。 登録時間：ジョブの登録時間です。 原稿：原稿枚数です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。
［詳細］	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、保存先ボックス、登録時間、原稿枚数を確認できます。 ジョブを削除するときは［削除］を押します。

ひとこと
・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

＜［保存］の履歴リスト＞
ボックスの保存されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	No.：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 登録元：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 文書名：保存した文書名を表示します。 登録時間：ジョブの登録時間です。 原稿：原稿枚数です。 実行結果：ジョブの実行結果（正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / モード解除）を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［消去ジョブ］/［終了ジョブ］/［全ジョブ］	ジョブの種類を切換えて表示します。

ひとこと
・ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。
・機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。
・ファクスを強制メモリ受信や親展受信した場合は、［保存］の履歴リストに表示されます。

項目	説明
［通信リスト］	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
［詳細］	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、保存先ボックス、登録時間、原稿枚数を確認できます。

■ 設定内容－詳細確認 / 登録

［設定内容］を押すと［詳細確認 / 登録］が表示されます。
［詳細確認 / 登録］を押すと以下の設定を確認できます。

- 宛先確認 / 登録
- 読込み設定内容
- 原稿設定内容
- 通信設定内容
- E-mail 設定内容

■ 設定内容－詳細確認 / 登録－宛先確認 / 登録

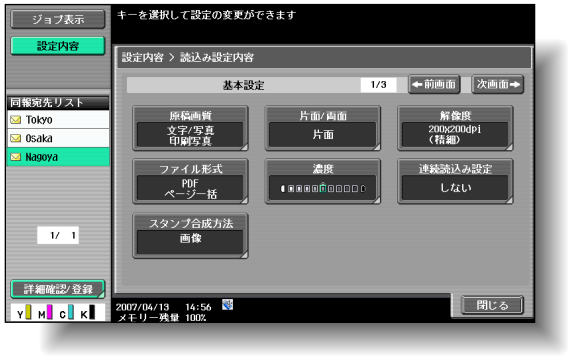
送信先として登録されている宛先の一覧を表示します。

- ❍ 直接入力した宛先を新しく追加する場合は、宛先を選択して［宛先登録］を押します。
- ❍ 表示されている宛先の情報を知りたい場合は、宛先を選択して［宛先詳細］を押します。
- ❍ 宛先を削除する場合は、宛先を選択して［削除］を押します。



■ 設定内容－詳細確認 / 登録－読込み設定内容

読込みの基本設定、読込み指定、応用設定の内容が確認できます。［←前画面］または［次画面→］を押して確認します。



■ 設定内容－詳細確認 / 登録－原稿設定内容

原稿設定の内容が確認できます。



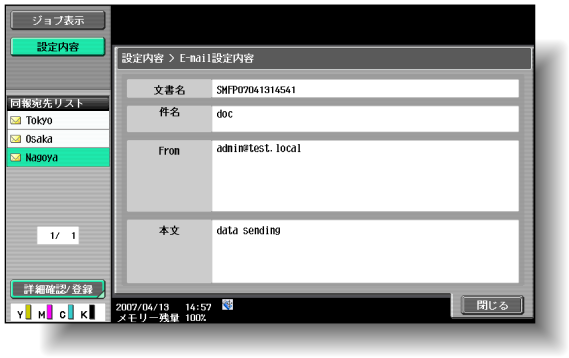
■ 設定内容－詳細確認 / 登録－通信設定内容

回線設定、送受信方設定の内容を確認できます。［←前画面］または［次画面→］を押して確認します。



■ 設定内容－詳細確認 / 登録－ E-mail 設定内容

E-mail 送信を行う場合の文書名、件名、From アドレス、本文内容を確認できます。



第 3 章
基本情報の登録

スキャン、ファクス機能を使用する前に必要な設定や登録について説明します。

3.1　はじめて使用する場合 3-2
3.2　宛先登録 3-4
3.3　その他必要に応じて行う設定 3-5
3.4　Web サービスを使用する場合 3-6

3.1　はじめて使用する場合

初めて使用するときは、以下の登録が必要です。

3.1.1　必要な環境と設備

各種機能を使用するために必要な環境と設備は以下のとおりです。

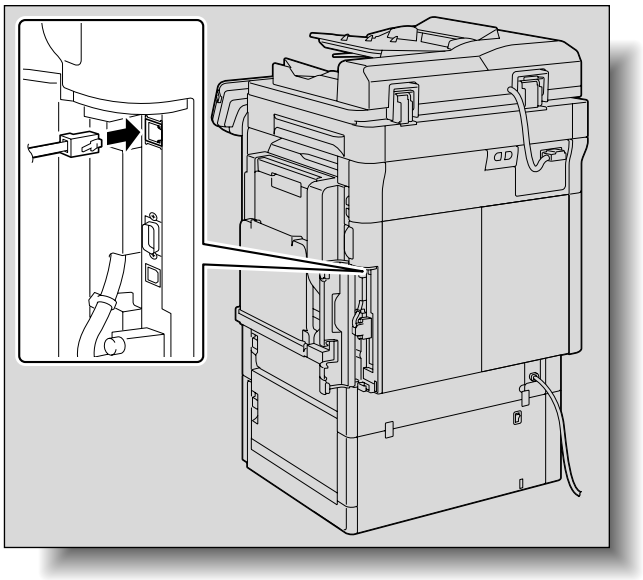
機能		環境と設備
ネットワークスキャン機能		・ネットワークの接続 ・ネットワークの設定
G3 ファクス機能		・FAX キット（オプション）の装着 ・モジュラーケーブルの接続
ネットワークファクス機能	インターネットファクス	・ネットワークの接続 ・ネットワークの設定
	SIP ファクス	・FAX キット（オプション）の装着 ・SIP-FAX アダプター（オプション）の接続 ・ネットワークの接続 ・ネットワークの設定
	IP アドレスファクス	・FAX キット（オプション）の装着 ・ネットワークの接続 ・ネットワークの設定

3.1.2　ネットワークの接続と設定

ネットワークスキャン機能、ネットワークファクス機能のようにイメージデータをネットワーク経由で送信する機能を使用する場合、ネットワークへの接続と設定が必要です。

■ ネットワークの接続

本機の Ethernet コネクタに、ネットワークに接続された UTP ケーブル（カテゴリー 5 以上推奨）を接続します。



■ ネットワークの設定

IP アドレスの割り当てや SMTP サーバーの設定などが必要です。詳しい操作の手順は「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 本機の E-mail アドレスの設定

スキャンしたデータを E-mail 送信したり、インターネットファクスを使用する場合は、本体に E-mail アドレスを登録する必要があります。この E-mail アドレスはデータを送受信するときに使用します。通常は管理者登録の E-mail アドレスを使用することをおすすめします。

管理者登録の E-mail アドレスが設定されていない場合は E-mail 送信ごとに発信元の E-mail アドレスを入力する必要があります。アドレスの入力がないときは E-mail 送信はできません。

ひとこと

ユーザー認証を設定しているときは、ユーザーごとに設定した E-mail アドレスが発信元アドレスとなります。

参照

本機の E-mail アドレスの設定は、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

3.1.3　SIP-FAX アダプターの接続

SIP ファクスを使用する場合は、オプションの SIP-FAX アダプターを接続する必要があります。SIP ファクス機能を使用すると、IP アドレスファクスは使用できません。

3.1.4　モジュラーケーブルの接続

電話回線を使用するファクスを送受信する場合に接続します。G3 ファクスを使用する場合は、オプションの FAX キットを装着する必要があります。また、2 回線を使用する場合はさらにオプションの回線拡張キットを装着する必要があります。

電話回線に接続したモジュラーケーブルを所定のコネクタに接続してください。接続するコネクタの位置は「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

3.2 宛先登録

ファクス、スキャンしたデータの送信先（宛先）を登録します。登録方法は以下の種類があります。

- 本機のタッチパネルから設定する
- ネットワーク上のコンピューターから PageScope Web Connection を使う

3.2.1 短縮宛先

短縮宛先には以下の種類があります。短縮宛先の登録方法は、「宛先 / ボックス登録」（p. 9-5）をごらんください。

- E-mail 送信
- ボックス保存
- ファクス送信
- SIP ファクス送信
- ファイル送信（SMB）
- ファイル送信（FTP）
- ファイル送信（WebDAV）
- IP アドレスファクス送信
- インターネットファクス送信

3.2.2 グループ宛先

短縮宛先を組み合わせてグループ宛先として登録できます。複数の宛先に同時に送信するときなどに便利です。

ひとこと

Web サービスでは短縮宛先は登録できません。直接入力で宛先を指定してください。

3.3　その他必要に応じて行う設定

使い方に応じて以下の設定もできます。

■ ファクス / スキャンプログラム

送信先や読込みの設定などをまとめてひとつのプログラムとして設定します。いつも同じ条件でスキャン、送信する場合などに便利です。設定は本機のタッチパネルで行います。

参照
詳しくは、「ファクス / スキャンプログラム」（p. 9-27）をごらんください。

■ 画面表示の設定

操作パネルの【ファクス / スキャン】を押したときに表示される画面の内容を設定します。

参照
詳しくは、「画面カスタマイズ設定ーファクス / スキャン設定」（p. 9-34）をごらんください。

3.4 Web サービスを使用する場合

ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista）からスキャンの指示をしたり、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。ここでは、コンピューター側で事前に必要となる設定について説明します。

3.4.1 Web サービスを使用するために必要な設定

Web サービスを使用するために必要な設定は以下のとおりです。

- コンピューターに本機をインストールする
- 本機で Web サービスを行うための設定をする

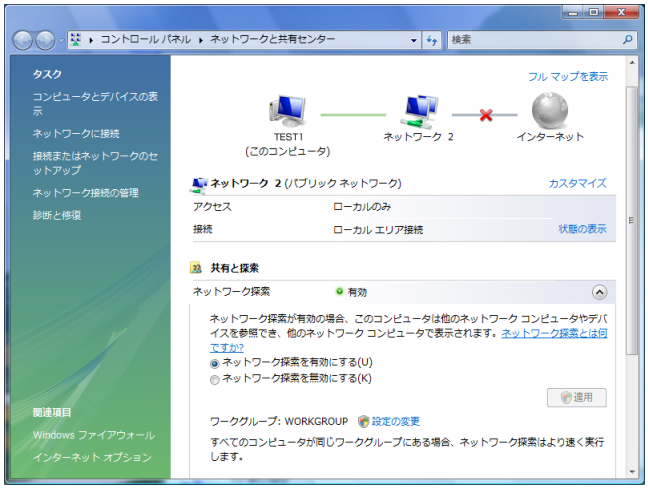
詳しく説明します

本機での Web サービスの設定は、管理者設定で行います。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

3.4.2 コンピューターに本機をインストールする

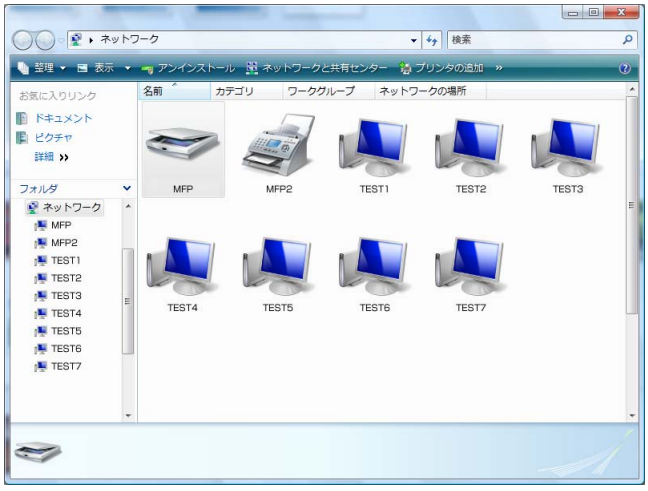
■ インストール前の確認

インストールの前に、［コントロールパネル］－［ネットワークと共有センター］で、「ネットワーク探索」が有効に設定されていることを確認してください。



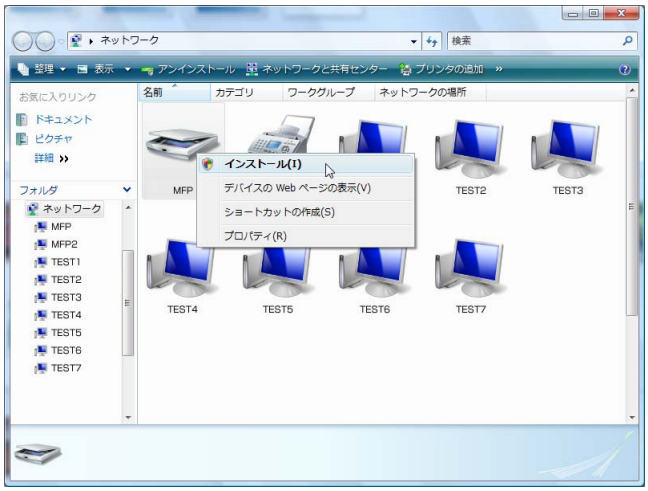
■ インストールの手順

1 ［スタート］ボタンから［ネットワーク］を選択します。
ネットワークに接続されている機器が表示されます。

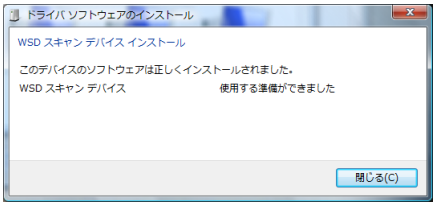


2

本機のスキャナーアイコンを右クリックし、［インストール］を選択します。



❍ ドライバソフトウェアが自動的にインストールされます。確認画面が表示されたら［閉じる］をクリックします。



3

本機の操作パネルで［Web サービス］を選択し、接続先が表示されていることを確認します。

ひとこと

・コンピューター側の設定によっては、UAC（User Account Control）画面が表示されることがあります。内容を確認し、続行してください。
・本機で Web サービスのスキャン機能とプリンター機能の両方が有効に設定されている場合、本機はプリンターアイコンで表示されます。

第 4 章
送信する

ファクス、スキャンしたデータを送信する方法と設定できる機能について説明しています。

4.1　操作の流れ 4-2
4.2　仕上りプレビューを使う 4-10
4.3　ファクス / スキャンモードメニューツリー 4-14
4.4　ファクス / スキャン初期画面 4-19
4.5　読込み設定 4-30
4.6　原稿設定 4-50
4.7　通信設定 4-53
4.8　リダイアル （G3/IP/SIP）について 4-61

4.1 操作の流れ

4.1.1 スキャン / ネットワークファクス

スキャン送信およびネットワークファクス機能を使う場合の手順のながれを説明します。

【ファクス / スキャン】キーを押す



↓

宛先を指定する

登録宛先から（p. 4-19）



直接入力から（p. 4-22）

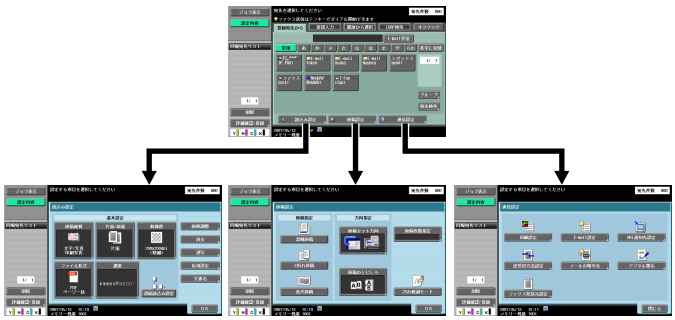


LDAP 検索から（p. 4-27）



↓

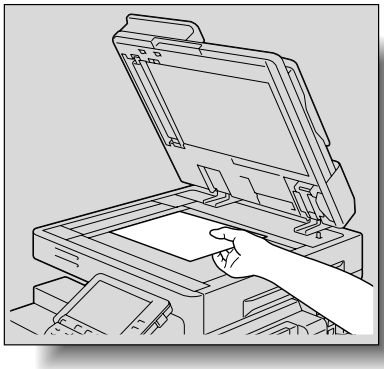
読込み設定（p. 4-30）、原稿設定（p. 4-50）、
通信設定（p. 4-53）を行う



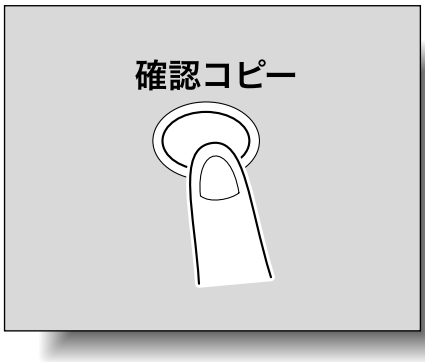
↓

原稿をセットする

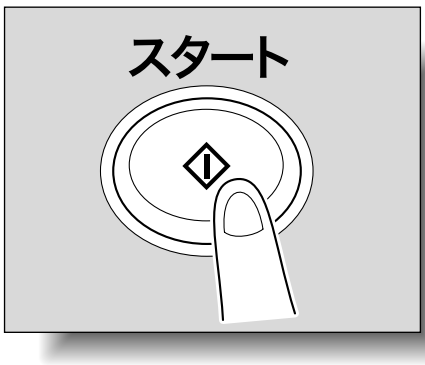




仕上りプレビューを確認する場合は、【確認コピー】キーを押す（p. 4-10）



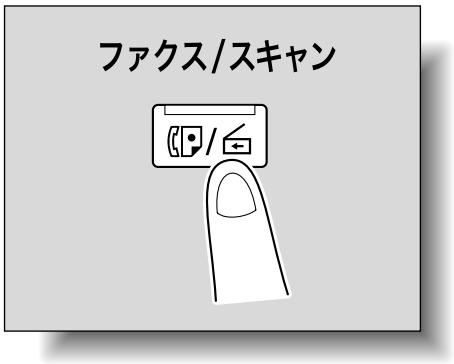
【スタート】キーを押す



4.1.2　ファクス（G3）

G3 ファクスを使う場合の手順のながれを説明します。

【ファクス / スキャン】キーを押す



↓

宛先を指定する

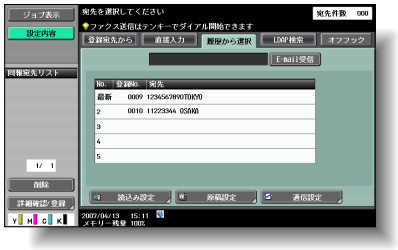
登録宛先から（p. 4-19）



直接入力から（p. 4-22）

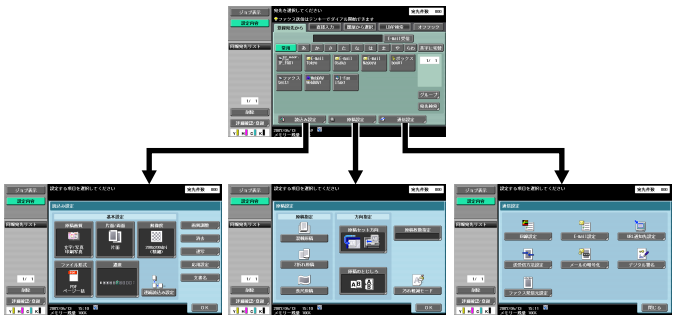


送信履歴から（p. 4-27）



↓

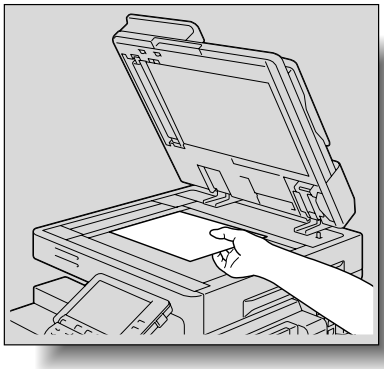
読込み設定（p. 4-30）、原稿設定（p. 4-50）、
通信設定（p. 4-53）を行う



↓

原稿をセットする

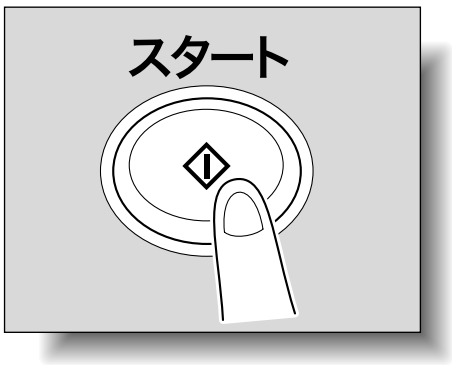




仕上りプレビューを確認する場合は、【確認コピー】キーを押す（p. 4-10）



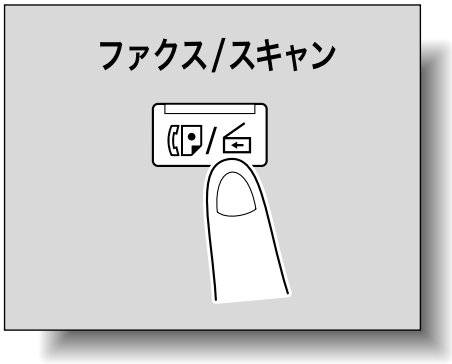
【スタート】キーを押す



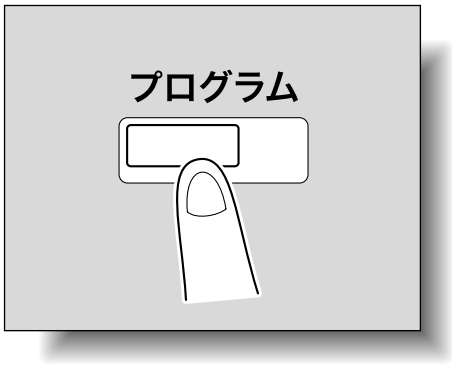
4.1.3　プログラムの呼び出し

登録したファクス / スキャンプログラムを呼び出すながれを説明します。

【ファクス / スキャン】キーを押す



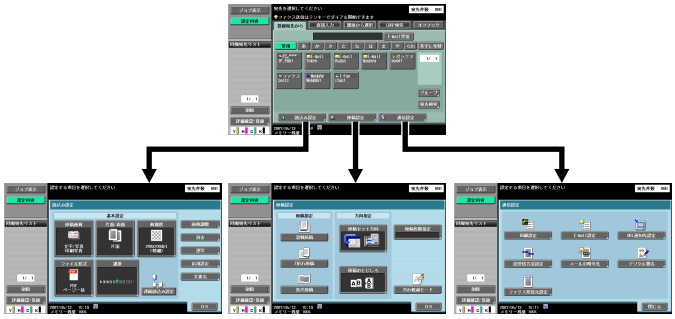
【プログラム】キーを押す



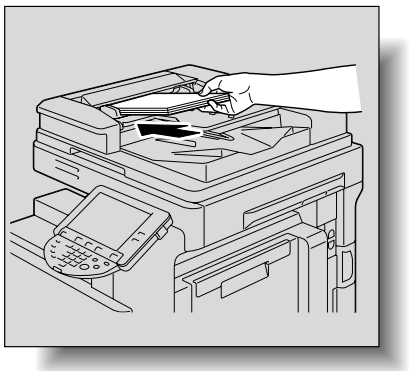
プログラムを選択し、［OK］を押す

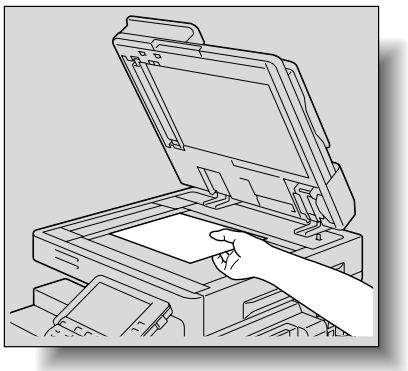


読込み設定（p. 4-30）、原稿設定（p. 4-50）、
通信設定（p. 4-53）を行う

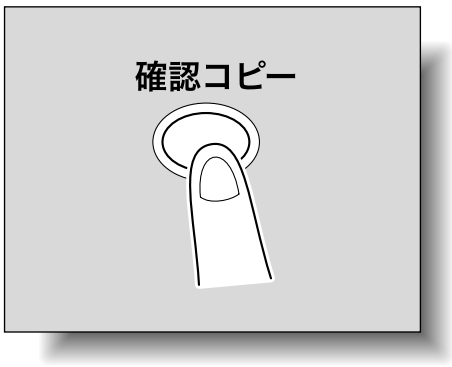


原稿をセットする

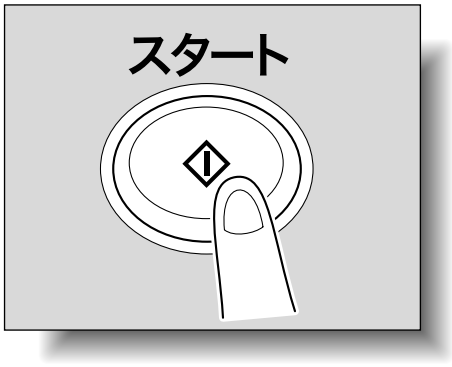




仕上りプレビューを確認する場合は、【確認コピー】
キーを押す（p. 4-10）



【スタート】キーを押す



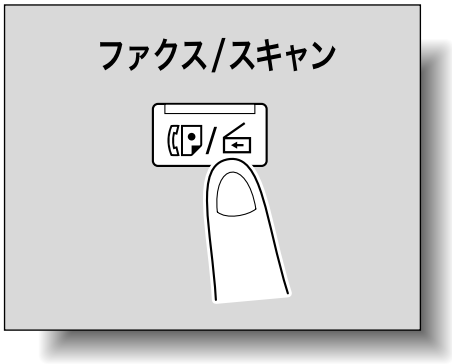
参照

プログラム登録の内容と手順は「ファクス / スキャンプログラム」（p. 9-27）をごらんください。

4.1.4　同報送信

同時に複数の宛先に送信する手順を説明します。

【ファクス / スキャン】キーを押す

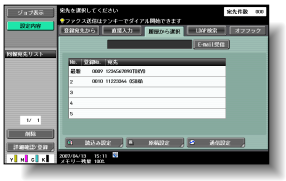


↓

宛先を複数指定する

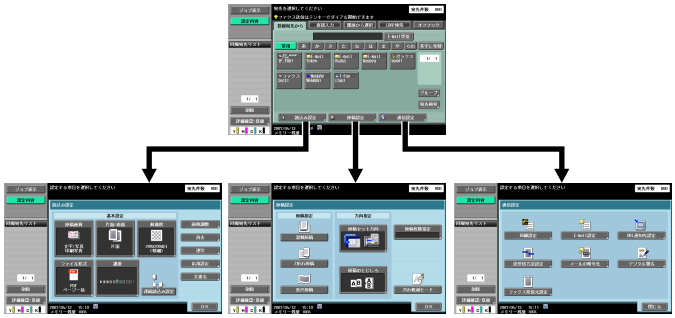
登録宛先から（p. 4-19）　直接入力から（p. 4-22）　送信履歴から（p. 4-27）LDAP 検索から（p. 4-27）






↓

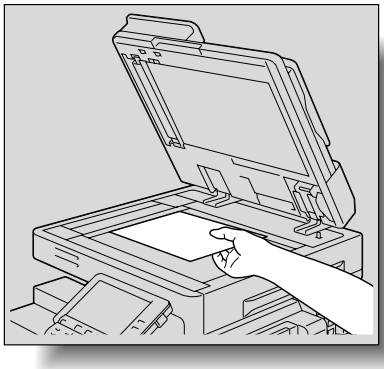
読込み設定（p. 4-30）、原稿設定（p. 4-50）、
通信設定（p. 4-53）を行う



↓

原稿をセットする

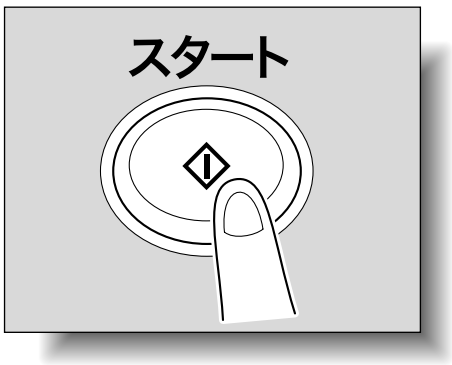




仕上りプレビューを確認する場合は、【確認コピー】キーを押す（p. 4-10）



【スタート】キーを押す



4.2　仕上りプレビューを使う

ファクス、スキャン送信で原稿をセットしたあと、操作パネルの【確認コピー】キーを押すと仕上り状態を操作パネル上にプレビュー表示できます。プレビュー詳細画面では、読込んだ原稿の向きを確認したり、設定内容を変更することができます。

ひとこと

暗号化の設定をして読込んだ文書は、プレビュー画像を表示できません。

4.2.1　　プレビュー詳細画面

■ プレビュー詳細－確認表示

読込んだ画像を表示します。



項目	説明
［前ページ］/［次ページ］	保存されている文書が複数ページある場合、ページを切り替えて表示できます。
表示サイズ変更	全体表示 /2 倍 /4 倍 /8 倍の大きさで文書の詳細を確認できます。表示サイズを選択し、画像の右側と下側のスクロールバーで表示箇所を移動させます。
表示画像回転	［現在表示中のページ］：現在表示されているページを 180 度回転して表示します。 ［読込みページ一覧から選択］：保存されている文書が複数ページある場合に表示されます。読込みページの一覧画面が表示され、指定したページの表示を 180 度回転します。 読込みページの一覧画面の操作は以下のとおりです。 ［奇数ページ］：奇数ページの画像を 180 度回転します。 ［偶数ページ］：偶数ページの画像を 180 度回転します。 ［全ページ］：すべてのページの画像を 180 度回転します。
［仕上り表示］	設定した内容が、プレビュー画像の中にアイコンや文字で表示されます。［仕上り表示］を解除すると、アイコンや文字が消え、画像だけが表示されます。
［設定変更］	原稿を読込む前に行った設定の一部を変更できます。詳しくは、「プレビュー詳細－確認表示－設定変更」（p. 4-11）をごらんください。

ひとこと

ページを直接選択すると、選択したページの画像が 180 度回転します。

■ プレビュー詳細－確認表示－設定変更

原稿を読込む前に行った設定のうち、以下の内容を変更できます。
変更した内容は追加して読込んだ原稿で反映されます。



項目	説明
基本設定－原稿	片面または両面を選択できます。「表紙＋両面」が設定されている場合は、［表紙＋両面］も表示されます。
基本設定－原稿のとじしろ	E-mail、ボックス、ファイル送信（FTP）、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（WebDAV）のいずれかの宛先を指定して、ブック連写を選択していないときに選択できます。
基本設定－原稿サイズ	混載原稿が設定されているときに選択できます。
応用設定－枠消し	枠消しを設定できます。
応用設定－折り目消し	［折り目消し］が表示され、選択できる場合、折り目消しを設定できます。

■ プレビュー詳細－状態表示

読込みをさらに続けるかどうかを設定できます。



項目	説明
［読込み終了］	現在表示されている原稿に続き、読込みを続ける場合は［読込み終了］が選択されていない状態にします。

4.2.2　仕上りプレビューを使った送信

原稿をセットしたあとの手順を説明します。ファクス、スキャン送信の流れは、「操作の流れ」(p. 4-2)をごらんください。

1 原稿をセットします。

2 【確認コピー】を押します。

3 原稿セット方向を選択します。

＜原稿ガラスにセットした場合＞



＜ADF にセットした場合＞



4 【スタート】を押します。

原稿が読込まれ、プレビュー詳細画面が表示されます。

5 プレビュー画像を確認し、必要に応じて画像の回転や設定の変更を行います。



❍ 引き続き原稿を読込む場合は、［状態表示］タブを押して［読込み終了］の選択を解除し、原稿をセットします。



6

【スタート】を押します。

送信が開始されます。

4.3　ファクス / スキャンモードメニューツリー

ファクス / スキャンモードで操作できる機能の構成や設定項目は以下のようになっています。

■［登録宛先から］タブ（p. 4-19）

［登録宛先から］で操作できる内容は以下のとおりです。



宛先検索（p. 4-19）
読込み設定（p. 4-30）
原稿設定（p. 4-50）
通信設定（p. 4-53）

■［直接入力］タブ（p. 4-21）

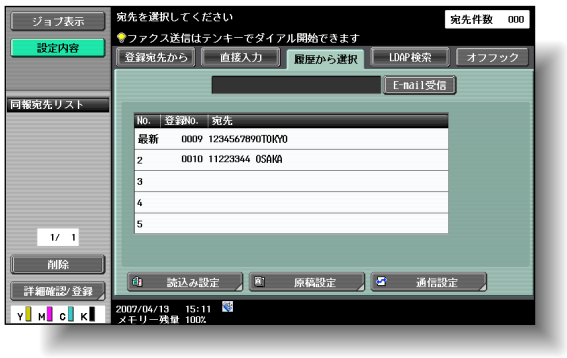
［直接入力］で操作できる内容は以下のとおりです。



ファクス（p. 4-22）
SIP ファクス（p. 4-22）
E-mail（p. 4-22）
ボックス（p. 4-23）
インターネットファクス（p. 4-23）
IP アドレスファクス（p. 4-24）
ファイル送信（SMB）（p. 4-24）
ファイル送信（FTP）（p. 4-25）
ファイル送信（WebDAV）（p. 4-26）
ファイル送信（Web サービス）（p. 4-27）
読込み設定（p. 4-30）
原稿設定（p. 4-50）
通信設定（p. 4-53）

■［履歴から選択］タブ（p. 4-27）

［履歴から選択］で操作できる内容は以下のとおりです。



履歴
読込み設定（p. 4-30）
原稿設定（p. 4-50）
通信設定（p. 4-53）

■［LDAP 検索］タブ（p. 4-27）

［LDAP 検索］で操作できる内容は以下のとおりです。



単検索（p. 4-27）
複合検索（p. 4-28）
読込み設定（p. 4-30）
原稿設定（p. 4-50）
通信設定（p. 4-53）

■ オフフック（p. 4-29）

■［読込み設定］（p. 4-30）

［読込み設定］で設定できる内容は以下のとおりです。



- 原稿画質（p. 4-30）
- 片面 / 両面（p. 4-31）
- 解像度（p. 4-31）
- ファイル形式（p. 4-31）
  - ファイル形式（p. 4-32）
  - ページ設定（p. 4-32）
  - 暗号化（p. 4-32）
  - スタンプ合成方法（p. 4-34）
- 濃度（p. 4-34）
- 連続読込み設定（p. 4-35）
- 画質調整（p. 4-35）
  - カラー（p. 4-35）
  - 下地調整（p. 4-36）
  - シャープネス（p. 4-36）
- 消去（p. 4-36）
  - 枠消し（p. 4-37）
- 連写
  - ブック連写（p. 4-37）
- 応用設定
  - 読込みサイズ（p. 4-39）
  - ファイリングナンバー（p. 4-40）
  - スタンプ / ページ印字
    - 日付 / 時刻（p. 4-40）
      - 日付種類
      - 時刻種類
      - 印字ページ
      - 文字サイズ
      - 文字の色
      - 印字位置指定
    - ページ番号（p. 4-42）
      - 印字開始ページ番号
      - 印字開始章番号
      - ページ種類
      - 文字の色
      - 文字サイズ
      - 印字位置指定
    - スタンプ（p. 4-44）
      - 定型スタンプ種類
      - 印字ページ
      - 文字サイズ
      - 文字の色
      - 印字位置指定
    - ヘッダー / フッター（p. 4-45）
      - ヘッダー / フッター呼出し
      - 確認 / 一時変更
  - 同時印刷（p. 4-48）
    - 部数
    - 片面 / 両面印刷
    - ステープル
  - 済みスタンプ（p. 4-49）
- 文書名（p. 4-49）

■［原稿設定］（p. 4-50）

［原稿設定］で設定できる内容は以下のとおりです。



- 原稿指定（p. 4-50）
  - 混載原稿（p. 4-50）
  - Z 折れ原稿（p. 4-50）
  - 長尺原稿（p. 4-50）
- 方向指定（p. 4-50）
  - 原稿セット方向（p. 4-50）
  - 原稿のとじしろ（p. 4-51）
- 原稿枚数指定（p. 4-51）
- 汚れ軽減モード（p. 4-52）

■［通信設定］（p. 4-53）

［通信設定］で設定できる内容は以下のとおりです。

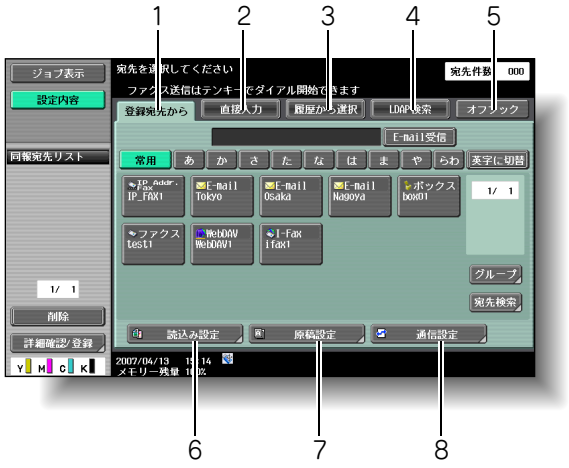


- 回線設定（p. 4-53）
  - 海外通信モード（p. 4-53）
  - ECM OFF（p. 4-53）
  - V34 OFF（p. 4-53）
  - 宛先確認送信（p. 4-54）
  - 回線指定（p. 4-54）
- E-mail 設定（p. 4-54）
  - 文書名（p. 4-54）
  - 件名（p. 4-54）
  - From（p. 4-55）
  - 本文（p. 4-55）
- URL 通知先設定（p. 4-55）
- 送受信方法設定（p. 4-56）
  - クイックメモリー送信（p. 4-56）
  - ポーリング受信
    - 通常（p. 4-57）
    - 掲示板（p. 4-57）
  - タイマー通信（p. 4-58）
  - パスワード送信（p. 4-58）
  - ポーリング送信
    - 通常（p. 4-58）
    - 掲示板（p. 4-59）
  - F コード送信（p. 4-59）
    - SUB アドレス
    - 送信 ID
- メールの暗号化（p. 4-60）
- デジタル署名（p. 4-60）
- ファクス発信元設定（p. 4-60）

4.4 ファクス / スキャン初期画面

4.4.1 画面構成の説明

【ファクス / スキャン】を押すと、以下の画面が表示されます。



No	項目	説明	参照先
1	［宛先登録から］	あらかじめ登録された宛先から送信先を選択します。	p. 4-19
2	［直接入力］	登録されていない宛先を直接入力して指定します。	p. 4-21
3	［履歴から選択］	ファクスの送信先の履歴から選択します。	p. 4-27
4	［LDAP 検索］	LDAP サーバーから宛先を検索します。	p. 4-27
5	［オフフック］	オフフックしてダイアルできます。	p. 4-29
6	［読込み設定］	スキャン時の読込みの詳細を設定できます。	p. 4-30
7	［原稿設定］	原稿の種類やセット方向の詳細を設定できます。	p. 4-50
8	［通信設定］	通信に関する設定を行います。	p. 4-53

4.4.2 登録宛先から

送信したい宛先を検索することができます。登録宛先を検索するには、以下の方法があります。

■ グループ

登録されているグループ宛先が表示されます。

■ 宛先検索 － 宛先種類

宛先登録時に設定した宛先種類別に検索できます。



ひとこと

管理者モードの「セキュリティー設定」で手動宛先入力を禁止にした場合は、［直接入力］、［LDAP 検索］が表示されません。

詳しく説明します

- LDAP サーバーの設定について詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」の「LDAP 使用設定」をごらんください。
- ［LDAP 検索］の表示位置はユーザー設定の内容によって変わります。詳しくは「「登録宛先から」初期表示」（p. 9-35）をごらんください。

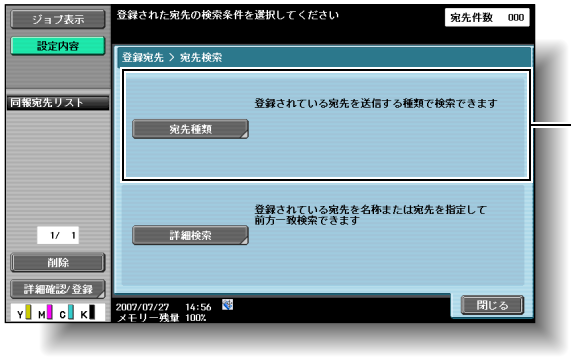
ひとこと

宛先 2 度入力機能（送信）を ON に設定しているときは、［履歴から選択］と［オフフック］は表示されません。宛先 2 度入力機能については、「機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能（送信）（G3/SIP）」（p. 10-25）をごらんください。

参照

- 詳しい設定方法は、「「登録宛先から」初期表示」（p. 9-35）をごらんください。
- 短縮宛先の登録については、「宛先 / ボックス登録」（p. 9-5）をごらんください。

［宛先種類］は、設定メニューの［ユーザー設定］－［画面カスタマイズ設定］－［ファクス / スキャン設定］で［「登録宛先から」初期表示］を「検索文字」に設定している場合、［宛先検索］を押すと表示されます。



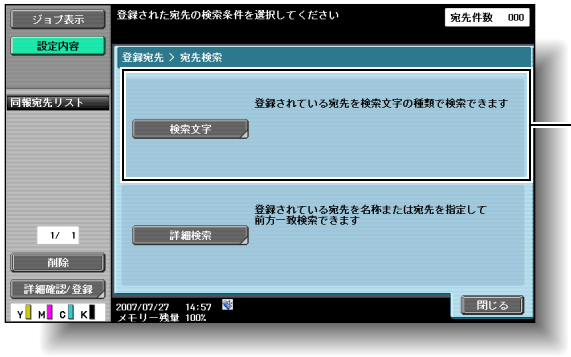
［宛先種類］が表示されます。

■ 宛先検索－検索文字

宛先登録時に設定した検索文字別に表示されます。



［検索文字］は、設定メニューの［ユーザー設定］－［画面カスタマイズ設定］－［ファクス / スキャン設定］で［「登録宛先から」初期表示］を「宛先種類」に設定している場合、［宛先検索］を押すと表示されます。



［検索文字］が表示されます。

参照

・詳しい設定方法は、「「登録宛先から」初期表示」（p. 9-35）をごらんください。
・短縮宛先の登録については、「宛先 / ボックス登録」（p. 9-5）をごらんください。

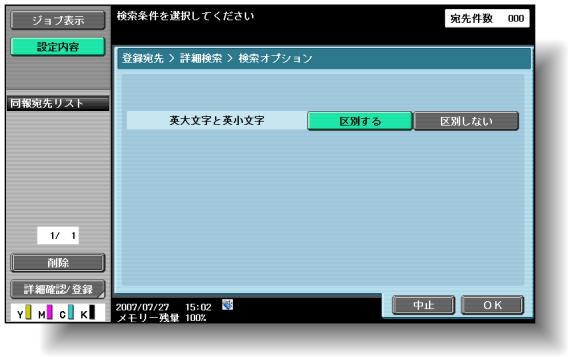
■ 宛先検索－詳細検索

アドレスの名称や内容の一部を入力して、該当するアドレスを検索します。［名称］または［宛先］を選択し、検索文字を入力してください。



■ 詳細検索－検索オプション

詳細検索で、条件を選択すると検索時のオプション項目が表示されます。検索時に追加したい内容を選択し、［OK］を押します。



4.4.3　直接入力

登録されていない送信先を直接入力することで指定できます。

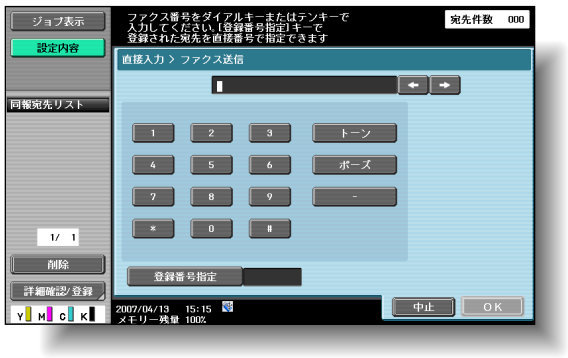


ひとこと

検索オプション画面の表示や、表示される項目の内容は設定メニューの「検索オプション設定」で設定します。詳しくは、「画面カスタマイズ設定－検索オプション設定（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/G3/IP/SIP/I-FAX）」（p. 9-37）をごらんください。

4.4.4　直接入力－ファクス

テンキーまたはパネルのキーを使ってファクス番号を入力します。



「宛先 2 度入力機能（宛先）」が設定されている場合は、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［送信］を押します。



4.4.5　直接入力－ SIP ファクス

SIP ファクスが指定できるように設定されている場合は、ファクスの宛先指定画面で SIP ファクスの宛先を入力できます。



4.4.6　直接入力－ E-mail

パネルから E-mail アドレスを入力します。

ひとこと

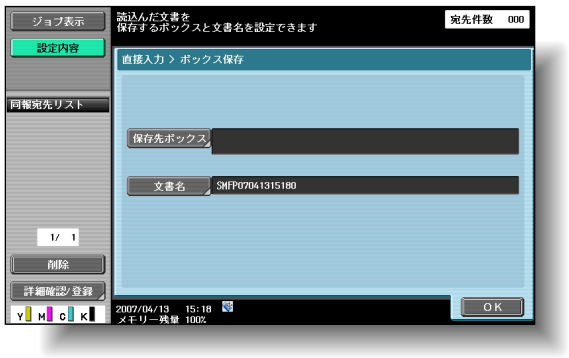
宛先 2 度入力機能については、「機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能（送信）（G3/SIP）」（p. 10-25）をごらんください。

ひとこと

・SIP ファクスと IP アドレスファクスは同時に使用できません。
・「宛先 2 度入力機能（宛先）」が設定されている場合は、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［送信］を押します。

4.4.7　直接入力ーボックス

ボックスの種類を選択し、保存先のボックスを指定します。



4.4.8　直接入力ーインターネットファクス

パネルから E-mail アドレスを入力します。

■ 相手機受信能力

インターネットファクスの宛先で受信可能な設定を選択します。受信可能な設定を複数選択できます。



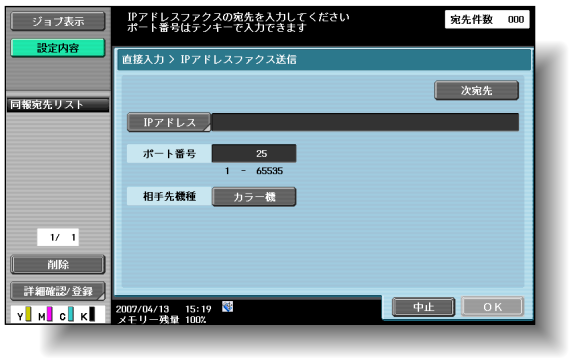
項目	説明
圧縮形式	MMR、MR、MH を選択できます。
用紙サイズ	A3、B4、A4 を選択できます。
解像度	600 × 600 dpi（超高精細）、400 × 400 dpi（高精細）、200 × 200 dpi（精細）、200 × 100 dpi（普通）を選択できます。

参照

ボックスに保存したデータの操作方法については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

4.4.9　直接入力ー IP アドレスファクス

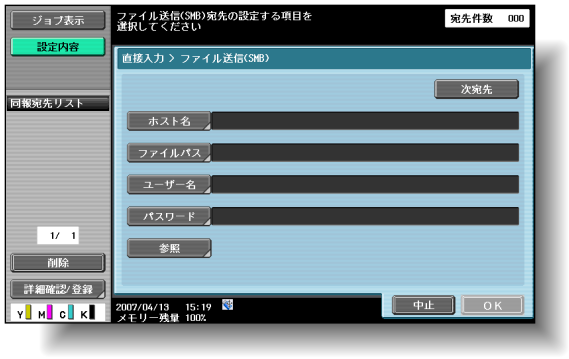
IP アドレスファクスの宛先を設定します。



項目	説明
IP アドレス	宛先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
ポート番号	送信に使用するポート番号をテンキーで入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。
相手先機種	相手先の機種がカラー機の場合、［カラー機］を選択します。
［次宛先］	続けて他の宛先を指定するときに押します。

4.4.10　直接入力ーファイル送信（SMB）

ファイル送信（SMB）の宛先を直接指定します。



■ ホスト名

パネルから送信先のホスト名（大文字で入力）または IP アドレスを指定します。

■ ファイルパス

パネルから送信先のフォルダーのパスを大文字で入力します。

■ ユーザー名

パネルからログインするユーザー名を入力します。

■ パスワード

パネルからログインパスワードを入力します。

■ 参照

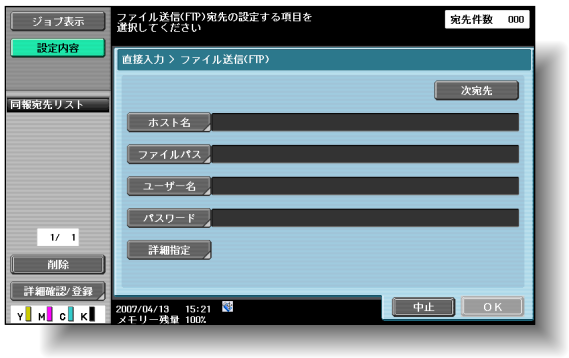
接続先のコンピューターのフォルダー構成を確認できます。送信先のフォルダーを直接指定することもできます。

■ 次宛先

続けて他の宛先を指定するときに押します。

4.4.11　直接入力－ファイル送信（FTP）

ファイル送信（FTP）の宛先を直接指定します。



■ ホスト名

パネルから送信先のホスト名または IP アドレスを指定します。

■ ファイルパス

パネルから送信先のフォルダーのパスを指定します。

■ ユーザー名

パネルからログインするユーザー名を入力します。［共通名］を押すと「anonymous」が入力されます。



■ パスワード

パネルからログインパスワードを入力します。

■ 詳細指定

さらに詳細な設定を行います。



項目	説明
ポート番号	ポート番号を入力します。
PASV	PASV モードを使用するかどうかを設定します。

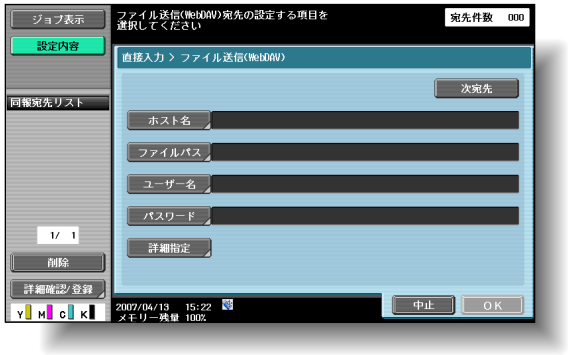
項目	説明
プロキシ	プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

■ 次宛先

続けて他の宛先を指定するときに押します。

4.4.12　直接入力－ファイル送信（WebDAV）

ファイル送信（WebDAV）の宛先を直接指定します。



■ ホスト名

パネルから送信先のホスト名または IP アドレスを指定します。

■ ファイルパス

パネルから送信先のフォルダーのパスを指定します。

■ ユーザー名

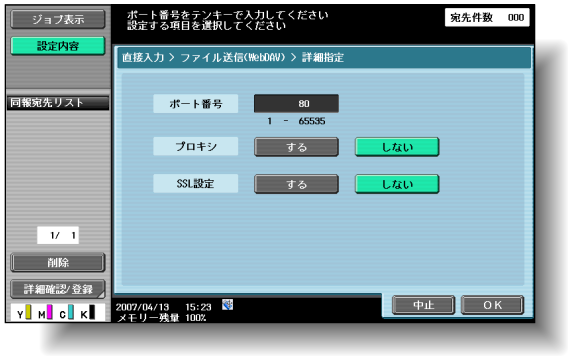
パネルからログインするユーザー名を入力します。

■ パスワード

パネルからログインパスワードを入力します。

■ 詳細指定

さらに詳細な設定を行います。



項目	説明
ポート番号	ポート番号を入力します。
プロキシ	プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。
SSL 設定	送信に SSL を使用するかどうかを設定します。

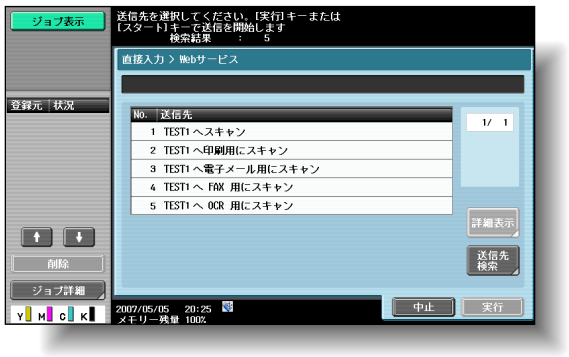
■ 次宛先

続けて他の宛先を指定するときに押します。

4.4.13　直接入力－ Web サービス

あらかじめ登録したネットワーク上のコンピューターにスキャンしたデータを送信します。

本機を Web サービススキャナーとして登録しているネットワーク上のコンピューターが送信先として表示されます。宛先を選択してください。



■ 詳細表示

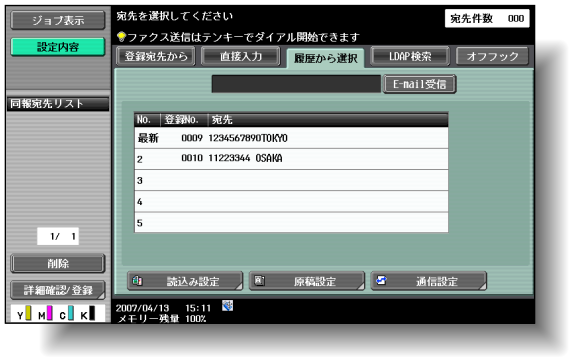
送信先の名称と URL が表示されます。

■ 送信先検索

送信先の名称に含まれるキーワードをパネルから入力し、送信先を検索します。

4.4.14　履歴から選択（G3）

過去に送信したファクス宛先から、最新の 5 件が表示されています。この履歴から宛先を選択できます。



4.4.15　LDAP 検索－単検索

検索するキーワードを入力し、[検索開始] を押すと、指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。

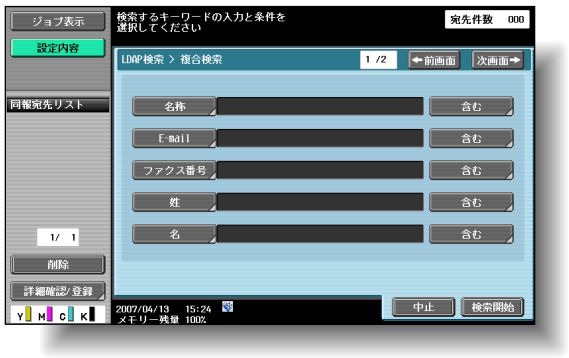


参照

・事前に必要な設定については、「Web サービスを使用する場合」（p. 3-6）をごらんください。
・コンピューターからスキャンを本機に指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は「コンピューターからスキャンの指示をする（Web サービス）」（p. 13-4）をごらんください。

4.4.16　LDAP 検索－複合検索

複数の検索条件を設定し、目的のアドレスを検索します。



■ 名称

パネルから名称を入力します。

■ E-mail

パネルから E-mail アドレスを入力します。

■ ファクス番号

パネルからファクス番号を入力します。



■ 姓

パネルから姓を入力します。

■ 名

パネルから名を入力します。

■ 都市名

パネルから都市名を入力します。

■ 会社名

パネルから会社名を入力します。

■ 組織名

パネルから組織名を入力します。

■ 含む／同じ／始まる／終わる

入力した検索条件の設定を含む / 同じ / 始まる / 終わるから選択できます。



4.4.17　オフフック（G3）

手動でファクス送信するときに使用します。

■ 手動送信

原稿をセットし、必要に応じて読込みの設定を行います。［オフフック］を押すとオンフックの状態になり、相手先を指定する画面が表示されます。



［送信］を押し、相手先を指定して［実行］を押します。

ひとこと

・オフフックを使用するときは、メモリー送信を行うことはできません。
・宛先 2 度入力機能（送信）を ON に設定しているときは、オフフックは使用できません。

詳しく説明します

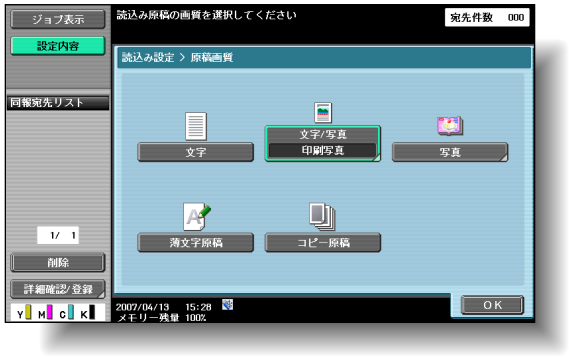
宛先の設定方法は、登録宛先から / 直接入力 / 履歴から選択 / プログラム宛先から選択できます。

4.5　読込み設定

［読込み設定］を押すと、スキャン時の詳しい内容を設定できます。

4.5.1　　基本設定－原稿画質

原稿の内容に合わせて選択します。選択できる画質は以下のとおりです。



■ 文字

文字だけで構成されている原稿です。

■ 文字 / 写真

文字と写真（ハーフトーン）が混ざっている原稿です。

「文字 / 写真」または「写真」を選択したときは、写真の種類も指定できます。



項目	説明
印画紙写真	印画紙にプリントされた写真のときに指定します。
印刷写真	本や雑誌など印刷された写真のときに指定します。

■ 写真

写真（ハーフトーン）だけの原稿です。

■ 薄文字原稿

文字が全体的に薄い原稿です。

■ コピー原稿

コピーやプリンターで出力した均一な濃度の原稿です。

4.5.2　基本設定－片面／両面

原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするか選択します。



■ 片面

原稿の片面をスキャンします。

■ 両面

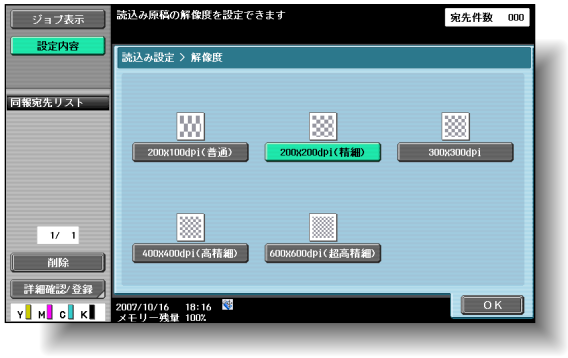
原稿の両面をスキャンします。

■ 表紙 + 両面

原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンします。

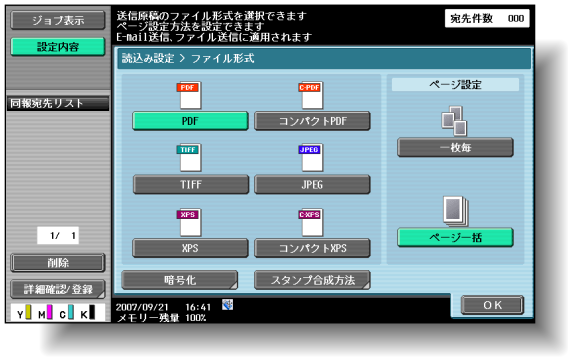
4.5.3　基本設定－解像度

スキャンする解像度を選択します。



4.5.4　ファイル形式

スキャンしたデータを保存するファイル形式を選択します。



ひとこと

G3 ファクス / SIP ファクス / インターネットファクス送信時に［300 × 300dpi］を選択したときは、自動的に 200 × 200dpi に変換されて送信されます。

■ ファイル形式

選択できるファイル形式は以下のとおりです。

項目	説明
PDF	PDF 形式で保存します。
コンパクト PDF	PDF 形式よりも圧縮したデータで保存します。フルカラーのスキャンデータなどで使用します。
TIFF	TIFF 形式で保存します。
JPEG	JPEG 形式で保存します。
XPS	XPS 形式で保存します。
コンパクト XPS	XPS 形式よりも圧縮したデータで保存します。

原則

保存するファイル形式は「カラー」の設定によって指定できない場合があります。「ファイル形式」と「カラー」の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	オートカラー	フルカラー	グレー	白黒 2 値
PDF	○	○	○	○
コンパクト PDF	○	○	○	×
TIFF	○	○	○	○
JPEG	○	○	○	×
XPS	○	○	○	○
コンパクト XPS	○	○	○	×

ひとこと

・ボックス保存時にファイル形式を選択しても、データをダウンロードするときはファイル形式の指定が必要です。
・TIFF ファイルをカラーで保存する場合、圧縮形式を設定できます。詳しくは、「カラー TIFF 形式（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV）」（p. 9-39）をごらんください。
・「JPEG」を選択した場合、ページ設定は「一枚毎」が自動的に選択されます。

■ ページ設定

保存時のデータのまとまりも指定できます。

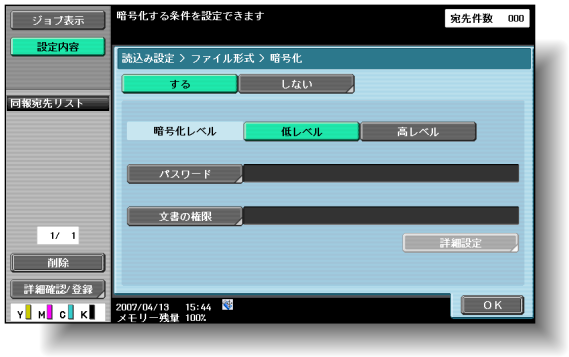
項目	説明
一枚毎	ダウンロード時にページごとにデータを保存できる形式でファイルを作成します。
ページ一括	スキャンした全ての原稿をまとめてひとつのファイルを作成します。ファイル形式で「JPEG」と同時に選択できません。

ひとこと

ボックス保存時に「一枚毎」を選択しても、データをダウンロードするときはページを指定する必要があります。

■ 暗号化ー暗号化レベル、パスワード、文書の権限、詳細設定

ファイル形式で「PDF」または「コンパクト PDF」を選択したときは暗号化のレベルを設定できます。



■ 暗号化ーパスワード

暗号化されたデータを開くときに必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。パスワードは確認のため 2 回入力してください。

■ 暗号化ー文書の権限

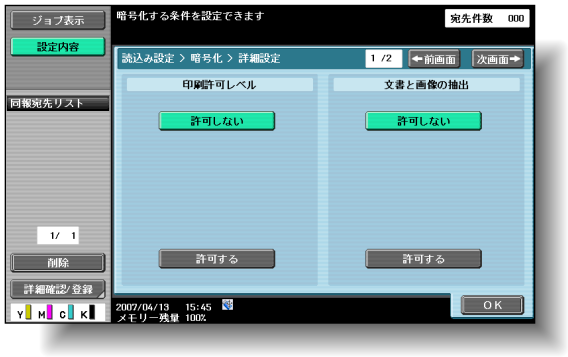
文書の権限を変更するために必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。パスワードは確認のため 2 回入力してください。

■ 暗号化ー詳細設定-印刷許可レベル / 文書と画像の抽出

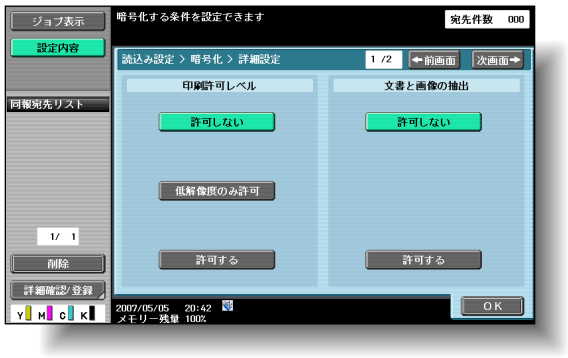
「暗号化」で文書の権限を設定した場合は、権限の詳細を設定できます。［印刷許可レベル］ではデータの印刷を許可する / 許可しないを選択します。暗号化レベルを「高レベル」に設定した場合は、［低解像度のみ許可］が表示されます。

［文書と画像の抽出］では、文書（テキスト）や画像の抽出を許可する / 許可しないを選択します。

＜「低レベル」を選択した場合＞



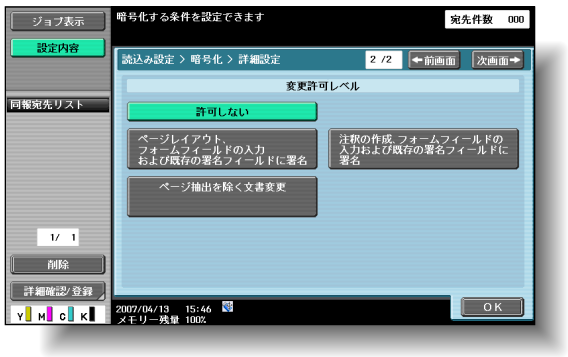
＜「高レベル」を選択した場合＞



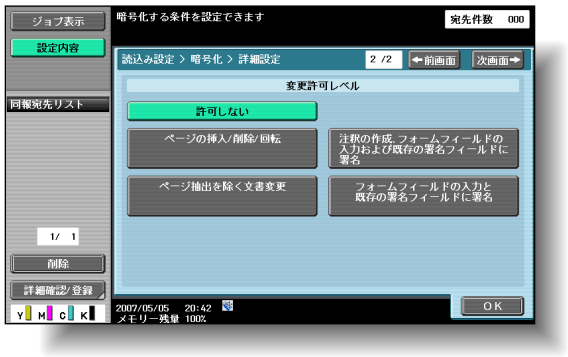
■ 暗号化ー詳細設定ー変更許可レベル

詳細設定画面で［次画面→］を押すと変更許可レベルの詳細を選択できます。［変更許可レベル］ではデータの署名、入力、注釈などの文書変更に関する許可レベルを選択します。

＜「低レベル」を選択した場合＞



＜「高レベル」を選択した場合＞



■ スタンプ合成方法

スタンプ / ページ印字で追加される内容の合成方法を選択できます。



項目	説明
画像	文字列を画像として挿入します。
文字	文字列をテキストとして挿入します。

4.5.5　基本設定－濃度

スキャン時の濃さを調整します。

- 濃さを調整するときは［うすく］または［こく］を押します。
- ［ふつう］を押すと設定が初期値に戻ります。



ひとこと

・文字として合成できるのは日付 / 時刻、ページ番号、ヘッダー / フッターです。
・スタンプは画像として合成されます。

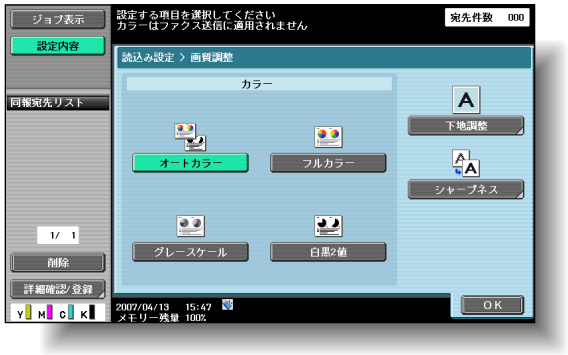
4.5.6　基本設定－連続読込み設定

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、原稿ガラス上にセットする場合、片面原稿や両面原稿が混在している場合など原稿の種類ごとに読込みを数回に分割することができます。［連続読込み設定］を押し、表示を反転させると設定できます。



4.5.7　画質調整

スキャン時のカラー、下地など画質の調整ができます。



■ カラー（E-mail/BOX/SMB/FTP/WebDAV/IP/SIP）

カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを設定します。

原則

カラーは「ファイル形式」の設定によって指定できない場合があります。「ファイル形式」と「カラー」の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	オートカラー	フルカラー	グレー	白黒 2 値
PDF	○	○	○	○
コンパクト PDF	○	○	○	×
TIFF	○	○	○	○
JPEG	○	○	○	×
XPS	○	○	○	○
コンパクト XPS	○	○	○	×

■ オートカラー

原稿の色を自動的に判別し、原稿に合わせてスキャンします。

■ フルカラー

フルカラーでスキャンします。

ひとこと

・TIFF ファイルをカラーで保存する場合、圧縮形式を設定できます。詳しくは、「カラー TIFF 形式（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV）」（p. 9-39）をごらんください。
・「JPEG」を選択した場合、ページ設定は「一枚毎」が自動的に選択されます。

■ グレースケール

白黒写真などのハーフトーンが多いときに選択します。

■ 白黒 2 値

線画など、白黒の境がはっきりしているときに選択します。

■ 下地調整

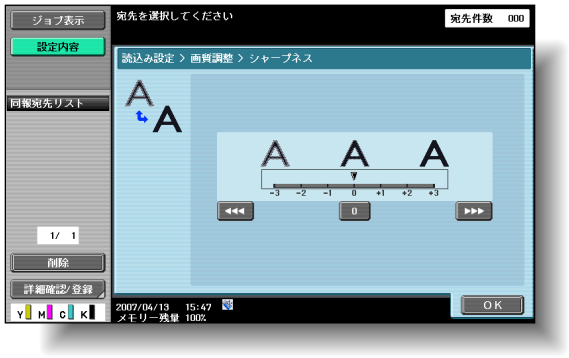
スキャン時に原稿の下地の濃さを調整します。スキャンする原稿が色の付いた用紙の場合、下地の色をスキャンして画像全体が濃くなることがあります。そのときに下地の濃さを調整できます。

- 自動で調整するときは、［自動］を押します。



■ シャープネス

スキャン時に、文字などの境界をくっきりさせることができます。



4.5.8　消去

原稿の周囲を消去します。

■ 枠消し

枠消しを設定する場合に選択します。

- すべて同じ幅で消去する場合は、［枠全体］を押して数値を指定します（入力範囲：0.1 ～ 50.0 mm）。
- 上、左、右、下と個別に指定する場合は、該当するキーを押して数値を指定します。
- 消去しないときは［消去しない］を押します。



ひとこと

ブック連写の「枠消し」で枠の消去幅を設定すると、消去の「枠消し」でも同じ数値が設定されています。

4.5.9　連写－ブック連写

見開きの原稿をスキャンするときに選択します。スキャンの方法のほかに、とじ方向や不要部分の消去などを設定できます。



ひとこと

・原稿のサイズは見開きの大きさを指定してください。
・ファクス送信時には、ブック連写は選択できません。

■ 見開き

見開きを 1 ページとしてスキャンします。

■ 分割

見開きを左右 2 ページとしてスキャンします。

■ 表カバー

1 ページ目を表紙としてスキャンします。

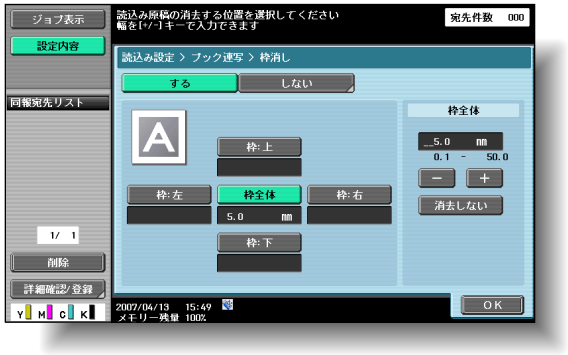
■ 表 + 裏カバー

1 ページ目を表紙、2 ページ目を裏表紙、3 ページ目以降を本文としてスキャンします。

■ ブックイレース - 枠消し

見開き原稿で枠消しを設定したい場合に選択します。

- すべて同じ幅で消去する場合は、［枠全体］を押して数値を指定します（入力範囲：0.1 ～ 50.0 mm）。
- 上、左、右、下と個別に指定する場合は、該当するキーを押して数値を指定します。
- 消去しないときは［消去しない］を押します。



■ ブックイレースー折り目消し

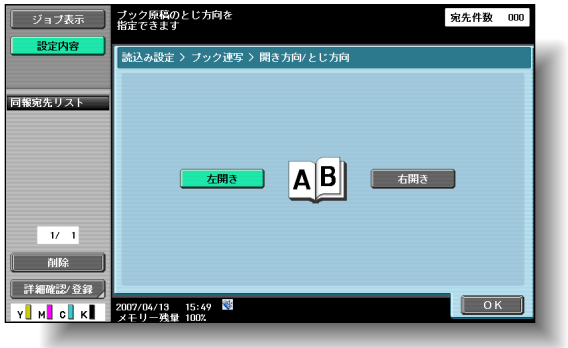
原稿中央のとじ部分の影を消去します。

- 数値をテンキーまたは［−］［+］を押して入力します（入力範囲：0.1 ～ 30.0 mm）。



■ 開き方向／とじ方向

分割 / 表カバー / 表 + 裏カバーを選択した場合は［開き方向 / とじ方向］を押してとじ方向を選択します。



ひとこと

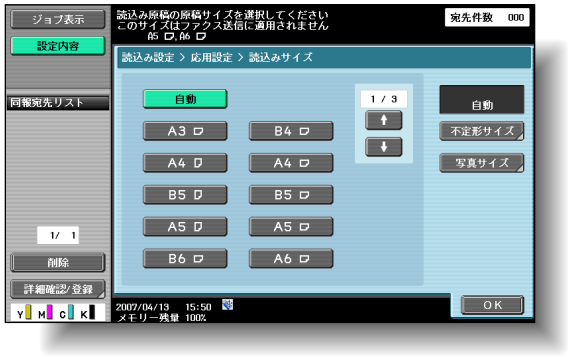
ブック連写の「枠消し」で枠の消去幅を設定すると、消去の「枠消し」でも同じ数値が設定されています。

4.5.10　応用設定－読込みサイズ

スキャンする用紙サイズを設定します。

■ 定型

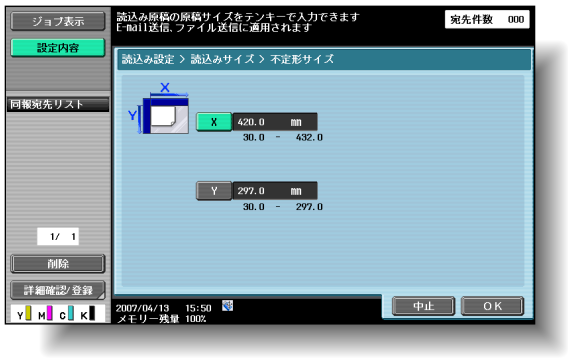
スキャン時に 1 枚目の原稿サイズを自動的に検知する場合は［自動］を押します。A4、B5 など決まったサイズでスキャンする場合はサイズを選択します。



■ 不定形サイズ

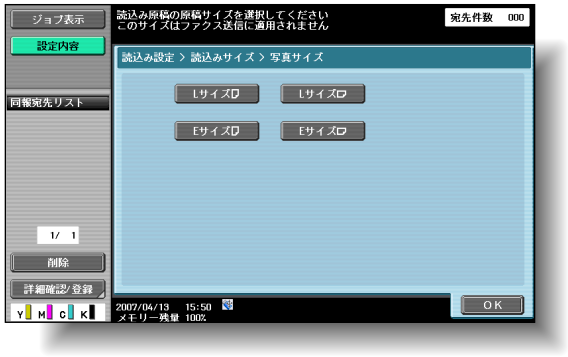
規格サイズにはない不定形サイズの寸法を入力して設定します。

- X 方向：30.0 ～ 432.0 mm の範囲で設定します。
- Y 方向：30.0 ～ 297.0 mm の範囲で設定します。



■ 写真サイズ

写真専用の L サイズ、E サイズを選択します。



4.5.11　応用設定－ファイリングナンバー

スキャンして保存した文書データに日付 / 時刻やファイリング番号の画像を付加して印刷、送信できます。

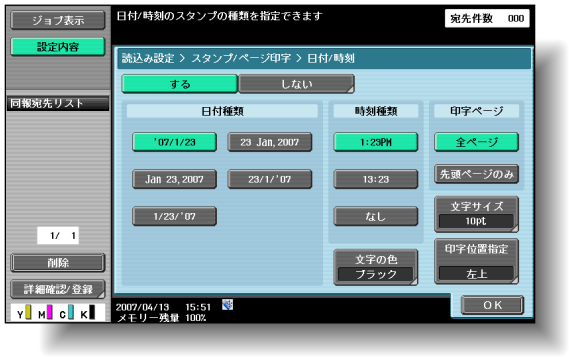
■ ファイリングナンバーボックス選択

ファイリングナンバーを利用するには、スキャンしたデータを一度ファイリングナンバーボックスに保存する必要があります。ファイリングナンバーはボックスごとに設定されているため、保存先のボックスを選択してください。



4.5.12　応用設定－スタンプ／ページ印字－日付／時刻

ページに印刷した日付と時刻を印刷します。



■ 日付種類

日付の表示方法を選択します。

■ 時刻種類

時刻追加のあり / なし、表示方法を選択します。

■ 印字ページ

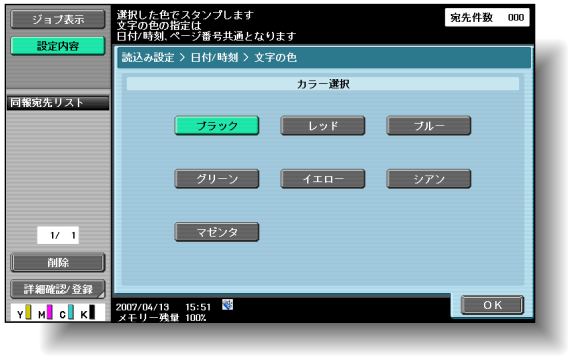
印字するページを全ページ / 先頭ページのみから指定します。

ひとこと

ファイリングナンバーボックスはあらかじめ登録が必要です。詳しくは「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

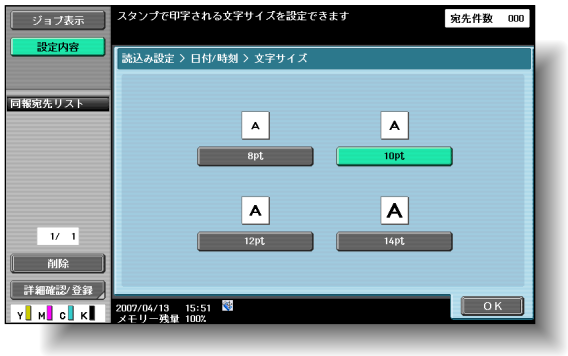
■ 文字の色

印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。



■ 文字サイズ

印刷する文字のサイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。



■ 印字位置指定－印字位置

印字位置を選択します。



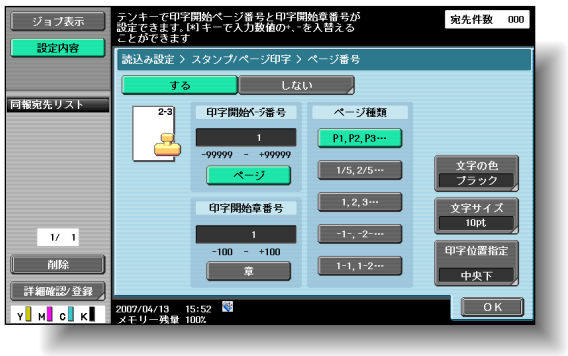
■ 印字位置指定－微調整

印字位置の微調整を行う場合は、［位置調整］を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。



4.5.13　応用設定－スタンプ／ページ印字－ページ番号

文書のすべてのページにページ番号を追加します。



■ 印字開始ページ番号

ページの開始番号を指定します。

■ 印字開始章番号

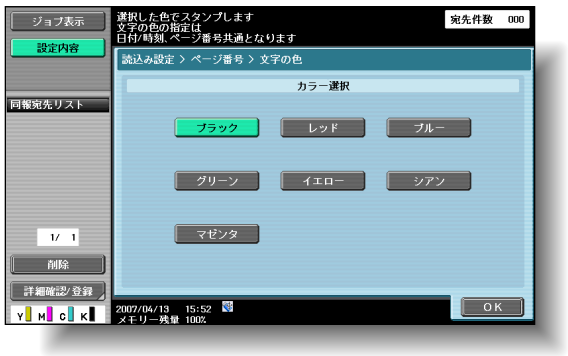
章の開始番号を指定します。

■ ページ種類

ページ番号の表示種類を選択します。

■ 文字の色

印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。



■ 文字サイズ

印刷する文字のサイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。



■ 印字位置指定－印字位置

印字位置を選択します。



■ 印字位置指定－微調整

印字位置の微調整を行う場合は、［位置調整］を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。



4.5.14　応用設定－スタンプ／ページ印字－スタンプ

ページに「至急」など決まった文字列を印刷します。



■ 定型スタンプ種類

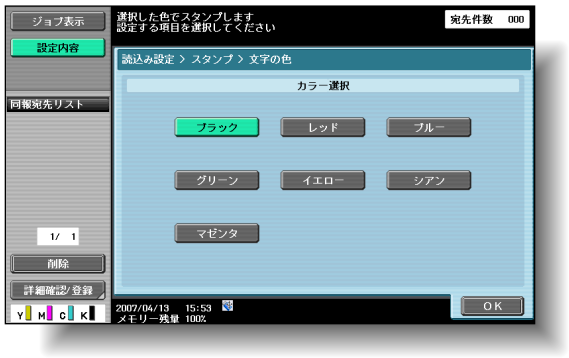
至急、回覧、複製厳禁などスタンプを選択します。

■ 印字ページ

印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。

■ 文字の色

印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。



■ 文字サイズ

印刷する文字のサイズを小さめ / ふつうから選択します。



■ 印字位置指定－印字位置

印字位置を選択します。



■ 印字位置指定－微調整

印字位置の微調整を行う場合は、［位置調整］を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。



4.5.15　応用設定－スタンプ／ページ印字－ヘッダー / フッター

すべてのページにヘッダーまたはフッターを挿入します。ヘッダー、フッターの印字内容は、あらかじめ管理者設定で登録が必要です。［確認 / 一時変更］を押すと、登録した設定内容を変更して印字できます。

■ ヘッダー / フッター呼出し

登録した内容から、印字したいヘッダー / フッターを選択します。



参照

ヘッダー / フッターの登録については、「環境設定－スタンプ設定－ヘッダー / フッター設定」（p. 10-8）をごらんください。

■ 確認 / 一時変更

確認 / 一時変更できる内容が表示されます。



■ 確認 / 一時変更－ヘッダー設定、フッター設定

ヘッダー / フッターの印刷を行うかどうかを設定します。［印刷する］を押すと、文字列、日付 / 時刻、その他（部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号）の設定ができます。

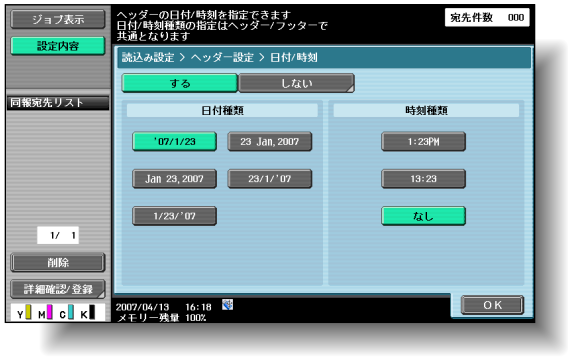


■ 確認 / 一時変更－ヘッダー設定、フッター設定－文字列

パネルからヘッダー / フッターの文字列を設定します。

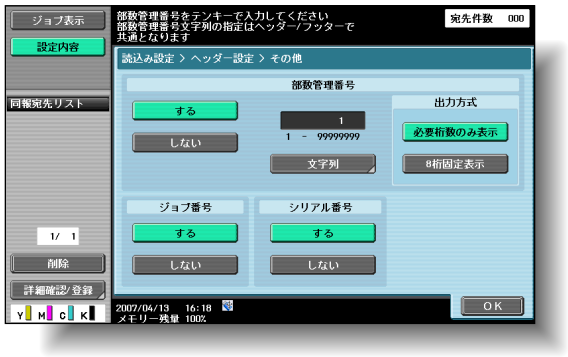
■ 確認 / 一時変更－ヘッダー設定、フッター設定－日付 / 時刻

ヘッダー / フッターの日付 / 時刻を設定します。



■ 確認 / 一時変更－ヘッダー設定、フッター設定－その他

ヘッダー / フッターの部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号を設定します。

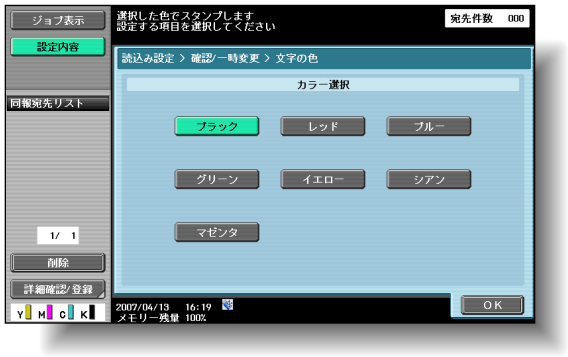


■ 確認 / 一時変更－印字ページ

印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。

■ 確認 / 一時変更－文字の色

印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。



■ 確認 / 一時変更－文字サイズ

印字する文字サイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。



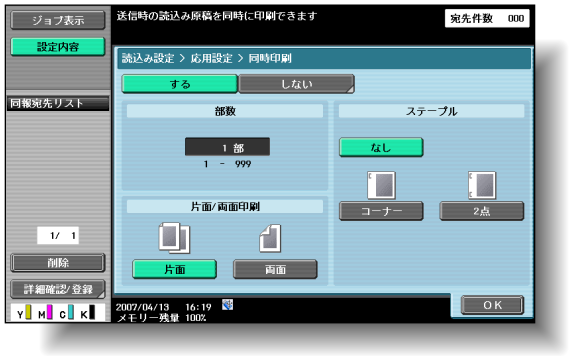
ひとこと

シリアル番号は本機につけられているシリアル番号を指しています。設定についてはサービス実施店にお問い合わせください。

4.5.16　応用設定－同時印刷

■ 同時印刷とは

送信と同時に印刷を行うかどうかを設定します。また、印刷時の各種設定を行います。



■ 部数

印刷部数をテンキーで入力します。入力できる範囲は 1 ～ 999 です。

■ 片面 / 両面印刷

片面または両面を選択します。

■ ステープル

ステープルのあり / なしを選択します。

■ ステープル－位置指定

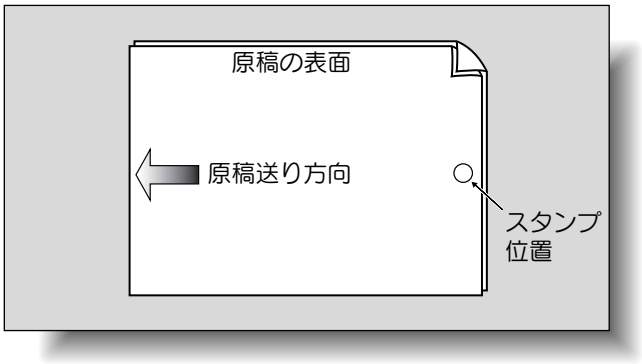
ステープルの種類を選択すると、位置を指定できます。



4.5.17　応用設定－済みスタンプ （G3/IP/SIP/I-FAX）

■ 済みスタンプとは

ADF を使用して送信する場合、読取った原稿に済みスタンプを押して 1 枚ずつ読取られたかどうかを確認できます。両面原稿を送信した場合はおもて面だけに済みスタンプが付けられます。



- 済みスタンプを設定すると、直径 4 mm のピンク色の印が図の位置に付きます。
- 済みスタンプを使用するには、オプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。
- スタンプのインクは消耗品です。スタンプが薄くなった場合はサービス実施店にお問い合わせください。
- 混載原稿を選択している場合は図の位置に済みスタンプが押されない場合があります。
- 原稿が正しく送られているかどうかは、送信結果レポートや設定確認画面の送信結果で確認してください。

■ 済みスタンプをつける

応用設定画面で［済みスタンプ］を選択します。



4.5.18　文書名 （E-mail/BOX/SMB/FTP/WebDAV/I-FAX）

パネルから文書名を入力します。

ひとこと

クイックメモリー送信を選択している場合、済みスタンプを選択するとクイックメモリー送信は解除されます。

4.6　原稿設定

異なるサイズの原稿の混載や、Z 折れ原稿など、原稿のセットの種類を設定します。



4.6.1　原稿指定－混載原稿

異なるサイズの原稿を同時に ADF にセットするときに選択します。1 枚ずつサイズを検知しながらスキャンするため、スキャンする速度は遅くなります。

4.6.2　原稿指定－ Z 折れ原稿

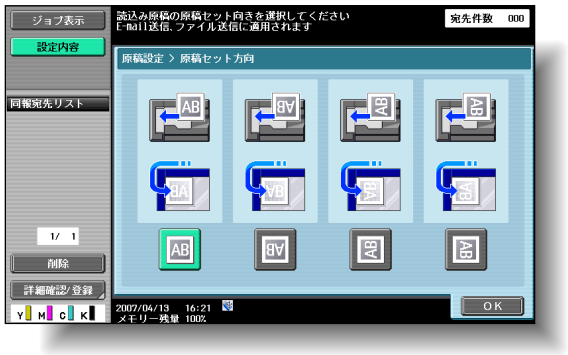
Z 折れした原稿のサイズを ADF に通した長さで検知します。

4.6.3　原稿指定－長尺原稿

規格サイズよりも長辺が長い原稿のときに設定します。

4.6.4　方向指定－原稿セット方向

原稿の天地の位置を選択します。スキャンしたあとに天地が正しくなるよう、データを処理します。



ひとこと

原稿指定と方向指定の機能は同時に組み合わせて設定できます。

4.6.5　方向指定－原稿のとじしろ

原稿についているパンチ穴あけやステープルどめなどのとじしろの位置を指定します。また、両面原稿をスキャンするとき、とじしろの位置が逆にならないよう補正します。



項目	説明
自動	297 mm 以下のサイズは長辺をとじる、297 mm を超えるサイズは短辺をとじる、と判断します。
上開き / とじ	原稿の上側にとじしろがある原稿
左開き / とじ	原稿の左側にとじしろがある原稿

4.6.6　原稿枚数指定（G3）

クイックメモリー送信を行うときに発信元記録の「ページ数」の部分に総ページ数を記載して「P. ページ数 / 総ページ数」の形式で送信できます。クイックメモリー送信を選択したあと、[原稿枚数指定] を押してテンキーで原稿枚数を入力します。



原則

以下の機能とは同時に選択できません。

- メモリー送信
- 表紙 + 両面（読込み設定－片面 / 両面）
- 枠消し
- ブック連写
- 読込みサイズ
- 混載原稿
- ポーリング送信
- ポーリング受信
- 掲示板
- タイマー通信

詳しく説明します

- 設定したページ数と実際に読取られたページ数が異なる場合は、設定したページ数が印字されます。
- メモリー送信の場合は総ページ数が自動的に付けられるためこの機能は設定できません。

4.6.7　汚れ軽減モード

原稿を ADF にセットする場合、スリットガラスの汚れが画像に及ぼす影響を軽減できます。



詳しく説明します

・汚れ軽減モードを設定すると、読取り速度は遅くなります。
・スリットガラスの汚れがひどいときは清掃してください。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

4.7 通信設定

4.7.1 回線設定（G3）

ファクス送信の回線に関する設定を行います。



■ 海外通信モード

通信状態の悪いところへ通信する場合、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信します。

原則

以下の機能とは併用できません。
- ポーリング送信
- ポーリング受信
- 掲示板

■ ECM OFF

ECM モードを解除して送信します。

ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。雑音が多い場合は ECM OFF 時に比べて通信時間が若干長くなることがあります。送信が終了すると自動的に ECM ON の状態に戻ります。

原則

以下の機能とは併用できません。
- ポーリング受信
- ポーリング送信
- V34 OFF
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信

■ V34 OFF

V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。

このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。送信が完了すると本機は自動的に V34 モードに戻ります。

原則

以下の機能とは併用できません。
- ポーリング受信
- ポーリング送信
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信
- ECM OFF

ひとこと

本機では ECM OFF を設定しない限り、ECM モードで送信されます。

■ 宛先確認送信

送信時に、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合にだけ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。

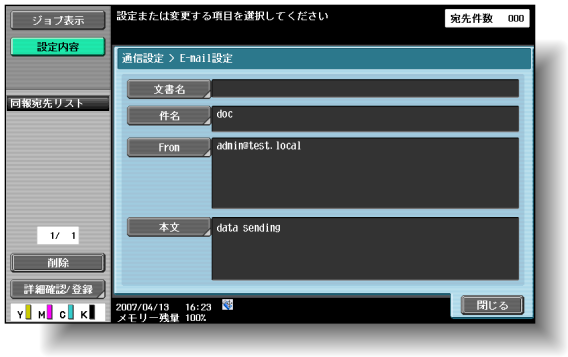
■ 回線指定

回線拡張キットを装着している場合、［回線 1］または［回線 2］を指定して送信できます。送信する回線を指定してください。「指定しない」を選択した場合は、回線 1/ 回線 2 のうちから、空いている回線を使用して送信します。両方の回線が空いているときは、回線 1 が優先して使用されます。

4.7.2　E-mail 設定（E-mail/I-FAX）

■ E-mail 設定について

E-mail 送信時の文書名、件名、From アドレス、本文内容を設定します。



■ 文書名

保存されるファイルの名称が表示されます。この文書名は［文書整理］でも設定でき、あとに設定したほうの文書名が反映されます。入力できるのは半角 30 文字（全角 15 文字）までです。

■ 件名

設定メニューで指定した内容が自動的に表示されます。［直接入力］を押すと内容を変更できます。入力できるのは半角 64 文字（全角 32 文字）までです。



ひとこと

宛先確認送信は、相手先に自局のファクス番号の登録が必要です。

ひとこと

「複数回線使用設定」の「回線 2 通信設定」が「受信専用」となっている場合は回線が指定できません。

詳しく説明します

2 つの回線を外線、内線に使い分ける場合は、使用する回線を必ず指定してください。「指定しない」を選択すると、正しく送信されない場合があります。

■ From

設定メニューで指定した管理者の E-mail アドレスが表示されます。［直接入力］を押すと内容を変更できます。



■ 本文

設定メニューで指定した本文が表示されます。［直接入力］を押すと内容を変更できます。入力できるのは半角 256 文字（全角 128 文字）までです。



4.7.3　URL 通知先設定（FTP/SMB/WebDAV）

■ URL 通知とは

ジョブの終了を通知する E-mail アドレスを設定します。



ひとこと

・インターネットファクスの場合は装置 E-mail アドレスが使用されます。
・管理者設定の［環境設定］－［ユーザー操作禁止設定］－［変更禁止設定］で「From アドレス変更」を禁止に設定すると、直接入力ができなくなります。

詳しく説明します

・URL 通知先設定で有効な送信先は、ファイル送信（FTP）、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（WebDAV）です。
・E-mail 送信、インターネットファクス、G3 ファクス時には設定しても機能しません。

■ 詳細検索

通知先の E-mail アドレスを登録先から検索できます。アドレスの名称や内容の一部を入力して、該当するアドレスを検索します。［名称］または［宛先］を選択し、検索文字を入力してください。



■ 直接入力

パネルから E-mail アドレスを入力します。

4.7.4　送受信方法設定（G3）

送受信の方法を設定できます。



■ クイックメモリー送信

原稿を 1 ページ読取ると同時にファクス送信を始める方法です。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信できます。



■ ポーリング受信－通常

送信側にセットされている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。通信料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

［通常］を選択したあと相手先を選択します。



■ ポーリング受信－掲示板

送信側にセットされている掲示板の文書を受信側からの指示で送信させる機能です。

掲示板の文書を受信する場合は［掲示板］を選択したあとテンキーで掲示板番号を入力し、相手先を選択します。



原則

以下の機能とは併用できません。

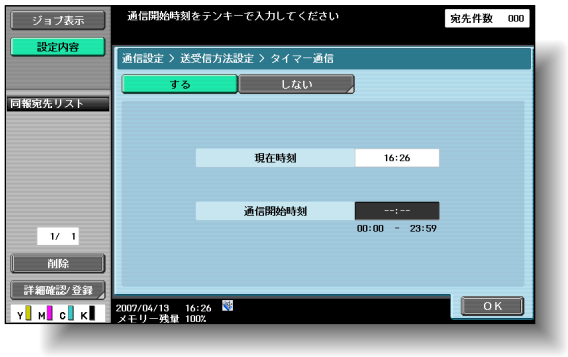
- クイックメモリー送信
- メモリー送信
- 枠消し
- 読込みサイズ
- 原稿枚数指定
- 混載原稿
- Z 折れ原稿
- 長尺原稿
- 原稿のとじしろ
- ポーリング送信
- 海外通信モード
- ECM OFF
- パスワード送信
- F コード送信
- V34 OFF
- 連続読込み設定

ひとこと

掲示板番号には、20 桁までの数字を入力できます。

■ タイマー通信

送信の時刻を指定できます。早朝や深夜などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。通信の開始時刻をテンキーで指定します。



■ パスワード送信

パスワードをつけて送信します。相手先が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。

この機能は、相手先が閉域受信（パスワード）機能をもつ弊社機種のときだけ使用できます。

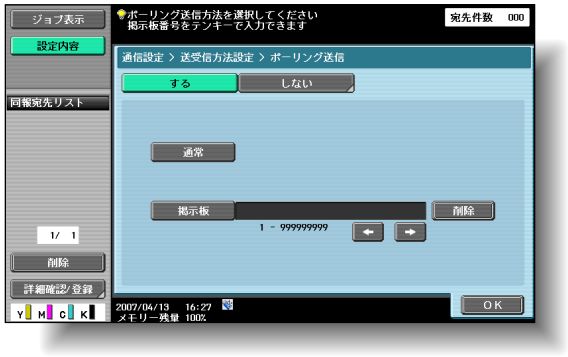
テンキーでパスワードを入力してください。



■ ポーリング送信－通常

ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させるための文書を保存します。

［通常］を選択して原稿を読込むと、ポーリング送信ボックスに自動的に保存されます。



詳しく説明します

・時刻の指定だけが可能です。時、分単位で設定します。
・日付の指定はできません。

参照

ポーリング送信ボックスの文書の削除、確認方法は「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

ユーザー認証を設定している場合、蓄積文書の操作を禁止されているユーザーがログインするとポーリング送信を行うことはできません。

■ ポーリング送信－掲示板

掲示板の文書を受信側からの指示で送信させるため、掲示板に文書を登録します。

［掲示板］を選択したあとテンキーで掲示板番号を入力し、原稿を読込みます。あらかじめ作成した掲示板ボックスに自動的に保存されます。



原則

以下の機能とは併用できません。

- クイックメモリー送信
- メモリー送信
- 原稿枚数指定
- ポーリング送信
- タイマー送信
- 海外通信モード
- ECM OFF
- パスワード送信
- F コード送信
- V34 OFF

■ F コード送信

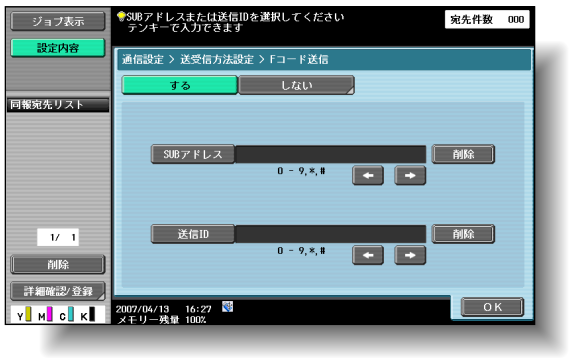
SUB アドレスや送信 ID を入力することで、相手先の特定のボックス宛に送信します。特定のボックスには、以下の種類があります。

- 親展送信

相手機の親展送信ボックスに送信します。SUB アドレスにボックス番号、送信 ID に親展送信パスワードを入力します。

- 中継送信

相手機が中継配信機能を持っている場合に、中継配信ボックスに送信します。SUB アドレスに中継ボックス番号、送信 ID に中継送信のパスワードを入力します。



ひとこと

- 掲示板番号には、1 ～ 999999999 までの数字を入力できます。
- ひとつの掲示板に登録できる文書は 1 文書だけです。
- 本機では掲示板を 10 個まで登録できます。

参照

掲示板ボックスの文書の削除、確認方法は「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

詳しく説明します

F コードを使用するためには、相手先が F コード機能を持っている必要があります。

4.7.5　メールの暗号化（E-mail）

管理者設定の「ネットワーク設定」－［E-mail 設定］の「S/MIME 通信設定」で「使用する」を設定しているときに表示されます。送信する E-mail の暗号化を行うかどうかを設定します。

参照

S/MIME 通信設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

4.7.6　デジタル署名の追加（E-mail）

管理者設定の「ネットワーク設定」－［E-mail 設定］の「S/MIME 通信設定」で「使用する」を設定しているときに表示されます。送信する E-mail にデジタル署名を付加するかどうかを設定します。

詳しく説明します

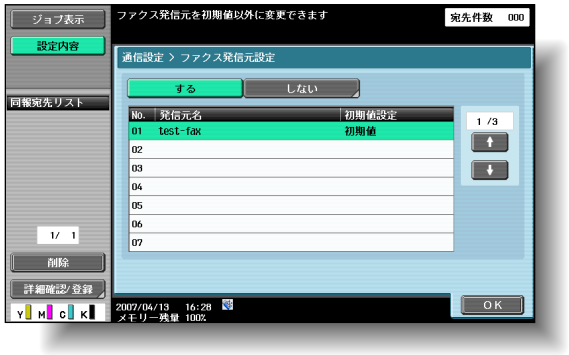
S/MIME 通信設定の内容によって、選択できない場合や常に署名するように設定されている場合があります。

参照

S/MIME 通信設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

4.7.7　ファクス発信元設定（G3/SIP/IP/I-FAX）

送信時に発信元の情報をつけるかどうかを設定します。発信元名のリストから選択してください。



詳しく説明します

・発信元の情報として原稿に付加される内容は、管理者設定の「発信元 / ファクス ID 登録」で登録します。詳しくは、「ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録」（p. 10-12）をごらんください。

・発信元情報のつけかたは、管理者設定の「発信元 / 受信情報」で登録します。詳しくは、「ファクス設定－発信元 / 受信情報」（p. 10-13）をごらんください。

4.8 リダイアル（G3/IP/SIP）について

同じ宛先にもう一度ダイアルする動作をリダイアルといいます。

受信側が話し中などで送信できない場合、一定時間が経過してから再度ダイアルします。

4.8.1 オートリダイアル

受信側が話し中などで送信ができなかった場合は、回線パラメーター設定で設定されているオートリダイアル回数にしたがって自動的にオートリダイアルされます。

リダイアルされるまで、送信のジョブはリダイアル待機の予約ジョブとして扱われます。

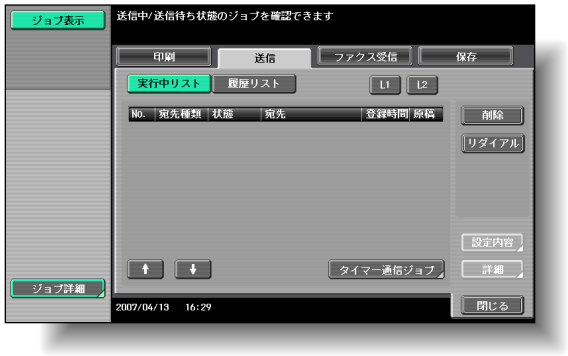
詳しく説明します

オートリダイアルの回数は出荷時に 3 分おきに 3 回行われるように設定されています。オートリダイアル回数の設定については、「ファクス設定－回線パラメーター設定」（p. 10-16）をごらんください。

4.8.2 手動リダイアル

リダイアル待ちのジョブをジョブ詳細画面からリダイアルできます。

［ジョブ表示］－［ジョブ詳細］から［送信］タブを押し、「リダイアル待ち」のジョブを選択し、［リダイアル］を押します。



4.8.3 再送信（G3）

回線パラメーター設定で設定されたオートリダイアル回数を過ぎても送信できないジョブは、再送信ボックスに保存されます。再送信ボックスを開き、手動でリダイアルすることができます。

再送信したいジョブを選択して［ファクス送信］を押します。



ひとこと

・ジョブを再送信ボックスに保存するには、あらかじめ管理者設定で再送信設定を行う必要があります。再送信設定については「再送信設定」（p. 10-28）をごらんください。

・再送信ボックスについて詳しくは「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

第５章
受信する（G3/IP/SIP/I-FAX）

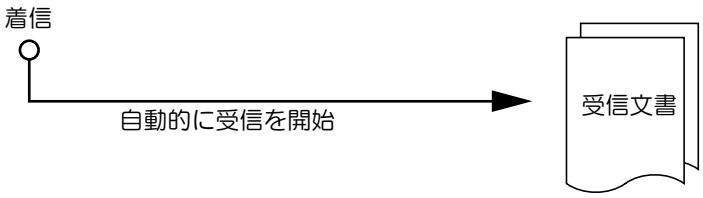
ファクス受信の種類やそれぞれの操作について説明しています。

5.1　受信する（G3：外部電話を接続しない）.....5-2
5.2　受信する（G3: 外部電話を接続する）.....5-3
5.3　受信する（I-FAX）.....5-6
5.4　受信する（IP/SIP）.....5-7
5.5　メモリー代行受信 5-8
5.6　受信時の記録 5-9
5.7　受信情報 5-14

5.1　受信する（G3：外部電話を接続しない）

5.1.1　　自動受信（ファクス専用）

電話回線をファクス専用として使う場合に設定します。設定されている回数分のリング信号を検知すると、自動的に受信を開始します。受信中は画面のメッセージ表示部に「受信中です」と表示されます。



ファクス専用で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続していない
- 回線パラメーター設定－受信方式：[自動受信] に設定
- 回線パラメーター設定－ TEL/FAX 自動切換え：[OFF] に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：[OFF] に設定

ひとこと

自動受信で使用するには、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、受信方式を「自動受信」に設定する必要があります。

参照

回線パラメーター設定については、「ファクス設定－回線パラメーター設定」（p. 10-16）をごらんください。

5.2　受信する（G3: 外部電話を接続する）

5.2.1　　自動受信（TEL/FAX 自動切換え）

外部電話機を本機に接続して電話としても使う場合に設定します。ファクス優先で使うことが多い場合はこのモードに設定しておくと便利です。

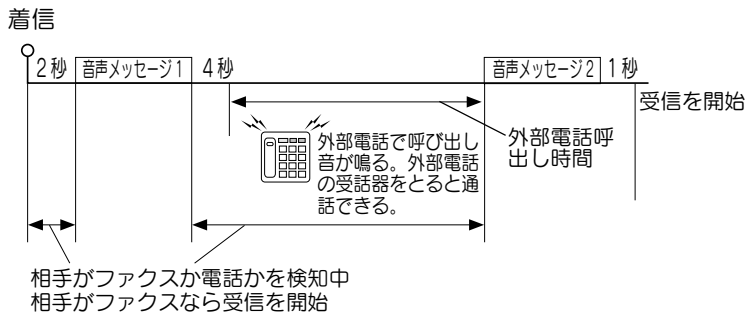
着信後、相手がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して送信側に対して音声メッセージを流します。

■ 相手がファクスのとき

受信を開始します。送信側には音声メッセージが流れます。

■ 相手が電話のとき

外部電話から呼び出し音が鳴ります。受話器をとると通話できます。送信側では音声メッセージが流れます。



音声メッセージ 1：「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」

音声メッセージ 2：「ただいま近くにおりません。ファクスに切換えます。」

自動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- 回線パラメーター設定－受信方式：［自動受信］に設定
- 回線パラメーター設定－ TEL/FAX 自動切換え：［ON］に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：［OFF］に設定

■ 自動受信の状態で留守番電話機能設定を使う場合

外出時などに外部電話機の留守番電話機能を ON にする場合、外部電話機側の呼出音設定回数が、［回線パラメーター設定］－［外部 TEL 呼出時間］よりも多く設定されている場合、本機がファクス受信を開始してしまい、留守番電話機能が正しく機能しません。「外部 TEL 呼出時間」の設定が、外部電話機の呼出音設定回数より多くなるように設定してください。

ひとこと

TEL/FAX 自動切換えで使用するには、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、「TEL/FAX 自動切換え」を ON に設定する必要があります。

詳しく説明します

外部電話の受話器を上げたとき、「ピー」という音が聞こえたり、無音のときはファクスからの送信です。受話器を上げたまま【スタート】を押すと受信できます。

参照

回線パラメーター設定については、「ファクス設定－回線パラメーター設定」（p. 10-16）をごらんください。

ひとこと

外部電話機の呼出音設定回数を変更するには、外部電話機のマニュアルをごらんください。

5.2.2　外部電話機の留守番電話機能を設定するときは

外部電話機を本機に接続している場合に設定します。ファクス優先で使用している場合で、常に外部電話の留守番機能を設定している場合は、このモードに設定しておくと便利です。

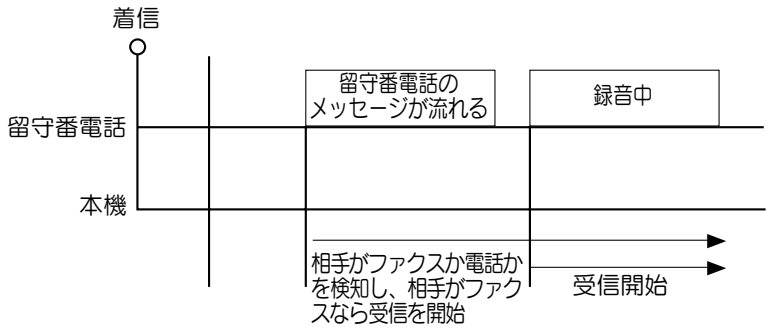
着信すると外部電話機の留守番電話メッセージが流れ、相手先がファクスであれば自動的に受信を開始します。

■ 相手がファクスのとき

留守番電話から本機に自動的に切換わり、受信を開始します。

■ 相手が電話のとき

送信側に留守番電話のメッセージが流れます。



留守番電話機能を使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

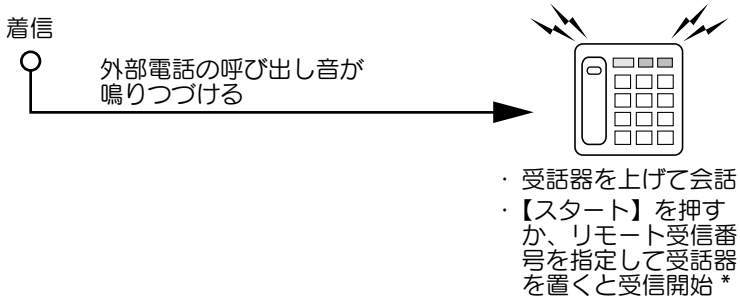
- 外部電話：接続している（留守番機能 ON）
- 回線パラメーター設定－受信方式：[自動受信] に設定
- 回線パラメーター設定－ TEL/FAX 自動切換え：[OFF] に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：[ON] に設定

詳しく説明します

・留守番設定がされていないなど、留守番電話が応答しない場合は約 20 秒後に受信を開始します。
・留守番電話機能を設定するには、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、「留守番電話接続機能」を ON に設定する必要があります。

5.2.3　手動受信（電話専用）

外部電話機を本機に接続している場合で、電話として使用することが多い場合はこのモードに設定しておくと便利です。



＊設定メニューの［リモート受信設定］のリモート受信番号が設定されているときに有効です。

ひとこと

電話専用で使用するには、設定メニューの「回線パラメーター設定」で、「受信方式」を手動受信に設定する必要があります。

本機のパネルで手動受信する場合は、外部電話機のベルが鳴ったらファクス / スキャン画面の［オフフック］を押し、［受信］になっていることを確認します。オフフック画面で［実行］を押してください。

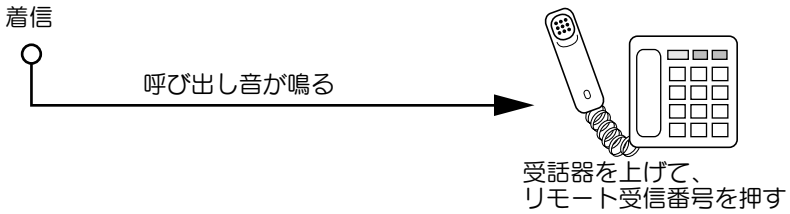


手動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- 回線パラメーター設定－受信方式：［手動受信］に設定
- 回線パラメーター設定－ TEL/FAX 自動切換え：［OFF］に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：［OFF］に設定

■ リモート受信

外部電話機でリモート受信番号を入力することで、外部電話機から本機に受信の指示をすることができる機能です。リモート受信を行うには、あらかじめ設定メニューの「回線パラメーター設定」で、「受信方式」を手動受信に設定し、リモート受信するためのリモート受信番号（2 桁）を設定する必要があります。



外部電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて相手がファクスであることを確認します。続けて 2 桁のリモート受信番号をダイアルし、受話器を戻します。

参照

リモート受信設定については、「リモート受信設定」（p. 10-27）をごらんください。

ひとこと

・リモート受信番号はテンキーの 0 ～ 9、＊、＃を使って入力します。
・ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でトーンに切換える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。詳しくは、電話機のマニュアルをごらんください。

5.3　受信する（I-FAX）

電子メールの受信には、自動取得と手動取得の 2 種類があります。本機が電子メールを受信すると、メールの本文と添付ファイルが自動的に印刷されます。

設定メニューで「強制メモリー受信設定」を有効にしている場合は強制メモリー受信ボックスに保存されます。保存した文書は必要に応じて印刷することができます。

参照

強制メモリー受信ボックスからの印刷については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

詳しく説明します

添付ファイルの最大ページ数は 3000 ページ、本文は最大 20KByte まで受信できます。

■ 自動取得

POP サーバーに対して、一定の間隔で電子メールが届いているかを確認します。

■ 手動取得

POP サーバーに対して、本機のキーを押して電子メールが届いているかを確認します。

ファクス / スキャン画面で［E-mail 受信］を押してください。



詳しく説明します

・電子メールを確認する間隔を 1 ～ 60 分の範囲で変更できます。設定方法については「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
・お買い上げ時の時間は 15 分に設定されています。

5.4　受信する（IP/SIP）

本機が SIP ファクス、IP アドレスファクスを受信すると、自動的に印刷されます。

設定メニューで「強制メモリー受信設定」を有効にしている場合は強制メモリー受信ボックスに保存されます。保存した文書は必要に応じて印刷することができます。

参照

強制メモリー受信ボックスからの印刷については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

5.5　メモリー代行受信

5.5.1　　メモリー代行受信とは

用紙づまりや消耗品ぎれなどで受信した文書を印刷できない場合は、印刷できる状態になるまで受信した文書がメモリーに保存されています。この機能をメモリー代行受信といいます。

- 用紙づまりなどのトラブル処理が終了すると、保存されていた受信文書が自動的に印刷されます。
- メモリーがいっぱいになっているときは代行受信できない場合があります。

5.5.2　　メモリー代行受信したジョブの転送（G3）

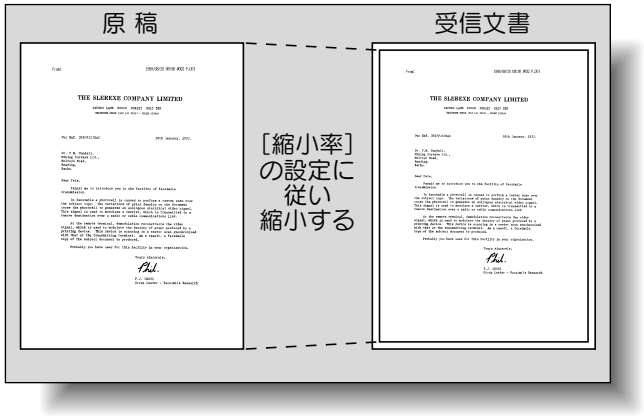
トラブル処置ができない場合など、メモリー代行受信したジョブを別の宛先に転送することができます。［ジョブ表示］－［ジョブ詳細］画面から［ファクス受信］タブを押します。転送したいジョブを選択して［転送］を押してください。宛先を指定して［実行］を押すと転送できます。

5.6　受信時の記録

受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

5.6.1　縮小して記録するとき

定形サイズの文書を受信した場合は、そのサイズの用紙に設定された縮小率で縮小して記録されます。（初期値は 96%）



5.6.2　用紙におさまるように縮小して記録するとき

定形サイズより長い文書を受信した場合は、受信文書の幅と長さから最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に記録されます。最適な用紙サイズが用紙トレイにセットされていない場合は、近いサイズの用紙に縮小して記録されます。



参照

縮小率の設定については、「縮小率」（p. 10-22）をごらんください。

最適な用紙サイズの決定と、用紙選択の基準は次のとおりです。

■ Step 1: 最適な用紙を選択する

- 受信文書の幅と長さから、最適な用紙サイズを次の原則で決定されます。

受信原稿の幅	受信情報の記録位置	受信文書の長さ			
A4 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ～ 154	155 ～ 314	315 ～ 386	387 ～
	[原稿外]	0 ～ 146	147 ～ 306	307 ～ 378	379 ～
選択される用紙サイズ		A5	A4	B4	A3
B4 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ～ 195	196 ～ 395	396 ～	
	[原稿外]	0 ～ 186	187 ～ 386	387 ～	
選択される用紙サイズ		B5	B4	A3	
A3 幅	[OFF] または [原稿内]	0 ～ 226	227 ～		
	[原稿外]	0 ～ 217	218 ～		
選択される用紙サイズ		A4	A3		

■ Step 2: 実際にプリントする用紙を選択する

- Step 1 で決定した最適な用紙サイズが、本機にセットされているかがチェックされます。
  - ❍ 最適な用紙がセットされている：
    記録が開始されます。
  - ❍ 最適な用紙がセットされていない、または該当する用紙トレイの［ATS 許可］（自動トレイ切換え機能）が［許可しない］になっている：
    次に最適な用紙を表の上から順にチェックされます。このとき、設定メニューの［ページ分割記録］が［ON］に設定されている場合は、ページ分割をして記録するように用紙がチェックされます。
  - ❍ ［ページ分割記録］が［OFF］のとき：
    上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5	A4	B5	B4	A4	A3
記録紙選択順序（上段から下段）	A5	A4	B5	B4	A4	A3
	A5	A4	B5	A3	A4	B4
	A4	B4	B4	A4	B4	A4
	A4	A3	A4	A4	A3	
	B5		A4			
	B5		A3			
	B4					
	A3					

参照

［ATS 許可］については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

詳しく説明します

［ページ分割記録］が［OFF］のときでも長尺原稿または高解像度で受信した場合は、ページ分割記録される場合があります。

❍［ページ分割記録］が［ON］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	B4 ▭	B5 ▭	B5 ▯	A4 ▭	A4 ▯
	A4 ▭	A3 ▭	B4 ▭	B5 ▭	B4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯		A4 ▭	A3 ▭	A3 ▭	
	B5 ▭		A4 ▯	A4 ▯		
	B5 ▯		A3 ▭	A4 ▭		
	B4 ▭					
	A3 ▭					

*　B5 ▭、B5 ▯、A4 ▭、A4 ▯ の場合にはページを分割して記録されます。

詳しく説明します

［ページ分割記録］が［ON］のときでも受信文書の画像幅より選択された記録紙の幅が短い場合には用紙幅に合わせて縮小されます。

■ プリント時の制約

- 実際にプリントする用紙が、Step 1 で決定された用紙より小さい場合は、縮小してプリントされます。
- ［ページ分割記録］が［OFF］の場合は、実際にプリントする用紙の方向と、Step 1 で決定された用紙の方向が一致しない場合は、自動的に 90 度回転してプリントされます。
- 異なるサイズが混在した文書をプリントする場合は、1 ページごとにこれらの処理が行われます。
- Step 1、Step 2 で決定された用紙サイズが、複数の用紙トレイにセットされている場合は、［給紙トレイ自動選択］で設定された設定に従い、用紙トレイが選択されます。
- 必要な用紙サイズが手差しトレイのみにセットされている場合は、手差しトレイから給紙してプリントされます。ただし手差しトレイが、［給紙トレイ自動選択］で「自動選択トレイ」に設定されていない場合は、手差しトレイからは給紙されません。
- ［ページ分割記録］が［ON］の場合、設定メニューの［送信 / 受信設定］が次のように設定されているときはページ分割されません。
  - ❍［給紙トレイ固定］でトレイが設定されている
  - ❍［縮小率］が［等倍］のとき
  - ❍［記録用紙優先選択］が［サイズ固定］または［サイズ優先］のとき
  - ❍［受信原稿両面印刷］が［ON］のとき
- プリントできる用紙がセットされていない場合は、用紙をセットするようにメッセージが表示されます。
  - ❍［記録用紙優先選択］が［サイズ優先］に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、通常の用紙選択を行い記録されます。
  - ❍［記録用紙優先選択］が［サイズ固定］に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

参照

［ページ分割記録］については、「ページ分割記録」（p. 10-22）をごらんください。

参照

［給紙トレイ自動選択］については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

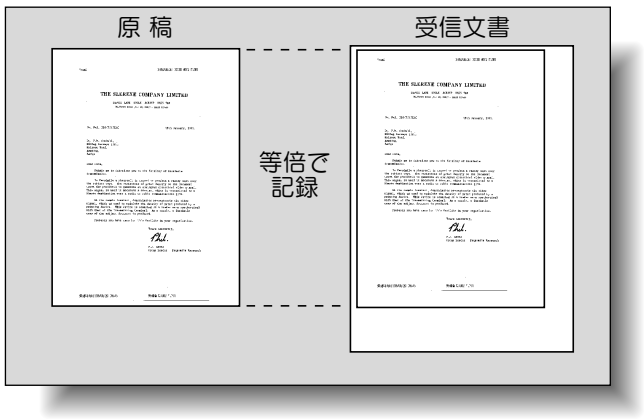
参照

［給紙トレイ固定］、［縮小率］、［記録用紙優先選択］、［受信原稿両面印刷］については、「ファクス設定ー送信 / 受信設定」（p. 10-19）をごらんください。

- ［給紙トレイ固定］が［自動］以外に設定されているとき、［給紙トレイ固定］で指定されている用紙トレイ（手差しトレイを除く）の用紙に記録されます。受信文書よりサイズが小さい場合は、縮小して記録されます。設定されている用紙トレイに用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
- ［記録用紙優先選択］が［自動選択］以外に、［給紙トレイ固定］も［自動］以外に設定されているとき、［給紙トレイ固定］の設定が優先されます。

5.6.3　等倍で記録するとき

設定メニューで［縮小率］が「等倍」に設定されている場合は、同じサイズの用紙に等倍で記録されます。同じサイズの用紙がセットされていない場合は、大きいサイズの用紙に記録されます。

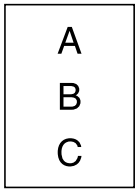
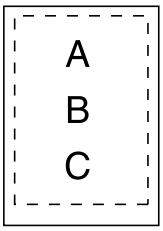
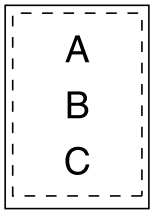
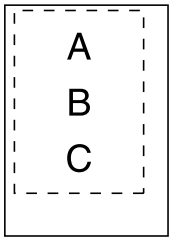
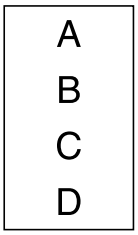
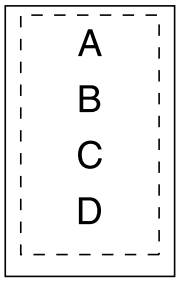
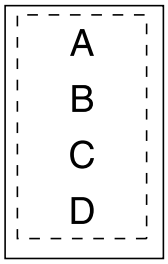
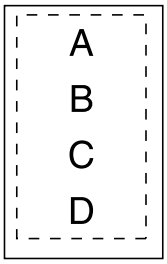
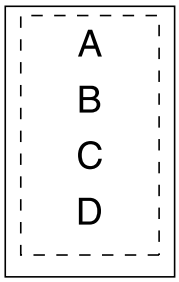
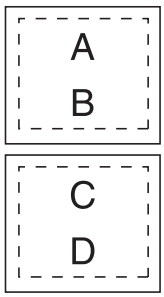
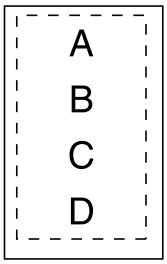


詳しく説明します

・ページ分割をすることはできません。
・A3 サイズより大きな画像は記録できません。
・最適なサイズの用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

5.6.4　受信時の記録方法

受信文書の用紙サイズと実際に記録される文書の関係は次のとおりです。

受信した用紙のサイズ		［縮小率］の設定		［給紙トレイ固定］でトレイを指定
		等倍	96 ～ 87 %	
定形サイズ（A3 ～ A5） 		 大きめの用紙に等倍で記録	 同じサイズの用紙に縮小して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
長尺印刷（定形サイズより長め） 	ページ分割記録 OFF	 大きめの用紙に等倍で記録	 最適なサイズの用紙に縮小して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
	ページ分割記録 ON	 大きめの用紙に等倍で記録	 用紙によっては分割して記録	 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録

ひとこと

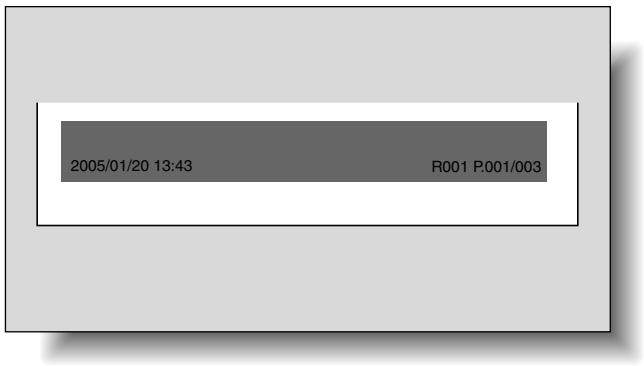
［受信原稿両面印刷］が［ON］の場合、用紙の両面に記録することができます。詳しくは、「受信原稿両面印刷」（p. 10-19）をごらんください。

5.7　受信情報

受信した日付、時刻、受信番号、ページ番号が受信した文書に自動的に印刷されます。受信した情報は設定メニューの「発信元 / 受信情報」で設定した内容にしたがって以下の場所に印刷されます。

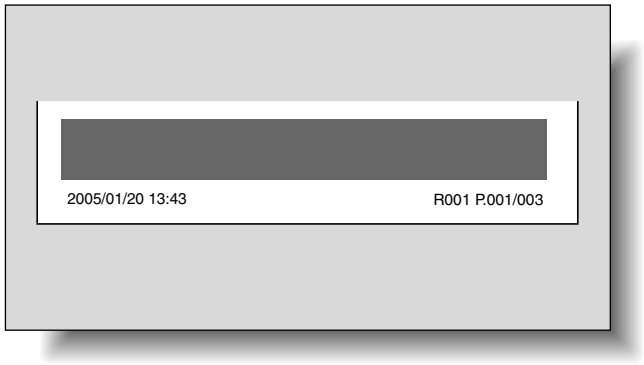
■ 原稿内に印刷

画像の一部にかかるように受信情報が印刷されます。



■ 原稿外に印刷

画像の外側に受信情報が印刷されます。



■ 印刷されない

［OFF］に設定すると、受信情報は印刷されません。



ひとこと

SIP ファクス、IP アドレスファクスでカラー送信する場合は、原稿内にのみ印刷されます。

参照

受信情報の設定については「受信情報」（p. 10-15）をごらんください。

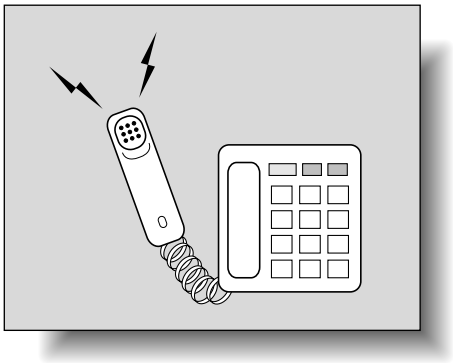
第 6 章
電話をかける / 受ける（G3）

本機に外部電話機を接続している場合のかけかた、受けかたを説明します。

6.1　電話をかける 6-2
6.2　電話を受ける 6-3

6.1　電話をかける

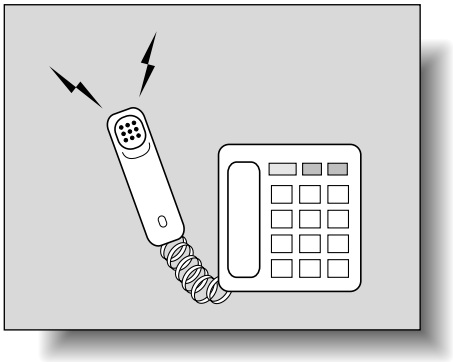
外部電話機の受話器を上げ、相手先を指定します。通話が終了したら受話器を戻します。



6.2　電話を受ける

電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。通話が終了したら受話器を戻します。

- 「ポー、ポー」または「ピー」という音がするか、無音の場合は、相手がファクスです。【スタート】を押すか外部電話でリモート受信番号（2 桁）を指定すると受信できます。ファクスが受信を開始したら受話器を元に戻してください。



詳しく説明します

・ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でパルスをトーンに切り替える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。詳しくは、電話機のマニュアルをごらんください。
・リモート受信については、「リモート受信」（p. 5-5）をごらんください。

第 7 章
便利な機能（G3/IP/SIP/I-FAX）

便利なファクスの送受信機能について説明します。

7.1　強制メモリー受信 （G3/IP/SIP/I-FAX）.....7-2
7.2　PC-FAX 受信（G3）.....7-3
7.3　TSI 受信振分け（G3）.....7-4
7.4　親展通信（G3）.....7-5
7.5　中継配信（G3）.....7-6
7.6　ポーリング送信 / 受信（G3）.....7-8
7.7　掲示板（G3）.....7-9
7.8　増設回線を使用した送受信（G3）.....7-10
7.9　ファクス転送（G3）.....7-11

7.1　強制メモリー受信 （G3/IP/SIP/I-FAX）

受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じて印刷することができます。この機能を強制メモリー受信といいます。

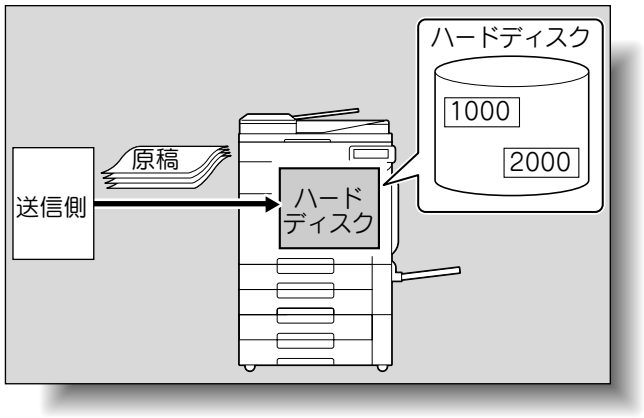
受信した文書は強制メモリー受信ボックスに保存されます。ボックスを参照して印刷の操作をしてください。不要な文書は削除することもできます。

参照

ボックス内の文書の印刷 / 削除については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

7.2　PC-FAX 受信（G3）

ファクスとして受信した文書のデータを本機に内蔵されているハードディスクのボックスに保存する機能です。保存したデータは印刷、送信ができます。保存先のボックスは強制メモリー受信ボックスまたは指定した任意のボックスとなります。



原則

PC-FAX 受信を行うと、以下の機能は使用できません。

- 強制メモリー受信
- 転送ファクス
- TSI 受信振分け

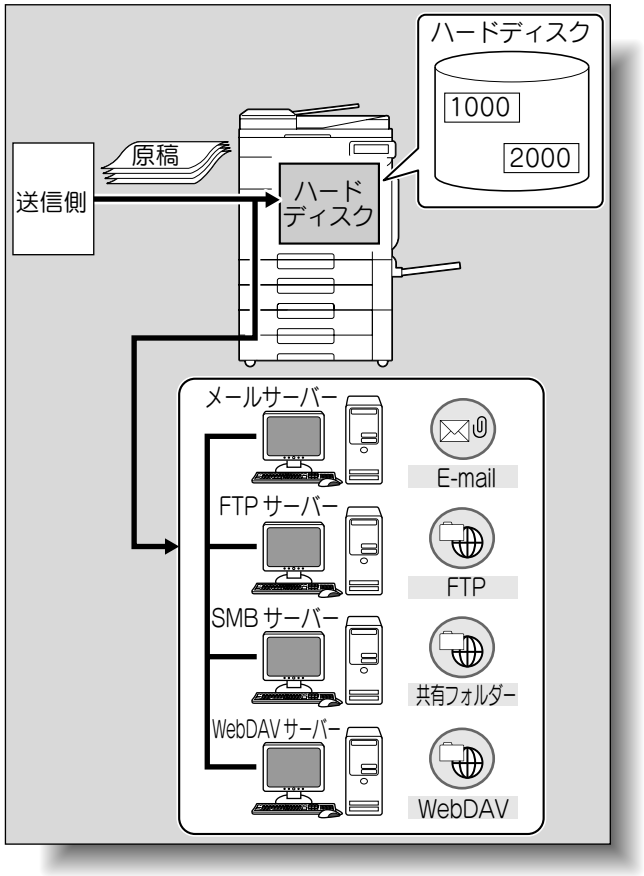
参照

- ボックス内の文書の印刷 / 送信 / 削除については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
- PC-FAX 受信設定については、「PC-FAX 受信設定」（p. 10-28）をごらんください。

7.3 TSI 受信振分け（G3）

送信者のファクス ID（TSI）で受信した文書を、送信者ごとに用意した振分け先に自動的に配信します。振分け先には以下の宛先を指定できます。

- ボックス宛先
- E-mail 宛先
- FTP 宛先
- SMB 宛先
- WebDAV 宛先



詳しく説明します

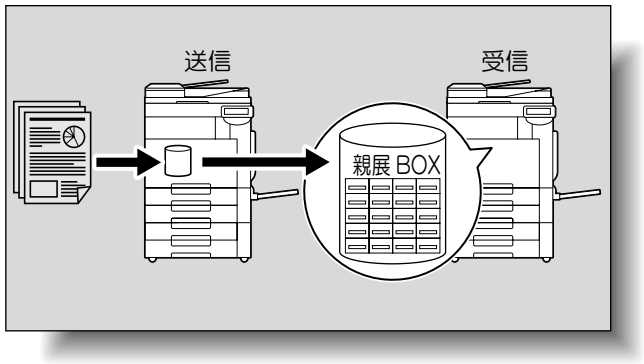
・正常に配信が終了しなかった場合、受信文書はプリントされます。
・振り分け先の TSI は 128 か所まで登録できます。

参照

TSI 受信振分け設定については、「TSI 受信振分け設定」（p. 10-28）をごらんください。

7.4　親展通信（G3）

特定の人との間で送受信したい原稿を親展ボックスを使って通信する機能です。相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信といいます。この機能は相手先がＦコード機能を持つ機種の場合に使用できます。



■ 親展受信に必要な設定

親展受信を行うには、本機に親展受信用のボックスを作成します。共有 / 個人 / グループボックスを HDD 内に作成するとき、親展受信の設定を行います。

参照

ボックス登録時の親展受信設定については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

■ 親展受信する

親展受信をすると、親展ボックスに文書が保存されます。ボックスを参照して印刷の操作をしてください。不要な文書は削除することもできます。

参照

ボックス内の文書の印刷 / 削除については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

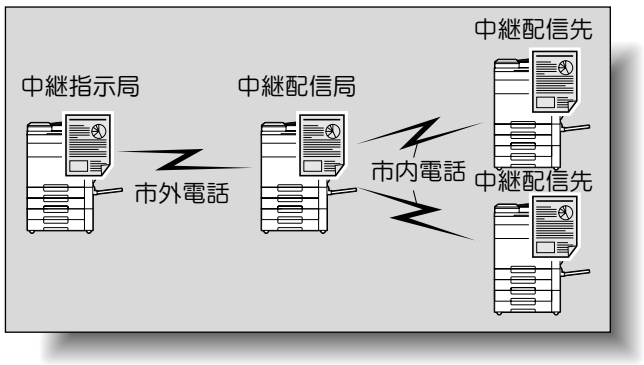
■ 親展送信する

相手先の親展送信ボックスの番号とパスワードを入力し、送信します。

7.5 中継配信（G3）

7.5.1 中継配信とは

送信するファクス文書をいったん中継配信局に保存し、中継局からさらに送信先に送信する機能です。遠方の相手先への同報が頻繁に発生する場合、中継配信局と配信先を地域別にグループ化しておけば、個別に送信するよりも全体の通信コストを削減することができます。



- 中継依頼をして文書を送信するファクスを「中継指示局」といいます。
- 中継指示局からファクスを受け取り、中継を行うファクスを「中継配信局」といいます。
- 中継配信機能は、中継配信局がＦコード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

原則

以下の機能とは併用できません。
- ポーリング送信
- ポーリング受信
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信
- パスワード送信

7.5.2 中継配信を行うには

本機は、中継指示局として使用することも、中継配信局としても使用することができます。

本機を中継指示局としてファクスを送る場合は、「中継配信局にファクスを送る」（p. 7-7）をごらんください。

本機を中継配信局として使用するには、中継配信を行うための文書を保存する中継ボックスと、配信先の設定が必要です。

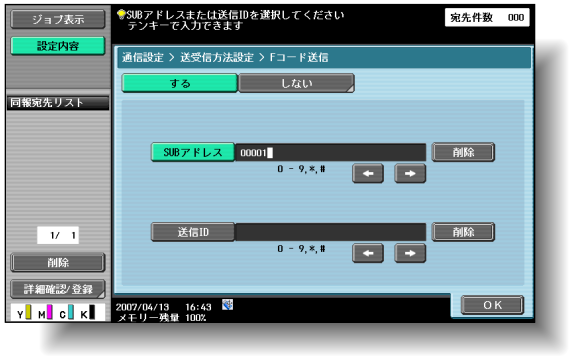
配信先の設定は、グループ宛先をあらかじめ設定しておきます。

参照

中継ボックスの作成については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

7.5.3　中継配信局にファクスを送る

［通信設定］－［送受信方法設定］で［F コード送信］を選択し、以下の内容を入力します。



SUB アドレス：中継配信局の中継ボックス番号をテンキーで入力します。

送信 ID：中継パスワードを入力します。

7.6 ポーリング送信 / 受信（G3）

7.6.1 ポーリング送信

受信側のポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめ内蔵ハードディスクに文書を保存しておく機能です。ポーリング送信ボックスへの文書保存方法は、「ポーリング送信－通常」（p. 4-58）をごらんください。

- ポーリング送信を指示した文書は、システムボックスのポーリング送信ボックスに保存されます。
- ポーリング送信は 1 文書のみ登録できます。
- 自動的にメモリー送信が設定されます。

原則

以下の機能とは併用できません。
- クイックメモリー送信
- 原稿枚数指定
- ポーリング受信
- タイマー通信
- 海外通信モード
- ECM OFF
- F コード送信
- パスワード送信
- V34 OFF
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信

7.6.2 ポーリング受信

送信側に保存されている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。電話料金を受信側で負担したいときなどに便利です。ポーリング受信の方法は、「ポーリング受信－通常」（p. 4-57）をごらんください。

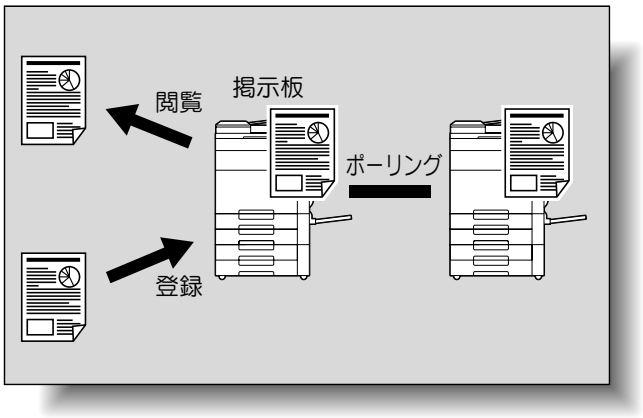
原則

以下の機能とは併用できません。
- クイックメモリー送信
- 枠消し
- 読込みサイズ
- 原稿枚数指定
- 混載原稿
- Z 折れ原稿
- 長尺原稿
- 原稿のとじしろ
- 親展送信
- 中継依頼
- ポーリング送信
- 海外通信モード
- ECM OFF
- パスワード送信
- V34 OFF
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信

7.7　掲示板（G3）

本機に掲示板を登録し、閲覧したい文書を掲示するように登録しておくことができます。掲示板を登録するには、掲示板ボックスを登録し、ボックスモードで文書を保存します。

掲示板から文書を取り出したり、プリントするときには掲示板ボックスにアクセスしてプリント、削除などの操作ができます。



参照

掲示板ボックスの登録、操作については「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

7.8　増設回線を使用した送受信（G3）

オプションの回線拡張キットを装着している場合、増設した回線に個別の設定をすることができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 回線パラメーター設定：ダイアル方式、着信回数、回線モニター音を設定できます。
- 機能設定：PC-FAX 送信、ナンバーディスプレイ、ネームディスプレイ、発信者情報の表示を設定できます。
- 複数回線使用設定：送信専用、受信専用など役割を割り振ることができます。
- ファクス ID：増設回線に個別のファクス ID を割り当てることができます。

これらの機能は管理者設定の［ファクス設定］－［増設回線設定］で設定できます。詳しくは、「ファクス設定－増設回線設定」（p. 10-34）をごらんください。

7.9　ファクス転送（G3）

受信した文書を、あらかじめ設定しておいた宛先に転送することができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 転送も行い、本機でも受信したファクス文書をプリントするよう設定できます。
- 回線拡張キットを装着している場合は、転送を行う回線を指定できます。

これらの機能は管理者設定の［ファクス設定］－［機能設定］－［転送ファクス設定］で設定できます。詳しくは、「転送ファクス設定」（p. 10-26）をごらんください。

第 8 章
レポート / リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

8.1 レポート / リストの種類 8-2
8.2 共通のリスト 8-4
8.3 G3/IP/SIP/I-FAX 共通のレポート / リスト 8-8
8.4 G3 ファクスで出力されるレポート 8-14
8.5 インターネットファクスで出力されるレポート 8-19
8.6 IP/SIP で出力されるレポート 8-22

8.1 レポート / リストの種類

本機から印刷されるレポート、リストには以下の種類があります。

8.1.1 レポート

自動的に印刷されるレポート、印刷方法を設定できるレポート、必要に応じて印刷の指示をするレポートがあります。

レポート名	説明
通信管理レポート [G3] [I-FAX] [SIP] [IP]	送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 700 通信分が送信、受信それぞれ別のページに記録されます。 通信管理レポートは自動的にプリントされるだけでなく、必要に応じて送信だけの記録、受信だけの記録、送受信の記録それぞれをプリントすることができます。 設定メニューの管理者設定で、プリントする間隔を毎日 / 100 通信毎 /100/ 毎日から選択できます。 通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時刻を設定できます。 ［ジョブ表示］>［ジョブ詳細］>［送信］>［履歴リスト］>［通信リスト］の順に押すと、以下のレポートをプリントできます。 ・送信管理レポート ・受信管理レポート ・通信管理レポート
送信結果レポート [G3] [I-FAX] [SIP] [IP]	送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ /OFF から選択できます。
ポーリング送信結果レポート [G3]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［送信結果レポート］が［常時］または［エラー時のみ］に設定されている場合、ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。
ポーリング受信結果レポート [G3]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［送信結果レポート］が［常時］または［エラー時のみ］に設定されている場合に、ポーリング受信の結果が自動的にプリントされます。
順次ポーリング受信結果レポート [G3]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［順次通信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。
同報送信結果レポート [G3] [I-FAX] [SIP] [IP]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［順次通信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、順次同報送信が終了すると自動的にプリントされます。
通信予約レポート [G3]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、送信予約をすると自動的にプリントされます。
ポーリング送信予約レポート [G3]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、ポーリング送信予約をすると自動的にプリントされます。
同報送信予約レポート [G3]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、順次同報送信を予約すると自動的にプリントされます。
1 宛先ポーリング受信予約レポート [G3]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、一つの宛先にポーリングを予約すると自動的にプリントされます。
順次ポーリング受信予約レポート [G3]	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、複数の宛先にポーリングを予約すると自動的にプリントされます。

レポート名	説明
親展受信レポート［G3］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［親展受信レポート］が［ON］に設定されている場合に、親展受信をすると自動的にプリントされます。
掲示板送信結果レポート［G3］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［掲示板送信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、掲示板送信の結果が自動的にプリントされます。
中継結果レポート［G3］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［中継結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、中継配信の結果が自動的にプリントされます。
中継依頼受付レポート［G3］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［中継依頼受付レポート］が［ON］に設定されている場合に、中継受信の結果が自動的にプリントされます。
PC-FAX 送信エラーレポート［G3］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［PC-FAX 送信エラーレポート］が［ON］に設定されている場合に、PC-FAX 送信でエラーが起こると自動的にプリントされます。
ネットワークファクス受信エラーレポート［I-FAX］［SIP］［IP］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［ネットワークファクス受信エラーレポート］が［ON］に設定されている場合、ネットワークファクスを正常に受信できなかったときにプリントされます。
MDN メッセージ印刷［I-FAX］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［MDN メッセージ］が［ON］に設定されている場合、送信側からの開封確認に相手機応答したときに、相手機から受信した MDN メッセージが自動的にプリントされます。（MDN=MessageDisposition Notifications の略）
DSN メッセージ印刷［I-FAX］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［DSN メッセージ］が［ON］に設定されている場合、受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる DSN メッセージを受信すると、自動的にプリントされます。（DSN =Delivery StatusNotifications の略）
正常受信メール本文［I-FAX］	設定メニューの［レポート出力設定］で、［正常受信メール本文印刷］が［ON］に設定されている場合、受信した電子メールの本文がプリントされます。

8.1.2　リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

リスト名	説明
短縮宛先リスト	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
グループ宛先リスト	グループダイアルの登録内容をプリントできます。
プログラム宛先リスト	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。
設定値リスト	設定メニューのファクス設定の内容をプリントできます。

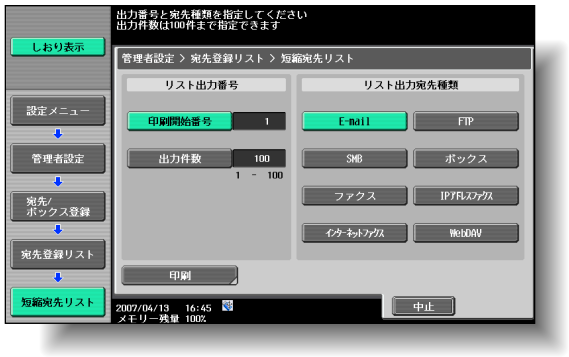
8.2 共通のリスト

8.2.1 短縮宛先リスト

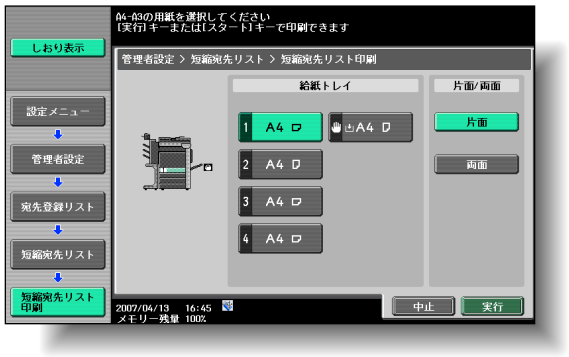
登録した短縮宛先のリストをプリントできます。

■ プリントのしかた

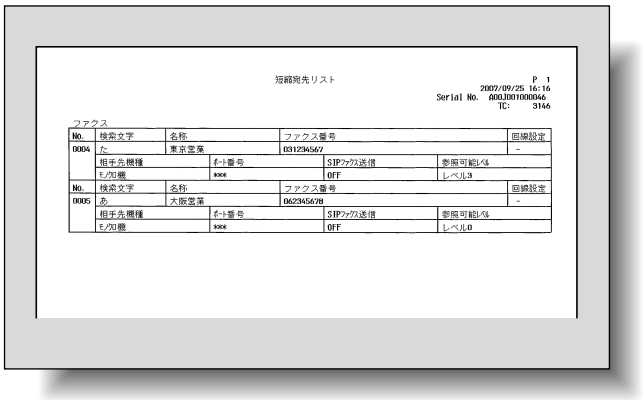
1 管理者設定の［宛先 / ボックス登録］－［宛先登録リスト］から［短縮宛先リスト］を選択し、出力する開始番号、出力件数、宛先の種類を設定して［印刷］を押します。



2 出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。



■ 出力例



■ プリントされる項目

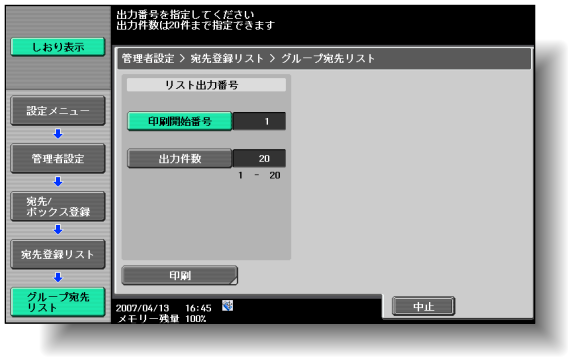
項目	説明
No.	短縮番号です。
検索文字	登録されている検索文字です。
名称	登録されている宛先名です。
ファクス番号	登録されているファクス番号です。
回線設定	回線設定が指定されている場合に * が記載されます。
相手先機種	登録されている相手先機種（モノクロ機／カラー機）です。
ポート番号	登録されているポート番号です。
SIP ファクス送信	SIP ファクス宛先として登録されているかいないかが表示されます。
参照可能レベル	登録されている参照可能レベルです。

8.2.2　グループ宛先リスト

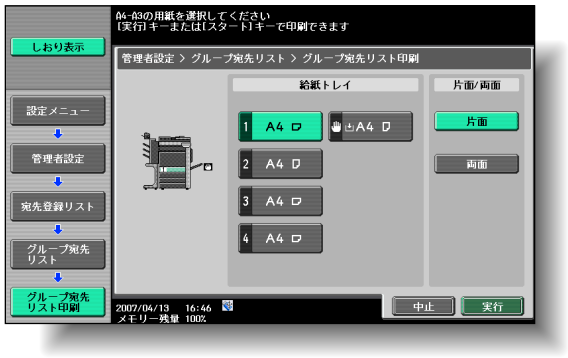
登録したグループ宛先のリストをプリントできます。

■ プリントのしかた

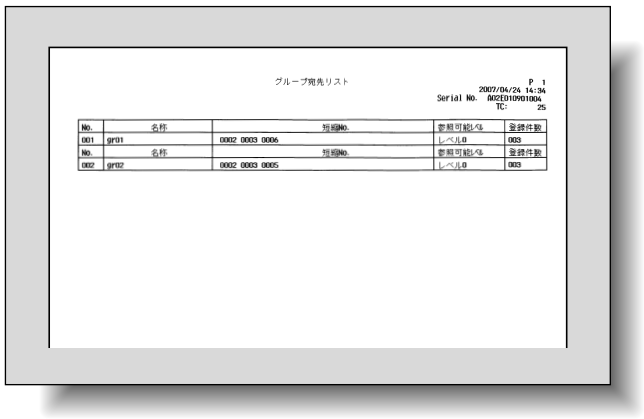
1. 管理者設定の［宛先 / ボックス登録］－［宛先登録リスト］から［グループ宛先リスト］を選択し、出力する開始番号、出力件数を設定して［印刷］を押します。



2. 出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。



■ 出力例



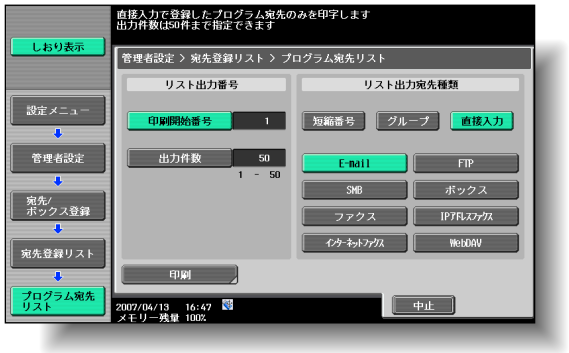
■ プリントされる項目

項目	説明
No.	グループ番号です。
名称	登録されているグループ名です。
短縮宛先 No	グループに登録されている短縮宛先 No. です。
参照可能レベル	登録されている参照可能レベルです。
登録件数	グループに登録されている短縮 No. の数です。

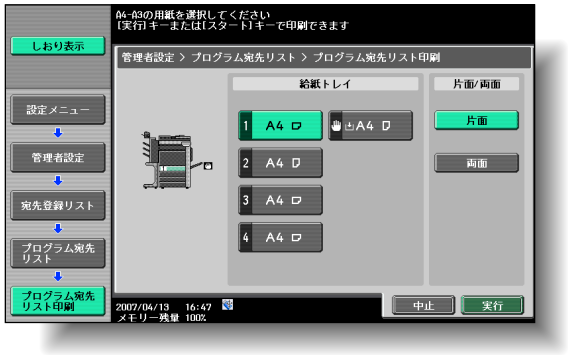
8.2.3　プログラム宛先リスト

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。

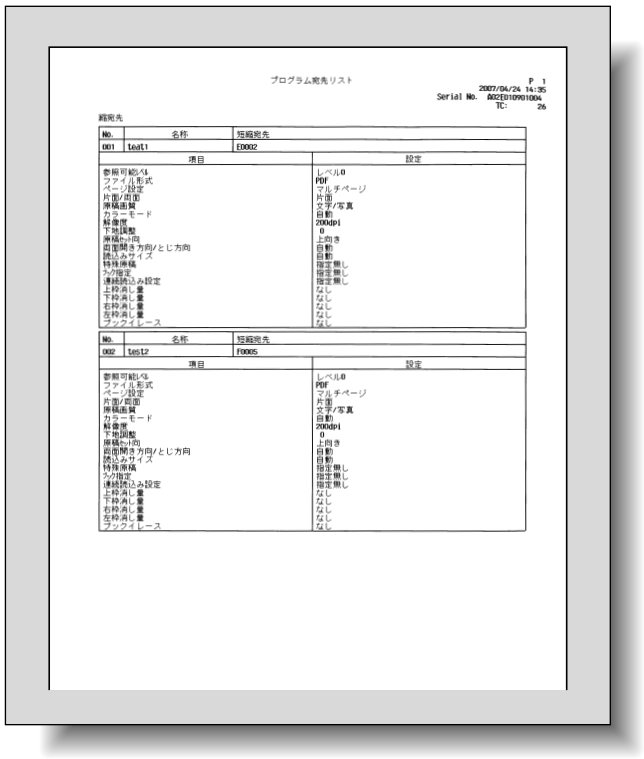
1 管理者設定の［宛先 / ボックス登録］－［宛先登録リスト］から［プログラム宛先リスト］を選択し、出力する開始番号、出力件数、宛先の種類を設定して［印刷］を押します。



2 出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。



■ 出力例



■ プリントされる項目

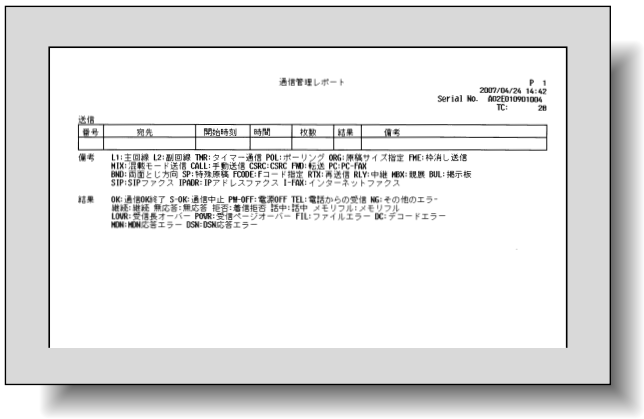
項目	説明
No.	プログラム宛先番号です。
名称	登録されているプログラム名です。
短縮宛先	短縮宛先 No. です。

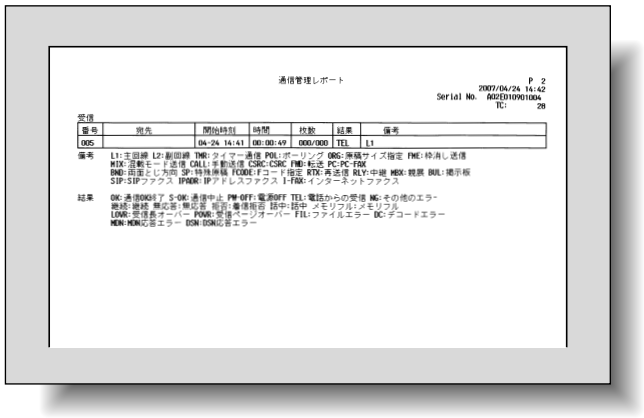
8.3 G3/IP/SIP/I-FAX 共通のレポート / リスト

8.3.1 通信管理レポート

送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大700 通信分が、送信、受信それぞれ別のページに記録されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけではなく、必要に応じて送信だけの記録（送信管理レポート）、受信だけの記録（受信管理レポート）、送受信の記録（通信管理レポート）をプリントすることができます。

■ 出力例





■ プリントされる項目

項目	説明
番号	送信、受信それぞれに連番が付けられます。
宛先	次のいずれかが記載されます。情報がない場合はブランクとなります。 送信管理レポート：短縮宛先またはプログラム宛先の登録名 受信管理レポート：短縮宛先の登録名 相手の電話番号
開始時刻	通信を開始した時刻が記載されます。
時間	通信の所要時間が記載されます。
枚数	通信した枚数が記載されます。メモリー送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。

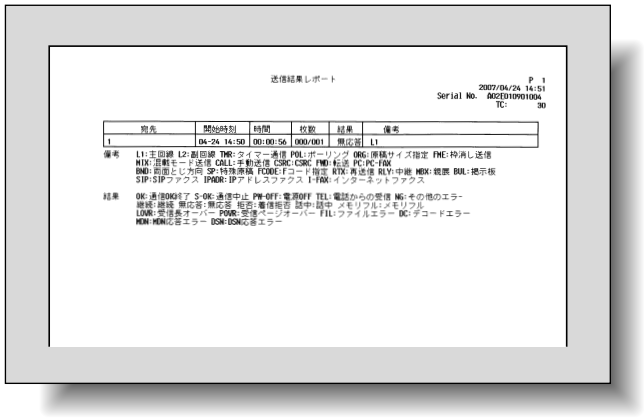
ひとこと

オプションの設定によって記載されない項目があります。

項目	説明
結果	OK: 通信が正常に終了した場合に記載されます。 S-OK: 通信を中止した場合に記載されます。 PW-OFF: 通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。 TEL: 電話がかかってきた場合に記載されます。 NG: 通信エラーが発生した場合に記載されます。 継続：送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。 無応答：相手が応答しなかった場合に記載されます。 拒否：着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。 話中：相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。 メモリフル：受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。 POVR: 受信ページオーバー。受信ページ数が 3000 ページを超えた場合に記載されます。（SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス） FIL: ファイルエラー。受信したファイルがサポートされていない場合に記載されます。（SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス） DC: デコードエラー。受信したファイルのデコードでエラーが発生した場合に記載されます。（SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス） MDN: MDN 応答がエラーの場合に記載されます。（インターネットファクス） DSN: DSN 応答がエラーの場合に記載されます。（インターネットファクス） LOVR：受信ページ長が 1000mm をこえた場合に記載されます。（SIP ファクス /IP アドレスファクス / インターネットファクス）
備考	次のいずれかが記載されます。 L1: 主回線（G3 のみ） TMR: タイマー通信 ORG: 原稿サイズ指定 MIX: 混載モード送信 CSRC: 遠隔診断 PC: PC-FAX SP: 特殊原稿 RTX: 再送信 MBX: 親展 L2: 副回線（G3 のみ） POL: ポーリング FME: 枠消し送信 CALL: 手動通信 FWD: 転送 BND: 原稿のとじしろ FCODE: F コード指定 RLY: 中継 BUL: 掲示板 SIP: SIP ファクス IPADR: IP アドレスファクス I-FAX: インターネットファクス

8.3.2　送信結果レポート

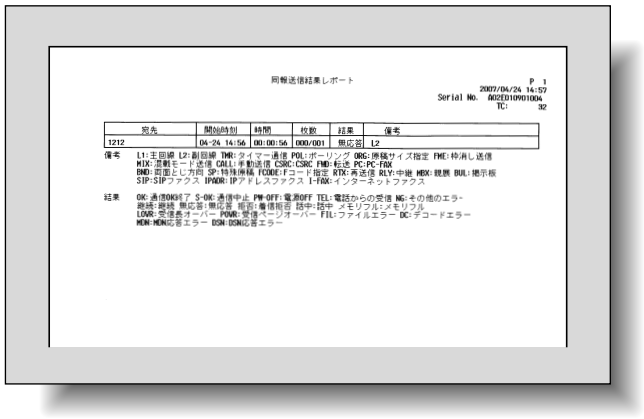
送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ /OFF から選択できます。



8.3.3　同報送信結果レポート

順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定できます。また、［同報結果レポート出力］でレポート出力タイミング（全宛先一括 /1 宛先毎）を指定できます。

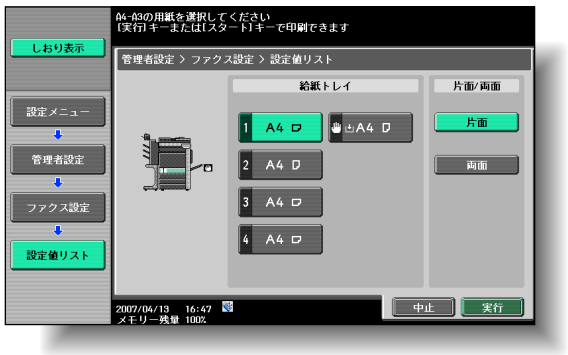


8.3.4　設定値リスト

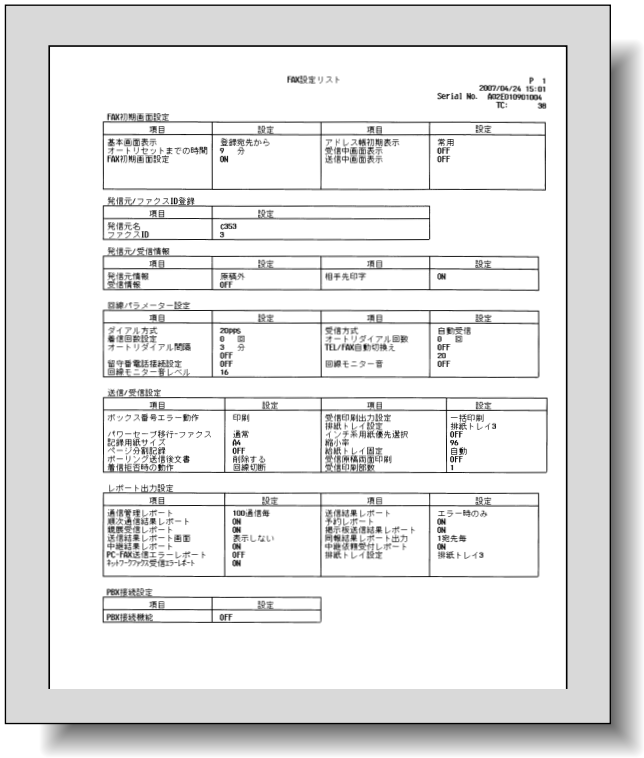
本機で設定しているファクスの設定値リストをプリントできます。

■ プリントのしかた

管理者設定の［ファクス設定］−［設定値リスト］を選択し、出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。



■ FAX 設定リスト



FAX設定リスト

P 1
2007/04/24 15:01
Serial No. A02ED10901004
TC: 30

FAX初期画面設定

項目	設定	項目	設定
基本画面表示	登録宛先から	アドレス帳初期表示	常用
オートリセットまでの時間	9 分	受信中画面表示	OFF
FAX初期画面設定	ON	送信中画面表示	OFF

発信元/ファクスID登録

項目	設定
発信元名	C353
ファクスID	3

発信元/受信情報

項目	設定	項目	設定
発信元情報	庶構外	相手先印字	ON
受信情報	OFF		

回線パラメーター設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式	20PPS	受信方式	自動受信
着信回数設定	0 回	オートリダイアル回数	0 回
オートリダイアル間隔	3 分	TEL/FAX自動切換え	OFF
	OFF		20
留守番電話接続設定	OFF	回線モニター音	OFF
回線モニター音レベル	16		

送信/受信設定

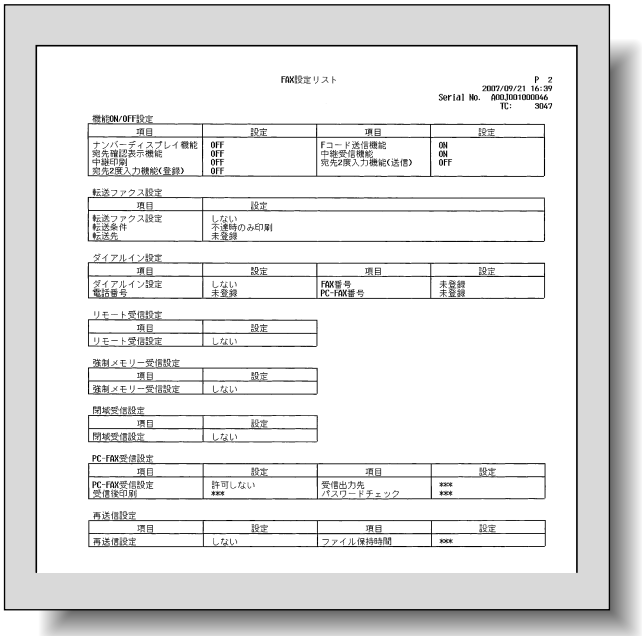
項目	設定	項目	設定
ボックス番号エラー動作	印刷	受信印刷出力設定	一括印刷
		排紙トレイ設定	排紙トレイ3
パワーセーブ移行ファクス	通常	インチ系用紙優先選択	OFF
記録用紙サイズ	A4	縮小率	96
ページ分割記録	OFF	給紙トレイ固定	自動
ポーリング送信後文書	削除する	受信原稿両面印刷	OFF
着信能百時の動作	回線切断	受信印刷部数	1

レポート出力設定

項目	設定	項目	設定
通信管理レポート	100通信毎	送信結果レポート	エラー時のみ
親文書信結果レポート	ON	予約レポート	ON
親展受信レポート	ON	連示板送信結果レポート	ON
送信結果レポート画面	表示しない	同報結果レポート出力	1宛先毎
中継結果レポート	ON	中継保管受付レポート	ON
PC-FAX送信エラーレポート	OFF	排紙トレイ設定	排紙トレイ3
ネットワークファクス受信エラーレポート	ON		

PBX接続設定

項目	設定
PBX接続機能	OFF



FAX設定リスト

P 2
2007/09/21 16:39
Serial No. A0DJ001000046
TC: 3047

機能ON/OFF設定

項目	設定	項目	設定
ナンバーディスプレイ機能	OFF	Fコード送信機能	ON
宛先確認表示機能	OFF	中継受信機能	ON
中継印刷	OFF	宛先2原入力機能(送信)	OFF
宛先2原入力機能(登録)	OFF		

転送ファクス設定

項目	設定
転送ファクス設定	しない
転送条件	不使時のみ印刷
転送先	未登録

ダイアルイン設定

項目	設定	項目	設定
ダイアルイン設定	しない	FAX番号	未登録
電話番号	未登録	PC-FAX番号	未登録

リモート受信設定

項目	設定
リモート受信設定	しない

強制メモリー受信設定

項目	設定
強制メモリー受信設定	しない

閉域受信設定

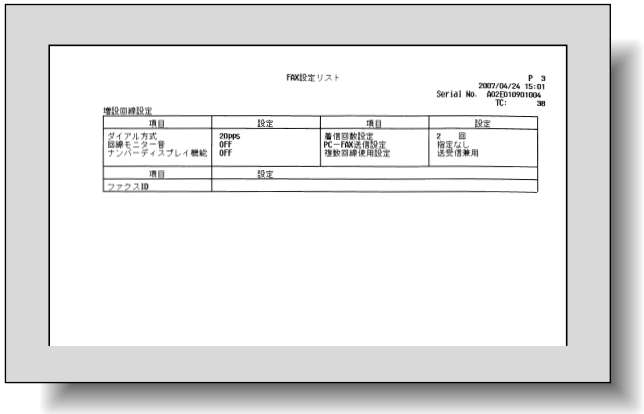
項目	設定
閉域受信設定	しない

PC-FAX受信設定

項目	設定	項目	設定
PC-FAX受信設定	許可しない	受信出力先	***
受信後印刷	***	パスワードチェック	***

再送信設定

項目	設定	項目	設定
再送信設定	しない	ファイル保持時間	***


FAX設定リスト

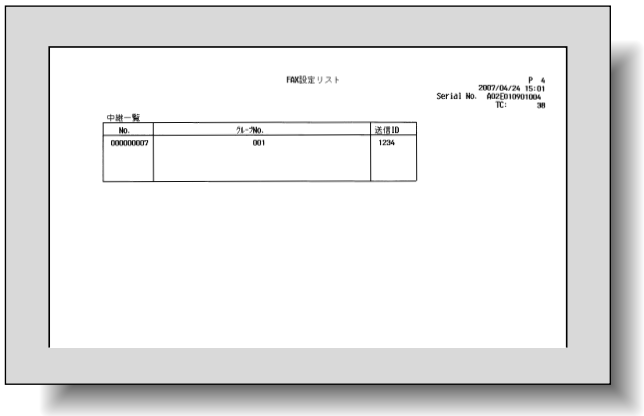
P 3
2007/04/24 15:01
Serial No. A02ED10901004
TC: 38

増設回線設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式	20pps	着信回数設定	2　回
回線モニター音	OFF	PC→FAX送信設定	指定なし
ナンバーディスプレイ機能	OFF	複数回線使用設定	送受信兼用

項目	設定
ファクスID	

■ 中継一覧

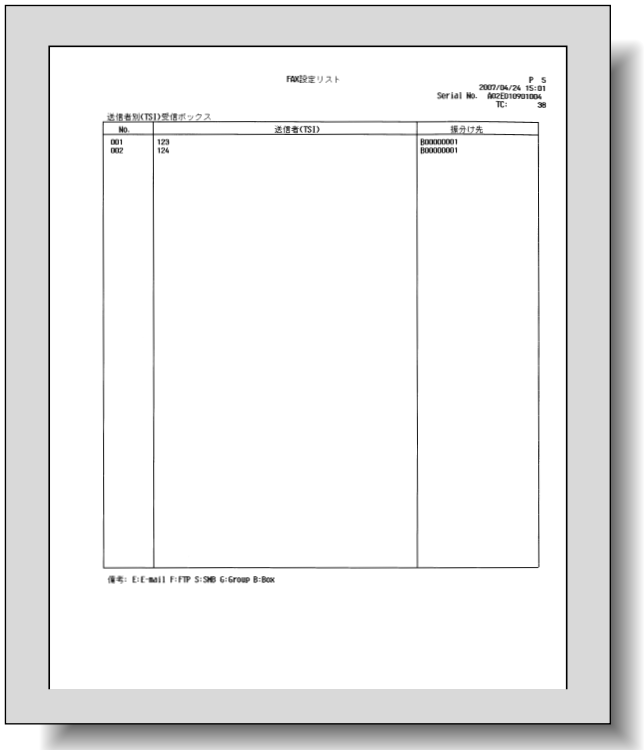

FAX設定リスト

P 4
2007/04/24 15:01
Serial No. A02ED10901004
TC: 38

中継一覧

No.	ｸﾙｰﾌﾟNo.	送信ID
000000007	001	1234

■ 送信者別（TSI）受信ボックス


FAX設定リスト

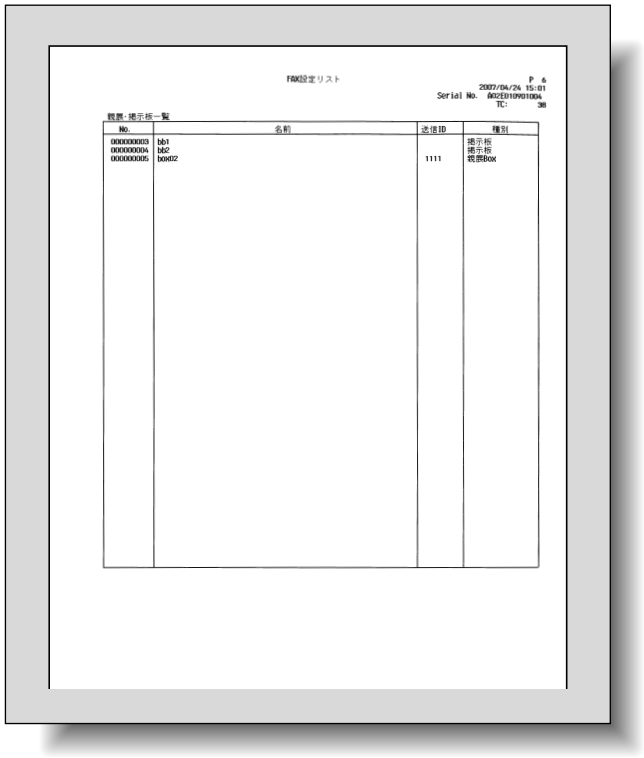
P 5
2007/04/24 15:01
Serial No. A02ED10901004
TC: 38

送信者別(TSI)受信ボックス

No.	送信者(TSI)	振分け先
001	123	B00000001
002	124	B00000001

備考: E:E-mail F:FTP S:SMB G:Group B:Box

■ 親展・掲示板一覧


FAX設定リスト

P. 6
2007/04/24 15:01
Serial No. A02E010901004
TC: 30

親展・掲示板一覧

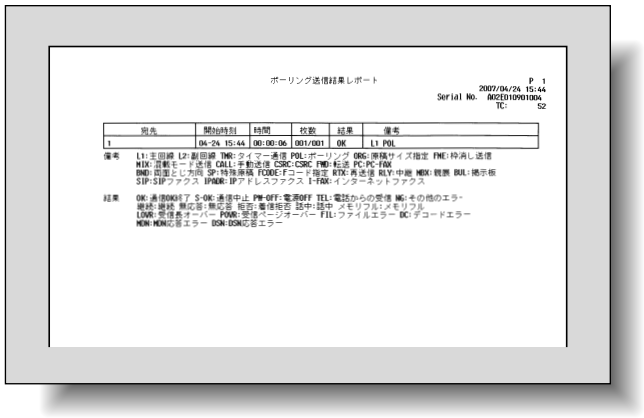
No.	名前	送信ID	種別
000000003	bb1		掲示板
000000004	bb2		掲示板
000000005	box02	1111	親展Box

8.4 G3 ファクスで出力されるレポート

8.4.1 ポーリング送信結果レポート

ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。

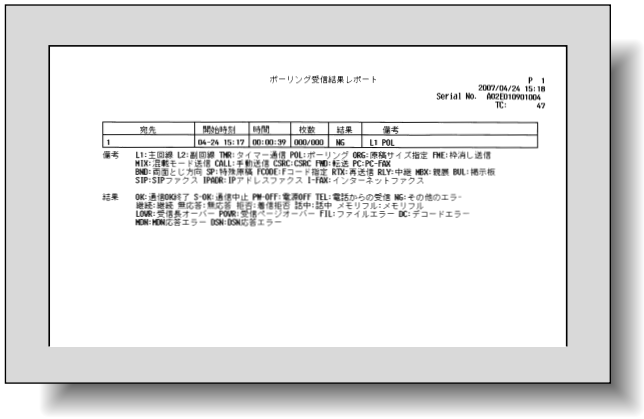
設定メニューの［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ /OFF を設定できます。



8.4.2 ポーリング受信結果レポート

ポーリング受信をしたときに自動的にプリントされます。

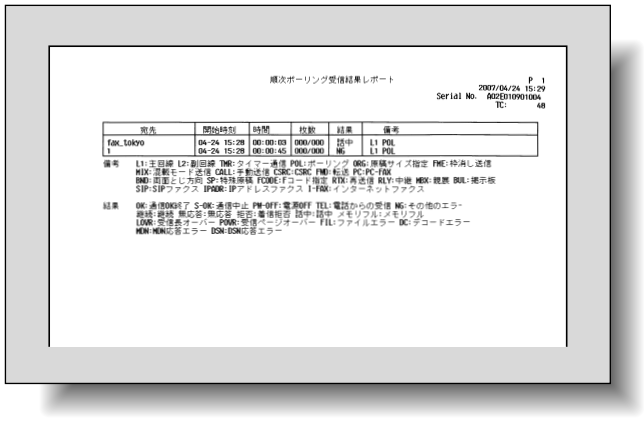
設定メニューの［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ /OFF を設定できます。



8.4.3 順次ポーリング受信結果レポート

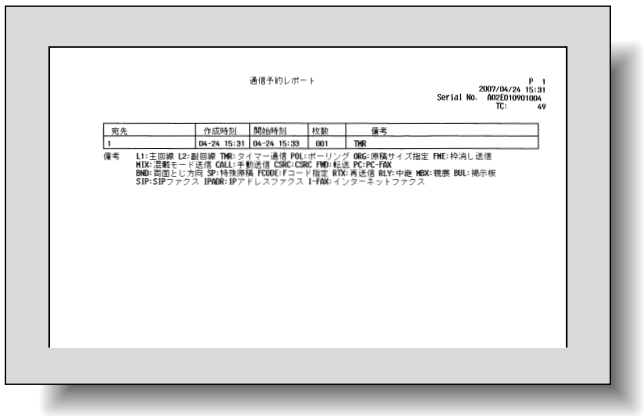
複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。

設定メニューの［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定できます。



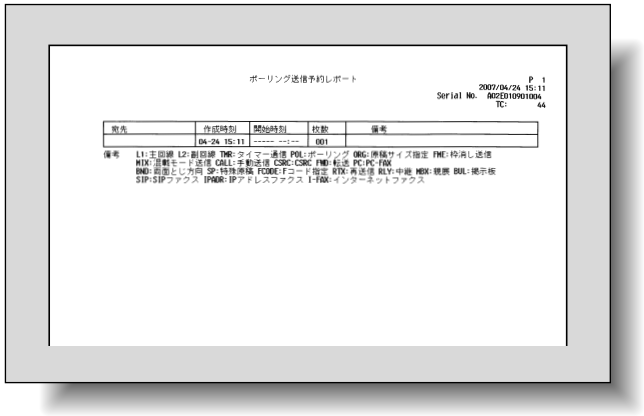
8.4.4　通信予約レポート

タイマー通信を指定したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定できます。



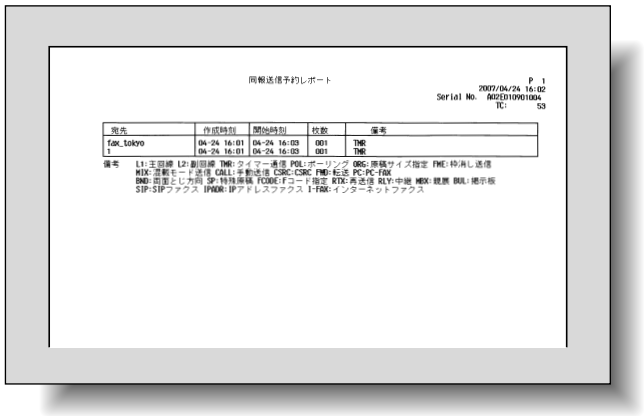
8.4.5　ポーリング送信予約レポート

ポーリング送信予約をしたとき（本機のポーリング送信ボックスに文書が保存されたとき）に自動的にプリントされます。
設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定できます。



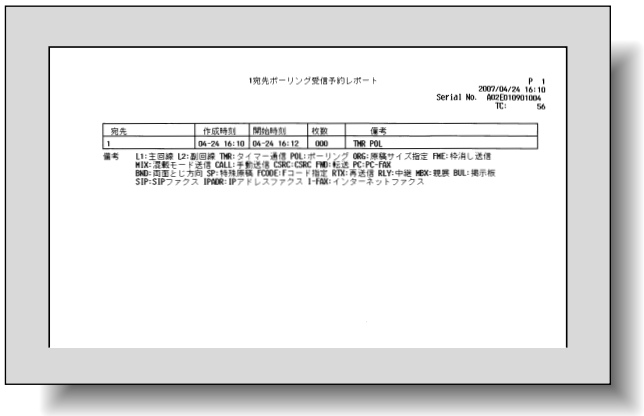
8.4.6　同報送信予約レポート

順次同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。



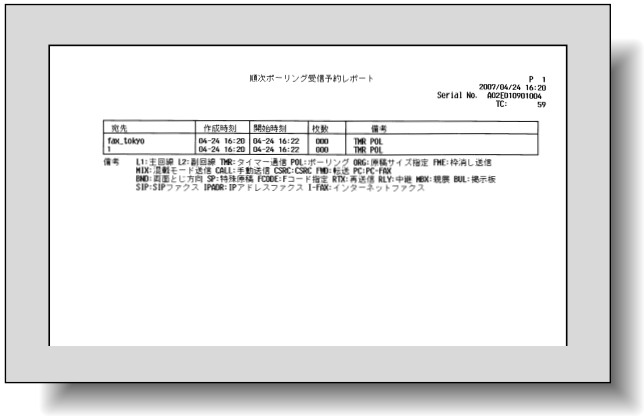
8.4.7　1 宛先ポーリング受信予約レポート

1 宛先へのポーリング受信を予約したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定できます。



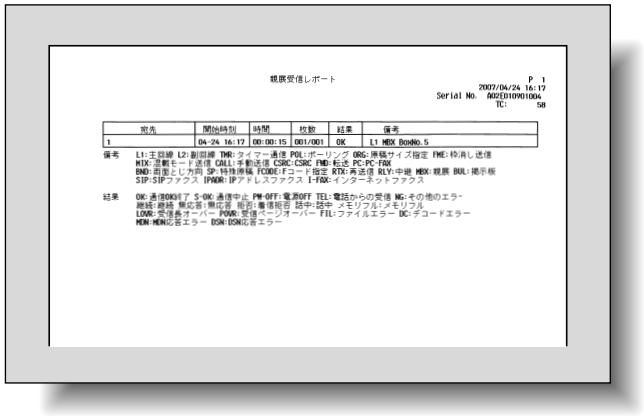
8.4.8　順次ポーリング受信予約レポート

複数の宛先へのポーリング受信を予約したときに自動的にプリントされます。
設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定できます。



8.4.9　親展受信レポート

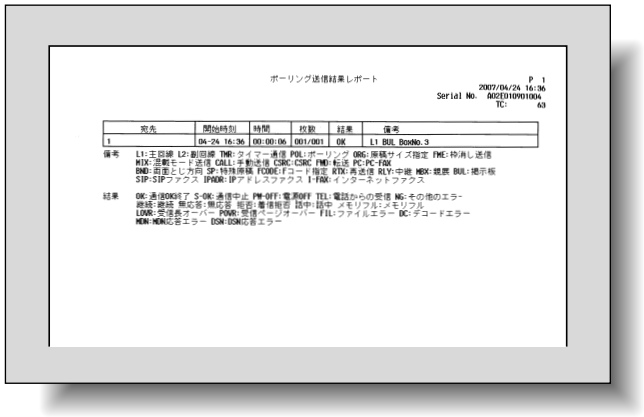
親展受信をしたときに自動的にプリントされます。
設定メニューの［親展受信レポート］で ON/OFF を設定できます。



8.4.10　掲示板送信結果レポート

掲示板に登録されている文書をポーリング送信したときに自動的にプリントされます。

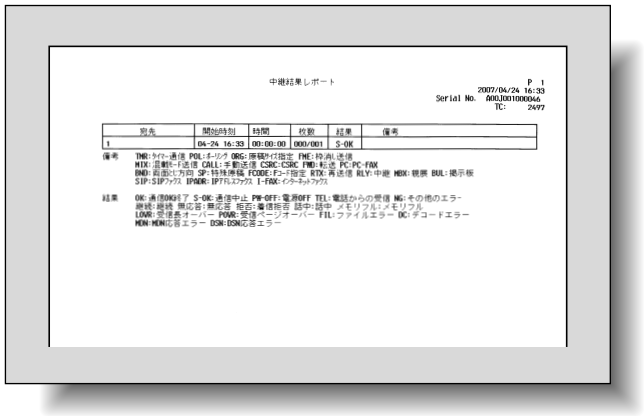
設定メニューの［掲示板送信結果レポート］で ON/OFF を設定できます。



8.4.11　中継結果レポート

中継配信局として中継配信先に送信したときに自動的にプリントされます。

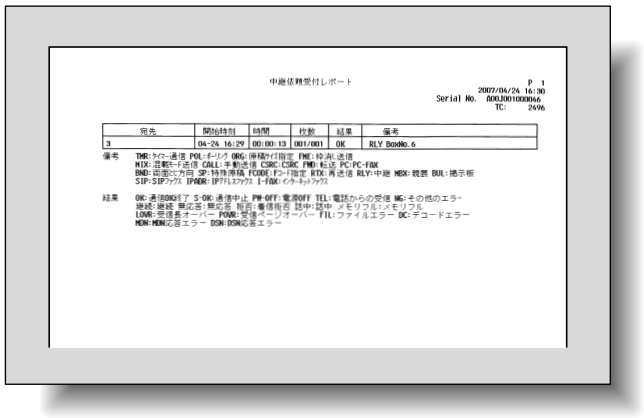
設定メニューの［中継結果レポート］で ON/OFF を設定できます。



8.4.12　中継依頼受付レポート

本機を中継配信局として使用しているとき、中継指示局から文書を受信したときに自動的にプリントされます。

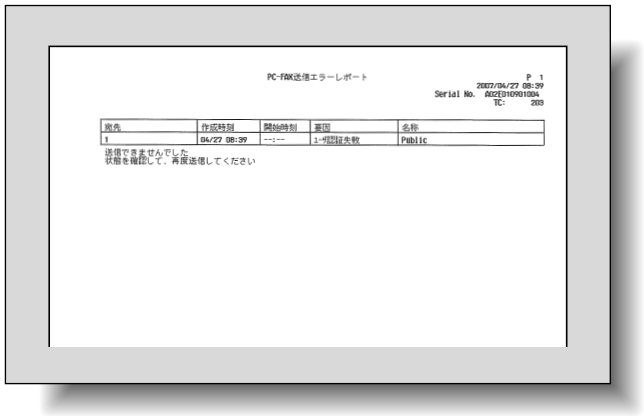
設定メニューの［中継依頼受付レポート］で ON/OFF を設定できます。



8.4.13　PC-FAX 送信エラーレポート

PC-FAX 送信でエラーがおきたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［PC-FAX 送信エラーレポート］で ON/OFF を設定できます。

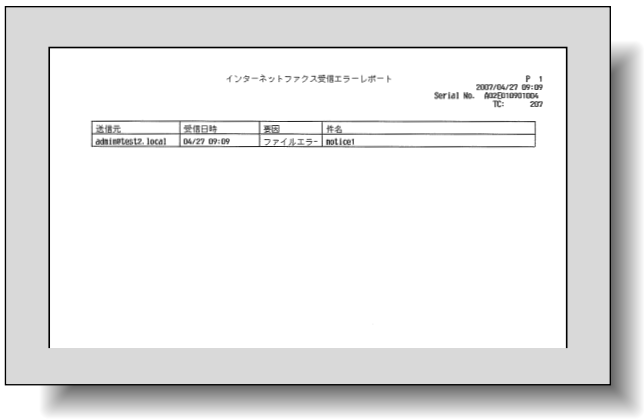


8.5 インターネットファクスで出力されるレポート

8.5.1 ネットワークファクス受信エラーレポート

インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクスが正常に受信できなかったときにプリントされます。

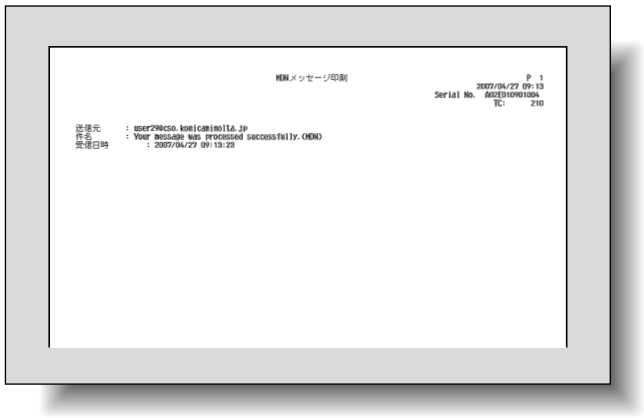
設定メニューの［ネットワークファクス受信エラーレポート］で ON/OFF を設定できます。



8.5.2 MDN メッセージ印刷

本機から開封確認要求を行うと、相手機はメールを開封（印刷）した直後、MDN 応答メッセージを本機に送信します。本機は MDN 応答メッセージを受信し、自動的にプリントします。

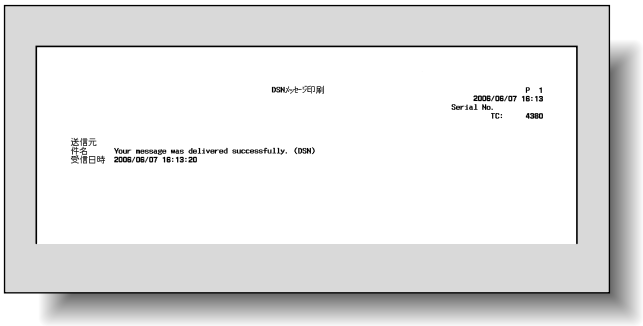
設定メニューの［MDN メッセージ］で印刷するかどうかを設定できます。



8.5.3　DSN メッセージ印刷

受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られるDSN メッセージを受信すると、自動的にプリントされます。（DSN =Delivery StatusNotifications の略）

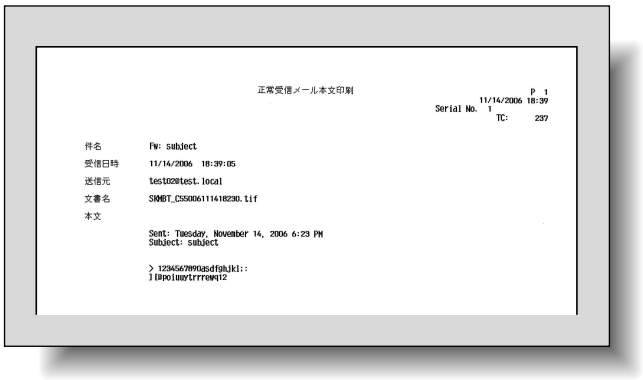
設定メニューの［DSN メッセージ］で印刷するかどうかを設定できます。



8.5.4　正常受信メール本文

受信した電子メールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。

設定メニューの［正常受信メール本文印刷］で印刷するかどうかを設定できます。



詳しく説明します

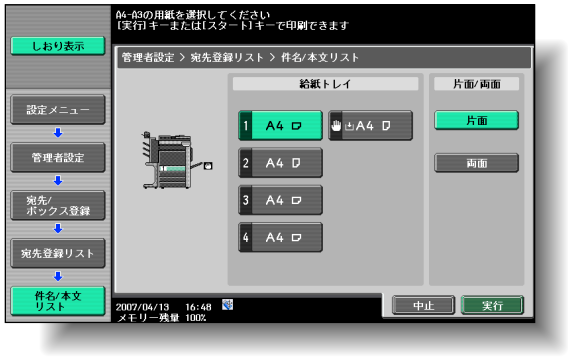
- 電子メール本文の印刷は、受信した電子メールのヘッダに「Content-XCIAJWNETFAX:IGNORE」が記述されている場合や、本文が無い場合は、［正常受信メール本文印刷］が［ON］に設定されていてもプリントしません。
- プリント不可の添付ファイルを受信した場合、［ネットワークファクス受信エラーレポート］の設定に従います。

8.5.5　件名 / 本文リスト

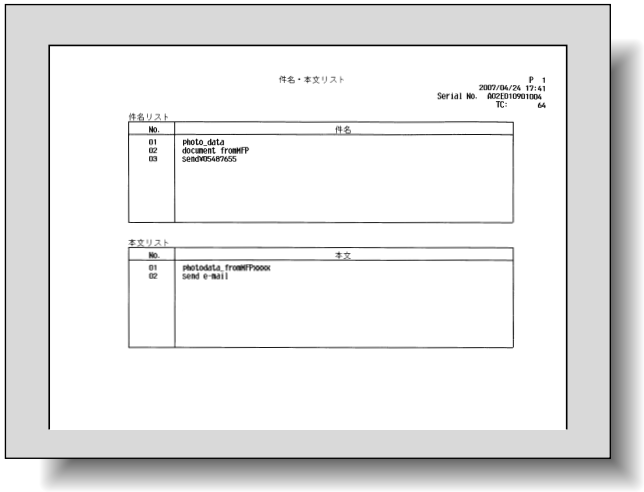
登録した E-mail の件名、本文のリストをプリントできます。

■ プリントのしかた

管理者設定の［宛先 / ボックス登録］－［宛先登録リスト］から［件名 / 本文リスト］を選択し、出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。



■ 出力例



8.6 IP/SIP で出力されるレポート

8.6.1 ネットワークファクス受信エラーレポート

詳しくは、「ネットワークファクス受信エラーレポート」（p. 8-19）をごらんください。

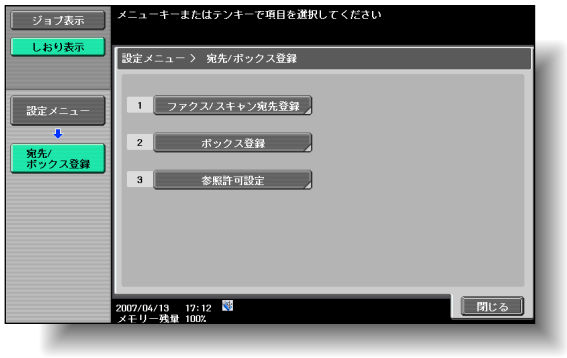
第 9 章
ユーザーモード設定

9.1　ユーザーモードのメニューツリー 9-2
9.2　宛先 / ボックス登録 9-5
9.3　ユーザー設定 9-34

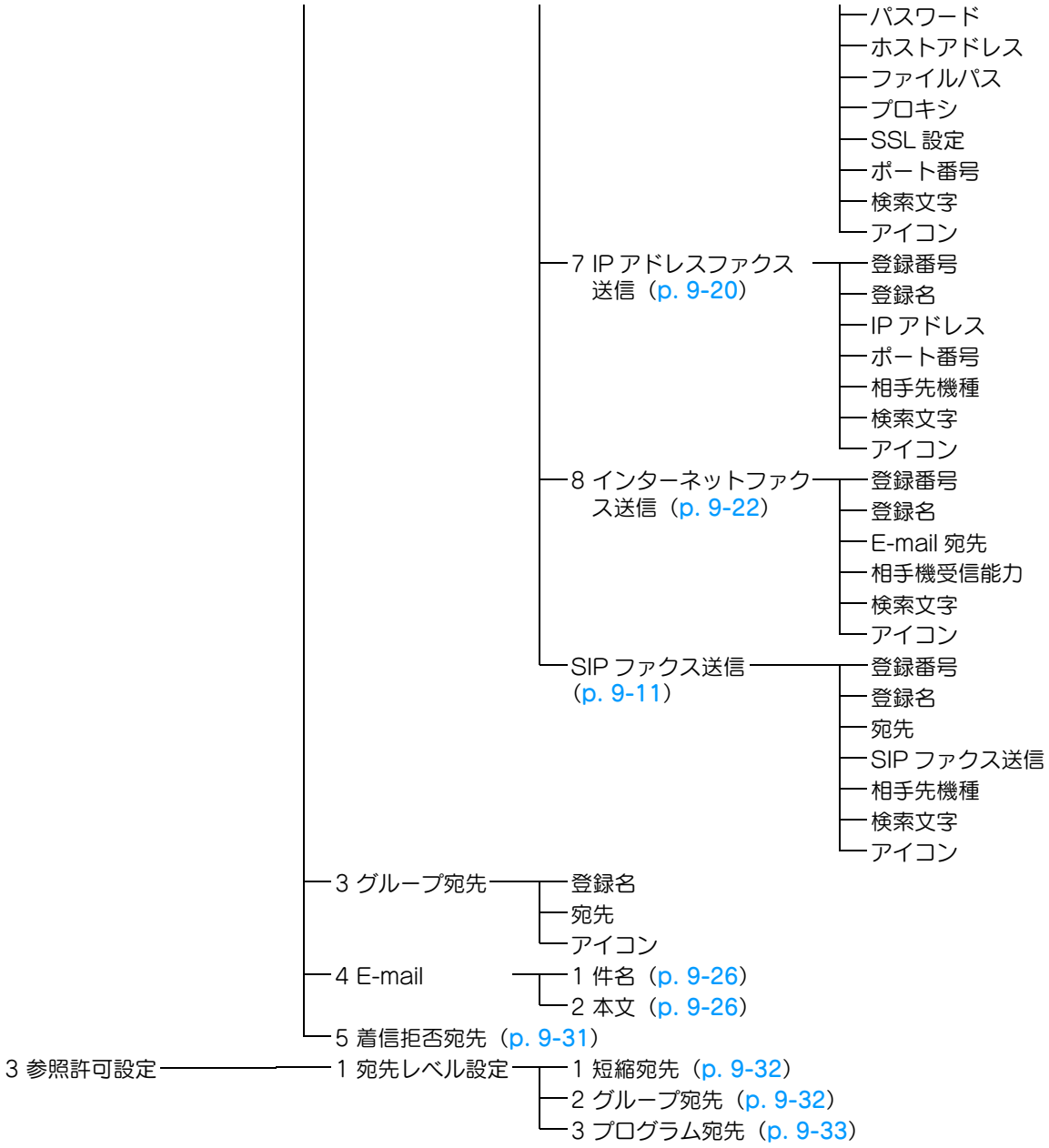
9.1 ユーザーモードのメニューツリー

設定メニュー（ユーザーモード）で設定できる項目は以下のようになっています。このメニューツリーではネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスに関連する項目を記載しています。

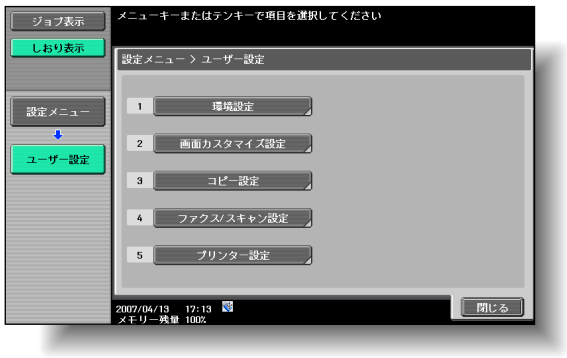
9.1.1 宛先 / ボックス登録



- 1 ファクス / スキャン宛先登録
  - 1 短縮宛先（共有）
    - 1 E-mail 送信（p. 9-5）
      - 登録番号
      - 登録名
      - E-mail 宛先
      - 検索文字
      - アイコン
    - 2 ボックス保存（p. 9-7）
      - 登録番号
      - 登録名
      - ボックス
      - 検索文字
      - アイコン
    - 3 ファクス送信（p. 9-8）
      - 登録番号
      - 登録名
      - 宛先
      - 回線設定
      - 検索文字
      - アイコン
    - 4 ファイル送信（SMB）（p. 9-13）
      - 登録番号
      - 登録名
      - ユーザー ID
      - パスワード
      - ホストアドレス
      - ファイルパス
      - 参照
      - 検索文字
      - アイコン
    - 5 ファイル送信（FTP）（p. 9-16）
      - 登録番号
      - 登録名
      - ホストアドレス
      - ファイルパス
      - ユーザー ID
      - パスワード
      - Anonymous
      - PASV
      - プロキシ
      - ポート番号
      - 検索文字
      - アイコン
    - 6 ファイル送信（WebDAV）（p. 9-18）
      - 登録番号
      - 登録名
      - ユーザー ID


パスワード
ホストアドレス
ファイルパス
プロキシ
SSL 設定
ポート番号
検索文字
アイコン
7 IP アドレスファクス送信（p. 9-20）
登録番号
登録名
IP アドレス
ポート番号
相手先機種
検索文字
アイコン
8 インターネットファクス送信（p. 9-22）
登録番号
登録名
E-mail 宛先
相手機受信能力
検索文字
アイコン
SIP ファクス送信（p. 9-11）
登録番号
登録名
宛先
SIP ファクス送信
相手先機種
検索文字
アイコン
3 グループ宛先
登録名
宛先
アイコン
4 E-mail
1 件名（p. 9-26）
2 本文（p. 9-26）
5 着信拒否宛先（p. 9-31）
3 参照許可設定
1 宛先レベル設定
1 短縮宛先（p. 9-32）
2 グループ宛先（p. 9-32）
3 プログラム宛先（p. 9-33）

9.1.2　ユーザー設定



- 2 画面カスタマイズ設定
  - 2 ファクス / スキャン設定
    - 基本画面設定（p. 9-34）
    - プログラム初期表示（p. 9-34）
    - アドレス帳初期表示（p. 9-35）
    - ショートカットキー 1（p. 9-35）
    - ショートカットキー 2（p. 9-35）
    - 「登録宛先から」初期表示（p. 9-35）
  - 4 ファクス動作中画面
    - 送信中画面表示（p. 9-36）
    - 受信中画面表示（p. 9-36）
  - 検索オプション設定（p. 9-37）
- 4 ファクス / スキャン設定
  - JPEG 圧縮方法（p. 9-37）
  - 白黒 2 値圧縮方法（p. 9-38）
  - TWAIN 操作ロック時間（p. 9-38）
  - ファクス / スキャン初期設定（p. 9-38）
  - コンパクト PDF/XPS 圧縮方法（p. 9-39）
  - カラー TIFF 形式（p. 9-39）

9.1.3　プログラム呼び出し / 登録



- プログラム登録
  - 登録名（p. 9-27）
  - 宛先（p. 9-28）
  - URL 通知先（p. 9-28）
- 設定内容
  - 宛先確認（p. 9-29）
  - 読込み設定内容（p. 9-29）
  - 原稿設定内容（p. 9-29）
  - 通信設定内容（p. 9-29）
  - E-mail 設定内容（p. 9-30）
  - URL 通知先設定内容（p. 9-30）
- 削除

9.2　宛先 / ボックス登録

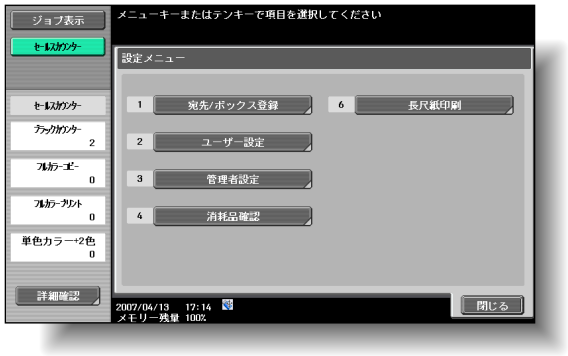
短縮宛先では最大 2000 件の宛先を登録できます。

ひとこと

管理者設定で「登録宛先変更」が禁止されている場合は、管理者設定の「宛先 / ボックス登録」で登録作業を行ってください。

9.2.1　宛先 / ボックス登録画面を表示させる

宛先 / ボックス登録画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押し、表示された設定メニューから［宛先 / ボックス登録］を押します。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［1 宛先 / ボックス登録］の場合はテンキーの【1】を押します。

9.2.2　短縮宛先登録－ E-mail 送信

E-mail 宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ E-mail 宛先

パネルから送信先の E-mail アドレスを入力します。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.3　短縮宛先登録－ボックス保存

ボックス保存の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

ボックス保存の宛先を登録するには、あらかじめボックス登録をしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。



■ 登録番号

［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ ボックス

保存先のボックスを 1 個選択します。



詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



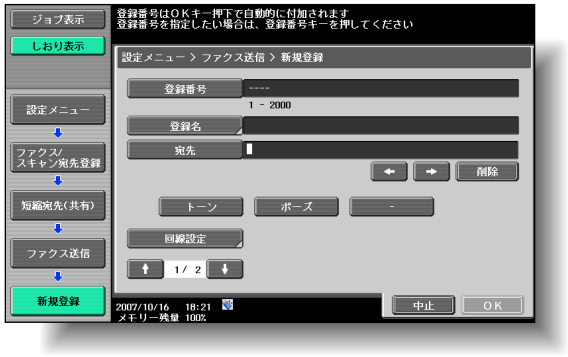
ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.4　短縮宛先登録－ファクス送信

ファクスの宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ 宛先

相手先のファクス番号を 38 桁以内で入力します。ダイアルはテンキーから入力します。



- PBX 接続設定が有効な場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに［ポーズ］を押します。画面には「P」と表示されます。
- PBX 接続設定が有効な場合は、［外線］が表示されます。選択すると［E-］と表示されます。

「宛先 2 度入力機能（登録）」が設定されている場合は、[OK] を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、[OK] を押します。



■ 回線設定

送信時の回線について設定します。



項目	説明
海外通信モード	通信状態の悪いところへ通信する場合、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信します。
ECM OFF	ECM モードを解除し、通信時間を短縮して送信します。ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。
V34 OFF	V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。送信が完了すると本機は自動的に V34 モードに戻ります。
宛先確認送信	送信時に、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合にだけ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。
回線指定	回線拡張キットを装着している場合、[回線 1] または [回線 2] を指定して送信できます。送信する回線を指定してください。

ひとこと

宛先 2 度入力機能については、「機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能（登録）（G3/SIP）」（p. 10-25）をごらんください。

ひとこと

宛先確認送信は、相手先に自局のファクス番号の登録が必要です。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.5　短縮宛先登録－ SIP ファクス送信

SIP ファクスの宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ 宛先

相手先の SIP ファクス番号を 38 桁以内で入力します。ダイアルはテンキーから入力します。



- SIP ファクス送信が「する」に設定されているときは、トーン、ポーズは使用できません。
- SIP ファクスの電話番号と、通常のファクスの電話番号は異なります。お間違えのないよう入力してください。

■ SIP ファクス送信

SIP ファクス送信をするときは［する］を選択します。

■ 相手先機種

相手先の機種に応じて［カラー機］または［モノクロ機］を選択します。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

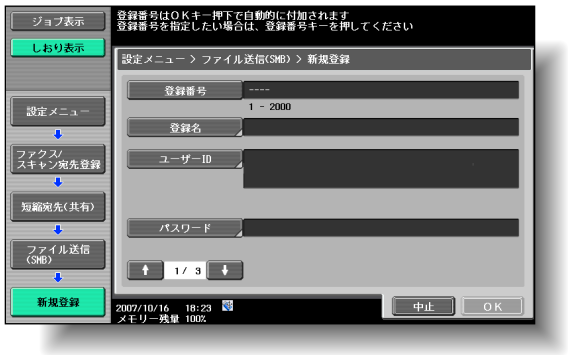
アイコンを選択します。



9.2.6　短縮宛先登録－ファイル送信（SMB）

ファイル送信（SMB）の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面



ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

2/3 画面



3/3 画面



■ 登録番号

［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ ユーザー ID

送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角 127 文字以内で入力します。

■ パスワード

送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 14 文字以内で入力します。

■ ホストアドレス

送信先のコンピューターのホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス / IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。
ホスト名の場合は半角 255 文字以内で入力します。



■ ファイルパス

保存先のファイルパスをパネルから 255 文字以内で入力します。

■ 参照

接続先のコンピューターのフォルダー構成を確認できます。送信先のフォルダーを直接確認することもできます。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



詳しく説明します

・ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。
・IP アドレスを入力してから［ホスト名入力］を押すと、入力した IP アドレスはクリアされます。
・ホスト名、ファイルパスは大文字で入力します。
・IPv6 アドレスを使用して SMB 送信を行う場合は、ダイレクトホスティングを「使用する」に設定します。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

詳しく説明します

本機が所属しているネットワーク（サブネット）上に、以下の数を超えるワークグループおよびコンピューターが存在する場合、正しく参照できない可能性があります。
・ワークグループ：128
・コンピューター：128
また、IPv6 環境では参照できません。

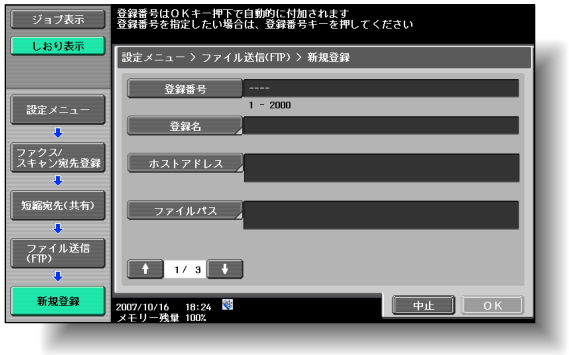
ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.7　短縮宛先登録－ファイル送信（FTP）

ファイル送信（FTP）の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面



2/3 画面



3/3 画面



■ 登録番号

［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ ホストアドレス

送信先のサーバーのホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。

ホスト名の場合は半角 63 文字以内で入力します。



■ ファイルパス

保存先のファイルパスをパネルから 96 文字以内で入力します。

■ ユーザー ID

送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角 47 文字以内で入力します。

■ パスワード

送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 31 文字以内で入力します。

■ anonymous

ホスト名へのログイン時にユーザー ID を設定しないときは［ON］を押します。

■ PASV

PASV モードの ON/OFF を選択します。

■ プロキシ

プロキシサーバー使用の ON/OFF を選択します。

■ ポート番号

ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



詳しく説明します

- ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。
- IP アドレスを入力してから［ホスト名入力］を押すと、入力した IP アドレスは保持され、文字入力画面に表示されます。
- ホスト名入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ アイコン

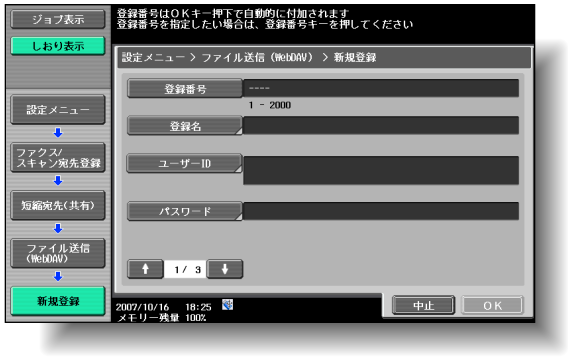
アイコンを選択します。



9.2.8　短縮宛先登録－ファイル送信（WebDAV）

ファイル送信（WebDAV）の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面



2/3 画面



3/3 画面



ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

■ 登録番号

［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ ユーザー ID

送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角 21 文字（全角 10 文字）以内で入力します。

■ パスワード

送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 63 文字以内で入力します。

■ ホストアドレス

送信先のサーバーのホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。

ホスト名の場合は半角 63 文字以内で入力します。



■ ファイルパス

保存先のファイルパスをパネルから 96 文字以内で入力します。

■ プロキシ

プロキシサーバー使用の ON/OFF を選択します。

■ SSL 設定

SSL 使用の ON/OFF を選択します。

■ ポート番号

ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。

詳しく説明します

・ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。
・IP アドレスを入力してから［ホスト名入力］を押すと、入力した IP アドレスは保持され、文字入力画面に表示されます。
・ホスト名入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

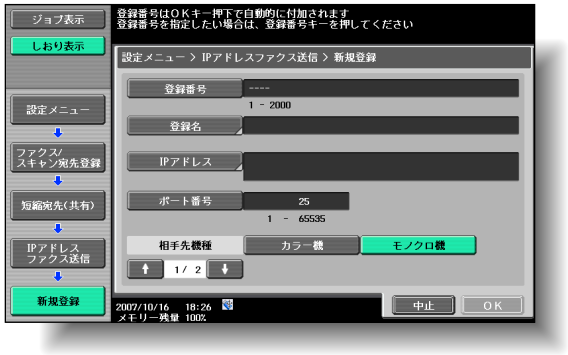
アイコンを選択します。



9.2.9　短縮宛先登録－IP アドレスファクス送信

IP アドレスファクスの宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ IP アドレス

送信先の機器のホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。

ホスト名の場合は半角 63 文字以内で入力します。



■ ポート番号

ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。

■ 相手先機種

相手先の機種に応じて［カラー機］または［モノクロ機］を選択します。

詳しく説明します

- ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。
- IP アドレスを入力してから［ホスト名入力］を押すと、入力した IP アドレスは保持され、文字入力画面に表示されます。
- ホスト名入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

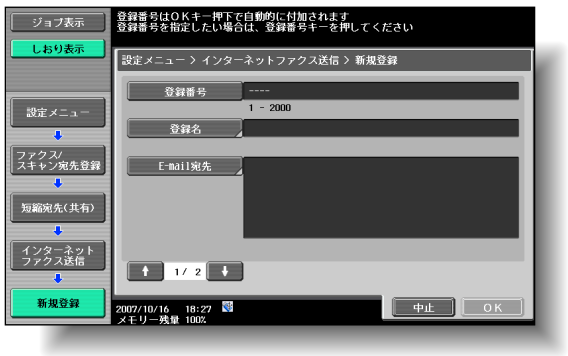
アイコンを選択します。



9.2.10　短縮宛先登録－インターネットファクス送信

インターネットファクス宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面



ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

詳しく説明します

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

2/2 画面



■ 登録番号

[登録番号] を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに [OK] を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

■ E-mail 宛先

パネルから送信先の E-mail アドレスを入力します。

■ 相手機受信能力



圧縮形式、用紙サイズ、解像度について相手機が受信可能な項目を選択します。

■ 検索文字

検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。



■ アイコン

アイコンを選択します。



9.2.11　グループ宛先登録

複数の短縮宛先をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。

グループ宛先は、ファクス / スキャン機能で 100 グループ（00 ～ 99）まで登録できます。

ひとつのグループ宛先には短縮宛先を 500 か所まで登録できます。

［新規登録］を押すとグループ宛先を登録できます。



■ 登録名

短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

■ 宛先

宛先の種類を選択し、その中からグループに登録する宛先を選択します。



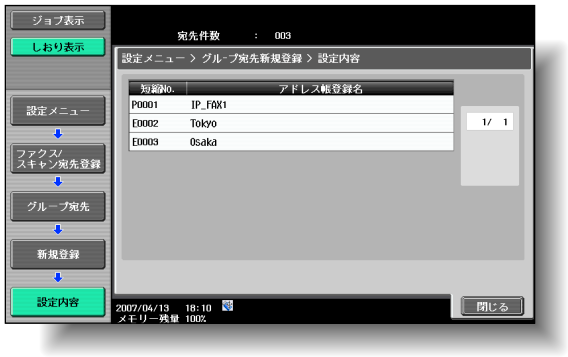
■ アイコン

アイコンを選択します。



■ 設定内容

グループに登録した短縮宛先の一覧を確認できます。



ひとこと

アイコンは、オプションの i-Option LK-101/i-Option LK-103 装着時に操作できるイメージパネル機能で使用します。

9.2.12　E-mail －件名 （E-mail/I-FAX）

E-mail 送信およびインターネットファクスの件名（Subject）を 10 個まで登録できます。送信時に登録した内容から選択できます。［新規登録］を押すと新しく件名を登録できます。



■ 件名

件名を半角 64 文字（全角 32 文字）以内で入力します。



9.2.13　E-mail －本文 （E-mail/I-FAX）

E-mail 送信およびインターネットファクスの本文（Subject）を 10 個まで登録できます。送信時に登録した内容から選択できます。［新規登録］を押すと新しく本文を登録できます。



詳しく説明します

- 登録した件名を確認するときは、件名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した件名の設定内容を変更するときは、件名を選択し［編集］を押します。
- 登録した件名を削除するときは、件名を選択し［削除］を押します。
- 初期値に設定したい件名は、件名を選択し［初期値設定］を押します。

ひとこと

- 登録した本文を確認するときは、本文を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した本文の設定内容を変更するときは、本文を選択し［編集］を押します。
- 登録した本文を削除するときは、本文を選択し［削除］を押します。
- 初期値に設定したい本文は、本文を選択して［初期値設定］を押します。

■ 本文

本文を半角 256 文字（全角 128 文字）以内で入力します。



9.2.14　ファクス / スキャンプログラム

頻繁に送信する宛先と読込み設定、原稿設定、通信設定を組み合わせてプログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、プログラムキーを押すだけで、登録されている宛先と読込み設定、原稿設定、通信設定の機能を呼び出して使うことができます。

■ プログラム登録

1. 操作パネルの【ファクス / スキャン】を押してからプログラム登録したい読込み設定、原稿設定、通信設定を行います。
2. 【プログラム】を押します。
3. 登録されていないキーを選択して［プログラム登録］を押します。

   プログラム登録画面が表示されます。



■ プログラム登録－登録名

プログラムの登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

詳しく説明します

- プログラムには、通常のプログラム 400 個と一時的に使用する「一時プログラム」を 10 個登録することができます。
- プログラムが 410 件登録されている場合は、不要なプログラムを削除してから登録してください。

■ プログラム登録－宛先

宛先を 1 か所選択できます。登録宛先または直接入力で宛先を選択してください。



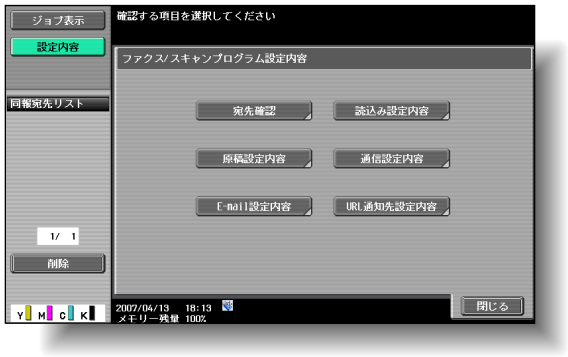
■ プログラム登録－ URL 通知先

ファイル送信（FTP）、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（WebDAV）時のジョブの終了を E-mail で通知する場合に設定できます。登録宛先または直接入力で宛先を選択してください。



■ 設定内容

すでに登録したプログラムの内容を確認するときに押します。確認したら［閉じる］を押します。

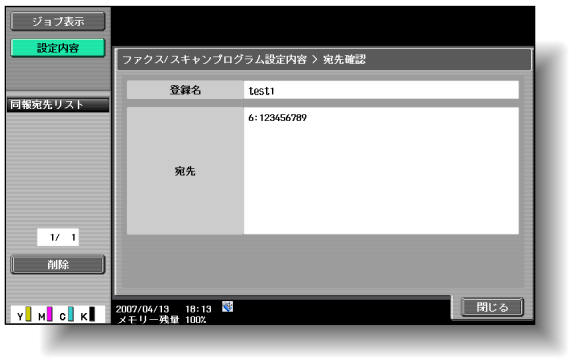


ひとこと

・「宛先 2 度入力（登録）」が設定されている場合は、［直接入力］でファクス宛先を指定すると、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［OK］を押します。
・宛先 2 度入力機能については、「機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能（登録）（G3/SIP）」（p. 10-25）をごらんください。

■ 設定内容－宛先確認

設定されている宛先を確認できます。



■ 設定内容－読込み設定内容

設定されている読込み設定内容を確認できます。



■ 設定内容－原稿設定内容

設定されている原稿設定内容を確認できます。



■ 設定内容－通信設定内容

設定されている通信設定内容を確認できます。



■ 設定内容－ E-mail 設定内容

設定されている E-mail 設定内容を確認できます。



■ 設定内容－ URL 通知先設定内容

設定されている URL 通知先設定内容を確認できます。



■ 削除

すでに登録したプログラムを削除するときに押します。削除するときは［はい］を選択し、［OK］を押します。



9.2.15　着信拒否宛先登録（G3）

着信拒否したい相手先の番号をあらかじめ登録しておき、迷惑ファクスを受信しないように設定できます。

登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合は受信しません。

NTT とナンバーディスプレイ機能の契約が必要になります。契約完了後に機能を設定してください。

詳しく説明します

着信拒否宛先を登録するには、設定メニューの［ナンバーディスプレイ機能］を［ON］に設定しておく必要があります。［ナンバーディスプレイ機能］については、「機能 ON/OFF 設定－ナンバーディスプレイ機能」（p. 10-24）をごらんください。

詳しく説明します

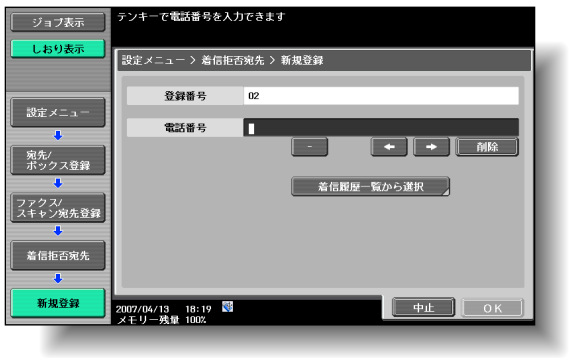
・登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
・登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

［新規登録］を押すと着信拒否宛先を登録できます。



■ 電話番号

着信拒否したい電話番号を 38 桁以内で入力します。



■ 着信履歴一覧から選択

過去の着信履歴から選択する場合に押します。履歴から登録したい番号を選択し、［OK］を押します。



9.2.16　ボックス登録－親展ボックス（G3）

親展送信のためのボックスは、共有 / 個人ボックス登録時に親展送信の設定を行います。

詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

9.2.17　ボックス登録－掲示板ボックス（G3）

掲示板ボックス登録については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

9.2.18　ボックス登録－中継ボックス（G3）

中継ボックス登録については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

9.2.19　参照許可設定－宛先レベル設定

短縮宛先の参照許可レベルを設定します。設定を行うレベルのユーザーとしてログインし、宛先のレベルを変更します。

■ 短縮宛先

レベルを変更する宛先を選択し、[参照許可グループ設定] または [参照許可レベル設定] を押し、設定を行います。



■ グループ宛先

レベルを変更する宛先を選択し、[参照許可グループ設定] または [参照許可レベル設定] を押し、設定を行います。



詳しく説明します

- 登録された宛先レベルは「0」になっています。
- ログインしたユーザーレベルよりも高いレベルやグループを設定することはできません。
- 宛先にグループを設定する場合は、あらかじめ管理者設定でグループの登録が必要です。参照許可グループについて詳しくは、「ユーザーズガイドコピー機能編」をごらんください。

■ プログラム宛先

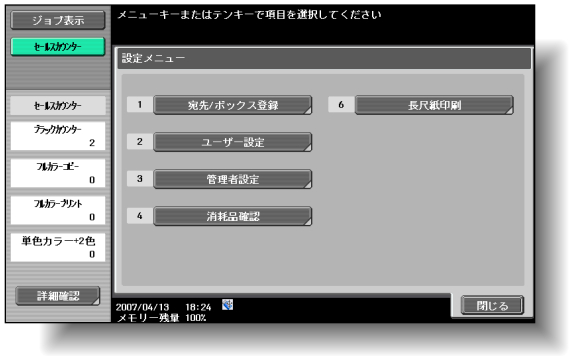
レベルを変更する宛先を選択し、[参照許可グループ設定] または [参照許可レベル設定] を押し、設定を行います。



9.3 ユーザー設定

9.3.1 ユーザー設定画面を表示させる

ユーザー画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押し、表示された設定メニューから［ユーザー設定］を押します。



詳しく説明します

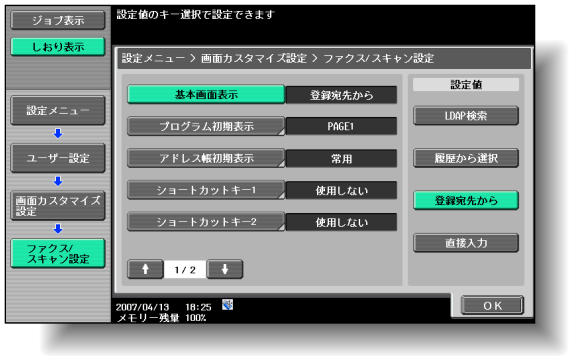
設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［2 ユーザー設定］の場合はテンキーの【2】を押します。

9.3.2 画面カスタマイズ設定－ファクス / スキャン設定

ファクス / スキャン画面のカスタマイズを行います。

■ 基本画面表示

ファクス / スキャン画面の初期表示を設定します（初期値：登録宛先から）。



■ プログラム初期表示

ファクス / スキャンプログラム画面の初期表示を設定します（初期値：PAGE1）。



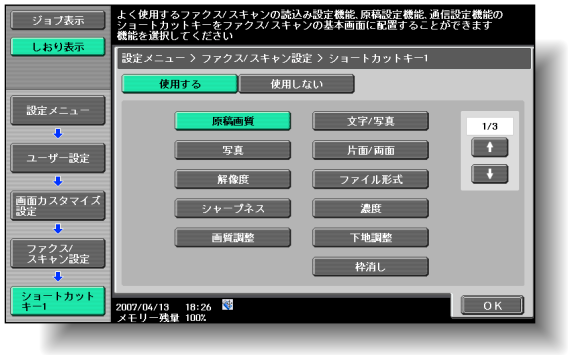
■ アドレス帳初期表示

［登録宛先から］に表示する検索文字の種類を選択します（初期値：常用）。



■ ショートカットキー 1/ ショートカットキー 2

画面の下のファクス / スキャンの読込み設定、原稿設定、通信設定の各種機能へのショートカットキーを 2 個まで登録できます。



■「登録宛先から」初期表示

登録宛先の表示方法を検索文字 / 宛先種類から選択します。



詳しく説明します

・ショートカットキーは 2 種類設定できます。オプションのイメージコントローラ IC-409 を装着しているとき、設定できるショートカットキーは 1 種類です。
・ショートカットキーを消去するときは［使用しない］を押します。

9.3.3　画面カスタマイズ設定－ファクス動作中画面（G3/IP/SIP/I-FAX）

ファクス動作中画面のカスタマイズを行います。

■ 送信中画面表示

送信中のメッセージを表示する / しないを設定します（初期値：しない）。



■ 受信中画面表示

受信中のメッセージを表示する / しないを設定します（初期値：しない）。



9.3.4　画面カスタマイズ設定－検索オプション設定（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/G3/IP/SIP/I-FAX）

登録宛先の詳細検索を行うとき、検索オプション画面の表示内容を設定します。



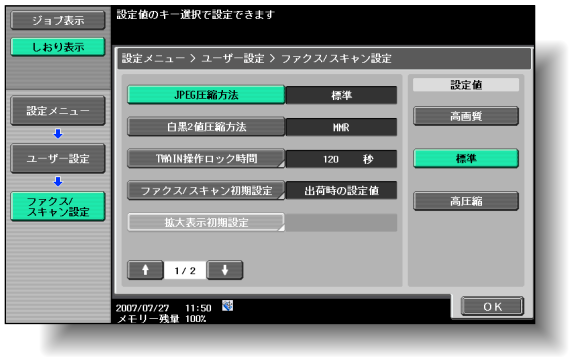
項目	内容
英大文字と英小文字	英大文字と小文字を検索時に区別する / 区別しないを選択します。
検索オプション画面	詳細検索時に検索オプション画面を表示する / 表示しないを選択します。「表示する」を選択すると、検索オプション画面が表示されます。

9.3.5　ファクス / スキャン設定

■ JPEG 圧縮方法 （E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス /SIP/IP）

画像をフルカラーで保存するときの圧縮方法を設定します。

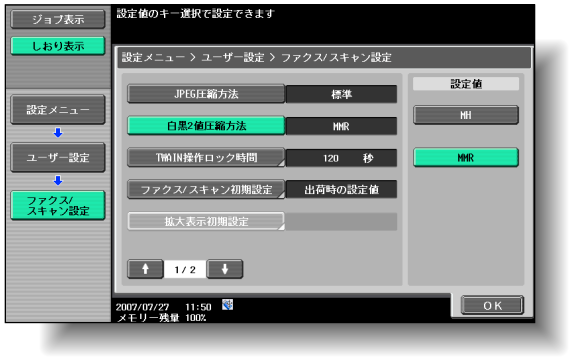
- 高画質：データサイズが大きくなりますが、高画質になります。
- 標準（初期値）：データサイズ、画質ともに「高画質」と「高圧縮」の中間になります。
- 高圧縮：データサイズが小さくなりますが、低画質になります。



■ 白黒 2 値圧縮方法

画像を白黒 2 値で送信するときの符号化方式の能力を設定します。

- MH：データサイズが大きくなります。
- MMR（初期値）：データサイズが小さくなります。



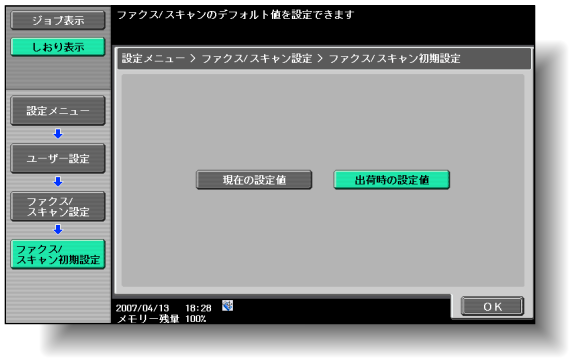
■ TWAIN 操作ロック時間

プッシュスキャンを除くスキャン操作による装置の操作ロック自動解除時間を設定します。（初期値：120 秒）



■ ファクス / スキャン初期設定

ファクス / スキャン画面の初期設定値（【リセット】を押したときの設定値）を設定します。



ひとこと

保存したデータをコンピューターで開くとき、アプリケーションによっては MMR 圧縮のデータを開けないことがあります。

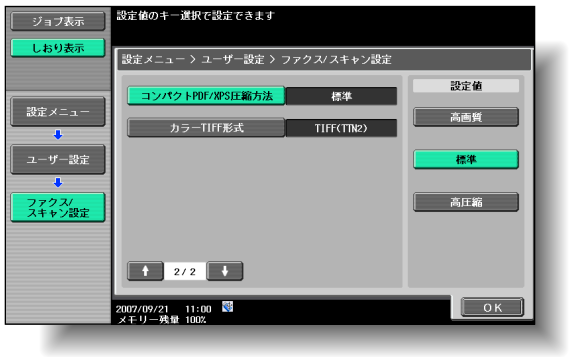
ひとこと

・TWAIN を使用してアプリケーションソフトから本機をスキャナーとして使用する場合は、専用のドライバーソフトウェア「KONICA MINOLTA TWAIN」をインストールしてください。詳しくは、bizhub C353 シリーズ CD 内の TWAIN ドライバーのマニュアルをごらんください。
・オプションのイメージコントローラ IC-409 を装着しているとき、この機能は使用できません。

■ コンパクト PDF/XPS 圧縮方法 （E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV）

コンパクト PDF 形式およびコンパクト XPS 形式で保存するときの圧縮方法を設定します。

- 高画質：データサイズが大きくなりますが、高画質になります。
- 標準（初期値）：データサイズ、画質ともに「高画質」と「高圧縮」の中間になります。
- 高圧縮：データサイズが小さくなりますが、低画質になります。



■ カラー TIFF 形式（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV）

TIFF 形式のデータをカラーで保存する場合の圧縮方式を選択します。［TIFF（modified TAG)］を選択して保存したデータをアプリケーションで開くことができない場合、［TIFF（TTN2)］（初期値）に変更してください。



第 10 章
管理者モード設定

管理者モードでファクス / スキャン関連の設定を行います。

10.1　はじめに設定してください 10-2
10.2　管理者モードのメニューツリー 10-4
10.3　管理者設定 （E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV） 10-7
10.4　管理者設定 （G3） 10-11
10.5　管理者設定 （IP/SIP/I-FAX） 10-39

10.1 はじめに設定してください

10.1.1 E-mail

E-mail 送信やインターネットファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてごらんください。

■ **管理者 E-mail アドレス**

■ **TCP/IP 設定**

■ **E-mail 送信（SMTP）**

参照
詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.2 ボックス

ボックス保存を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ボックスへの保存方法は、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

■ **ボックス登録**

設定手順は、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

10.1.3 SMB 送信

ファイル送信（SMB）を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてごらんください。

■ **TCP/IP 設定**

■ **SMB クライアント設定**

参照
詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.4 FTP 送信

ファイル送信（FTP）を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてごらんください。

■ **TCP/IP 設定**

■ **FTP 設定**

参照
詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.5 G3 ファクス

G3 ファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ **発信元 / ファクス ID 登録**

「ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録」（p. 10-12）をごらんください。

■ **回線パラメーター設定**

「ファクス設定－回線パラメーター設定」（p. 10-16）をごらんください。

10.1.6　インターネットファクス

インターネットファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ ネットワークファクス機能設定

■ 発信元 / ファクス ID 登録

「ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録」（p. 10-12）をごらんください。

■ 本体 E-mail アドレス

設定手順は、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

■ 本体登録

設定手順は、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

■ TCP/IP 設定

■ E-mail 設定

参照
詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.7　IP アドレスファクス

■ ネットワークファクス機能設定

■ 発信元 / ファクス ID 登録

「ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録」（p. 10-12）をごらんください。

■ TCP/IP 設定

■ SMTP 送受信設定

参照
詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.8　SIP ファクス

■ ネットワークファクス機能設定

■ 発信元 / ファクス ID 登録

「ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録」（p. 10-12）をごらんください。

■ 管理者 E-mail アドレス

■ TCP/IP 設定

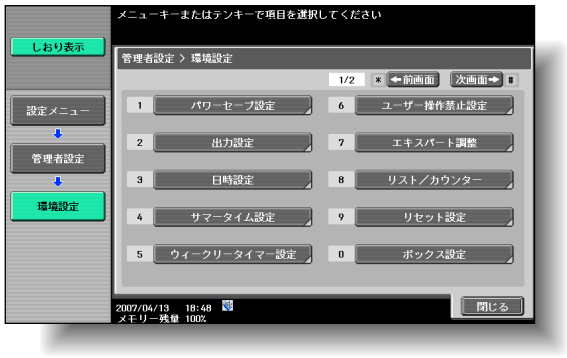
■ SMTP 送受信設定

参照
詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.2 管理者モードのメニューツリー

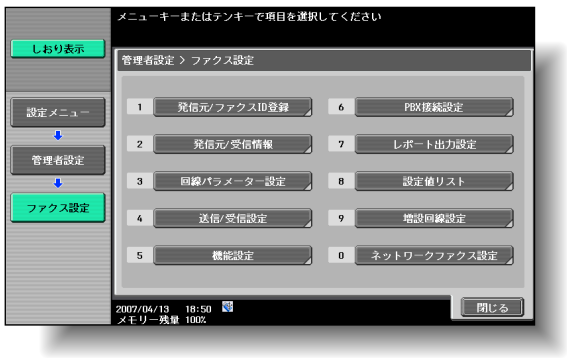
管理者設定で操作できる設定項目は以下のとおりです。このメニューツリーではネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスに関連する項目を記載しています。

10.2.1 環境設定



- 1 パワーセーブ設定
  - パワーセーブ移行（p. 10-11）
- 2 出力設定
  - 1 受信印刷出力設定
    - ファクス（p. 10-11）
- 6 ユーザー操作禁止設定
  - 3 変更禁止設定
    - 登録宛先変更（p. 10-7）
    - From アドレス変更（p. 10-7）
  - 4 操作禁止設定
    - 複数宛先禁止（p. 10-8）
- 9 リセット設定
  - 3 モードリセット
    - 送信後設定解除（p. 10-8）
- スタンプ設定
  - 1 ヘッダー / フッター設定（p. 10-8）
  - 2 ファクス送信設定（p. 10-12）

10.2.2 ファクス設定



- 1 発信元 / ファクス ID 登録
  - 発信元（p. 10-12）
  - ファクス ID（p. 10-13）
- 2 発信元 / 受信情報
  - 発信元情報（p. 10-13）
  - 相手先印字（p. 10-14）
  - 受信情報（p. 10-15）
- 3 回線パラメーター設定
  - ダイアル方式（p. 10-16）
  - 受信方式（p. 10-16）
  - 着信回数設定（p. 10-16）
  - オートリダイアル回数（p. 10-17）
  - オートリダイアル間隔（p. 10-17）
  - TEL/FAX 自動切換え（p. 10-17）
  - 外部 TEL 呼出しモニター音（p. 10-18）
  - 外部 TEL 呼出時間（p. 10-18）
  - 留守番電話接続設定（p. 10-18）
  - 回線モニター音（p. 10-19）
  - 回線モニター音レベル（p. 10-19）
- 4 送信 / 受信設定
  - 受信原稿両面印刷（p. 10-19）

- インチ系用紙優先選択（p. 10-20）
- 記録用紙優先選択（p. 10-20）
- 記録用紙サイズ（p. 10-20）
- ボックス番号エラー動作（p. 10-21）
- 着信拒否時の動作（p. 10-21）
- 給紙トレイ固定（p. 10-21）
- 縮小率（p. 10-22）
- ページ分割記録（p. 10-22）
- ポーリング送信後文書（p. 10-22）
- 受信印刷部数（p. 10-23）

5 機能設定
- 1 機能 ON/OFF 設定
  - F コード送信機能（p. 10-23）
  - 中継受信機能（p. 10-23）
  - 中継印刷（p. 10-24）
  - 宛先確認表示機能（p. 10-24）
  - ナンバーディスプレイ機能（p. 10-24）
  - 宛先 2 度入力機能（送信）（p. 10-25）
  - 宛先 2 度入力機能（登録）（p. 10-25）
- 2 ダイアルイン設定（p. 10-25）
- 3 強制メモリー受信設定（p. 10-26）
- 4 閉域受信設定（p. 10-26）
- 5 転送ファクス設定（p. 10-26）
- 6 リモート受信設定（p. 10-27）
- 7 再送信設定（p. 10-28）
- 8 PC-FAX 受信設定（p. 10-28）
- 9 TSI 受信振分け設定（p. 10-28）
  - 該当ボックスなし設定
  - 受信後印刷
  - TSI 受信振分け先登録（p. 10-29）

6 PBX 接続設定（p. 10-30）

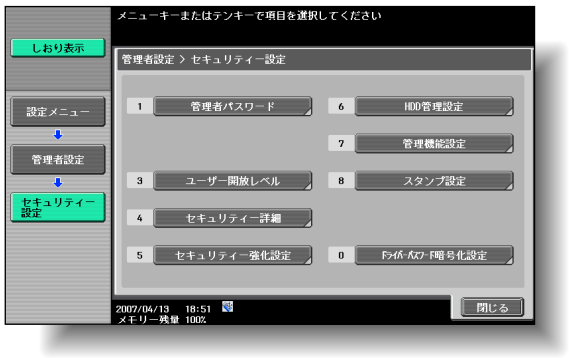
7 レポート出力設定
- 通信管理レポート（p. 10-30）
- 送信結果レポート（p. 10-31）
- 順次通信結果レポート（p. 10-31）
- 予約レポート（p. 10-31）
- 親展受信レポート（p. 10-32）
- 掲示板送信結果レポート（p. 10-32）
- 中継結果レポート（p. 10-32）
- 中継依頼受付レポート（p. 10-33）
- PC-FAX 送信エラーレポート（p. 10-33）
- 同報結果レポート出力（p. 10-33）
- 送信結果レポート画面（p. 10-34）
- ネットワークファクス受信エラーレポート（p. 10-40）
- MDN メッセージ（p. 10-41）
- DSN メッセージ（p. 10-41）
- 正常受信メール本文印刷（p. 10-41）

8 設定値リスト（p. 10-34）

9 増設回線設定
- 1 回線パラメーター設定
  - ダイアル方式（p. 10-35）
  - 着信回数設定（p. 10-35）
  - 回線モニター音（p. 10-35）
- 2 機能設定
  - PC-FAX 送信設定（p. 10-36）
  - ナンバーディスプレイ機能（p. 10-36）
    - ネームディスプレイ機能
    - 着信中の発信者情報表示
- 3 複数回線使用設定（p. 10-36）
- 4 ファクス ID（p. 10-37）

0 ネットワークファクス設定
- 1 白黒 2 値圧縮方法（p. 10-42）
- 2 SIP アダプター接続確認（p. 10-42）
- 3 インターネットファクス自機受信能力（p. 10-42）
- 4 インターネットファクス拡張設定（p. 10-43）

10.2.3　セキュリティー設定



4 セキュリティー詳細
- 手動宛先入力（p. 10-10）
- FAX 送信禁止（p. 10-37）
- 個人情報非表示（p. 10-37）
- 通信履歴表示（p. 10-38）

10.3　管理者設定　（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV）

E-mail 送信、ボックス保存、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（FTP）、ファイル送信（WebDAV）で行う管理者設定について説明します。

10.3.1　　管理者設定画面を表示させる

管理者設定画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押し、表示された設定メニューから［管理者設定］を押します。続けて管理者設定パスワードを入力し、［OK］を押します。

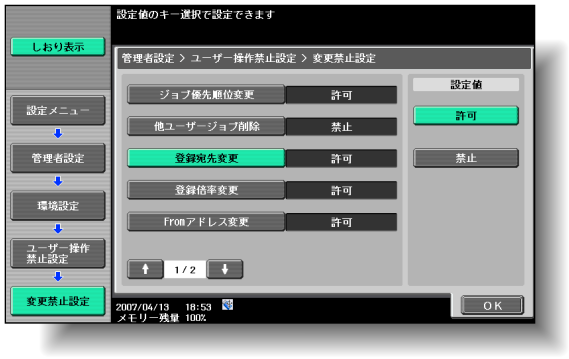


10.3.2　　環境設定－ユーザー操作禁止設定

ユーザーモードで操作を禁止する項目を設定します。

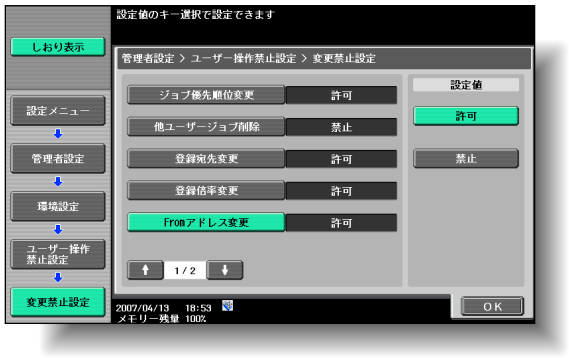
■ 変更禁止設定－登録宛先変更

宛先の登録や変更操作の許可 / 禁止を設定します。



■ 変更禁止設定－ From アドレス変更（E-mail）

From アドレスの変更操作の許可 / 禁止を設定します。



詳しく説明します

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［1 宛先 / ボックス登録］の場合はテンキーの【1】を押します。

■ 操作禁止設定－複数宛先禁止

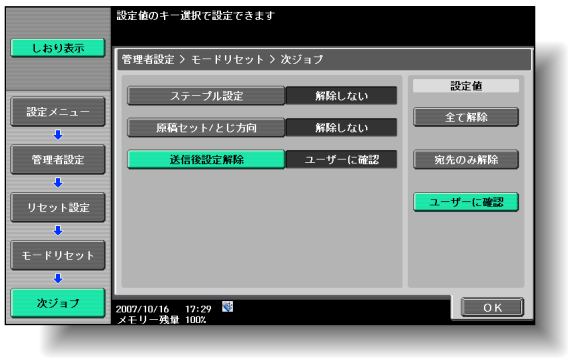
複数宛先の指定禁止をする / しないを設定します。



10.3.3　環境設定－リセット設定－モードリセット－次ジョブ－送信後設定解除

送信時に設定していた読込み設定などの内容を、送信後に解除するかどうかを設定します。

- 全て解除：すべての設定を解除します。
- 宛先のみ解除：宛先の設定のみを解除します。
- ユーザーに確認：解除するかどうかをパネル上で確認するメッセージが表示されます。



10.3.4　環境設定－スタンプ設定－ヘッダー / フッター設定

すべてのページに挿入するヘッダー / フッターの設定を行います。ここで設定したヘッダー / フッターはファクス / スキャン、および印刷に使用できます。

ヘッダー / フッター設定画面で［登録］を押すと登録画面が表示され、新しいヘッダー / フッターを登録できます。



■ 登録名

ヘッダー / フッターの登録名称をパネルから半角 16 文字（全角 8 文字）以内で設定します。

■ ヘッダー設定、フッター設定

ヘッダー / フッターの印刷を行うかどうかを設定します。[印刷する] を押すと、文字列、日付 / 時刻、その他（部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号）の設定ができます。



■ ヘッダー設定、フッター設定－文字列

パネルからヘッダー / フッターの文字列を設定します。

■ ヘッダー設定、フッター設定－日付 / 時刻

ヘッダー / フッターの日付 / 時刻の内容を設定します。



■ ヘッダー設定、フッター設定－その他

ヘッダー / フッターの部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号の内容を設定します。



■ 印字ページ

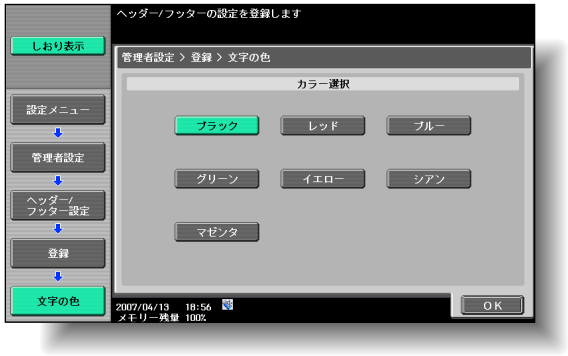
印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。

ひとこと

シリアル番号は本機につけられているシリアル番号を指しています。設定についてはサービス実施店にお問い合わせください。

■ 文字の色

印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。



■ 文字サイズ

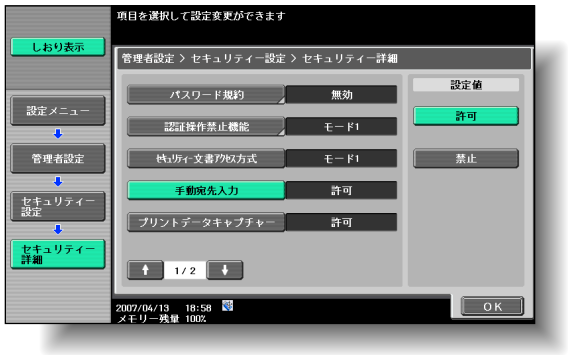
印字する文字サイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。



10.3.5　セキュリティー設定−セキュリティ詳細

■ 手動宛先入力

手動入力の許可 / 禁止を設定します。「禁止」を選択すると、直接入力タブが表示されなくなり、宛先を直接入力できなくなります。



10.4 管理者設定 （G3）

G3 ファクス送信で行う管理者設定について説明します。ここで説明されている内容はネットワークファクスも共通です。

10.4.1 環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行

パワーセーブ状態への移行条件を設定します。

- 通常：パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後一定時間後にパワーセーブ状態に移行します。
- 即時（初期値）：パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後すぐにパワーセーブ状態に移行します。



10.4.2 環境設定－出力設定－受信印刷出力設定－ファクス

受信文書のプリント方法を設定します。

- 一括文書（初期値）：文書をすべて受信してからプリントを開始します。
- 同時印刷：文書を 1 ページ受信するごとにプリントを行います。



10.4.3 環境設定－ユーザー操作禁止設定

■ 変更禁止設定－登録宛先変更

設定手順は、「変更禁止設定－登録宛先変更」（p. 10-7）をごらんください。

■ 操作禁止設定－複数宛先禁止

設定手順は、「操作禁止設定－複数宛先禁止」（p. 10-8）をごらんください。

10.4.4　環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定

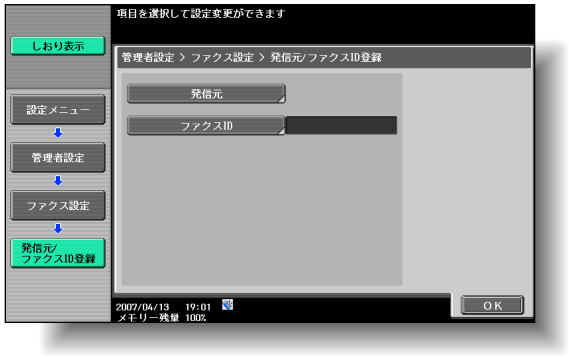
読込み時に設定したスタンプの設定をファクス送信時に解除するかどうかを設定します。

- 解除する：ファクス送信原稿はスタンプの設定が適用されずに送信されます。
- 解除しない：ファクス送信原稿にもスタンプの設定が適用されて送信されます。



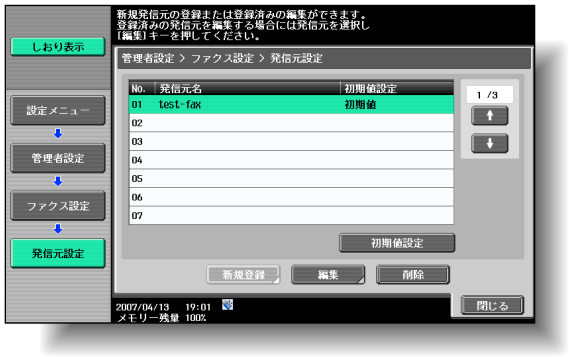
10.4.5　ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録

相手先の受信文書に記載される発信元およびファクス ID を登録します。



■ 発信元

相手機の受信文書に発信元情報として印字するための自局名称を複数登録できます。半角 30 文字（全角 15 文字）以内で入力します。



ひとこと

- 新しく発信元を登録するときは、［新規登録］を押します。
- 発信元の表示は 20 種類まで設定できます。
- 登録した発信元の設定内容を変更するときは、発信元を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した発信元を削除するときは、発信元を選択し［削除］を押します。
- 初期値に設定したい発信元は、選択して［初期値設定］を押します。

■ ファクス ID

登録したファクス ID は相手先の受信文書に発信元情報として印字されます。テンキー、＊、＃、[+]、スペースを使用して 20 文字以内で入力します。



10.4.6　ファクス設定－発信元 / 受信情報

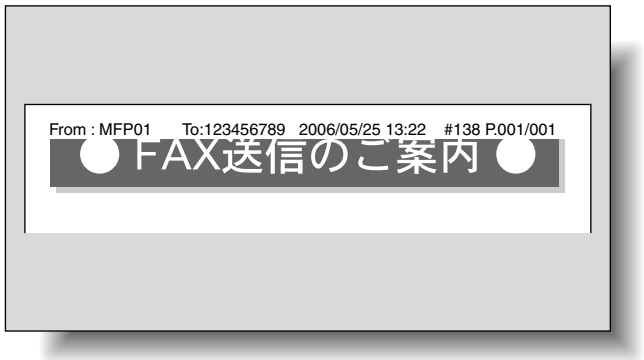
相手先の受信文書に印字される情報の位置を設定します。

■ 発信元情報

発信元情報を印字する位置を設定します。



- ［原稿内］：画像の一部にかかるように発信元情報が付加されて送信されます。



ひとこと

オプションの回線拡張キットを装着している場合は、それぞれの回線にファクス ID を登録します。

- ［原稿外］：画像の外側に発信元情報が付加されて送信されます。



- ［OFF］：発信元情報が付加されません。



■ 相手先印字

相手先に宛先ファクス番号、また発信元ファクス ID のどちらを印字するかを設定します。



- ［ON］：発信元情報に相手先名を付加して送信します。発信元ファクス ID は印字されません。



- ［OFF］：発信元情報に相手先名を付加せず、発信元ファクス ID を印字します。



■ 受信情報

受信した時刻と受信番号を印字する位置を設定します。出力例は「受信情報」（p. 5-14）をごらんください。

- ［原稿内］：画像の一部にかかるように受信情報が印刷されます。
- ［原稿外］：画像の外側に受信情報が印刷されます。
- ［OFF］：受信情報は印刷されません。

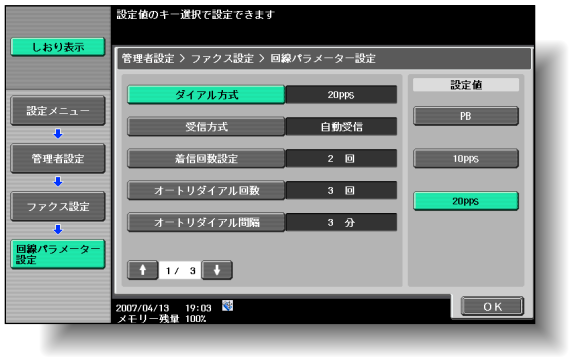


10.4.7　ファクス設定－回線パラメーター設定

発信や着信に関する項目を設定します。

■ ダイアル方式

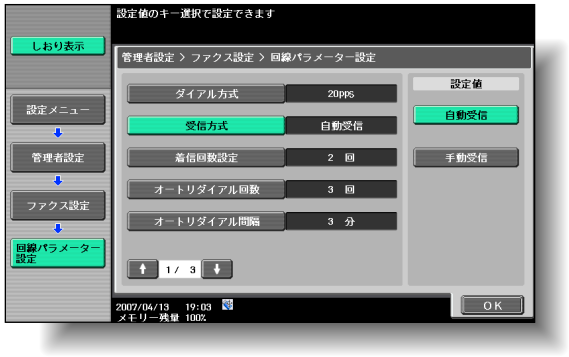
ダイアル方式を PB/10pps/20pps から設定します。



■ 受信方式

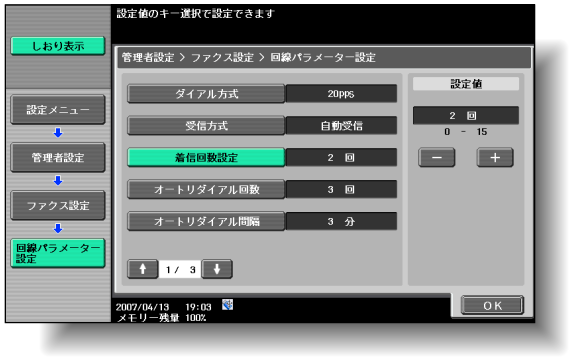
受信方式を設定します。

- ［自動受信］：自動で受信します。
- ［手動受信］：外部電話機を接続している場合など、電話がかかる機会が多い場合やリモート受信機能を使う場合に設定します。



■ 着信回数設定

着信するまでの呼出し信号の回数を 0 ～ 15 回の範囲で設定します（初期値：2 回）。

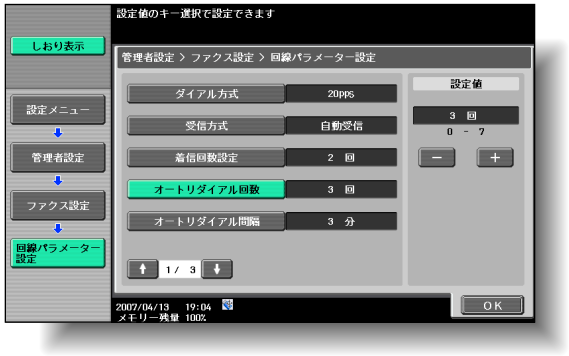


参照

・自動受信については、「自動受信（ファクス専用）」（p. 5-2）をごらんください。
・手動受信については、「手動受信（電話専用）」（p. 5-4）をごらんください。

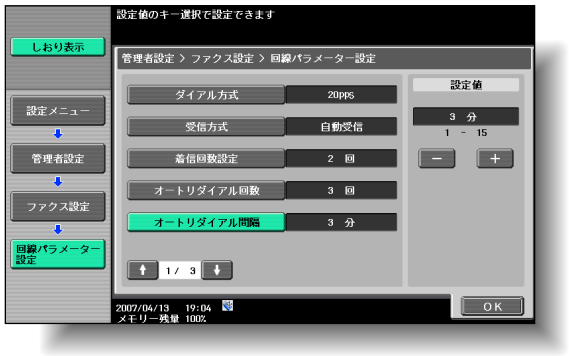
■ オートリダイアル回数

相手が話し中などで応答できない場合にリダイアルする回数を 0 ～ 7 回の範囲で設定します（初期値：3 回）。



■ オートリダイアル間隔

リダイアルの間隔を 1 ～ 15 分の範囲で設定します（初期値：3 分）。



■ TEL/FAX 自動切換え

外部電話機を接続している場合、電話とファクスの自動切り替えを行うかどうかを設定します。

- ［ON］：ファクスを優先して使う場合に設定します。着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。ファクスの場合は受信を開始し、電話の場合は接続している外部電話のベルが鳴ります。
- ［OFF］：自動切換えを行いません。



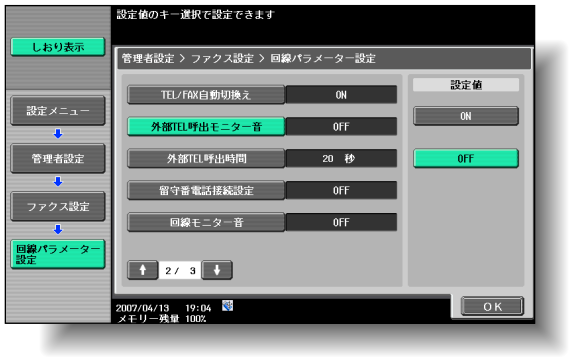
参照

TEL/FAX 自動切換えについては、「自動受信（TEL/FAX 自動切換え）」（p. 5-3）をごらんください。

■ 外部 TEL 呼出しモニター音

TEL/FAX 自動切換えを ON に設定しているときに表示されます。

- ［ON］：相手が電話の場合に本機のスピーカーから疑似呼出し音が聞こえます。
- ［OFF］：疑似呼出し音は聞こえません。



■ 外部 TEL 呼出時間

外部電話機を接続している場合、着信してから音声メッセージ 1 が流れたあとに外部電話機を呼出す時間を設定します。この時間を過ぎても相手先の応答がない（受話器がとられない）場合は、音声メッセージ 2 が流れ、自動的にファクスを受信します。

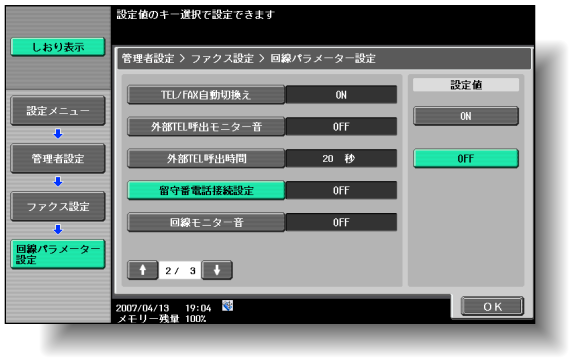
相手が電話機の場合、外部電話機を呼出す時間の長さを［↑前候補］［↓次候補］を押して設定します。



■ 留守番電話接続設定

外部電話機の留守番電話機能を設定する場合、ON に設定します。

- ［ON］：留守番電話機が先に応答し、相手先がファクスの場合は自動的にファクス受信に切換わります。
- ［OFF］：留守番電話機は応答しません。



参照

音声メッセージの内容は、「自動受信（TEL/FAX 自動切換え）」（p. 5-3）をごらんください。

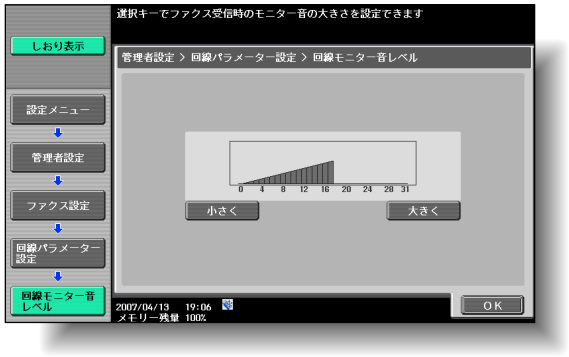
■ 回線モニター音

通信時に回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。



■ 回線モニター音レベル

スピーカーの音量を 0 ～ 31 の範囲で設定します（初期値：16）。

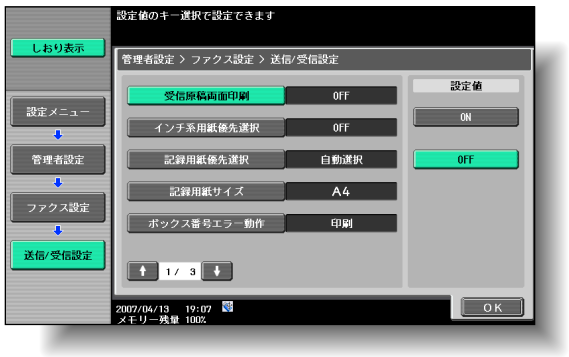


10.4.8　ファクス設定ー送信 / 受信設定

ポーリング送信時のファイルの扱いや、受信時のプリント方法を設定します。

■ 受信原稿両面印刷

ON に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。

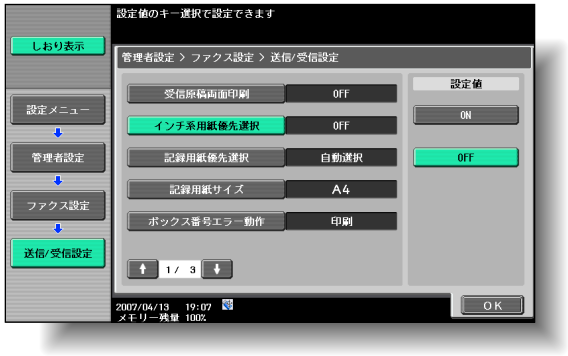


ひとこと

「ページ分割記録」が ON に設定されている場合は表示されません。

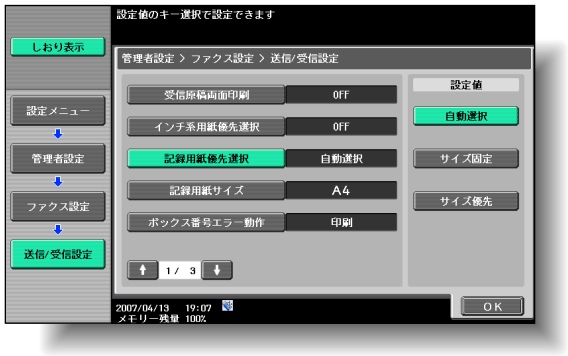
■ インチ系用紙優先選択

ON に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。



■ 記録用紙優先選択

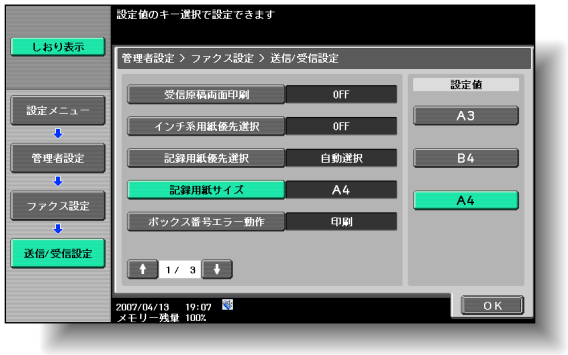
- ［自動選択］：自動的に記録紙を選択します。
- ［サイズ固定］：設定したサイズを記録用紙として使用します。
- ［サイズ優先］：優先サイズとして設定した記録用紙を使用します。優先サイズが設定されていない場合はもっとも近いサイズに記録されます。



■ 記録用紙サイズ

受信文書を出力する用紙サイズを設定します。

初期設定は「インチ系用紙優先選択」の内容によって異なります。



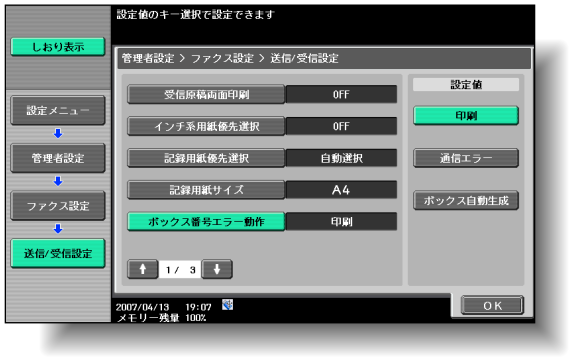
ひとこと

記録用紙サイズの設定を有効にするには、「給紙トレイ固定」を「自動」に設定してください。

■ ボックス番号エラー動作

ボックスを使用したファクス受信の場合、登録されていないボックス番号が指定された場合の動作を設定します。

- ［印刷］：受信した文書を印刷します。
- ［通信エラー］：通信エラーとして処理します。
- ［ボックス自動生成］：指定された番号のボックスを自動的に作成し、文書を保存します。

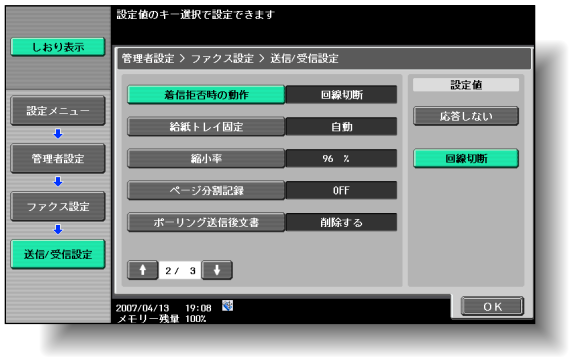


ひとこと

「パスワード規約」が ON に設定されているときは、自動生成を選択できません。

■ 着信拒否時の動作

着信拒否宛先に登録した番号から着信した場合の動作を設定します。



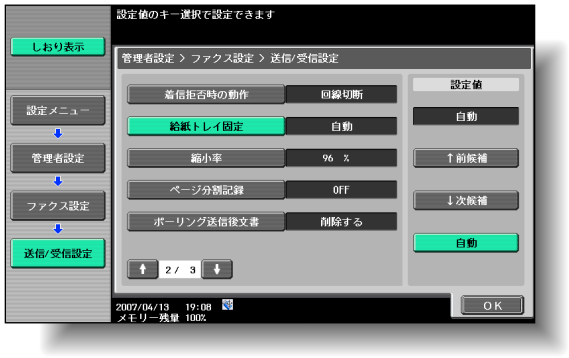
ひとこと

ナンバーディスプレイ機能を「ON」に設定している場合に設定できます。

■ 給紙トレイ固定

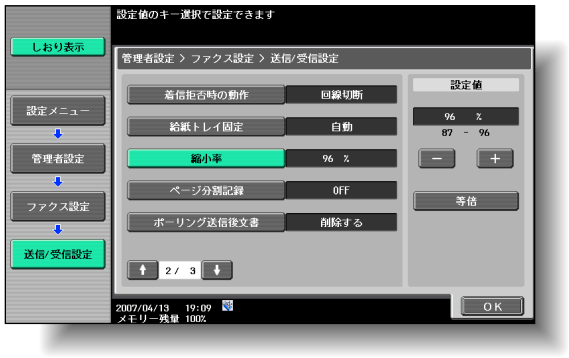
受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に、トレイを指定します。

トレイの種類は装着しているオプションによって異なります。



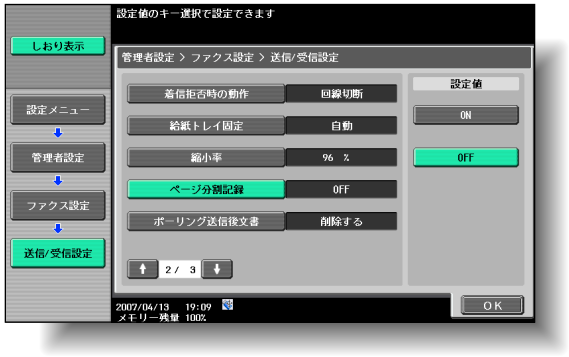
■ 縮小率

受信した原稿の出力倍率を等倍 /87 ～ 96% の範囲で設定します。



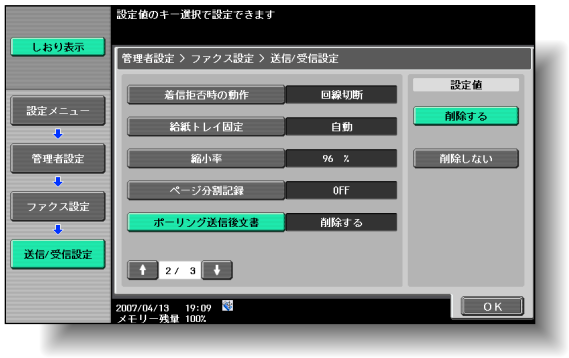
■ ページ分割記録

ON に設定すると、定形サイズよりも長い原稿を受信した場合に、ページを分割して記録します。



■ ポーリング送信後文書

ポーリング送信が終了した原稿を削除するかどうかを設定します。



ひとこと

記録時の縮小率を「等倍」に設定した場合は、「記録用紙優先選択」および「給紙トレイ固定」機能は「自動」に設定されます。または「ページ分割記録」は「OFF」に設定されます。

ひとこと

「ページ分割記録」は「受信原稿両面印刷」が ON に設定されていると表示されません。

■ 受信印刷部数

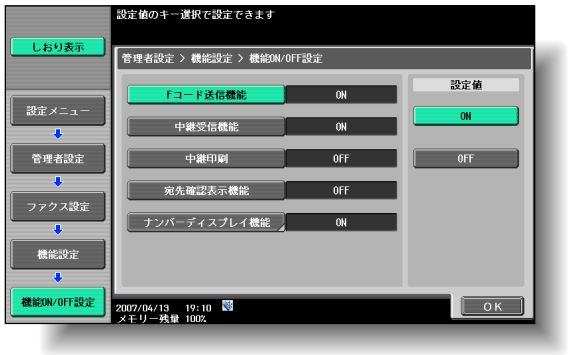
受信した文書をプリントする部数を 1 ～ 10 の範囲で設定します（初期値：1）。



10.4.9　ファクス設定－機能設定

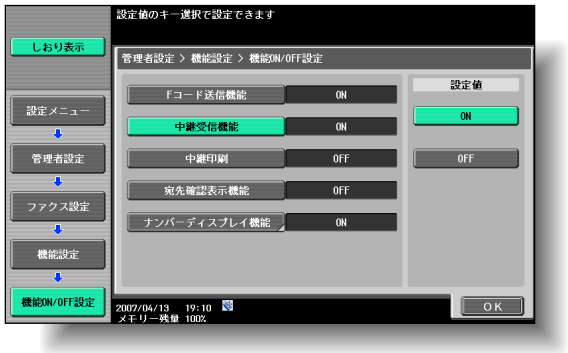
■ 機能 ON/OFF 設定－ F コード送信機能

F コード送信機能を使用するかどうかを設定します。



■ 機能 ON/OFF 設定－中継受信機能

ON に設定すると、中継配信局として、受信した文書を中継配信先に送信できるようになります。中継配信機能を利用するには、中継ボックスを登録する必要があります。



詳しく説明します

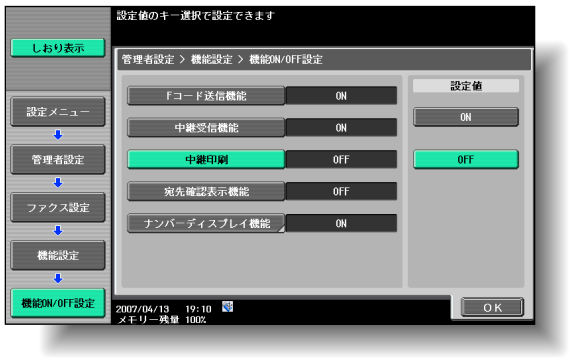
- F コード送信機能を使用する送信方法には、親展送信と中継送信があります。
- 親展送信については「親展通信（G3）」（p. 7-5）をごらんください。
- 中継送信については「中継配信（G3）」（p. 7-6）をごらんください。

参照

中継ボックスの登録方法については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

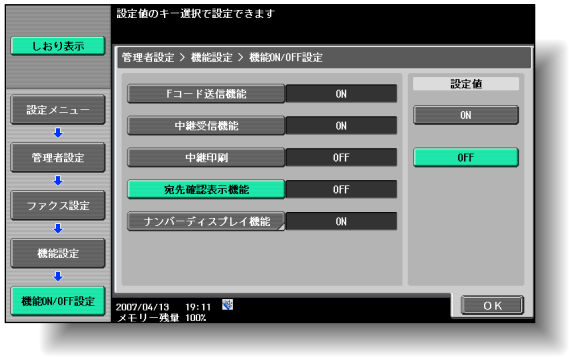
■ 機能 ON/OFF 設定－中継印刷

中継指示局から受信した文書をプリントする / しないを設定します。



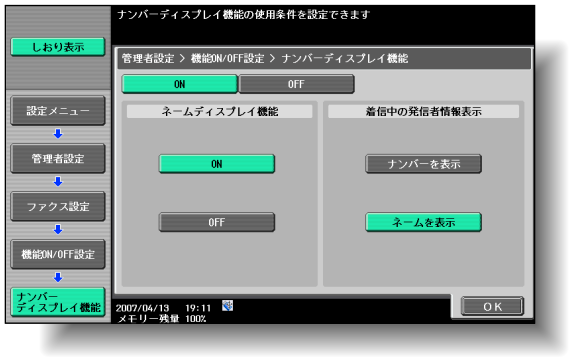
■ 機能 ON/OFF 設定－宛先確認表示機能

ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。



■ 機能 ON/OFF 設定－ナンバーディスプレイ機能

ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、ネームディスプレイ機能を使用する場合は着信中の発信者情報としてナンバーを使用するかネームを使用するかも選択できます。

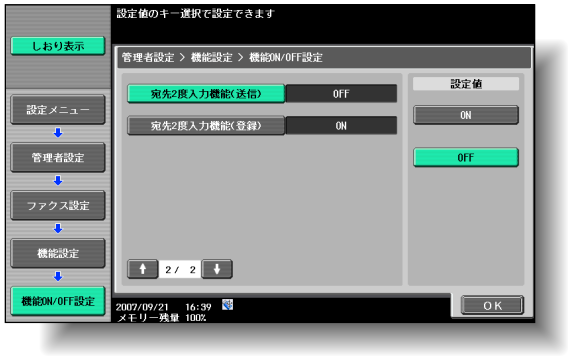


ひとこと

- ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するには、事前に NTT への申し込みが必要です。
- ナンバーディスプレイ機能を ON にしないと、ネームディスプレイ機能を設定することはできません。
- 登録されているファクス番号が着信中の発信者番号と一致する場合、登録名またはファクス番号が表示されます。

■ 機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能（送信）（G3/SIP）

直接入力でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先間違いを防ぐことができます。



■ 機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能（登録）（G3/SIP）

プログラム登録、転送ファクス設定や短縮宛先登録でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先の登録間違いを防ぐことができます。

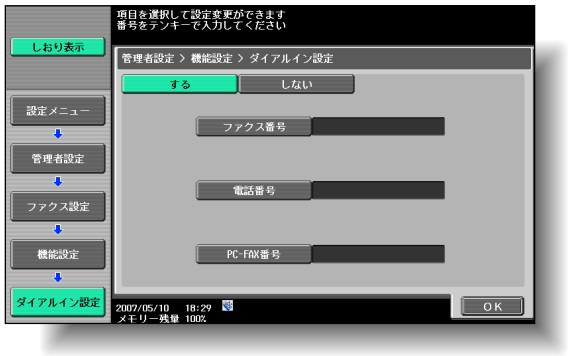


■ ダイアルイン設定

ダイアルイン機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を設定します。

ダイアルインとは、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号を別に持つことができる機能です。ファクス用の番号に着信するとファクスとして動作し、電話用の番号に着信するとファクスとしては動作しません。ダイアルイン機能を使うためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。

ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を 11 桁以内で入力してください。



ひとこと

宛先 2 度入力機能（送信）を設定すると、［オフフック］および［履歴から選択］で宛先を指定することができなくなります。

必ず守ってください

ダイアルイン設定の変更を有効にするには、本機の主電源を OFF にしたあと、ON にしてください。主電源を OFF/ON にするときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

詳しく説明します

・本機のダイアルイン機能はモデムダイアルインに限定されています。
・［PC-FAX 番号］は、「PC-FAX 受信設定」が ON に設定されているときに表示されます。

■ 強制メモリー受信設定

強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、プリント時に使用するパスワードを設定します。

［しない］を押して入力された内容をクリアしてから、テンキーでパスワードを設定します。（8 桁以内）



原則

強制メモリー受信を設定すると、以下の項目は設定できません。

- PC-FAX 受信設定
- TSI 受信振分け設定
- 転送ファクス設定

■ 閉域受信設定

閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、閉域受信に使用するパスワードを設定します。

［しない］を押して入力された内容をクリアしてから、テンキーでパスワードを設定します。（4 桁以内）



■ 転送ファクス設定

受信した文書を、あらかじめ設定しておいた相手に転送することができます。設定する項目は以下のとおりです。



ひとこと

強制メモリー受信ボックスに保存された文書を印刷する方法については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

閉域受信は、相手機がパスワード送信機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

項目	説明
出力機能	常時印刷：受信文書が転送され、本機でもプリントされます。 不達時のみ印刷：受信文書が転送され、転送できなかった場合に本機でプリントされます。
転送先	転送先のファクス番号を 38 桁以内で入力できます。登録宛先から選択することもできます。
回線指定	回線拡張キットを装着している場合は、転送を行う回線を指定することができます。

原則

転送ファクス設定を設定すると、以下の項目は設定できません。
- PC-FAX 受信設定
- TSI 受信振分け設定
- 強制メモリー受信設定

「宛先 2 度入力機能（登録）」が設定されている場合は、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［OK］を押します。



■ リモート受信設定

リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、受信に使用する番号を設定します。

［しない］を押して入力された内容をクリアしてから、テンキーでリモート受信番号を設定します（2 桁）。



ひとこと

宛先 2 度入力機能については、「機能 ON/OFF 設定－宛先 2 度入力機能（登録）（G3/SIP）」（p. 10-25）をごらんください。

参照

リモート受信については、「リモート受信」（p. 5-5）をごらんください。

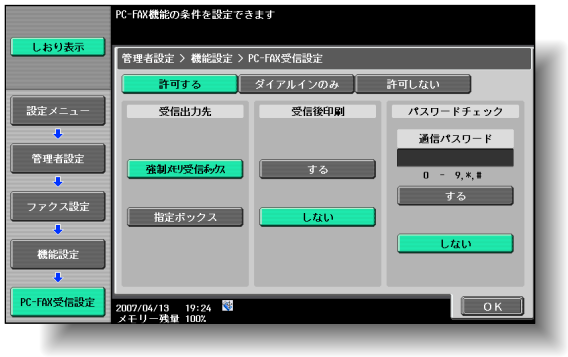
■ 再送信設定

通信エラーや相手機が電話中などの理由で、オートリダイアルでも送信できなかった文書を再送信ボックスに一時的に保存します。再送信機能を使用する場合は、ファイルを保存する時間を選択してください。



■ PC-FAX 受信設定

PC-FAX 受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、以下の内容を設定します。



項目	説明
受信出力先	受信先を強制メモリー受信ボックスまたは指定ボックスに設定できます。「指定ボックス」を選択した場合は、F コードの SUB アドレスで指定した番号のボックスに保存されます。
受信後印刷	受信後にプリントを行うかどうかを設定します。
パスワードチェック	通信パスワード（20 桁以内）を設定できます。

■ TSI 受信振分け設定

TSI 受信振分け機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は以下の項目を設定します。



ひとこと

再送信ボックスに保存された文書をファクス送信、印刷する方法については「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

詳しく説明します

・ダイアルイン設定が ON になっていると、［許可する］のあとに［ダイアルインのみ］が表示されます。ダイアルインの番号で受信したときのみ PC-FAX 受信の設定を行うことができます。
・ファクス受信文書は TIFF 形式でボックスに保存されます。

参照

PC-FAX 受信については、「PC-FAX 受信（G3）」(p. 7-3) をごらんください。

参照

TSI 受信振分け設定については、「TSI 受信振分け（G3）」(p. 7-4) をごらんください。

項目	説明
該当ボックスなし設定	該当ボックスが存在しない場合の処置を設定します。 ［受信印刷］：受信した文書を印刷します。 ［強制メモリー受信ボックス］：強制メモリー受信ボックスに保存されます。
受信後印刷	受信後に印刷を行うかどうかを設定します。
TSI 受信振分け先登録	受信を振分ける相手先を登録します。

■ TSI 受信振分け設定－ TSI 受信振分け先登録

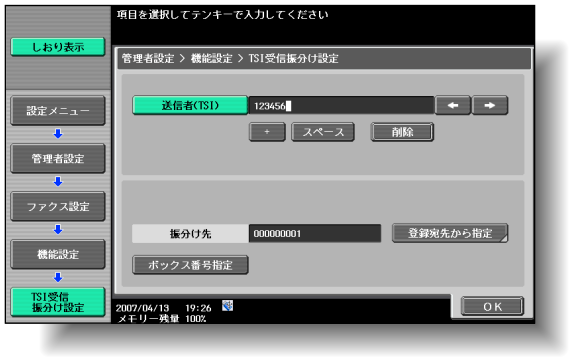
受信振分け先は 128 か所まで登録できます。設定したい番号を選択して、［編集］を押します。



■ TSI 受信振分け設定－ TSI 受信振分け先登録－ TSI 受信振分け設定

受信したファクスは、他の機器や本機のボックスに振り分けることができます。［送信者（TSI)］では、送信者のファクス ID を入力します。

［振分け先］では、振分け先を指定します。他の機器に振り分ける場合、相手先は［登録宛先から指定］で指定します。本機のボックスに振り分ける場合は［ボックス番号指定］で指定します。



ひとこと

振分け先を削除する場合は、番号を選択して、［削除］を押します。

詳しく説明します

親展受信が設定されているボックス、中継ボックスは振分け先の対象とはなりません。

10.4.10　ファクス設定－ PBX 接続設定

PBX 回線の接続方法を設定します。

PBX 接続モードが有効の場合に、外線へのアクセスコードを設定します。アクセスコードとは、0 発信の「0」のように外線に接続するための番号のことです。

短縮宛先やプログラム宛先に登録されているファクス番号の前に、ここで設定した外線番号がダイアルされます。

［しない］を押して入力された内容をクリアしてから、テンキーでアクセスコードを設定します（0 ～ 9999）。

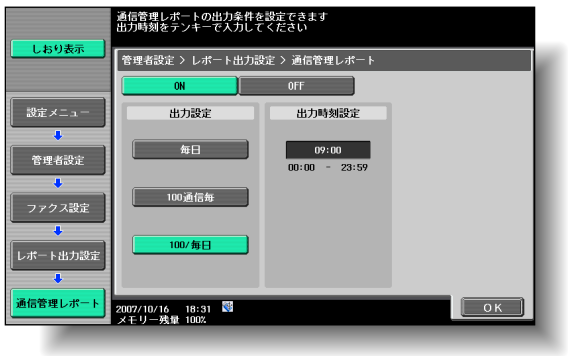


10.4.11　ファクス設定－レポート出力設定

レポートの出力方法を設定します。

■ 通信管理レポート

通信管理レポートの出力設定を行います。出力する場合は以下の内容を設定できます。



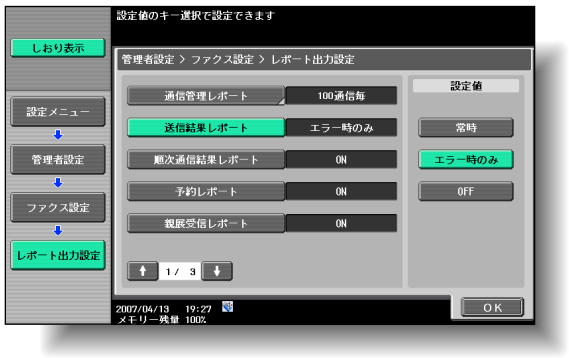
項目	内容
出力設定	出力するタイミングを設定します。 毎日：毎日決まった時刻に出力します。 100 通信毎：100 通信ごとに出力します。 100/ 毎日：毎日決まった時刻に最新の 100 通信を出力します。
出力時刻設定	出力設定で「毎日」または「100/ 毎日」を選択したときに設定できます。出力する時刻を指定します。

ひとこと

PBX 接続設定を行う場合は、ナンバーディスプレイ機能は OFF に設定してください。

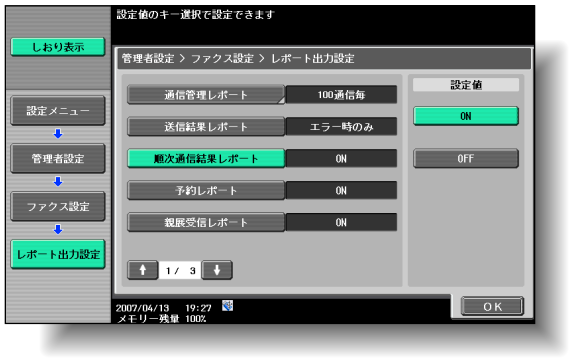
■ 送信結果レポート

送信結果レポートの出力設定を行います。出力する条件を選択します。



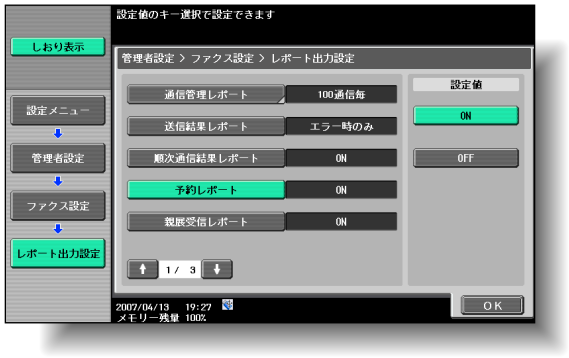
■ 順次通信結果レポート

順次通信結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



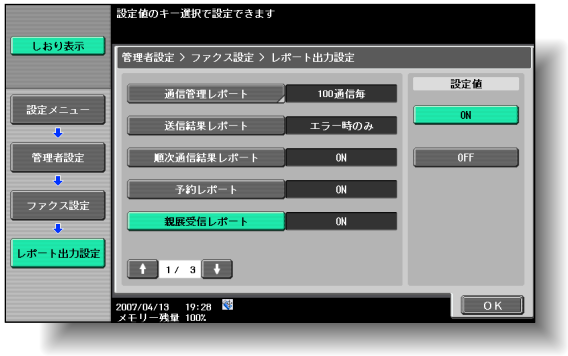
■ 予約レポート

予約レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



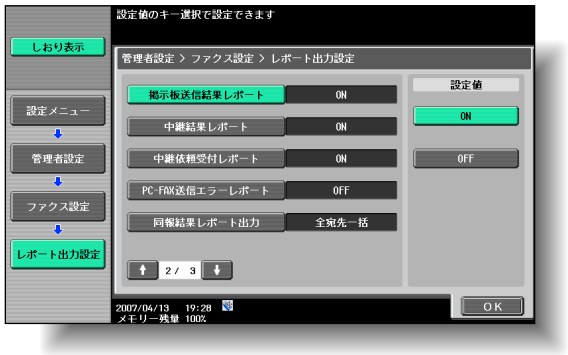
■ 親展受信レポート

親展受信レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



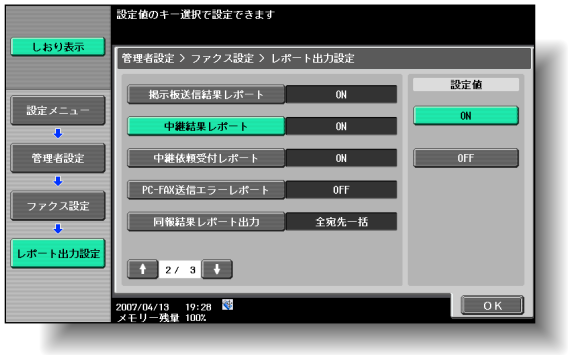
■ 掲示板送信結果レポート

掲示板送信結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



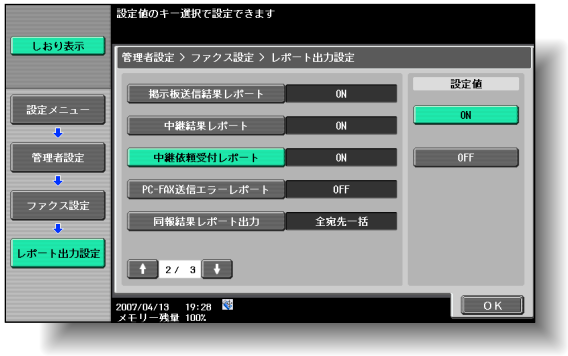
■ 中継結果レポート

中継結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



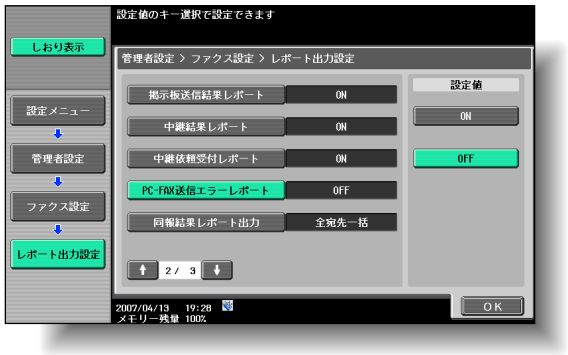
■ 中継依頼受付レポート

中継依頼受付レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



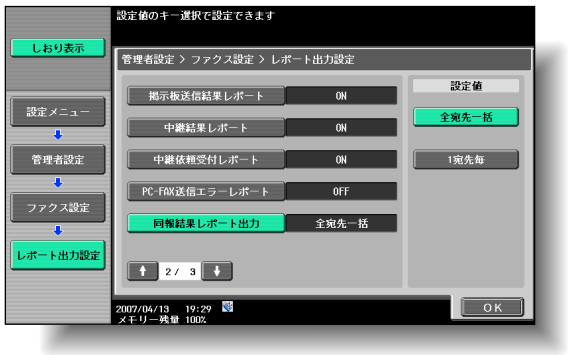
■ PC-FAX 送信エラーレポート

PC-FAX 送信エラーレポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



■ 同報結果レポート出力

同報結果レポートの出力設定を行います。出力の方法を選択します。

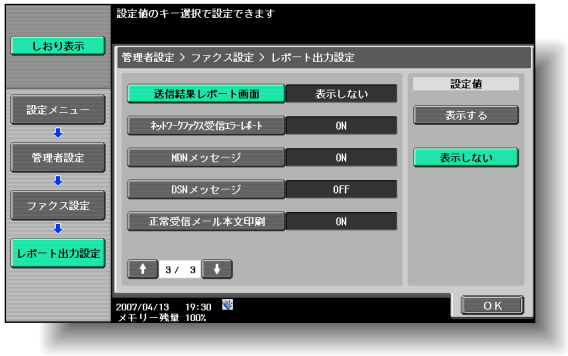


ひとこと

［1 宛先毎］選択時は、リダイアルを行っても送信できない場合にのみ、同報送信結果レポートを出力します。送信が正常に終了した場合は出力しません。

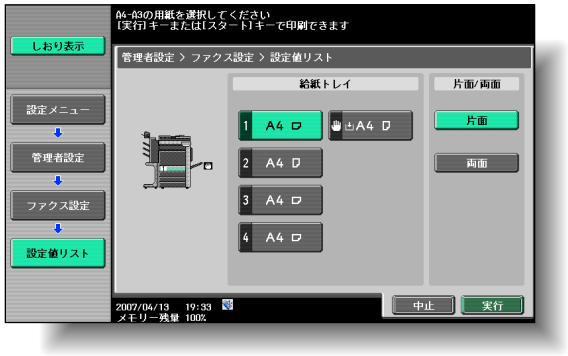
■ 送信結果レポート画面

送信結果レポート画面の表示設定を行います。表示するかどうかを選択します。



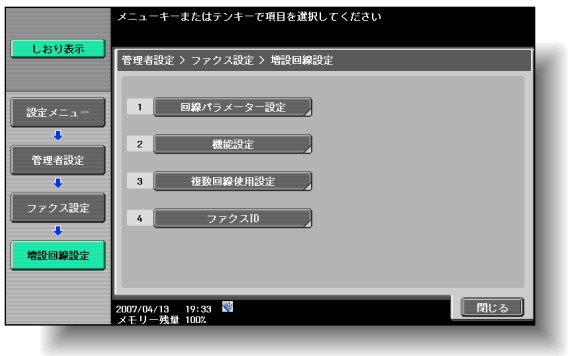
10.4.12　ファクス設定－設定値リスト

ファクス関連の設定値リストを出力します。出力する用紙のトレイを選択し、［実行］を押します。



10.4.13　ファクス設定－増設回線設定

オプションの回線拡張キットを装着している場合、増設回線の各種設定を行います。



ひとこと

設定値リストの出力例は「設定値リスト」（p. 8-10）をごらんください。

■ 回線パラメーター設定－ダイアル方式

増設回線のダイアル方式を PB/10pps/20pps から設定します。



■ 回線パラメーター設定－着信回数設定

着信するまでの呼出し信号の回数を 0 ～ 15 回の範囲で設定します（初期値：2 回）。



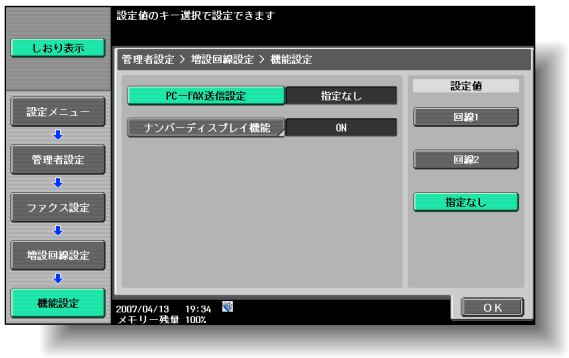
■ 回線パラメーター設定－回線モニター音

増設回線の通信時に回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。



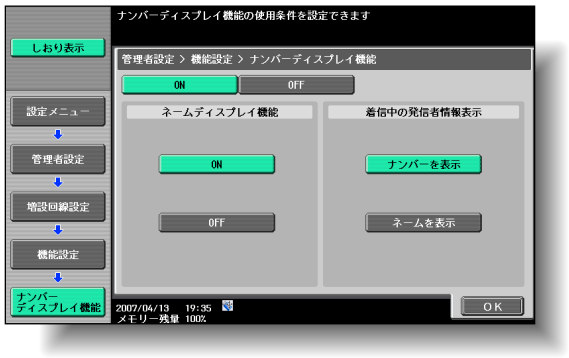
■ 機能設定－ PC-FAX 送信設定

PC-FAX で送信する時にどの回線から送信するのかを設定します。



■ 機能設定－ナンバーディスプレイ機能

増設回線でナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、ネームディスプレイ機能を使用する場合は着信中の発信者情報としてナンバーを使用するかネームを使用するかも選択できます。



■ 複数回線使用設定

増設回線の通信方法を送受信兼用 / 受信専用 / 送信専用から選択します。



ひとこと

・ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するには、事前に NTT への申し込みが必要です。
・ナンバーディスプレイ機能を ON にしないと、ネームディスプレイ機能を設定することはできません。
・登録されているファクス番号が着信中の発信者番号と一致する場合、登録名またはファクス番号が表示されます。

■ ファクス ID

増設回線のファクス ID を登録します。登録したファクス ID は相手先の受信文書に発信元情報として印字されます。テンキー、＊、＃、[+]、スペースを使用して 20 文字以内で入力します。



10.4.14　セキュリティー設定－セキュリティ詳細

■ 手動宛先入力

設定手順は、「手動宛先入力」（p. 10-10）をごらんください。

■ FAX 送信禁止

ファクス送信を禁止するかどうかを設定できます。[ON] を選択すると、ファクス / スキャン画面でファクス機能が表示されなくなります。



■ 個人情報非表示

ジョブ表示画面の履歴リストで、宛先を表示するかどうかを設定します。[ON] を選択すると、宛先が表示されなくなります。



■ 通信履歴非表示

通信履歴を表示するかどうかを設定します。［ON］を選択すると、履歴が表示されなくなります。



10.5 管理者設定 （IP/SIP/I-FAX）

インターネットファクス、IP アドレスファクス、SIP ファクスで行う管理者設定について説明します。

10.5.1 環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行

設定手順は、「環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行」（p. 10-11）をごらんください。

10.5.2 環境設定－出力設定－受信印刷出力設定－ファクス

設定手順は、「環境設定－出力設定－受信印刷出力設定－ファクス」（p. 10-11）をごらんください。

10.5.3 環境設定－ユーザー操作禁止設定

■ 変更禁止設定－登録宛先変更

設定手順は、「変更禁止設定－登録宛先変更」（p. 10-7）をごらんください。

■ 変更禁止設定－From アドレス変更

設定手順は、「変更禁止設定－ From アドレス変更（E-mail）」（p. 10-7）をごらんください。

ひとこと

From アドレスは装置に設定したアドレスとなります。

■ 操作禁止設定－複数宛先禁止

設定手順は、「操作禁止設定－複数宛先禁止」（p. 10-8）をごらんください。

10.5.4 環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定

設定手順は、「環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定」（p. 10-12）をごらんください。

10.5.5 ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録

設定手順は、「ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録」（p. 10-12）をごらんください。

ひとこと

発信元情報は、インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクスでは、［原稿外］は使用できません。［原稿外］に設定されていても原稿内に付加されます。

10.5.6 ファクス設定－発信元 / 受信情報

設定手順は、「ファクス設定－発信元 / 受信情報」（p. 10-13）をごらんください。

ひとこと

受信情報は、SIP ファクス /IP アドレスファクスのカラーモードでは、［原稿外］は使用できません。［原稿外］に設定されていても原稿内に付加されます。

10.5.7 ファクス設定－回線パラメーター設定 （IP/SIP）

■ オートリダイアル回数

設定手順は、「オートリダイアル回数」（p. 10-17）をごらんください。

■ オートリダイアル間隔

設定手順は、「オートリダイアル間隔」（p. 10-17）をごらんください。

10.5.8　ファクス設定－送信 / 受信設定

設定手順は、「ファクス設定－送信 / 受信設定」（p. 10-19）をごらんください。

ひとこと

・［記録用紙サイズ］の設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。
・トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。
・カラーモードで受信する場合は、常に等倍で記録されます。
・カラーモードで受信する場合は、ページ分割記録は使用できません。

10.5.9　ファクス設定－機能設定

■ 機能 ON/OFF 設定－宛先確認表示機能

設定手順は、「機能 ON/OFF 設定－宛先確認表示機能」（p. 10-24）をごらんください。

■ 強制メモリー受信設定

設定手順は、「強制メモリー受信設定」（p. 10-26）をごらんください。

10.5.10　ファクス設定－レポート出力設定

■ 通信管理レポート

設定手順は、「通信管理レポート」（p. 10-30）をごらんください。

■ 送信結果レポート

設定手順は、「送信結果レポート」（p. 10-31）をごらんください。

■ 順次通信結果レポート

設定手順は、「順次通信結果レポート」（p. 10-31）をごらんください。

■ 同報結果レポート出力

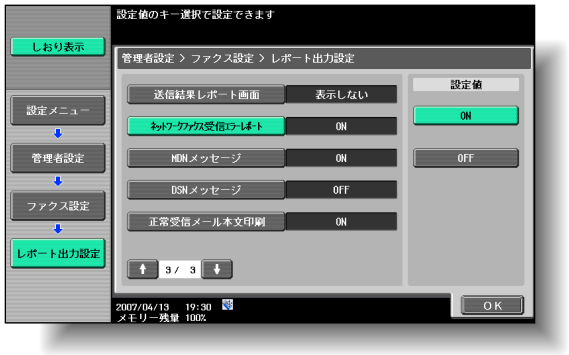
設定手順は、「同報結果レポート出力」（p. 10-33）をごらんください。

■ 送信結果レポート画面

設定手順は、「送信結果レポート画面」（p. 10-34）をごらんください。

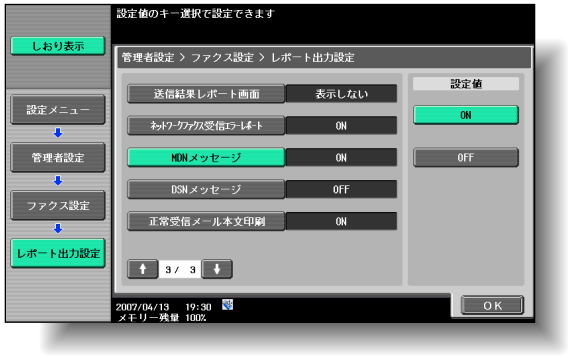
■ ネットワークファクス受信エラーレポート

ネットワークファクス受信エラーレポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



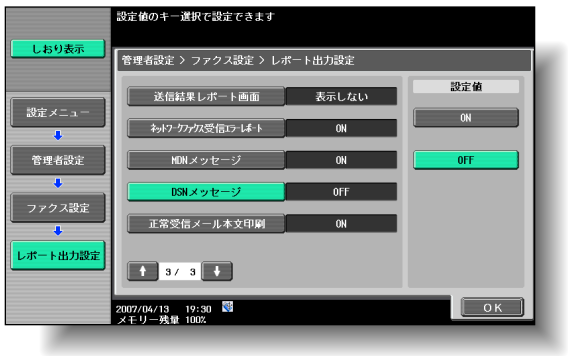
■ MDN メッセージ（I-FAX）

インターネットファクスの MDN メッセージの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



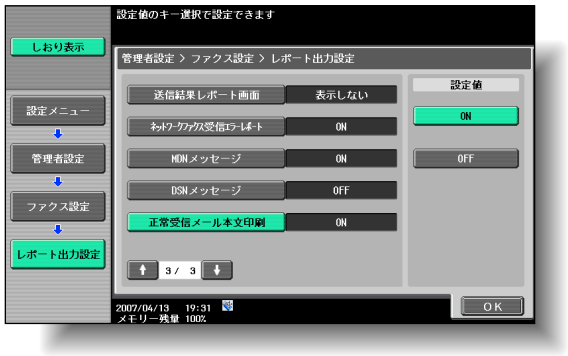
■ DSN メッセージ（I-FAX）

インターネットファクスの DSN メッセージの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



■ 正常受信メール本文印刷（I-FAX）

正常受信メールの本文の出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。



10.5.11　ファクス設定－設定値リスト

設定手順は、「ファクス設定－設定値リスト」（p. 10-34）をごらんください。

10.5.12　ファクス設定－ネットワークファクス設定

インターネットファクス、SIP ファクス、IP アドレスファクスの機能を設定します。

■ 白黒 2 値圧縮方法

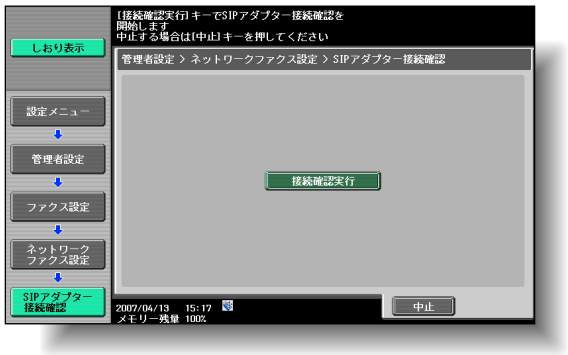
送信時の本機送信能力を設定します。

- MH：データサイズが大きくなります。
- MR：MMR と MH の中間のデータサイズになります。
- MMR（初期値）：データサイズが小さくなります。



■ SIP アダプター接続確認 （SIP）

SIP-FAX アダプターとの接続が正常かどうかを確認できます。［接続確認実行］を押して、SIP-FAX アダプターとの接続を確認します。



■ インターネットファクス自機受信能力 （I-FAX）

インターネットファクス機能が使用できる場合に表示されます。相手機からの MDN 要求時に、自機の能力として設定した内容が送信されます。圧縮形式、用紙サイズ、解像度の内容を設定してください。

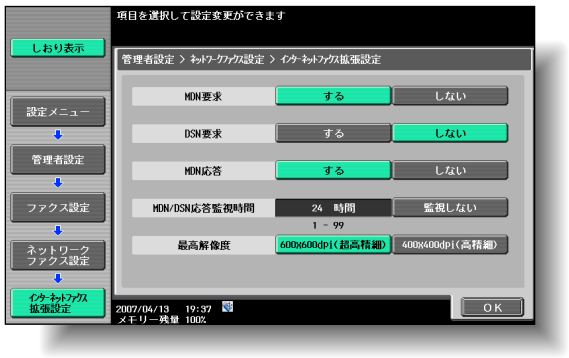


詳しく説明します

SIP-FAX アダプターとの接続確認が正常終了しなかった場合は、［SIP ファクス機能］にある SIP-FAX アダプターの IP アドレスとポート番号が正しいかどうか確認してください。

■ インターネットファクス拡張設定 （I-FAX）

インターネットファクス機能が使用できる場合に表示されます。インターネットファクスの詳しい内容を設定できます。



項目	説明
MDN 要求	送信時に相手機に MDN の要求を行うかどうかを設定します。
DSN 要求	送信時に相手機に DSN の要求を行うかどうかを設定します。
MDN 応答	受信時に相手機からの MDN 要求に応答するかどうかを設定します。
MDN/DSN 応答監視時間	MDN、DSN の応答監視を行うかどうかを設定します。行う場合は時間数を入力します。
最高解像度	本機の最高解像度能力を設定します。

ひとこと

MDN 要求と DSN 要求を同時に「する」に設定した場合、MDN 要求の設定が優先されます。

10.5.13　セキュリティー設定－セキュリティ詳細

■ 手動宛先入力

設定手順は、「手動宛先入力」（p. 10-10）をごらんください。

■ FAX 送信禁止

設定手順は、「FAX 送信禁止」（p. 10-37）をごらんください。

■ 個人情報非表示

設定手順は、「個人情報非表示」（p. 10-37）をごらんください。

■ 通信履歴非表示

設定手順は、「通信履歴非表示」（p. 10-38）をごらんください。

第 11 章
PageScope Web Connection

デバイス管理用ユーティリティー「PageScope Web Connection」の機能について説明します。

11.1　PageScope Web Connection の使いかた 11-2
11.2　ログインとログアウト 11-6
11.3　ユーザーモードの概要 11-11
11.4　管理者モードの概要 11-15

11.1 PageScope Web Connection の使いかた

PageScope Web Connection は、プリンターコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。

本機の操作パネルで行う設定の一部を、手元のコンピューターから操作でき、漢字の入力もスムーズなので便利です。

11.1.1 動作環境

ネットワーク	Ethernet（TCP/IP）
コンピューター側のアプリケーション	対応 Web ブラウザー： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Mozilla Firefox Ver.1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash® Player（表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）

11.1.2 アクセス方法

PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］キーを押します。

   http:// <本機の IP アドレス> /

   ❍（例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

   http://192.168.1.20/

   IPv6 が「使用する」に設定されていて、Internet Explorer 以外のブラウザーを使用している場合は、IPv6 アドレスを [] で囲んでアクセスします。

   http://[本機の IPv6 アドレス]/

   ❍（例）本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

   http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]/

   ❍ IPv6 が「使用する」に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f16IPv6 IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ドメイン名による URL 指定を行います。

   ユーザーとしてログインしたユーザーモードの画面が表示されます。

ひとこと

- ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「登録ユーザーとしてログイン」（p. 11-9）をごらんください。
- 本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- PageScope Web Connection の表示形式には Flash と HTML があります。詳しくは、「ログインとログアウト」（p. 11-6）をごらんください。

11.1.3　Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

■ Internet Explorer の場合

1. 「ツール」メニューから「インターネットオプション」を選択します。
2. 「全般」タブで「インターネット一時ファイル」の［設定］をクリックします。
3. 「ページを表示するごとに確認する」を選択し、［OK］をクリックします。

■ Netscape Navigator の場合

1. 「編集」メニューから「設定」を選択します。
2. 左側の「カテゴリ」で「詳細」－「キャッシュ」を選択します。
3. 「キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：」で「ページにアクセスするたび」を選択します。

■ Mozilla Firefox の場合

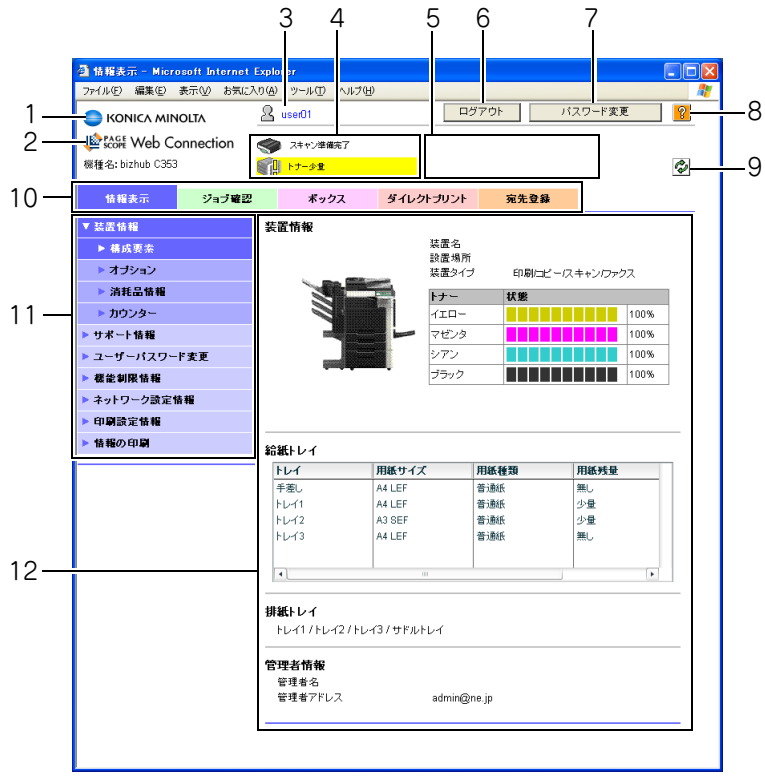
1. 「ツール」メニューから「オプション」を選択します。
2. 「プライバシー」をクリックし、［消去設定］をクリックします。
3. 「消去するデータ」で「キャッシュ」にチェックを付け、「消去の設定」で「Firefox の終了時にプライバシー情報を消去する」にチェックを付け、［OK］をクリックします。

ひとこと

- Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。
- キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

11.1.4　画面の構成

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。



No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.jp
2	PageScope WebConnection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、ボックス管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。ユーザー名をクリックすると、ログインしているユーザー名が表示されます。
4	ステータス表示	本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。エラーが発生している場合にアイコンをクリックすると、その状態に関連した情報（消耗品情報画面、給紙トレイ画面、ユーザー登録情報画面）が表示され、状況を確認できます。
5	メッセージ表示	本機の動作状態が表示されます。
6	［ログアウト］	現在のモードからログアウトするときにクリックします。
7	［パスワード変更］	クリックすると、「ユーザーパスワード変更」（p. 11-11）へジャンプします。登録ユーザーでログインしたユーザーモード画面でのみ表示されます。
8	ヘルプ	オンラインマニュアルホームページに設定してあるページが表示されます。設定方法は、「サポート情報」（p. 11-11）をごらんください。

ひとこと

- PageScope Web Connection でアクセス直後に表示される画面は「ユーザーモード」と呼ばれる画面で、ユーザーとしてログインした状態で表示されます。
- ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「登録ユーザーとしてログイン」（p. 11-9）をごらんください。
- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。別のユーザーや管理者としてログインする方法については「ログインとログアウト」（p. 11-6）をごらんください。

9	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
10	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードでは、以下のタブが表示されます。 ·情報表示 ·ジョブ確認 ·ボックス ·ダイレクトプリント ·宛先登録
11	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
12	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

11.2 ログインとログアウト

11.2.1 ログインとログアウトのながれ

PageScope Web Connection でアクセスすると、本機でユーザー認証や部門管理を行っているときはログイン画面が表示され、ユーザー認証や部門管理を行っていないときはパブリックユーザーとしてログインした画面が表示されます。ログイン後、別のユーザーとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

■ ユーザー認証、部門管理を行っていない場合

Public ユーザーとして自動的にログインします。



↓

管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

↓

管理者としてログインし直します。



■ ユーザー認証、部門管理を行っている場合

ユーザー認証、部門認証画面が表示されます。必要事項を入力してログインします。



↓

他のユーザーまたは管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

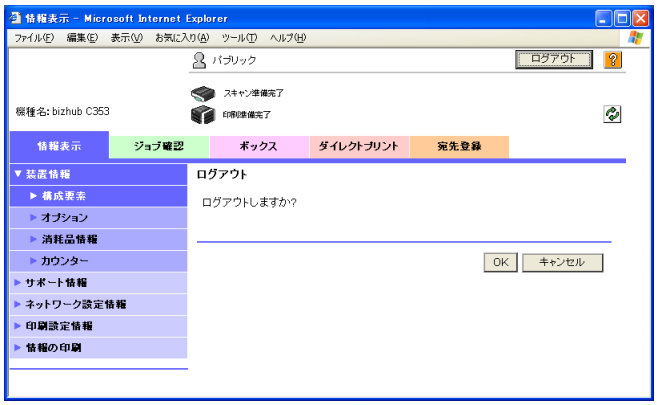
↓

ログインし直します。



11.2.2　ログアウト

画面右上の［ログアウト］をクリックすると、ログアウトを確認する画面が表示されます。［OK］をクリックするとログイン画面に戻ります。



11.2.3　ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。ユーザー認証やボックス管理者の設定によって、管理者またはボックス管理者としてユーザーモードにログインすることもできます。

■ ログイン時の選択項目

- 必要に応じて言語や表示形式を選択します。
- 「警告時、ダイアログ表示する」にチェックを付けると、ログイン後の操作中、警告時にダイアログが表示されます。
- 表示形式で「Flash」を選択すると、以下の項目が Flash 機能を利用して表示されます。
  - ステータスのアイコンやメッセージ
  - 「情報表示タブ ー 装置情報」の「給紙トレイ」の状態
  - 「ジョブ確認タブ」の状態
- 「Flash」機能を使用する場合は、Flash Player が必要です。
- 読み上げソフトを使用する場合は、HTML を選択することを推奨します。IPv6 環境においては、HTML を選択してください。

ひとこと

・本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。
・ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に本機の操作パネルで認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。
・ユーザーモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間設定については、「自動ログアウト」(p. 11-16)をごらんください。

ひとこと

・操作パネルからの設定でボックス管理者がみとめられている場合に、ボックス管理者としてログインできます。ボックス管理者の設定や権限、パスワードの設定などについては、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
・管理者としてユーザーモードにログインした場合は、管理者モードでは行えないジョブ削除を行うことができます。

■ パブリックユーザーとしてログイン

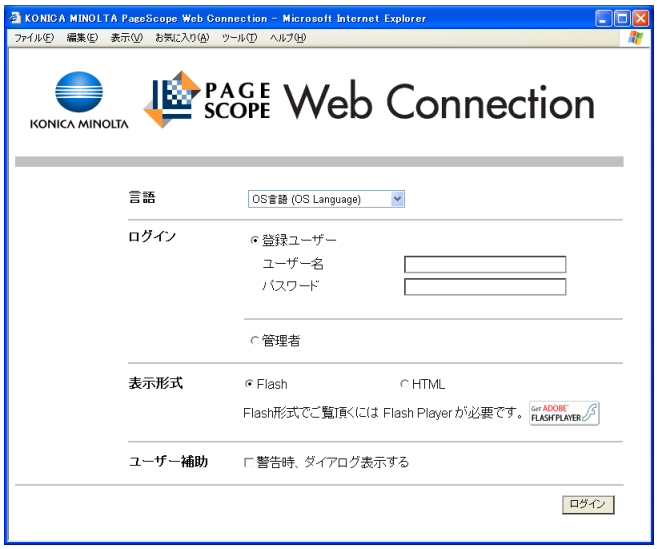
本機でユーザー認証を行っていない場合はパブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で「パブリックユーザー」を選択し、[ログイン]をクリックします。



■ 登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、登録ユーザー名とパスワードを利用してログインする必要があります。ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

- 部門管理を行っている場合は、部門名と部門パスワードも入力します。
- [ユーザー一覧]をクリックすると、一覧からユーザー名を選択できます。
- 外部サーバー認証が設定されている場合は、サーバーを選択します。
- 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、[管理者]－「管理者（ユーザーモード）」を選択し、管理者パスワードを入力します。



ひとこと

・管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
・[ユーザー一覧]は、「ユーザー名一覧」が「表示する」設定のときのみ利用できます。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

■ 管理者モードへログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。ログイン画面で「管理者」を選択し、管理者パスワードを入力して［ログイン］をクリックします。



■ ボックス管理者としてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、管理者としてユーザーモードにログインし、ジョブ削除を行うことができます。また、操作パネルでボックス管理者がみとめられている場合に、ボックス管理者としてユーザーモードにログインすることができます。



➔ ログイン画面で「管理者」を選択し、［ログイン］をクリックします。

❍ ボックス管理者としてユーザーモードにログインする場合は、「ボックス管理者」を選択し、ボックス管理者のパスワードを入力します。

ひとこと

・管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。
・本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。
・管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
・本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。

ひとこと

・管理者設定の「認証操作禁止設定」でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
・本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。

11.3 ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を設定できます。

11.3.1 情報表示

PageScope Web Connection にアクセスしたときに、最初に表示されます。

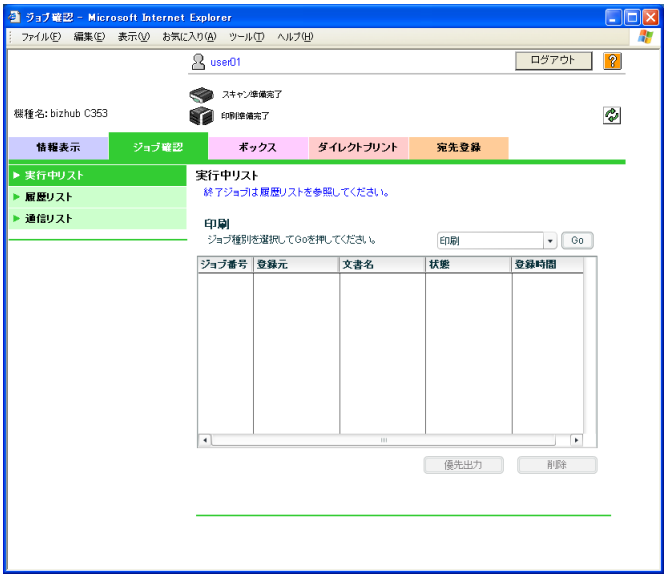


項目	説明
装置情報	本機の構成要素、オプション、消耗品情報、カウンターを確認できます。
サポート情報	製品に関するサポート情報を確認できます。
ユーザーパスワード変更	ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。
機能制限情報	ユーザーや部門の操作制限情報を確認できます。
ネットワーク設定情報	本機のネットワーク設定を確認できます。
印刷設定情報	本機のプリンターコントローラーに関連した設定情報を確認できます。
情報の印刷	フォント情報や設定情報などを印刷できます。

ひとこと

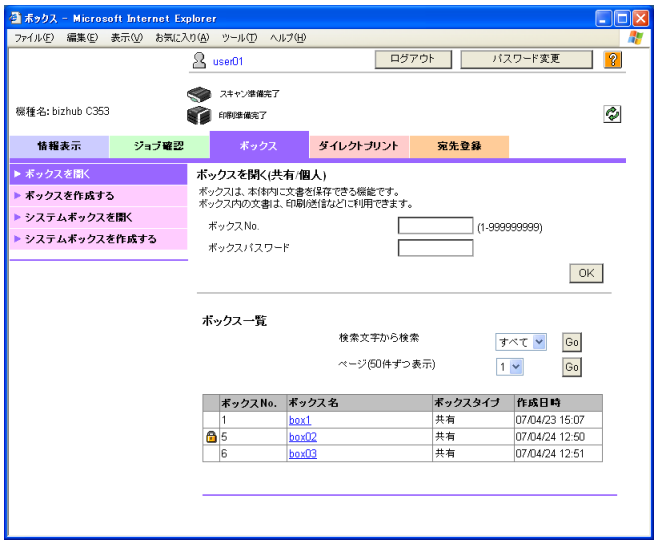
ユーザーモードに関するその他の情報は、PageScope Utilities CD-ROM の PageScope Web Connection のヘルプをごらんください。

11.3.2　ジョブ確認



項目	説明
実行中リスト	実行中 / 実行待ちのジョブを確認できます。
履歴リスト	実行済みのジョブを確認できます。
通信リスト	完了した送受信のジョブを確認できます。

11.3.3　ボックス



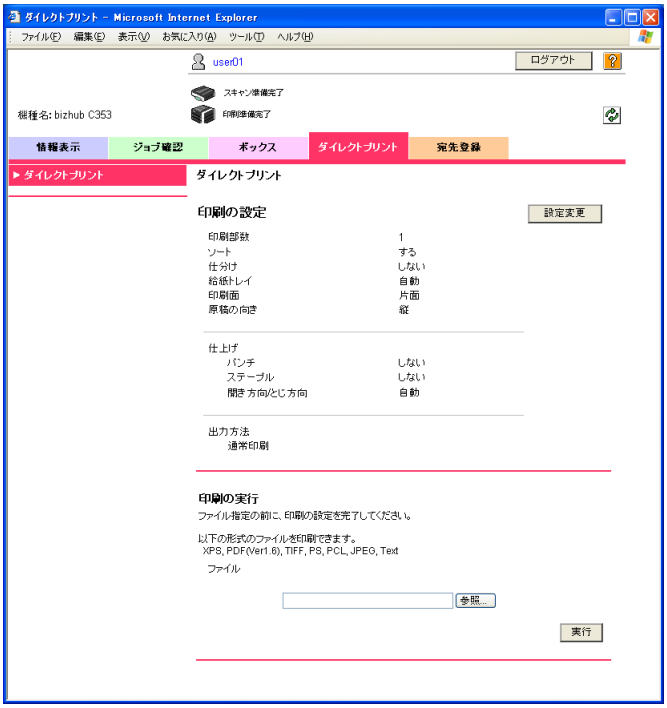
項目	説明
ボックスを開く	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書印刷、送信、ダウンロードなどの操作をしたり、ボックスの設定を変更できます。
ボックスを作成する	新しくボックスを作成できます。
システムボックスを開く	オプションの FAX キットが装着されている場合に表示されます。システムボックス（掲示板ボックス / ポーリング送信ボックス / 強制メモリー受信ボックス / 中継ボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。

参照

ボックス内の文書の操作については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

項目	説明
システムボックスを作成する	オプションの FAX キットが装着されている場合に表示されます。新しく掲示板ボックスと中継ボックスを作成できます。

11.3.4　ダイレクトプリント



項目	説明
ダイレクトプリント	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます

11.3.5　宛先登録



項目	説明
短縮宛先	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
グループ宛先	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
プログラム宛先	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
一時プログラム	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
E-mail 件名	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録できます。
E-mail 本文	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録できます。

ひとこと

管理者モードでの設定によって表示されない場合があります。

11.4　管理者モードの概要

管理者モードにログインすると、以下の機能を設定できます。

11.4.1　　メンテナンス



項目	説明
カウンター	本機で管理されているカウンターを確認できます。
ROM バージョン	ROM バージョンを確認できます。
インポート / エクスポート	本機の設定情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書込み（インポート）できます。
状態通知設定	本機でエラーが発生した場合に登録者に通知する機能の設定を行います。エラーの通知先と通知する項目を設定できます。
トータルカウンター通知設定	トータルカウンターを E-mail で通知する設定と通知先のメールアドレスを登録します。
本体登録	装置の登録情報を変更します。
サポート情報	本機のサポート情報を設定します。この内容はユーザーモードの「情報表示」タブー「サポート情報」で表示されます。
日時設定	本機に表示される日時の設定を行います。
タイマー設定	本機のパワーセーブ、ウィークリータイマー機能の設定を行います。
ネットワーク TWAIN	スキャン（プッシュスキャンを除く）による操作ロック自動解除時間を設定します。
初期化	ネットワーク設定、コントローラーのリセットや宛先の一括消去を行います。

ひとこと

管理者モードの詳細は「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

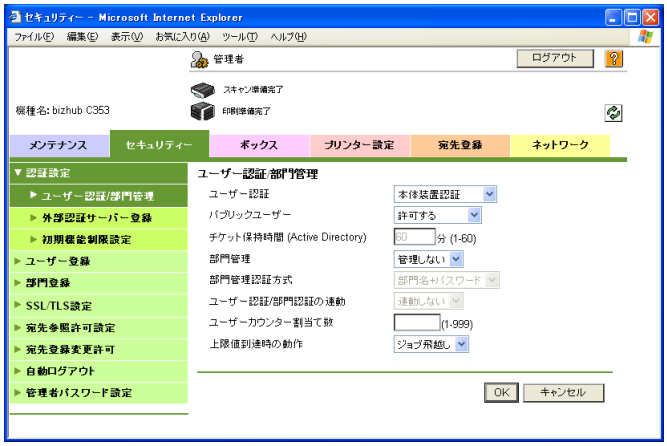
TWAIN を使用してアプリケーションソフトから本機をスキャナーとして使用する場合は、専用のドライバーソフトウェア「KONICA MINOLTA TWAIN」をインストールしてください。詳しくは、bizhub C353 シリーズ CD 内の TWAIN ドライバーのマニュアルをごらんください。

項目	説明
外部メモリー機能設定	文書保存および文書印刷に外部メモリーを使用する設定を行います。
ヘッダー / フッター登録	ヘッダー / フッターの一覧が表示され、登録や編集ができます。
ライセンス管理設定	リクエストコードの発行を行います。ライセンスコードを取得し、機能を有効化することができます。

ひとこと

「外部メモリー機能設定」は外部メモリー接続時に表示されます。

11.4.2　セキュリティー



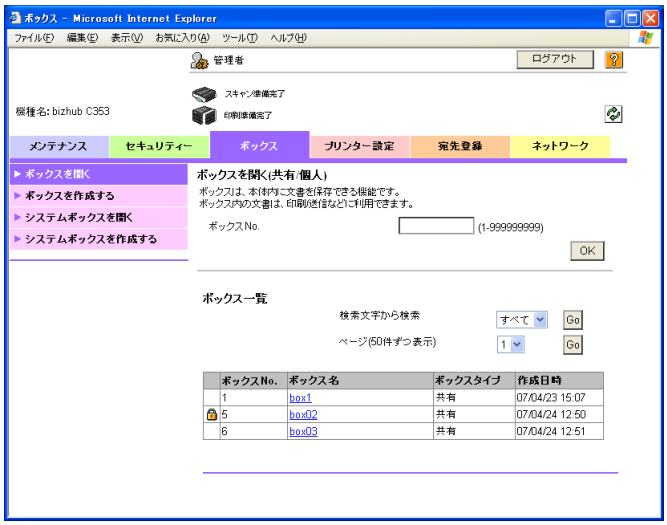
項目	説明
認証設定	本機のユーザー認証、部門管理の設定を行います。認証を行う場合は使用する外部サーバーの設定、初期機能制限の設定もできます。
ユーザー登録	ユーザー認証が設定されている場合に、ユーザーの登録や設定変更ができます。
部門登録	部門登録が設定されている場合に、部門の登録や設定変更ができます。
SSL/TLS 設定	SSL/TLS の設定を行います。SSL/TLS を有効にすると、本機とクライアントコンピューター間の通信を暗号化し、パスワードや通信内容の漏洩を防止します。
宛先参照許可設定	宛先参照許可を行う場合、参照許可グループの設定や、パブリックユーザーの参照設定を行います。
宛先登録変更許可	ユーザーによる宛先登録を許可するかどうかを設定します。
自動ログアウト	管理者モード、ユーザーモードの自動ログアウト時間を設定します。
管理者パスワード設定	管理者モードにログインするためのパスワードを設定します。

ひとこと

「管理者パスワード設定」は以下の場合は表示されません。
・SSL 証明書がインストールされていない
・セキュリティー強化モードが「ON」に設定されている

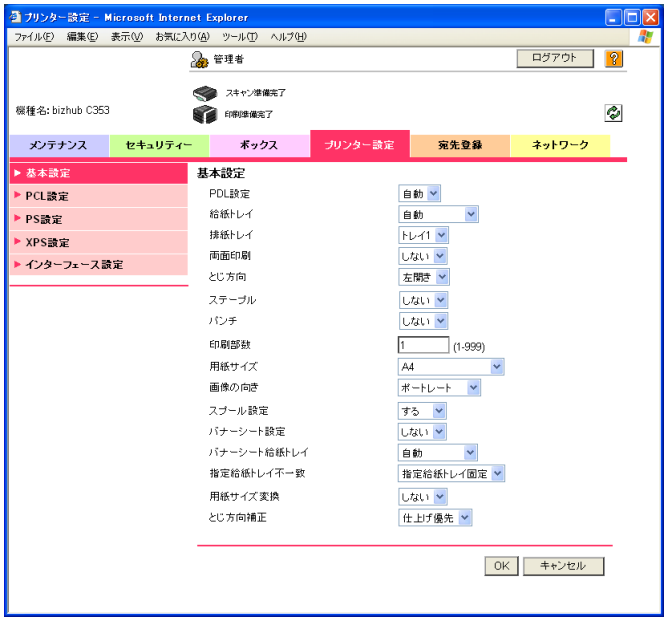
11.4.3　ボックス

管理者モードでログインしている場合は、ボックスを開くときのパスワード入力をせずに操作できます。



項目	説明
ボックスを開く	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、ボックスの設定を変更できます。
ボックスを作成する	新しくボックスを作成できます。
システムボックスを開く	システムボックス（ファイリングナンバーボックス、掲示板ボックス / ポーリング送信ボックス / 強制メモリー受信ボックス / 中継ボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
システムボックスを作成する	新しくファイリングナンバーボックス、掲示板ボックス、中継ボックスを作成できます。

11.4.4　プリンター設定



項目	説明
基本設定	プリンターの初期設定値を設定できます。

ひとこと

掲示板ボックス、ポーリング送信ボックス、強制メモリー受信ボックス、中継ボックスはオプションの FAX キットが装着されている場合に操作できます。

項目	説明
PCL 設定	PCL モードの初期設定値を設定できます。
PS 設定	PS モードの初期設定値を設定できます。
XPS 設定	XPS プリントに関する設定ができます。
インターフェース設定	インターフェースのタイムアウト時間を設定できます。

11.4.5　宛先登録

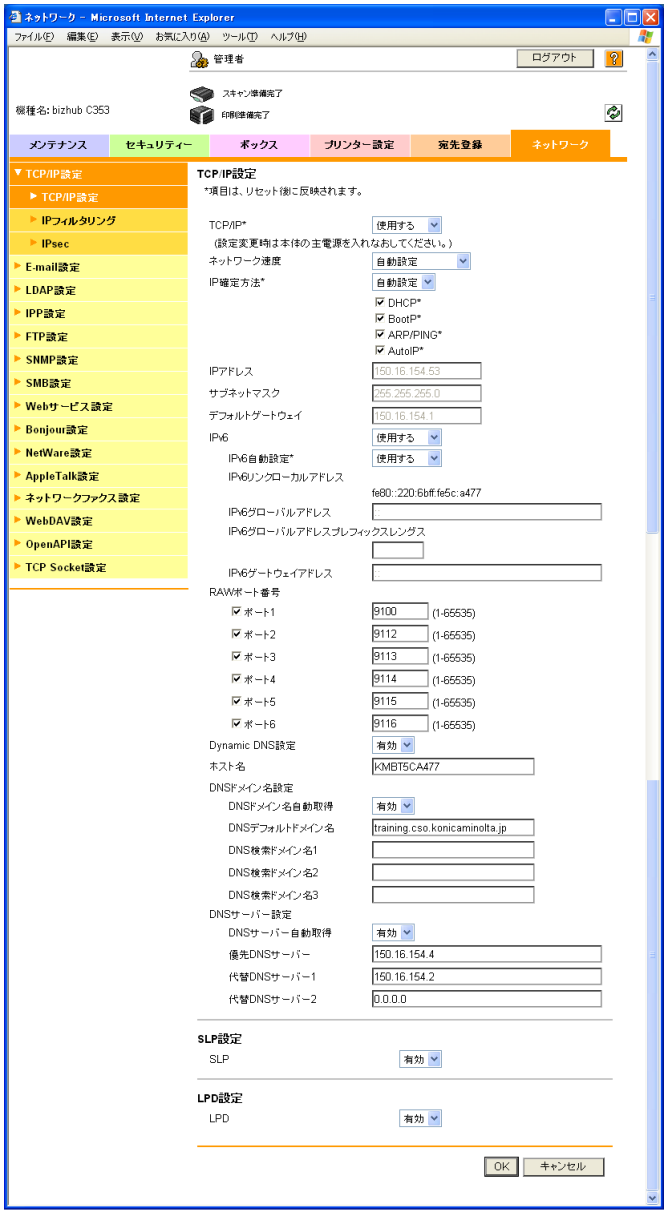


項目	説明
短縮宛先	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
グループ宛先	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
プログラム宛先	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
一時プログラム	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
E-mail 件名	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録できます。
E-mail 本文	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録できます。
アプリケーション登録	RightFax Server など、外部サーバーに登録されたアプリケーションを使用するとき、アプリケーションの内容やサーバーアドレスなどを登録します。アプリケーションとサーバーを登録することで、選択したアプリケーションのサーバーへ自動的に接続して使用することができます。
Prefix/Suffix	メール送信時に、送信先の情報として付与する Prefix/Suffix を登録できます。
発信元 / ファクスの ID 登録	送信時の発信元情報を登録します。

ひとこと

「アプリケーション登録」は FAX キット装着時は表示されません。

11.4.6　ネットワーク



項目	説明
TCP/IP 設定	本機をネットワーク接続する場合の TCP/IP の設定ができます。
E-mail 設定	E-mail 送受信や I-Fax の拡張機能の設定ができます。
LDAP 設定	LDAP サーバーを使用するとき、サーバーの登録ができます。
IPP 設定	IPP 印刷の設定をします。
FTP 設定	本機を FTP クライアントまたはサーバーとして使用するための設定ができます。
SNMP 設定	SNMP の設定ができます。
SMB 設定	SMB クライアント、WINS、SMB 印刷の設定ができます。
Web サービス設定	Web サービスによるスキャン、プリントに関する設定ができます。
Bonjour 設定	Bonjour の設定ができます。
NetWare 設定	NetWare の設定ができます。

項目	説明
AppleTalk 設定	AppleTalk の設定ができます。
ネットワークファクス設定	ダイレクト SMTP 送信 / ダイレクト SMTP 受信の設定ができます。
WebDAV 設定	WebDAV クライアントに関する設定ができます。
OpenAPI 設定	OpenAPI の設定ができます。
TCP Socket 設定	コンピューターのアプリケーションソフトと本機のデータ通信に使用される TCP Socket の設定ができます。

第 12 章
ファクス / スキャン機能で困ったとき

ここでは、ファクス / スキャンを使用しているときに起きる現象や対処方法について説明しています。ここに記載されていない現象が起きたときや、問題が解決しないときはサービス管理店にお問合わせください。

12.1　送信できない 12-2
12.2　受信できない 12-4
12.3　エラーメッセージが表示された 12-6
12.4　「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール） 12-10

12.1 送信できない

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、「送信結果レポート」(p. 8-10)をごらんください。(送信結果レポートをプリントするように設定している場合)
・エラーメッセージについては、「エラーメッセージが表示された」(p. 12-6)をごらんください。
・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

12.1.1 G3 ファクス

チェックポイント	処置
送信の手順は正しいですか?	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
相手のファクス番号は正しいですか?短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか?	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。 誤りがある場合は修正してください。
電話回線の設定は正しいですか?	設定メニューの[ダイアル方式]はお使いの電話回線に合っていますか? 設定を確認して、誤りがある場合は修正してください。
電話線の接続は正しいですか?	電話線が外れていませんか? 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
受信側にトラブルはありませんか?	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか? 受信側に電話をかけて確認してください。
パスワード送信時に、パスワードを間違えていませんか?	相手先のパスワードを確認し、正しいパスワードで送信し直してください。
宛先確認送信で、相手先に送信元のファクス番号が正しく登録されていますか?	相手先に登録されているファクス番号が正しいかどうか確認してください。または宛先確認送信の設定を「しない」にして送信してください。

12.1.2 インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス / ネットワークスキャン送信(E-mail/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス)

チェックポイント	処置
送信しようとしている電子メール容量が SMTP サーバー容量を超えていませんか?	SMTP サーバー容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。SMTP サーバー容量の設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
送信の手順は正しいですか?	送信手順を確認してもう一度送信してください。送信の手順については「操作の流れ」(p. 4-2)をごらんください。
ネットワークの設定や接続は正しいですか?	ネットワークの設定や接続を確認してください。ネットワークの設定については「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
本機のメールアドレスは設定されていますか?	本機の E-mail アドレスを確認し、設定してください。E-mail アドレスの設定については「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。 また、SIP-FAX アダプターの IP アドレスと、SIP-FAX アダプターとの通信用ポート番号が正しいかどうか確認してください。
ケーブル類が正しく接続されていますか?	ネットワークケーブル、モジュラーケーブル、SIP-FAX アダプターなどの接続が正しいか確認してください。
相手のファクス番号やアドレスは正しいですか?短縮宛先やプログラム宛先は正しく登録されていますか?	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているか確認してください。
SIP ファクスの番号は正しいですか?	SIP ファクスの場合は、G3 ファクスと宛先のファクス番号が違いますのでご注意ください。

チェックポイント	処置
SIP-FAX アダプターは正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が OFF になっている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？受信側に電話をかけるなどして確認してください。



送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される「----」は、サーバーまで正常に送信できたことを示すものです。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に［OK］が表示されます。重要な内容を受信する場合は、G3 ファクスを使用してください。

12.2 受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

・送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、「送信結果レポート」(p. 8-10)をごらんください。(送信結果レポートをプリントするように設定している場合)
・エラーメッセージについては、「エラーメッセージが表示された」(p. 12-6)をごらんください。
・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。

12.2.1 G3 ファクス

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか?	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	紙がつまっていませんか?	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。 つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	トナーがなくなっていませんか?	トナーがなくなると、受信できません。 すぐにトナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	手動受信に設定されていませんか?	設定メニューの[受信方式]が[手動受信]に設定されている場合は、受信の操作が必要です。「手動受信(電話専用)」(p. 5-4)を参照して受信の操作をしてください。
	電話線の接続は正しいですか?	電話線が外れていませんか? 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	[閉域受信設定]が有効になっていませんか?	[閉域受信設定]が有効になっている場合は、特定の相手からのファクスだけを受信します。 管理者にお問い合わせください。
	送信側からFコードで正しくないSUBアドレスが送信されていませんか?	親展ボックスや中継ボックスが設定されている場合、正しくないSUBアドレスを受信すると、通信エラーが発生し、受信できない場合があります。送信側にSUBアドレスの設定を確認してください。
	ナンバーディスプレイ、ダイアルインなどの設定が、接続している通信回線と合っていますか?	設定が合っていないと受信できないことがあります。接続している通信回線については管理者に確認してください。
	ダイアルインの着信番号は正しいですか?	ダイアルインを利用している場合、ファクス、電話、PC-FAXとして着信させる番号が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、「ダイアルイン設定」(p. 10-25)をごらんください。
	着信拒否に登録している番号から受信していませんか?	受信している番号が誤って着信拒否に登録されている場合は受信できません。「着信拒否宛先登録(G3)」(p. 9-31)を参照し、着信拒否の登録内容を確認してください。
	特殊な内線交換器を使用していませんか?	呼び出しベルの鳴り方がNTTの回線の鳴り方と違う内線交換器を使用している場合は、着信できないことがあります。「回線パラメーター設定ー着信回数設定」(p. 10-35)を参照して、着信回数を「0回」に設定してください。

トラブルの内容	チェックポイント	処置
プリントされない	PC-FAX 受信が設定されていませんか？	PC-FAX 受信で保存されたボックスを確認してください。
	TSI 受信振分けが設定されていませんか？	TSI 受信振分けで保存されたボックスを確認してください。
	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 1. 【ボックス】を押します。 2. ［文書利用］を押します。 3. ［システム］を押します。 4. ［強制メモリー受信ボックス］を押し、［OK］を押します。 5. パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して［OK］を押します。 6. プリントしたい文書を選択し、［印刷］を押します。 または、［強制メモリー受信設定］を［しない］に設定します。

12.2.2　インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	用紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	トナーがなくなっていませんか？	トナーがなくなると受信できません。すぐにトナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
	ネットワークケーブルの接続は正しいですか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続してください。
	メモリー不足、ハードディスクの容量不足ではありませんか？	メモリー残量、ハードディスクの残量を確認してください。 残量が不足しているときは、受信できない、または受信しても印刷できなくなります。
プリントされない	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 1.【ボックス】を押します。 2.［文書利用］を押します。 3.［システム］を押します。 4.［強制メモリー受信ボックス］を押し、［OK］を押します。 5.パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して［OK］を押します。 6.プリントしたい文書を選択し、［印刷］を押します。 強制メモリー受信をしないよう設定を変更することもできます。詳しくは「強制メモリー受信設定」（p. 10-26）をごらんください。

12.3　エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。
処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

12.3.1　G3 ファクス

エラーメッセージ	処置
ダイアル中にエラーが発生したため、ジョブが正常終了しませんでした	設定されている回数分のリダイアルをしましたが、相手が話し中などで送信できませんでした。 受信側の状態を確認して、もう一度送信してください。
相手機を確認できませんでした	相手先確認送信を［する］にして送信したときに、相手機確認ができませんでした。 相手先のファクス番号を確認してもう一度送信してください。
メモリー残量不足のため、読込みの継続ができません	原稿読込中に、メモリーが一杯になりました。 読込みが終わった原稿を送信する場合は、【スタート】を、中止する場合は【ストップ】を押してください。
ジョブが正常終了しませんでした 回線の接続を確認してください	電話線が抜けている可能性があります。 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
ネットワークに接続できませんでした	ネットワークに接続できませんでした。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、管理者設定の「ネットワーク設定」が正しく行われているか確認してください。
同報可能件数オーバーのため、指定された通信方式の宛先は選択できません	同報可能件数をこえて宛先を指定しています。同報宛先の数を減らし、数回に分けて指定してください。
HDD の容量オーバーのため、ボックスに画像を保存できませんでした。履歴を確認してください	HDD がいっぱいになりました。不要なデータを削除してから保存しなおしてください。
ボックスの登録数が上限値です	登録できるボックスの上限をこえています。不要なボックスがあれば削除してから登録しなおしてください。
ボックスに登録されているドキュメント数が上限値です	ひとつのボックスに登録できるドキュメントの上限をこえています。 不要なドキュメントがあれば削除してから登録しなおしてください。
ジョブの登録が上限値です。登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください	登録されているジョブの上限をこえています。終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。

12.3.2　HDD Ready 表示が HDD 異常の場合

- サービス管理店にお問合わせください。

12.3.3　ネットワークファクスエラーコード表

ネットワークファクスを送受信時にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、Nxx 形式のエラーコードが表示されます。以下の表を参照して処置をしてください。

■ 送信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N00	接続エラー	宛先エラー	無	・宛先に誤りがないか確認してください。 ・相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N01	相手ビジー	相手機ビジー	有	・相手機の状態を確認してください。 ・しばらく待ってからもう一度送信してください。
N02	サーバー	サーバーエラー	無	SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N03	サーバー	グローバルエラー	無	・SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N04	LAN 接続	接続タイムアウト	無	・宛先に誤りがないか確認してください。 ・ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N05	プロトコル	プロトコルエラー	無	本機または SIP-FAX アダプターの設定を確認してください。
N06	プロトコル	ステータスコードエラー	無	・SIP サーバーが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N10	接続エラー	相手機接続エラー	無	・相手機の状態を確認してください。 ・本機のネットワーク設定を確認してください。 ・ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・SIP サーバーの設定が正しいかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N11	接続エラー	相手機接続拒否	無	受信が拒否されています。相手機の状態を確認してください。
N12	接続エラー	回線切断	有	ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N13	接続エラー	ネットワーク応答なし	無	・相手機の状態を確認してください。 ・本機のネットワーク設定を確認してください。 ・ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。 ・SIP サーバーの設定が正しいかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N14	プロトコルエラー	メール配信エラー	無	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N15	プロトコルエラー	相手機接続リセット	有	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N16	プロトコルエラー	自機ネットワークビジー	有	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N17	プロトコルエラー	通信タイムアウト	無	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N18	その他エラー	その他エラー	無	・各設定が正しいかを確認してください。 ・ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。 ・主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N20	メモリーエラー	メモリーオーバーフロー	無	メモリーがいっぱいです。 ・他の処理中のジョブがないことを確認してください。 ・送信枚数を減らしたり、読込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N21	HDD エラー	HDD エラー	無	HDD がいっぱいです。 ・不要なファイルを削除してください。 ・送信枚数を減らしたり、読込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N22	変換エラー	変換エラー	無	主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N25	メモリーオーバフロー	メモリーオーバフロー	無	メモリーがいっぱいです。 ・他の処理中のジョブがないことを確認してください。 ・送信枚数を減らしたり、読込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N30	シーケンスエラー	LAN 切断中に上位から送信起動要求が来た	無	・送信ジョブを削除し、主電源を OFF/ON してください。 ・宛先に誤りがないか、ケーブル抜け等のネットワーク異常が発生していないかを確認し、もう一度送信してください。
N31	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で上位から送信起動要求が来た	無	しばらく待ってから、もう一度送信してください。
N32	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で上位から接続確認要求が来た	無	・SIP-FAX アダプターとの接続を確認してください。 ・本機や SIP-FAX アダプターの設定を確認し、しばらく待ってからもう一度送信してください。
N33	設定不良	アダプター設定不良	無	・SIP-FAX アダプターとの接続や設定を確認してください。
N34	シーケンスエラー	切断応答待ち中に送信起動要求が来た	無	・本機や SIP-FAX アダプターとの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度送信してください。

■ 受信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	処置
N50	SMTP 受信	SMTP 受信エラー	着信の呼接続後、60 分間 SMTP 受信が始まらない場合、本エラーとなります。 送信側に再送を依頼してください。
N51	デコード	受信長オーバー	送信側に、送信原稿長を短くして再送するよう依頼してください。
N52	デコード	受信頁オーバー	送信側に、送信原稿枚数を少なくして再送するよう依頼してください。
N53	デコード	ファイル・エラー	送信側に、以下の正しいファイル形式で再送するよう依頼してください。 インターネットファクス：TIFF SIP ファクス /IP アドレスファクス：PDF または TIFF
N54	デコード	デコード・エラー	不正な形式のデータを受信しました。送信側に正しい形式での再送を依頼してください。

■ SIP-FAX アダプターの確認と再起動

N00 ～ N06 のエラーコードが頻発する場合は、SIP-FAX アダプター側にトラブルが発生している可能性があります。以下の点を確認し、必要な場合は手順にしたがって再起動を行ってください。

SIP-FAX アダプターについて、以下の点を確認します。

- ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
- ハブなどを経由している場合は、使用中のポートの通信ランプは点滅していますか？
- SIP-FAX アダプターの LED 表示は正常ですか？
- SIP サーバーは利用可能な状態ですか？

確認しても、状況が改善されない場合は SIP-FAX アダプターを再起動してください。

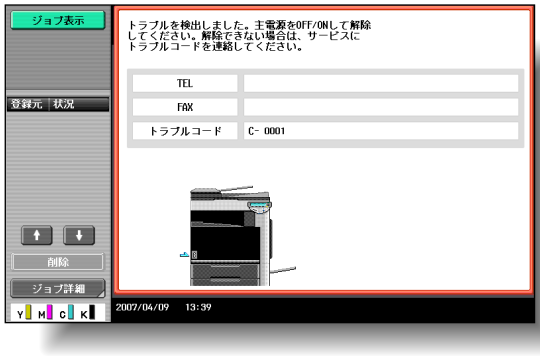
1. SIP-FAX アダプターの電源を OFF にして、約 10 秒間待ちます。
2. SIP-FAX アダプターの電源を ON にして、約 1 分間待ちます。
3. 本機の電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にします。
4. SIP-FAX アダプターとの接続確認を行います。詳しくは、「SIP アダプター接続確認 （SIP）」（p. 10-42）をごらんください。
5. 約 5 分待ってから、送信テストを行います。

12.4 「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡してください」というメッセージが画面上に表示されます。（サービスコール画面）

サービスコール画面中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

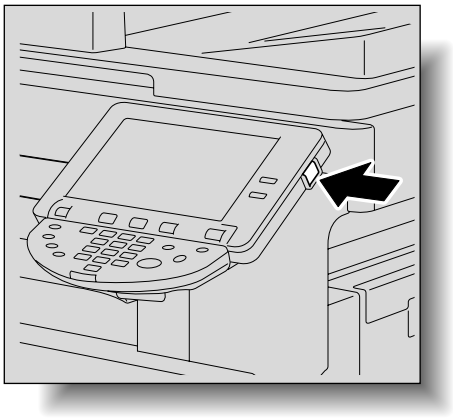
ここでは、サービス実施店に電話でトラブルを知らせる手順を説明します。

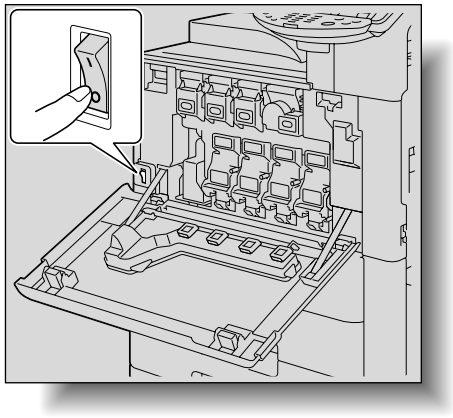


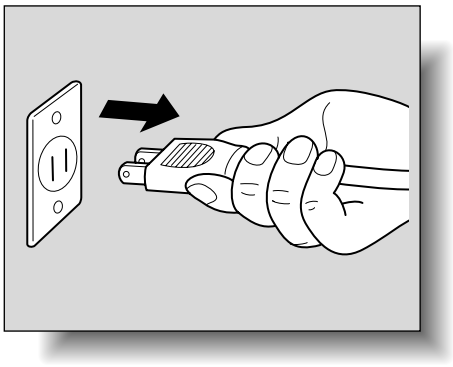
⚠注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

1. トラブルコード番号を書き留めます。
2. 【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】を OFF にします。
3. 電源プラグをコンセントから抜きます。
4. サービス実施店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。







第 13 章
付録

ここでは、ファクス / スキャン機能の製品仕様や、入力文字の一覧などの情報を記載しています。

13.1　製品仕様 13-2
13.2　こんなときには 13-3
13.3　文字を入力するには 13-6
13.4　入力文字一覧 13-11
13.5　スキャン用語集 13-18
13.6　インターネットファクス用語集 13-23
13.7　ファクス用語集 13-24

13.1 製品仕様

13.1.1 スキャナー機能

項目	仕様
スキャン速度	70 枚 / 分（A4 時）
スキャン可能範囲	コピー機と同じ（最大 A3）
機能	E-mail 送信 ファイル送信（FTP） ファイル送信（SMB） ボックス保存 WebDAV Web サービス
スキャナー解像度	200/300/400/600dpi
読込可能な用紙サイズ	A3 ～ A5 、B4 ～ B6 はがき（100mm × 148mm） 11 × 17 、8 × 13 、8-1/2 × 11
特殊機能	混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、両面とじ方向、枠消し、ブック連写、原稿セット方向、スタンプ／ページ印字

13.1.2 ファクス機能

項目	仕様
画像メモリー容量	1024 MB（標準）
蓄積枚数	10000 枚（A4 サイズ 700 文字程度の原稿を、解像度「精細」で蓄積した場合）
適応回線	加入電話回線（ファクス通信網を含む） PBX 回線
走査線密度	超高精細：　600 dpi × 600 dpi 高精細：　16 dot/mm × 15.4 line/mm、400 dpi × 400 dpi 精細：　8 dot/mm × 7.7 line/mm、200 dpi × 200 dpi 普通：　8 dot/mm × 3.85 line/mm 相手機の能力に応じて、上記のいずれかの走査線密度で通信されます。
伝送速度（G3）	2400 / 4800 / 7200 / 9600 / 12000 / 14400 / 16800 / 19200 / 21600 / 24000 / 26400 / 28800 / 31200 / 33600 bps
最大読み取りサイズ	原稿ガラス：420 × 297 mm（A3 サイズ） ADF：297 mm × 1000 mm
最大記録サイズ	420 × 297 mm（A3 サイズ） 1000 mm を超える原稿は受信できません。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがってプリントされます。

13.2　こんなときには

13.2.1　　ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。

詳しく説明します

・契約内容や詳しい操作方法については、ご利用になるファクス情報サービスの提供元にお問い合わせください。
・必要に応じ、回線モニター音レベルを調整しておきます。回線モニター音レベルは、0 ～ 31 の範囲で調整できます（工場出荷時は 16 に設定されています）。ファクス情報サービスの音声ガイダンスを聞き取りやすくするため、大きめに設定しておくことをお薦めします。

1

ファクス / スキャン画面の［オフフック］を押し、ファクス情報サービスの電話番号を指定します。

サービスに接続するとアナウンスが聞こえます。

詳しく説明します

ダイアル（パルス）回線をお使いの場合は、パルスをトーンに切り替える必要があります。サービスコードを入力する前に、［トーン］または【＊】を押し、トーンを送出できる状態にしてください。

2

サービスの案内に従って、必要なサービスコードを指定します。

3

［受信］を押し、サービスの案内に従って［実行］または【スタート】を押します。

受信が開始されます。

❍【スタート】を押した場合は、確認画面が表示されます。［はい］を押し、［OK］を押すと受信が開始されます。

詳しく説明します

ADF、または原稿ガラスに原稿がセットされている場合は、着信しても［受信］は反転表示しません。この場合は、［受信］を押して反転表示させてください。

13.2.2　　メモリーへの蓄積枚数について

本機には 60 GB のハードディスクが標準搭載されており、ファクス画像は、このハードディスク中の 31GB の領域に保存されます。

ハードディスクには、各機能（コピー、プリント、スキャン、ボックス、ファクス）から保存 / 受信した原稿（A4 判 700 文字程度の当社標準原稿）を、10000 枚程度蓄積することができます（解像度「精細」で蓄積した場合）。

詳しく説明します

原稿の読込み中に、メモリーがいっぱいになりオーバーフローすることがあります。この場合は、途中まで読込んだ原稿を送信するか、もう一度最初から送信するかを選択することができます。

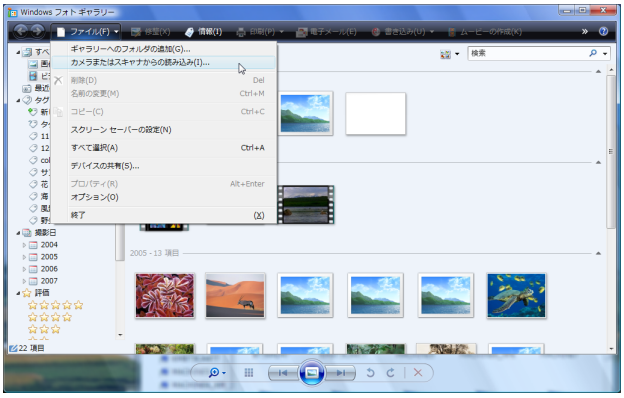
13.2.3　コンピューターからスキャンの指示をする（Web サービス）

コンピューターからスキャンの指示を本機に行い、スキャンしたデータを受信できます。

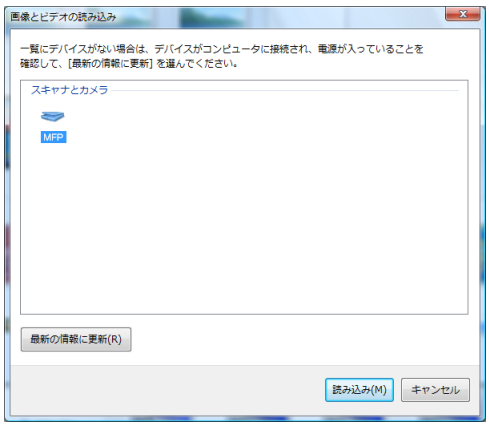
ここでは、Windows フォトギャラリーからスキャンする手順を例に説明します。

1 スキャンを行うことのできるアプリケーションソフトを起動します。

2 ［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選択します。



3 ［スキャナとカメラ］の一覧から本機を選択し、［読み込み］をクリックします。



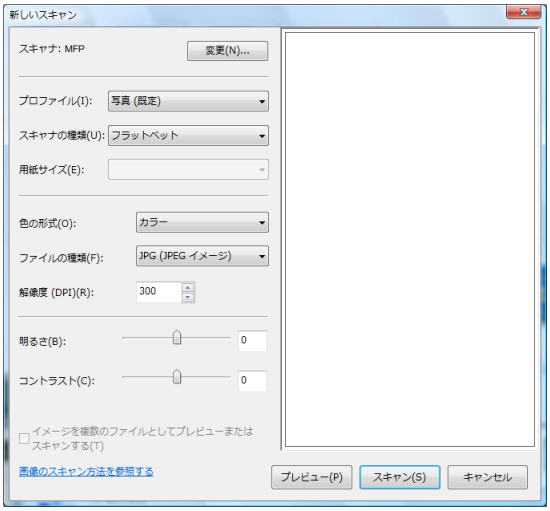
［新しいスキャン］ウィンドウが起動します。

4 本機に原稿をセットします。

参照

・事前に必要な設定については、「Web サービスを使用する場合」（p. 3-6）をごらんください。
・本機からスキャンを指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は「直接入力－Web サービス」（p. 4-27）をごらんください。

5 スキャンの内容を設定し、［スキャン］をクリックします。



6 ［これらの画像をマーク］に保存するファイル名を入力し、［読み込み］をクリックします。

スキャンが行われ、画像の一覧にスキャンしたデータが追加されます。

13.3　文字を入力するには

ユーザー登録や不定形紙の登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

ユーザー名入力画面：



不定形紙名称変更画面：



13.3.1　キーボードの拡大表示

キーボードを拡大して見やすく表示することができます。

1

キーボードの表示中に、［拡大 ON］を押します。

キーボードが拡大表示されます。



2

拡大表示中に［拡大 OFF］を押すと、拡大表示を解除して通常の表示に戻ります。

ひとこと

ユーザー名、プログラム名、ボックス名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「~」を使用した場合、コンピューターから参照すると文字化けをおこすことがあります。

ひとこと

拡大表示した状態でも、キーボードの操作方法は同じです。

13.3.2　英数字を入力する

➔ 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- ❍ 大文字、記号を入力する場合は、［Shift］を押します。
- ❍ 全角の英数字を入力する場合は［全角］を押します。
- ❍ 半角数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



13.3.3　ひらがなを入力する

1. ［ひらがな］を押します。
2. 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。
   - ❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。

   文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



3. ［無変換］を押します。

   文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

・入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

・［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

詳しく説明します

・入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

ひとこと

［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。

13.3.4　カタカナを入力する

1 ［カタカナ］を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。
- 半角のカタカナを入力する場合は［半角］を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。



13.3.5　漢字を入力する

1 ［ひらがな］を押します。

2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力する場合は、［他かな］を押します。

文字ボックスに入力した文字が反転表示されます。



詳しく説明します

・入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

・［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

3 ［変換］を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4 表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。



5 ［OK］を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

詳しく説明します

・熟語単位で変換できます。
・入力した文字が、変換の対象になります。
・変換を中止するときは、［中止］を押します。

詳しく説明します

候補が 18 個以上ある場合に、［↑］または［↓］のキーが現れます。
・［↑］を押すと前候補が表示されます。
・［↓］を押すと次候補が表示されます。

詳しく説明します

・入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。

ひとこと

・［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
・一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

13.3.6　文字コードで入力する

16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

1 ［文字コード］を押します。

2 表示されているキーボードから、文字コードを入力し、［入力］を押します。



文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

詳しく説明します

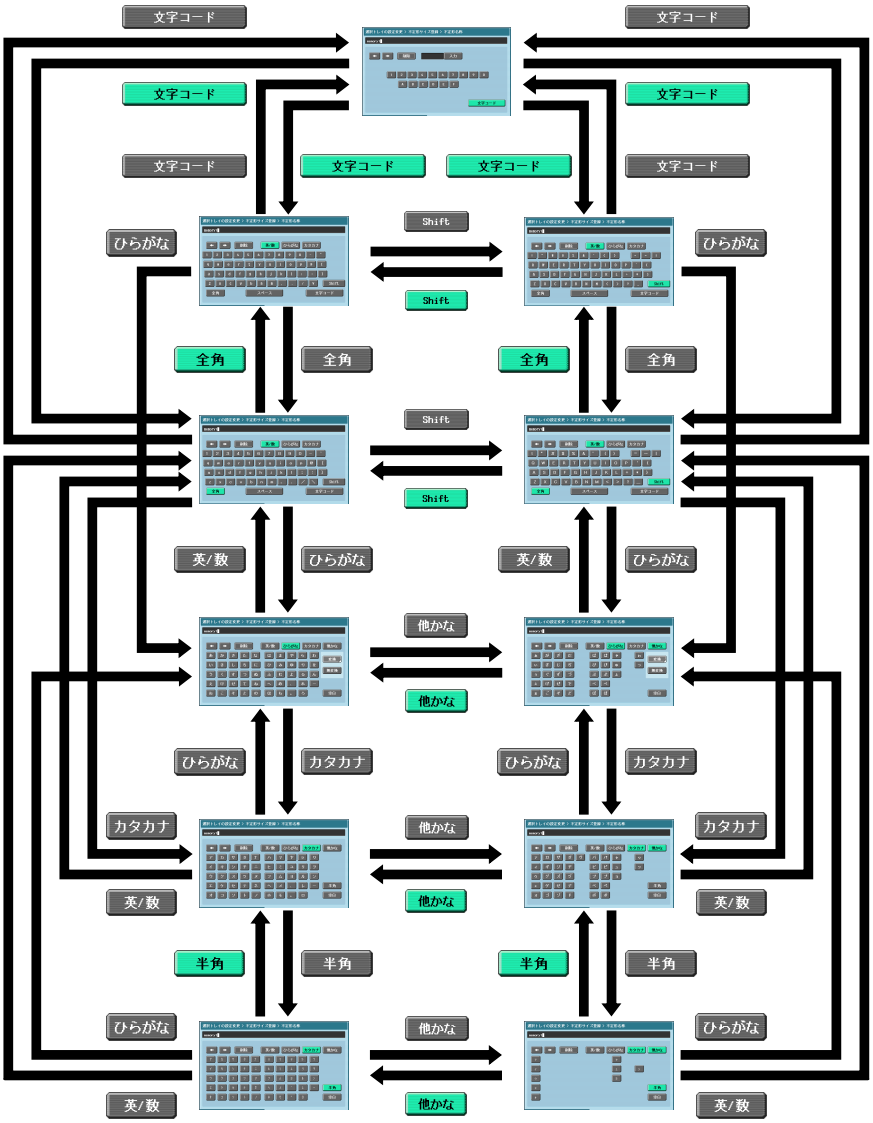
- 本機の文字コードは Shift-JIS コードです。文字コードと文字の対応については、Shift-JIS コード表（p. 13-12 ～）をごらんください。
- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- 設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

- ［元に戻す］を押すとキーボードが表示されたときの状態に戻ります。
- 一部のキーは、文字入力の対象によっては表示されない場合があります。

13.4　入力文字一覧

入力画面



ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽ ぁぃぅぇぉゃゅょわっ　　ー、。
カタカナ（全角）	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポヴ ァィゥェォャュョヮッ　　ー、。
カタカナ（半角）	ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜﾝ ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ　ｰ､｡
英数字／記号（全角）	ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ 　（スペース）！”＃＄％＆’（）＋，－．／＼：；＜＝＞？＠［］＾＿‘｛｜｝～＊０１２３４５６７８９
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz （スペース）!”#$%&’()+,-./¥:;<=>?@[]^_‘{|}~*0123456789

Shift-JIS コード
（一部入力できないものもあります）

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8140	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾
8150	￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼
8160	～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛
8170	｝〈〉《》「」『』【】＋－±×
8180	÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥
8190	＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆
81A0	□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓
81B0	∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩
81C0	∧∨￢⇒⇔∀∃
81D0	∠⊥⌒∂∇≡
81E0	≒≪≫√∽∝∵∫∬
81F0	Å‰♯♭♪†‡¶◯
8240	０
8250	１２３４５６７８９
8260	ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰ
8270	ＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺ
8280	ａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏ
8290	ｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ ぁ
82A0	あぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐけ

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
82B0	げこごさざしじすずせぜそぞただち
82C0	ぢっつづてでとどなにぬねのはばぱ
82D0	ひびぴふぶぷへべぺほぼぽまみむめ
82E0	もゃやゅゆょよらりるれろゎわゐゑ
82F0	をん
8340	ァアィイゥウェエォオカガキギクグ
8350	ケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダ
8360	チヂッツヅテデトドナニヌネノハバ
8370	パヒビピフブプヘベペホボポマミ
8380	ムメモャヤュユョヨラリルレロヮワ
8390	ヰヱヲンヴヵヶ Α
83A0	Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ
83B0	Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α
83C0	β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ
83D0	σ τ υ φ χ ψ ω
83E0	
83F0	
8440	А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О
8450	П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
8460	Я

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8470	а б в г д е ё ж з и й к л м н
8480	о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э
8490	ю я —
84A0	─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗
84B0	┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂
84C0	
84D0	
84E0	
84F0	
8540	
8550	
8560	
8570	
8580	
8590	
85A0	
85B0	
85C0	
85D0	
85E0	
85F0	
8640	
8650	
8660	
8670	
8680	

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8690	
86A0	
86B0	
86C0	
86D0	
86E0	
86F0	
8740	
8750	
8760	
8770	
8780	
8790	
87A0	
87B0	
87C0	
87D0	
87E0	
87F0	
8840	
8850	
8860	
8870	
8880	
8890	亜

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
88A0	唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦
88B0	芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委
88D0	威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
88E0	謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨
88F0	芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭
8940	院陰隠韻吋右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓
8950	臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲
8960	荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴
8970	英衛詠鋭液疫益駅悦謁越閲榎厭円
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁
8990	艶苑薗遠鉛鴛塩於汚甥凹央奥往応押
89A0	旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶
89B0	臆桶牡乙俺卸恩温穏音下化仮何伽価
89C0	佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過
89E0	霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会
89F0	解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改
8A40	魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外
8A50	咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣
8A60	柿蛎鈎劃嘩各廓拡撹格核殻獲確穫覚

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8A70	角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫
8A80	橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹
8A90	叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥
8AA0	刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官
8AB0	寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢
8AC0	澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観
8AD0	諌貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩
8AE0	癌眼岩翫贋雁頑顔願企伎危喜器基奇
8AF0	嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄
8B40	機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌
8B50	輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇
8B60	義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍
8B70	却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救
8B80	朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居
8B90	巨拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供
8BA0	侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯
8BB0	恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響
8BC0	饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均
8BD0	巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近
8BE0	金吟銀九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具
8BF0	愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8C40	掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫
8C50	訓群軍郡卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経
8C70	継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨
8C80	劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検
8CA0	権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険
8CB0	顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午
8CE0	呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉
8CF0	交佼侯候倖光公功効勾厚口向
8D40	后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘
8D50	恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閤降
8D80	項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻
8D90	告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此
8DA0	頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8DB0	魂些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐
8DC0	座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済
8DD0	災采犀砕砦祭斎細菜裁載際剤在材罪
8DE0	財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾
8DF0	昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷
8E40	察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三
8E50	傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸
8E60	餐斬暫残仕仔伺使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次
8EA0	滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識
8EB0	鴫竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質
8EC0	実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮
8ED0	社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆
8F50	襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充十従戎柔

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8F60	汁渋獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出
8F70	術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳
8F80	準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒
8F90	署書薯藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝
8FA0	匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄
8FB0	床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵
8FC0	沼消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧
8FD0	紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾
8FE0	鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾
8FF0	条杖浄状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾
9040	拭植殖燭織職色触食蝕辱尻伸信侵唇
9050	娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神
9060	秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵
9070	壬尋甚尽腎訊迅陣靭笥諏須酢図厨
9080	逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随
9090	瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉椙菅頗雀裾澄
9A0	摺寸世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星
9B0	晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請
9C0	逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔析石積
9D0	籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節
9E0	説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
90F0	栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線
9140	繊羨腺舛船薦詮賤践選遷銭銑閃鮮前
9150	善漸然全禅繕膳糧噌塑岨措曾曽楚狙
9160	疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双
9170	叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻
9180	操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡
9190	草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓
91A0	蔵贈造促側則即息捉束測足速俗属賊
91B0	族続卒袖其揃存孫尊損村遜他多太汰
91C0	詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐
91D0	岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮
91E0	隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托
91F0	択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只
9240	叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽誰丹
9250	単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆
9260	蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談値知地弛
9270	恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄
9280	逐秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷
9290	註酎鋳駐樗猪猪苧著貯丁兆凋喋寵帖
92A0	帳庁弔張彫徴懲挑暢朝潮牒町眺聴脹
92B0	腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
92C0	賃鎮陳津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃
92D0	漬柝辻蔦綴鍔椿潰坪壷嬬紬爪吊釣鶴
92E0	亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵
92F0	挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓
9340	邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹
9350	撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点
9360	伝殿澱田電兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登
9370	菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬
9380	凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃梼棟
9390	盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董
93A0	蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同
93B0	堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得徳
93C0	涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫
93D0	寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍奈那
93E0	内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難
93F0	汝二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入
9440	如尿韮任妊忍認濡禰祢寧葱猫熱年念
9450	捻撚燃粘乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農
9460	覗蚤巴把播覇杷波派琶破婆罵芭馬俳
9470	廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅
9480	楳煤狽賁売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9490	柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函
94A0	箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪
94B0	伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆
94C0	搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩
94D0	頒飯挽晩番盤磐蕃蛮匪卑否妃庇彼悲
94E0	扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費
94F0	避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美
9540	鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧
9550	姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟
9560	描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓
9570	頻敏瓶不付埠夫婦富冨布府怖扶敷
9580	斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫
9590	武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福
95A0	腹複覆淵弗払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮
95B0	焚奮粉糞紛雰文聞丙併兵塀幣平弊柄
95C0	並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変
95D0	片篇編辺返遍便勉娩弁鞭保舗鋪圃捕
95E0	歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包
95F0	呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋
9640	法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽
9650	鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9660	冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲
9670	朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆
9680	摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鯖柾
9690	鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫
96A0	蔓味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民
96B0	眠務夢無牟矛霧鵡椋婿娘冥名命明盟
96C0	迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺摸模茂妄
96D0	孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻
96E0	籾貰問悶紋門匁也冶夜爺耶野弥矢厄
96F0	役約薬訳躍靖柳薮鑓愉愈油癒
9740	諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌
9750	猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕予余与誉
9760	輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔
9770	用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲
9780	沃浴翌翼淀羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪
9790	乱卵嵐欄濫藍蘭覧利吏履李梨理璃痢
97A0	裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留
97B0	硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両凌寮料
97C0	梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫
97D0	厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟瑠塁涙累類令
97E0	伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
97F0	歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯
9840	蓮連錬呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼
9850	榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論
9860	倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀
9870	湾碗腕
9880	
9890	弋
98A0	丐丕个丱丶丼丿乂乖乗亂亅豫事舒弍
98B0	于亞亟一亢亰亳亶从仍仄仆仂仗仞仭
98C0	仟价伉佚估佛佝佗佇佶侈侏侘佻佩佰
98D0	侑佯來侖儘俔俟俎俘俛俑俚俐俤俥倚
98E0	倨倔倪倥倅俾倶倡倩倬俾俯們倆偃假
98F0	會偕偐偈做偖偬偸傀傚傅傴傲
9940	僉僊傳僂僖僞僥僭僣僮價僵儉儁儂儖
9950	儕儔儚儡儺儷儼儻儿兀兒兌兔兢競兩
9960	兪兮冀冂冏冊冐冕冖冤冦冢冩
9970	冪冫决冱冲冰况冽凅凉凛几處凩凭
9980	凰凵凾刄刋刔刎刧刪刮刳刹刺刮剋剌
9990	剞剔剪剴剩剳剿剽劍劔劒剱劈劑辨辦
99A0	劬劭劼劵勁勍勗勠勞勤勩勱勳勵勸勹
99B0	匆匈甸匍匐匏匕匚匣匯匱匳匸區卆卅

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
99C0	丗卉卍準卞卩卮夘卻卷厂厖厠廈厥厮
99D0	厰厶參簒雙叟曼燮叮叨叭叺吁吋呀听
99E0	吭吼吮吶吩吝呎咏呵咎咳呱呻呰呪呵
99F0	咀呟咄咐咆哇唸咸咥咬哄哈咨
9A40	咫哂咤唾唄啗哥哦唏唔哽哮哭哺哢唹
9A50	喔唧唇售啜啅啖啗唸唳唬唸喙喀咯喊喟
9A60	啻啾喘喞單啼喃喩喇喨嗚嗅嗟嗄嗜嗤
9A70	嗔嘔嗷嘖嗾嗽嘛嗹噎噐營嘴嘶嘲嘸
9A80	噫噤噦噬噪噤噞噛噓噉噺噌噪嚴嚊
9A90	嚆嚇嚏囀囓囮囘囁囃囗囮囹圉圈
9AA0	國圍圓團圖嗇圜圦圷圸坎圾坐坭坤坩垂
9AB0	垈坡垉垬垓垠垳垤垪垰埃埆埔埒埓堊
9AC0	埣埴堋堙堝塲堡塢塋塰毀塒墅塹墟墫墺壞
9AD0	墟墫奧壙墻墸墮壅壓壑壗壙壘壜壥壞
9AE0	壟壯壓壱壴壜壻壽夂夊夐夛梦夥夬夭本
9AF0	夸夾竒奕奐奎奚奘奢奩奧奬奩
9B40	妤妁妝佞侫妣妲姆姨姜妍姙姚娥娟娑
9B50	娜娉娚婀婬婉娵娶婢婪媚媼媛婿媚媽
9B60	媾嫗嫦嫩嫖嫺嫻嬌嬋嬖嬲嫐嬪嬶嬾孃
9B70	孀孅孑孕孚孛孰孱孳孵學斈孺宀
9B80	它宦宸寃寇寉寔寐寤實寢寞寥寫寰寶

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9B90	寳尅將專對尓尠尢尨尸尹屁屆屎屓屐屏
9BA0	屏孱屬屮山岑屹峅岌岑岔妛岫岻岼岵峅
9BB0	峇峆峠峡峺峭嶋峪崋崕崗嵜崟崛嵎嵯嵝
9BC0	嵫崔崢崚崙崘嵌嵒嵎嵋嵬嵳嵶嶇嶄嶂嶢
9BD0	嶬嶮嶬嶷嶮嶽嶸嶷嶼嶺嶼嶺嶷巍巓巒巖巛巫已
9BE0	巵帋帚帙帑帛帶帷幄幃幀幎幗幔幟幢
9BF0	幣幇幵并幺麼广庠廁廂廈廐廏
9C40	廖廣廝廚廛廢廡廨廩廬廱廳廰廴廸廾
9C50	弁弉彝彜弋弍弖弩弭弸彁彈彌彎弯彑
9C60	彖彗彙彡彭彳彷徃徂彿徊很徑徇從徙
9C70	徘徠徨徭徼忖忻忤忸忱忝悳忿怡恠
9C80	怙怐怩怎怱怛怕怫怦怏怵恿恚恁恪恷恟
9C90	恊恆恍恣恃恤恬恫恙悁悍惧悃悚悋悸悩
9CA0	悛悖悗悒悧悋惡悸惠惓悴忰悽惆悵惘
9CB0	慍愕愆惶愈慊慂愒慓慌慊慴慙慚慥慱慟
9CC0	慇慙慵慝慊憇憾博慟憑慄憊憚慷憔憮憺憾
9CD0	憎愴憿憺憤憼憫憺懇懈戁戄戇戞戡戥
9CE0	憫憮懌懊應懷懈懃懋憾懋罹懍懦懣懶
9CF0	懺懴懿懽懼懾戀戈戊戌戍斟戛
9D40	戞戡截戮戰戲戳扁扎扞扣扛扠扨扼抂抉
9D50	抉找抒抓抖拔抃抔拗拑抻挲拿拆擔拈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9D60	拜 拌 拊 拂 拇 抛 拉 挌 拮 拱 翔 挂 挈 拯 拾 捐
9D70	挟 捍 搜 捏 掖 掎 掀 掫 捶 垂 挙 掏 掉 掟 掠 採
9D80	捩 掾 揩 揀 揆 揣 揉 插 揶 揄 搖 搴 搆 搓 搦 搶
9D90	攝 搗 搨 搏 摧 摯 搶 摎 攪 撕 撓 撥 撩 撈 撼 據
9DA0	擒 擅 擇 撻 擘 擂 擱 擧 舉 擠 擡 抬 擣 擯 攬 擶
9DB0	擴 擲 擺 攀 擽 攘 攜 攅 攤 攣 攫 攴 攵 攷 收 攸
9DC0	畋 效 敖 敕 敍 敘 敞 敝 敲 數 斂 斃 變 斛 斟 斫
9DD0	斷 旆 旋 旌 旎 旒 旛 旙 无 旡 旱 杲 昊 昃 旻
9DE0	杳 昵 昶 昴 昜 晏 晄 晉 晁 晞 晝 晤 晧 晨 晟 晢
9DF0	晰 暃 暈 暎 暉 暄 暘 暝 曁 暹 曉 暾 暼
9E40	曄 暸 曖 曚 曠 昿 曦 曩 曰 曵 曷 朏 朖 朞 朦 朧
9E50	霸 朮 朿 朶 杁 朸 朷 杆 杞 杠 杙 杣 杤 枉 杰 枩
9E60	杼 杪 枌 枋 枦 枡 枅 枷 柯 枴 柬 枳 柩 枸 柤 柞
9E70	柝 柢 柮 枹 桎 柎 柆 檜 栞 框 栩 桀 桍 栲 桎
9E80	梳 栫 桙 档 桷 桿 梟 梏 梭 梔 條 梛 梃 檮 栴 椁
9E90	梵 椙 棻 椌 棲 椁 棟 棔 棣 椄 棗 棣 椥 棹 棠 棯
9EA0	椪 椚 棡 棆 楫 楗 棟 椶 椦 楙 椙 楯 楸 楔 楝 椀
9EB0	楡 楹 楷 楛 楤 椹 楑 榮 槐 榿 槁 槓 榾 槎 寨 槊
9EC0	槝 榠 楪 榲 榮 槐 榿 槁 槓 榾 槎 寨 槊 榱 榁 槃
9ED0	榧 椶 槫 榑 槞 樗 樊 樒 櫁 樣 樓 橄 樌 橲 樶 橸
9EE0	橇 橢 橙 橦 橈 樸 樢 檐 檎 檠 檣 檨 檪 檜 檖 檑

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9EF0	橿 檐 橙 橦 橈 樸 樢 檐 檎 檠 檣 檨 檪 檜 檖 檑
9F40	檗 蘗 檻 櫃 櫂 檸 檳 檬 櫟 櫚 櫧 櫛 櫞 櫁 櫑
9F50	欅 欄 欒 欖 欟 欝 欟 欸 欷 盜 欹 飮 歇 歃 歉 歐
9F60	歔 欲 歟 歡 歸 歹 歿 殀 殃 殍 殄 殉 殞 殘 殕 殖
9F70	殫 殞 殲 殱 殳 殷 殼 毆 毋 毓 毟 毬 毫 毳 毯
9F80	麾 氈 氓 气 氛 氤 氣 汞 汕 汢 汪 沂 沍 沚 沁 沛
9F90	汾 汨 汳 沒 沐 泄 泱 泓 沽 泗 泅 泝 沮 沱 沾 沺
9FA0	泛 泯 泙 泪 洟 衍 洶 洫 洽 洸 洙 洵 洳 洒 洌 浣
9FB0	涓 浤 浚 浹 浙 涎 涕 濤 涅 淹 渕 渊 涵 淇 淦 涸
9FC0	淆 淬 淞 淌 淨 淒 淅 淺 淙 淤 淕 淪 淮 渭 湮 渒
9FD0	渙 湲 湟 渾 渣 湫 湛 渌 渟 湃 渺 湎 渤 滿 滝
9FE0	游 滃 溪 溘 滉 溷 滓 溽 溯 滄 溲 滔 滕 溏 溥 滂
9FF0	溟 潁 漑 灌 滬 滸 滾 漿 滲 漱 滯 漲 滌
E040	漾 漓 滷 澆 潺 潸 澁 澀 潯 潛 濳 潭 濬 濘 濮 澎
E050	濯 濂 潦 澳 澣 澡 澤 澹 濆 澪 濟 濕 濬 濔 濘 濱
E060	濮 濛 瀉 瀋 濺 瀑 瀁 瀏 濾 瀛 瀚 瀦 瀝 瀘 瀟 瀰
E070	瀾 瀲 灑 灣 炙 炒 炯 烱 炬 炸 炳 炮 烟 烋 烝
E080	烙 焉 烽 焜 焙 煥 煕 熈 煦 煢 煌 煖 煬 熏 燻 熄
E090	燕 熨 燗 熹 熾 燒 燉 燔 燎 燠 燬 燧 燵 燼 燹
E0A0	燿 爍 爐 爛 爨 爭 爬 爰 爲 爻 爼 爿 牀 牆 牋 牘
E0B0	牴 牾 犂 犁 犇 犒 犖 犢 犧 犹 犲 狃 狆 狄 狎 狒 狢

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E0C0	狢 狠 狡 狹 狷 倏 猗 猊 猜 猖 猝 猴 猯 猩 猥 猾
E0D0	獎 獏 默 獗 獪 獨 獰 獫 獵 獷 獺 珈 珙 珥 玻 珀
E0E0	珮 珮 珞 璢 琅 瑯 琥 珸 琲 琺 瑕 琿 瑟 瑙 瑁 瑜
E0F0	瑩 瑰 瑣 瑪 瑶 瑾 璋 璞 璧 瓊 瓏 瓔 珱
E140	甌 瓣 疋 疏 瓮 疏 瓮 甌 疏 瓮 甄 甕 甎 甌 甄 甍
E150	甕 甓 甞 甦 甬 甲 甶 畋 畊 畉 畛 畚 畝 畤 畧
E160	畫 畛 畸 當 疆 疇 畴 疊 疊 疂 疔 疚 疝 疥 疣 痂
E170	疳 痃 疵 疽 疸 疼 疱 痍 痊 痒 痙 痣 痞 痾 痿
E180	痼 痰 痺 痲 痳 瘋 瘍 瘉 瘟 瘧 瘠 瘡 瘢 瘤 瘴
E190	瘰 瘻 癇 癈 癆 癜 癘 癡 癢 癨 癩 癪 癧 癬 癰
E1A0	癶 癸 發 皀 皃 皈 皋 皎 皖 皓 皙 皚 皰 皴 皸 皹
E1B0	皺 盂 盍 盖 盒 盞 盡 盥 盧 盪 蘆 盻 眈 眇 眄 眩
E1C0	眤 眞 眥 眦 眛 眷 眸 睇 睚 睨 睫 睛 睥 睿 睾 睹
E1D0	瞎 瞋 瞑 瞠 瞞 瞰 瞶 瞹 瞿 瞼 瞽 瞻 矇 矍 矗 矚
E1E0	矜 矣 矮 矼 砌 砒 礦 砠 礪 砧 硎 硤 硼 碌 碎 碑
E1F0	碣 碵 碪 碯 磑 磆 磋 磔 碾 碼 磅 磊 磬
E240	磧 磚 磽 磴 礇 礒 礑 璢 礫 祀 祠 祗 祟 祚 祕
E250	祓 祺 祿 禊 禝 禧 齋 禪 禮 禳 禹 禺 秉 秕 秧 秬
E260	秡 秣 稈 稍 稘 稙 稠 稟 禀 稱 稻 稾 稷 稃 穂 穉
E270	穡 穢 穩 龝 穰 穹 穽 窈 窗 窕 窘 窖 窩 竈 窰
E280	窶 竅 竄 窿 邃 竇 竊 竍 竏 竕 竓 站 竚 竝 竡 竢

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E290	竦 竭 竰 笏 笊 笆 笳 笘 笙 笒 笵 笨 笶 筐 筺
E2A0	笄 筍 笋 筌 筅 筵 筥 筴 筧 筰 筱 筬 筮 箝 箘 箟
E2B0	箍 箜 箚 箋 箒 箏 箸 箙 箙 篋 篌 篏 篝 篩 篥 篚
E2C0	篩 篳 篶 篹 篶 篷 篠 篝 篷 篆 篭 篦 篋 篁 篌 篏
E2D0	篳 篶 簫 簽 簔 籃 籔 簇 籀 籐 籘 籟 籤 籖 籥 籬
E2E0	粁 粃 粤 粭 粢 粽 粨 粳 粲 粱 粮 粹 粽 糀
E2F0	糅 糲 糘 糘 糜 糢 糲 糲 糲 糲 糲 糺 紆
E340	紂 紜 紕 紊 絅 絋 紮 絏 紿 紵 絆 絳 絖 絎 絲 絨
E350	絮 絏 絣 經 綉 條 綏 絽 綯 綺 綮 綣 綵 緇 綽 綫
E360	總 綢 綯 綛 綸 綟 綰 緘 緝 緤 緞 緻 緲 緡 縅 緕
E370	縣 縡 縒 縱 縟 縉 縋 縢 繆 繦 縻 縵 縹 繃 縷
E380	縲 縺 繧 繝 繖 繞 繙 繚 繹 繪 繩 繼 繻 纃 緕 繽
E390	辮 纈 纉 續 纒 纐 纓 纔 纖 纎 纛 纜 缸 缺 罅
E3A0	罌 罍 罎 罐 网 罕 罔 罘 罟 罠 罨 罩 罸 罰 罷 羆
E3B0	羃 羈 羇 羌 羔 羞 羝 羚 羣 羯 羲 羹 羮 羶 羸 譱
E3C0	翅 翆 翊 翕 翔 翡 翳 翩 翳 翹 飜 耆 耄 耋 耒 耘
E3D0	耙 耜 耡 耨 耿 耻 聊 聆 聒 聘 聚 聟 聢 聨 聳 聲
E3E0	聰 聶 聹 聽 聿 肄 肆 肅 肛 肓 肚 肭 冐 肬 胛 胥
E3F0	胙 胝 胄 胚 胖 脉 胯 胱 脛 脩 脣 脯 腋
E440	隋 腆 脾 腓 腑 胼 腱 腮 腥 腦 腴 膃 膈 膊 膀 膂
E450	膠 膕 膵 膤 腔 腸 膩 膰 膵 膾 膸 臆 臀 臂 膺 臉

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E460	臍臑臙臘臈臚臟臟臧臺臻與舁舂舅與
E470	舊舍舐舖舩舫舸舳艀艙艘艝艚艟艤
E480	艢艨艪艫艮艱艷艸艾芍芒芫芟芻芬苡
E490	苣苟苒苴苳苺苻范苻苹苞茆苔茉苙茵
E4A0	茴茖茲茱荀茹荐荅茯茫茗荔荏莛莪莢
E4B0	莠莖莫莎莇莊莽莵荳荵莉莨菴菅菫
E4C0	菎菽萃菘萋菁菷長菠菲萍萢萠莽與菱
E4D0	萓萸萵萼萱菴葛葡萸萼葆葩葉萬葯葹
E4E0	萻葥葢蒹葭葤葎葊葯葡蓼蒙蓆蓖蒿蓁
E4F0	蓿蘑蔗蔘蔬蔟蔕蔔蓼蔭蔣蔻蔚蕈
E540	蕁藥蕋蕕薀薙薈薑薊薨蕭薔薛藪薇薜
E550	蘋蕾蘂藉薺藏薹藐藕藝藥藜藹蘊蘓蘋
E560	藾藺蘆蘢蘚蘰蘿虎虒虓號虧虱蚓蚣蚩
E570	蚰蚋蚌蚶蚯蛄蛆蛇蛉蠣蛻蛔蛞蛩蛬蛟
E580	蛸蛛蛯蜒蜆蜈蜀蜃蛻蜑蜉蜍蛹蜊蜴蜿
E590	蜷蜻蜥蜩蜚蝠蝟蝸蝌蝎蝴蝗蝨蝮蝙蝓
E5A0	蝣蝪蠅螢螟螂螯蟋蟲蟯蟶蟷蠏螫蟇螳蟵
E5B0	螻螺蟾蟲蟠蠏蠍蟾蟶蟹蠑蠣蟷蠖蠕蠢
E5C0	蠡蠱蠶蠹蠧蠻衄衂衒衙衞衢衫袁衾袞
E5D0	衵衽袒袷袂衿袍祢祐袢袍袤袈袿袱袴
E5E0	裄裔裘裙裝裹褂裼裨裲褄褌褊褓襃

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E5F0	褞褥褪褫襁襄褻褶褸襌褝襠襞
E640	襦襤襭襪襯襴襷襾覃覈覊覓覘覡覦覩覯
E650	覲覿覺覽覿覿觀觚觜觝觧觴觸訃訖訐
E660	訌訛訝訥訶詁詛詒詆詈詬詼詭詢詣訾
E670	詫諈諉諏誆誥誦誚誑諍諂諄諑誌諜諳諧
E680	諤諱謔諠諢諷諞諛諝謇諡謐謗謚謫謖
E690	謳鞫謦謫謷謨譁譌譎譏譖譙譬譚譟譫
E6A0	譴譯譸譽讀讌讎讒讖讙讚谿豁谺豈
E6B0	豌豎豐豕豢豬豸豺貂貉貅貍貎貔豼貘
E6C0	貊貶貭貪貽貲貳貮貶賈賁賤賣賚賽賺
E6D0	賻贄贅贇贏贍贐齎贓賍贔贖赧赭赱
E6E0	赳趁趙跂趾趺跏跚跖跌跛跋跪跫跟跣
E6F0	跼跿踉踝踞踟踐踰踴踵踹踔踪蹌踢踏
E740	蹇蹉蹌蹐蹈蹙躄蹴蹠蹤蹟蹕躁躇躋躊躓躑躔
E750	躙躪躡躕躑躞躕躙躍躬躰體躱躾軅
E760	軈軋軛軦軼軻軫軾軽軺軼軾較輅輕輒輙輜輟
E770	輛輌輦輳輻輹輸輳轂轅轌轉轡轆轎轗轜
E780	轣轤轤辜辟辣辭辯辷迚迥迢迪迯邇迴
E790	逅迹迺逑逕逡逍逞逖逋逧逶逵逹逹迸遏遐
E7A0	遑遒逎遉逾遖遘遞遨逖遯遘隨遲邂遽邁
E7B0	邀邊邉邏邨邯邱邵郢郤扈郛鄂鄒鄙鄲

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E7C0	鄰鄭酊酳酘酣酥酩酳酲醋醉醂醢醫醯
E7D0	醪醸醴醺釀釁釉釋釐釖釜釣釼釶鈕鈑
E7E0	鈎釿鈔釈鈬鈕鈑鉞鉗鉅鉉鉤鉈銕鈿鉋鉚
E7F0	銜銖銓銛鉚鋏銹銷鋩鋭鋺銖鍬鍾鍛鋳
E840	鍋錢錚錣錺錆鍼鍖鍜鍠鍼鍮鍤鍔鎰鐫鎔
E850	鎹鏖鏗鏨鏥鎚鏘鏐鏐鏤鐚鏤鐔鐓鐃鐇鐐
E860	鐶鐫鐓鐵鐡鐺鑁鑄鑞鑠鑢鑞鑪鑓鑰鑚
E870	鑼鑷鑽鑚鑼鑾鑼鑿閂閇閊閔閖閘閙
E880	閏閭閧閠閨閼閻閾閹閿濶闃闥闍闌闕
E890	闕闡闥闘阡陂阮阯陂陌陏陋陷陜陞陝
E8A0	陟陦陲陬隍隘隕隗險隧隱隲隰隴隶隷
E8B0	隹雎雋雉雍襍雜霍雕雹霄霆霈霓霎霑
E8C0	霏霖霙霤霪霰霹霽霾靄靆靈靂靉靜靠
E8D0	靤靦靨勒靫靱靹鞅靼鞁靺鞆鞄鞋鞏靹鞜
E8E0	鞨鞦鞣鞳鞴韃韈韲韮韜韭齏韲竟韶韵
E8F0	頏頌頸頤頡頷頽顆顏顋顒顕顰
E940	顱顴顳颪颯颱颶飄飃飩飫餃餉餒餔餘
E950	餡餤餬餞餤餠餬餮餽餾饂饉饅饐饋饑
E960	饒饌饗馗馘馥馭馮馼駟駛駝駘駑駭駮
E970	駱駲駸駿騁騏騅騆騙騒騒驅驂驀驃
E980	驟驕驍驛驗驟驢驥驤驩驫驪骭骰骼髀

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
E990	髏髑髓體髞髟髦髯髭髷髻髺髾髫髳髷
E9A0	鬆鬘鬚鬟鬢鬣鬩鬮鬨鬩鬪鬭鬯鬲鬻魄魃
E9B0	魏魍魎魑魘魴觚魯魴魚魨魯鮃鮑鮖鮗鮟鮠鮴鯀
E9C0	鯊鮹鯆鯏鯑鯒鯣鯢鯤鯔鯡鰺鯲鯱鯰鰹鯷鰮鰒鰯
E9D0	鰔鰉鰓鰌鰆鰈鰏鰕鰔鰉鰲鰡鰰鱇鰲鱆鱚鱒鱧
E9E0	鱸鱠鱮鱶鱸鱳鱧鱶鱸鳧鳬鳰鴉鴈鳫鴎鴪
E9F0	鴟鴣鴦鴕鴛鴒鴟鴇鴫鴪鴬鴾鴷鵁鵆鵈
EA40	鵝鵞鵤鵑鵐鵙鵲鶉鶇鶫鵯鵺鶚鶤鶩鶲
EA50	鷄鷁鶻鶸鶺鷆鷏鷂鷙鷓鷸鷦鷭鷯鷽鸚
EA60	鸛鸞鹵鹹鹽鹿麈麋麒麕麑麝麥麩麸
EA70	麪麭靡黌黎黏黹黛黜黝點黠黥黨黯
EA80	黴黶黷黼黻黹黼黽鼇鼈皷鼕鼡鼬鼾齊齒
EA90	齔齣齟齠齡齦齬齪齷齲齶龕龜龠堯
EAA0	槇遙瑤凜熙
EAB0	
EAC0	
EAD0	
EAE0	
EAF0	
EB40	
EB50	

13.5　スキャン用語集

	用語	説明
アルファベット	10BASE-T/ 100BASE-TX/ 1000BASE-T	Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
	Active Directory	Microsoft が提供するネットワーク上に存在するサーバー、クライアント、プリンターなどのハードウェア資源や、それらを使用するユーザーの属性、アクセス権などの情報を一元管理することができるサービスのこと。
	Adobe® Flash®	Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組み合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザーに専用のプラグインを導入して閲覧できる。
	anonymous FTP	通常は、アカウントとパスワードによって保護される FTP サイトを、アカウント名に anonymous（匿名）と入力することでパスワードが不要になり、誰でも利用できるようになる FTP サイトのこと。
	APOP	Authenticated Post Office Protocol の略。通常の POP が電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化しないのに対して、パスワードを暗号化することで安全性が向上した認証方法のこと。
	AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
	Auto IP	自動で IP アドレスを取得する機能。DHCP による IP アドレス取得に失敗した場合、「169.254.0.0」のアドレス空間から任意の IP アドレスを取得する。
	bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。
	Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。
	CSV	Comma Separated Values の略。データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する形式の 1 つ（拡張子は .csv）。データをカンマ（区切り符号）で仕切ることで、異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルータなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
	DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
	DPI（dpi）	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
	Dynamic 認証（LDAP 設定）	MFP から LDAP サーバーに接続する際の、認証方法オプションのひとつ。宛先情報を LDAP サーバーから参照するときに、LDAP サーバーへのログイン名とパスワードをユーザーに毎回入力させたい場合、このオプションを選択する。
	FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。

	用語	説明
	GSS-SPNEGO/Simple/Digest MD5	LDAP サーバーへのログオン時の認証形式。LDAP サーバーは使用するサーバーやサーバーの設定により認証形式が異なり、GSS-SPENEGO/Simple/Digest MD5 という認証形式がある。
	HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
	ICM	Image Color Management の略。Windows で使用されているカラーマネジメントシステムのこと。ディスプレイ・スキャナー・プリンターなどの入出力デバイスによる色の違いを調節し、どのデバイスでも同じ色に近づけるよう再現する。
	IMAP	Internet Message Access Protocol の略。サーバー上のメールボックスの管理機能を持つ電子メール受信用のプロトコルのこと。現在は IMAP のバージョン 4 である IMAP4 が主に使われている。
	IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
	IPsec	TCP/IP で使用されているセキュリティー技術の名称。送信するパケットの暗号化や認証に関するプロトコルを決めることによって、セキュリティーを強化したサービス提供が可能となる。
	IPv6	Internet Protocol version 6 の略。 インターネットを使用する機器の増加に伴い、現在使用されている IPv4 に代わるものとして準備が進められてきたプロトコルの名称。 IP アドレスの 128 ビット化、セキュリティー機能の追加などが追加されている。
	IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
	IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
	Java	Sun Microsystems 社が開発したプログラミング言語。ハードウェアや OS に依存せずに動作する。ただし、Java アプリケーションを動作させるためには、JavaVirtual Machine（Java VM）と呼ばれる動作環境が必要である。
	Kerberos	Windows2000 以降で使用されているネットワーク認証システムの一つ。Active Directory の認証に使用される。ネットワーク内に信頼できるサイトを配置し、このサイトでユーザーのログオンと各種ネットワーク・リソース利用という 2 段階のフェーズで認証を行うことにより、ユーザーを安全かつ効率的に認証することができる。
	LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
	LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
	LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。

	用語	説明
	MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割り当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割り当てる番号である。
	MH	Modified Huffman の略。ファクス用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、10 分の 1 程度に圧縮される。
	MIB	Management Information Base の略。TCP/IP 通信において、SNMP を用いて収集されるネットワーク機器の管理情報フォーマットを定義したもの。メーカー独自のプライベート MIB と、標準化されたスタンダード MIB の 2 種がある。
	MMR	Modified Modified Read の略。ファクス用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、20 分の 1 程度に圧縮される。
	NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピューター名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
	NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
	NTLM	NT LAN Manager の略。Windows NT 以降で共通して使用されるユーザー認証方式。MD4 または MD5 という暗号方法でパスワードを暗号化する。
	NTP	Network Time Protocol の略。コンピューターの内部時計を、ネットワークを介して正しく調整するプロトコルのこと。階層構造を持ち、最上位のサーバーが GPS 等を利用して正しい時刻を得、下位のホストはそれを参照する事で時刻を合わせる。
	OCR	Optical Character Reader の略。手書き文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶されたパターンとの照合によって文字を特定し、文字データに変換する装置またはソフトウェアのこと。
	OS（オーエス）	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
	PASV	PASsiVe の略。ファイアウォール内部から FTP サーバーに接続するモード。このモードに設定していないとファイアウォールが不正アクセスと見なし、接続を遮断してしまうため、ファイル転送をすることができなくなる。
	PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
	POP	Post Office Protocol の略。メールサーバーから電子メール受信を行うためのプロトコルのこと。現在は POP のバージョン 3 である POP3 が主に使われている。
	POP Before SMTP	電子メールを送信する際の、ユーザー認証方法のひとつ。まず受信動作を行い、POP サーバーにてユーザー認証を行う。その後、POP サーバーにユーザー認証を通過した IP アドレスに対して、SMTP サーバーの利用を許可する。メールサーバーの利用権のない第三者が、不正にメールを送信するのを防ぐ。
	Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバーのこと。
	Raw ポート番号	Windows 等の TCP 印刷で Raw プロトコルを選択した場合に使う TCP ポート番号のこと。通常の番号は 9100。
	Samba	SMB（Server Message Block）を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
	realm（IPP 設定）	セキュリティ機能を実現するための領域。ユーザー名とパスワードなどの認証情報を組織化し、領域内のセキュリティ原則を定義する。
	referral 設定（LDAP 設定）	宛先を検索した LDAP サーバーに該当するデータが無かった場合、次にどの LDAP サーバーを検索するべきか、LDAP サーバーが指示を行う。この指示された LDAP サーバーを、MFP が検索するかどうかの設定。

	用語	説明
	SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスや、クライアントの自動検索を行う。
	S/MIME	Secure/Multipurpose Internet Mail Extensions の略。 MIME（E-mail の操作）に暗号化や電子署名などの機能を追加するプロトコル。 暗号化には、暗号化と復号化で異なる鍵を使う公開鍵方式が利用されている。
	SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
	SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
	SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Security の略。Web サーバーとブラウザー間で安全にデータ通信するための暗号化方式のこと。
	TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
	TCP Socket	TCP/IP において利用するネットワーク用 API のことを指す。このソケットを使って通信路を開いて、通常のファイル入出力を行う。
	TIFF	Tagged Image File Format の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .tif）。データの型を表す「タグ」によって、1 つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。
	TWAIN	スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェースに関する規格のこと。 TWAIN 対応機器を使用するためには、TWAIN ドライバが必要である。
	USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
	WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。
	Zone	AppleTalk ネットワークに付ける名前。AppleTalk ネットワーク上の複数の機器をグループ分けするために使用する。
あ行	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット（Ethernet）	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
	ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
か行	画素	画像を構成する最小単位のこと。
	解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
	階調	画像の濃淡の段階のこと。数が大きいほど、滑らかな濃度変化を再現できる。
	拡張子	ファイルの保存形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。ピリオドに続けて表記される。「.bmp」や「.jpg」など。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
	コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差（明暗の差）のこと。明暗の差が少ない画像を「コントラストが低い画像」、明暗の差が大きい画像を「コントラストが高い画像」という。

	用語	説明
	コンパクト PDF	カラー文書をデータ化する際に、PDF 形式を利用して容量を小さく抑える圧縮技術。 文字領域とイメージ領域を認識し、それぞれの領域に最適な圧縮方法、解像度を適用することで、高い圧縮性能を実現する。 本機では、スキャン機能により文書をデータ化する際に、コンパクト PDF を選択することができる。
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	サムネイル	画像ファイルや文書ファイルの内容（ファイルを開いたときのイメージ）を小さく表示する機能のこと。
	シングルページ TIFF	1 つのファイルが 1 ページだけの TIFF ファイルのこと。
	線数	画像を形成する網点が、どれだけの密度で使われるかを示した数のこと。
	走査（scan）	スキャナーの読み取り動作で、一列に並んだイメージセンサを少しずつ移動させながら画像を読み取っていくこと。イメージセンサを移動させる方向を主走査方向といい、イメージセンサが一列に並んでいる方向を副走査方向という。
た行	デフォルト	初期設定値のこと。電源ボタンをオンにしたときに、あらかじめ選択されている設定。または、ある機能をオンにしたときにあらかじめ選択されている設定。
	ドライバ	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
な行	濃度	画像の濃さを表す量のこと。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。電源を OFF しても、データが保持される。
	ハーフトーン	画像の各部分の濃淡を、黒または白の点の大小で表現する方法のこと。
	ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
	ピクセル	画素のこと。画像を構成する最小単位。
	プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	プレビュー	印刷／スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
	プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
	プロパティ	属性情報のこと。プリンタードライバーを使用する際は、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
	ポート番号	ネットワーク上のコンピューター内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使用することはできない。
ま行	メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。

13.6　インターネットファクス用語集

インターネットファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

	用語	説明
アルファベット	DSN	DSN =Delivery Status Notifications の略。受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる配送状態通知メッセージのことです。
	MDN	MDN=Message Disposition Notifications の略。 送信側が開封確認を要求している場合に送られる開封確認メッセージのことです。
	POP3	Post Office Protocol - Version 3 の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。メールボックスの認証、電子メールのダウンロードや一覧情報の確認、電子メールの削除などの機能をもちます。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。
あ行	インターネットファクス	イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由し、読込んだ原稿をインターネットファクスやコンピューターとのあいだで電子メールの添付文書（TIFF 形式）として送受信する通信形態のことです。

13.7　ファクス用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。
本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
アルファベット	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1 秒間に送るデータ量を表します。
	ECM	(Error Correction Mode: 誤り訂正方式) G3 通信の誤り再送方式です。相手に正しくデータが送られたかどうかを確認し、正しく送られていない場合はそのデータを再送しながら通信します。相手側が ECM モードをもっていれば、本機では ECM オフを指定しない限り、ECM で通信されます。
	F コード	ITU-T（国際電気通信連合）で標準化された T.30 ＊のサブアドレスの使い方について、CIAJ（情報通信ネットワーク産業協会）が定めた通信手順のことです。F コード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、F コードを使用したいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で F コードを使っています。 (＊通信の規格のことです)
	G3	ITU-T（国際電気通信連合）が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
	PB	プッシュ回線のことです。
	PC-FAX	紙を使用せずに、コンピューターから直接ファクス送信できる機能のことです。
	Super G3 (SG3)	ITU-T V.34 に準拠した G3 通信のモードです。通常の G3 通信より高速（最高 33,600bps）で通信することができます。
	TSI	Transmitting Subscriber Identification の略で、送信（発信）ファクス端末の ID のことです。
	V34	スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式のことです。相手機又は自社機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は、V34 OFF を選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿の場合に、いったん原稿サイズを確定してから原稿を読込み送信する機能のことです。この機能は、原稿を ADF で読込む場合にだけ使用できます。
あ行	宛先確認送信	送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合のみ送信する機能のことです。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止することができます。相手機に送信元のファクス番号が正しく登録されている必要があります。
	宛先レベル	情報のセキュリティのため、特定の宛先情報を特定の人にだけ閲覧できるように設定する機能のことです。ユーザー認証と連動して使用し、設定したユーザーレベルと一致した宛先レベルの情報だけを閲覧できます。
	一括送信	宛先、送信時刻、メモリー送信や解像度などの送信条件が同じ文書がメモリーに蓄積されると、指定した時刻にひとつの文書として自動的に送信されることです。
か行	海外通信	国外の相手と通信をすることです。海外通信モードに設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも、通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておくと、確実に通信することができます。
	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細かくなり、送信にかかる時間（電送時間）が長くかかります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社（NTT）グループが提供している公衆電話回線のことです。
	強制メモリー受信	受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントする機能のことです。

	用語	説明
	クイックメモリー送信	原稿を 1 ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法のことです。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信する機能のことです。
	グループ	複数の短縮番号をグループ化しておくことです。同じ宛先に順次同報や順次ポーリング受信をすることが多い場合に便利です。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿のとじしろ	ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿のとじ位置を設定する機能です。両面原稿のとじ位置には、原稿の上側（または下側）にとじ位置がある上下とじと、原稿の左（または右側）にとじ位置がある左右とじがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。
	原稿枚数	原稿の総ページ数を付けて送信することで、クイックメモリー送信の場合に使います。原稿が正しく届いたかを確認するのに便利です（メモリー送信の場合は、自動的に総ページ数が付けられます）。
	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能のことです。
さ行	再送信	メモリーに保存されている送信できなかった文書を選択して、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信する機能のことです。
	下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能のことです。
	シャープネス	文字のエッジを強調して送信する機能のことです。
	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。
た行	ダイアルイン	ファクス用の電話番号と、電話用の電話番号を別にもつことができる機能のことです。 ダイアルイン機能を使用するためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。
	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 /10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 /20PPS）の 3 種類があります。
	代行転送	操作パネルの設定確認ボタンを使い、出力待ちの受信原稿を手動で転送する機能のことです。代行転送は、ファクス / スキャン画面が表示されているとき、紙なし、または紙づまりで動作が中断しているときに設定します。
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	短縮宛先	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮宛先を登録するときに、宛先名と検索文字を登録しておくと、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。
	着信拒否宛先	着信拒否したい相手の電話番号をあらかじめ登録し、迷惑ファクスを受信しないようにする機能のことです。登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合、［着信拒否］とメッセージを表示し受信されません。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に送信するファクスのことです。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信をすることで、全体の通信料金を削減することができます。

	用語	説明
	長尺原稿	A3 サイズ（420 mm）より長い、長尺サイズの原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くかかります。
	伝送速度	ファクスではモデムの伝送速度のことをいいます。 本機では、33,600bps などの高速な伝送速度で通信できます。海外通信モードに設定しておくと、7200bps や 4800bps のノイズに強い伝送速度で通信します。
	同報	ひとつの原稿を 1 回の操作で複数の相手に送信することです。
は行	パスワード送信	パスワードをつけて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信	電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイアルすることです。
	発信元名	漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	発信元記録	ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	ファクス ID	ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	副走査	原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	ブック連写	本やカタログなどをファクス送信する場合に、表カバー、裏カバー、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとして送信できる機能のことです。
	プログラム宛先	頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。プログラムキーを押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	閉域受信	パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能のことです。
	ポーズ	間隔をあけてダイアルすることです。本機ではポーズを 1 回押すと、1 秒の間隔をあけることができます。
	ポーリング	相手側にセットされているか、またはメモリーに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。
ま行	メモリー	データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。
	メモリーオーバーフロー	読込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリーが一杯になった状態をいいます。
	メモリー送信	原稿を読み取り、メモリーに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリー送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。
	メモリー代行受信	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリーに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
や行	読込み	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読込みサイズ	原稿を読込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。
ら行	リダイアル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイアルをすることです。手動でリダイアルする方法と、自動的にリダイアルされる自動リダイアルがあります。
	リモート受信	外部電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
わ行	枠消し	ADF を開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能のことです。

第 14 章
索引

14.1　使用別索引 14-2
14.2　項目別索引 14-4

14.1　使用別索引

■ G

G3 ファクス

PBX 回線の接続方法を設定する 10-30
PC-FAX を受信する 7-3
TSI 受信振分けを行う 7-4
オンフックを使う 4-29
外部電話機から電話する 6-2
外部電話機で電話を受ける 6-3
外部電話機を付けて手動受信する 5-4
外部電話機を付けて電話とファクスを自動的に切換える 5-3
過去の送信履歴から宛先を選択する 4-27
強制メモリー受信する 7-2
掲示板からポーリング受信をする 7-9
掲示板にポーリング送信をする 7-9
受信時の縮小率について調べる 5-9
受信文書のプリント方法を設定する 10-11
親展通信を行う 7-5
スタンプ設定をファクス送信時に解除するかどうかを設定する 10-12
送受信時のファイルの扱いやプリント方法について設定する（送信 / 受信設定） 10-19
増設回線の設定をする 10-34
増設回線を使う 7-10
着信拒否宛先を登録する 9-31
中継配信を行う 7-6
ナンバーディスプレイなどの機能を使用するかどうか設定する（機能 ON/OFF 設定） 10-23
発信元 / 受信情報の印字位置を設定する 10-13
発信元 / ファクス ID を登録する 10-12
発信や回線に関する項目を設定する（回線パラメーター設定） 10-16
パワーセーブ移行条件を設定する 10-11
ファクス情報サービスを利用する 13-3
ファクス専用機として使う（自動受信） 5-2
ファクス送信の宛先を直接指定する 4-21
ファクス送信の宛先を登録する 9-8
ポーリング受信をする 7-8
ポーリング送信をする 7-8
メモリー代行受信する 5-8
リダイアルする 4-61
リモート受信する 5-5

■ か行

共通

E-mail 件名を設定する 9-26
E-mail 本文を設定する 9-26
宛先に参照許可設定を行う 9-32
宛先の直接入力ができないように設定する（手動宛先入力） 10-10
宛先を LDAP サーバーから検索する 4-27
宛先を検索する 4-19
画面のカスタマイズを行う 9-34, 9-36
グループ宛先を登録する 9-24
原稿設定をする 4-50
通信設定をする 4-53
左エリアからジョブを操作する 2-6
左エリアから設定内容を確認する 2-11
ファクス / スキャンのデータの設定を行う 9-37
プログラム宛先を登録する 9-27
ヘッダー / フッターを設定する 10-8
ユーザーが操作できない機能を設定する（ユーザー操作禁止設定） 10-7
読込み設定をする（ユーザー操作禁止設定） 4-30
レポートの出力方法を設定する 10-30, 10-40

■ な行

ネットワークスキャン

E-mail 宛先を直接指定する 4-22
E-mail 宛先を登録する 9-5
FTP 送信先を直接指定する 4-25
FTP 送信先を登録する 9-16
SMB 送信先を直接指定する 4-24
SMB 送信先を登録する 9-13
WebDAV 送信先を直接指定する 4-26
WebDAV 送信先を登録する 9-18
Web サービスで宛先を直接指定する 4-27
Web サービスを使うための準備をする 3-6
Web サービスを使ってコンピューターからスキャン指示する 13-4
ボックス宛先を直接指定する 4-23
ボックス宛先を登録する 9-7

ネットワークファクス

IP アドレスファクス宛先を直接指定する 4-24
IP アドレスファクス宛先を登録する 9-20
SIP ファクス宛先を直接指定する 4-22
SIP ファクス宛先を登録する 9-11
インターネットファクス宛先を直接指定する 4-23
インターネットファクス宛先を登録する 9-22
インターネットファクスを受信する 4-23, 5-6
ネットワークファクスの設定をする 10-42
リダイアルする 4-61

14.2 項目別索引

D

DSN メッセージ 10-41

E

ECM OFF 4-53
E-mail 10-2
E-mail 設定 4-54
E-mail 送信 1-6
E-mail ー件名（E-mail/I-FAX） 9-26
E-mail ー本文（E-mail/I-FAX） 9-26

F

FAX 送信禁止 10-37, 10-43
From 4-55
FTP 送信 1-6, 10-2
F コード送信 4-59
F コード送信機能 10-23

G

G3 ファクス 1-9, 10-2

I

IP アドレスファクス 1-11, 10-3

J

JPEG 圧縮方法 9-37

L

LDAP 検索ー単検索 4-27
LDAP 検索ー複合検索 4-28

M

MDN メッセージ 10-41

P

PageScope Web Connection 11-2
PBX 接続設定 10-30
PC-FAX 受信 7-3
PC-FAX 受信設定 10-28
PC-FAX 送信エラーレポート 8-18, 10-33
PC-FAX 送信設定 10-36

S

SIP アダプター接続確認 10-42
SIP ファクス 1-10, 10-3
SMB 送信 1-7, 10-2

T

TEL/FAX 自動切換え 5-3, 10-17
TSI 受信振分け 7-4
TSI 受信振分け先登録 10-29
TSI 受信振分け設定 10-28
TWAIN 操作ロック時間 9-38

U

URL 通知先設定 4-18, 4-55

V

V34 OFF 4-18, 4-53

W

WebDAV 送信 1-8
Web サービス 1-8, 3-6, 13-4

Z

Z 折れ原稿 4-50

あ行

アイコン 9-6
相手機受信能力 4-23
相手先印字 10-14
宛先 / ボックス登録 9-5
宛先 2 度入力機能（送信） 10-25
宛先 2 度入力機能（登録） 10-25
宛先確認送信 4-54
宛先確認表示機能 10-24
宛先登録 11-14, 11-18
宛先レベル設定 9-32
アドレス帳初期表示 9-35
暗号化 4-32
インターネットファクス 1-10, 10-3
インターネットファクス拡張設定 10-43
インターネットファクス自機受信能力 10-42
インターネットファクス受信レポート（DSN） 8-20
インターネットファクス受信レポート（MDN） 8-19
インチ系用紙優先選択 10-20
エラーメッセージ 12-6
オートリダイアル 4-61
オートリダイアル回数 10-17
オートリダイアル間隔 10-17
折り目消し 4-38
オンフック 4-29

か行

海外通信モード 4-53
回線指定 4-54
回線設定 4-53

回線パラメーター設定 10-16, 10-35
回線モニター音 10-19, 10-35
回線モニター音レベル 10-19
解像度 4-31
外部 TEL 呼出時間 10-18
外部 TEL 呼出しモニター音 10-18
外部電話機 5-4
画質調整 4-35
片面／両面 4-31
画面カスタマイズ設定 9-34
カラー 4-35
カラー TIFF 形式 9-39
環境設定－ユーザー操作禁止設定 10-7
管理者 11-10
管理者設定 10-7
機能 ON/OFF 設定 10-23
機能設定 10-36
基本画面表示 9-34
基本設定－原稿画質 4-30
給紙トレイ固定 10-21
強制メモリー受信 7-2
強制メモリー受信設定 10-26
記録用紙サイズ 10-20
記録用紙優先選択 10-20
クイックメモリー送信 4-56
グループ宛先 3-4
グループ宛先登録 9-24
グループ宛先リスト 8-5
掲示板 7-9
掲示板送信結果レポート 8-17, 10-32
掲示板ボックス 9-32
原稿外 5-14
原稿設定 4-50
原稿セット方向 4-50
原稿内 5-14
原稿のとじしろ 4-51
原稿枚数指定 4-51
検索オプション設定 9-37
件名 4-54
件名 / 本文リスト 8-21
個人情報非表示 10-37, 10-43
混載原稿 4-50
コンパクト PDF/XPS 圧縮方法 9-39

さ行

サービスコール 12-10
再送信 4-61
再送信設定 10-28
参照 4-24
参照許可設定 9-32
仕上りプレビュー 4-10
次宛先 4-24, 4-26
下地調整 4-36
自動受信 5-2, 5-3
シャープネス 4-36
縮小率 10-22
受信印刷出力設定 10-11
受信印刷部数 10-23
受信原稿両面印刷 10-19
受信情報 5-14, 10-15
受信中画面表示 9-36
受信方式 10-16
手動宛先入力 10-10, 10-37, 10-43
手動受信 5-4
手動送信 4-29
手動リダイアル 4-61
順次通信結果レポート 10-31
順次ポーリング受信結果レポート 8-14
順次ポーリング受信予約レポート 8-16
消去 4-36
詳細検索 4-21, 4-56
詳細指定 4-25, 4-26
情報表示 11-11
ショートカットキー 9-35
ジョブ確認 11-12
ジョブ表示 2-6
白黒 2 値圧縮方法 9-38, 10-42
親展受信レポート 8-16, 10-32
親展通信 7-5
親展ボックス 9-32
スタンプ 4-44
スタンプ合成方法 4-34
スタンプ／ページ印字 4-40
済みスタンプ 4-49
正常受信メール本文 8-20
正常受信メール本文印刷 10-41
セキュリティー 11-16
セキュリティ詳細 10-10
設定値リスト 8-10, 10-34, 10-41
設定内容－詳細確認 / 登録 2-11
操作禁止設定－複数宛先禁止 10-8, 10-11
操作パネル 2-2
送受信方法設定 4-56
送信 / 受信設定 10-19
送信結果レポート 8-10, 10-31
送信結果レポート画面 10-34
送信後設定解除 10-8
送信中画面表示 9-36
増設回線 7-10
増設回線設定 10-34

た行

ダイアルイン設定 10-25
ダイアル方式 10-16, 10-35
タイマー通信 4-58
ダイレクトプリント 11-13
タッチパネル 2-4
短縮宛先 3-4
短縮宛先登録－ E-mail 送信 9-5
短縮宛先登録－ IP アドレスファクス送信 9-20

短縮宛先登録－ SIP ファクス送信 9-11
短縮宛先登録－インターネットファクス送信 9-22
短縮宛先登録－ファイル送信（FTP） 9-16
短縮宛先登録－ファイル送信（SMB） 9-13
短縮宛先登録－ファイル送信（WebDAV） 9-18
短縮宛先登録－ファクス送信 9-8
短縮宛先登録－ボックス保存 9-7
短縮宛先リスト 8-4
着信回数設定 ..... 10-16，10-35
着信拒否宛先登録 9-31
着信拒否時の動作 10-21
中継依頼受付レポート ..... 8-18，10-33
中継印刷 10-24
中継結果レポート ..... 8-17，10-32
中継受信機能 10-23
中継配信 7-6
中継ボックス 9-32
長尺原稿 4-50
直接入力 4-56
直接入力－ E-mail 4-22
直接入力－ IP アドレスファクス 4-24
直接入力－ SIP ファクス 4-22
直接入力－ Web サービス 4-27
直接入力－インターネットファクス 4-23
直接入力－ファイル送信（FTP） 4-25
直接入力－ファイル送信（SMB） 4-24
直接入力－ファイル送信（WebDAV） 4-26
直接入力－ファクス 4-22
直接入力－ボックス 4-23
通信管理レポート ..... 8-8，10-30
通信設定 4-53
通信予約レポート 8-15
通信履歴非表示 ..... 10-38，10-43
デジタル署名の追加 4-60
転送ファクス設定 10-26
電話を受ける 6-3
電話をかける 6-2
同時印刷 4-48
同報結果レポート出力 10-33
同報送信結果レポート 8-10
同報送信予約レポート 8-15
登録宛先から 4-19
「登録宛先から」初期表示 9-35
登録ユーザー 11-9
登録－ E-mail 設定内容 2-12
登録－原稿設定内容 2-12
登録－通信設定内容 2-12
登録－読込み設定内容 2-11

な行

ナンバーディスプレイ機能 ..... 10-24，10-36
ネットワーク 11-19
ネットワークファクス受信エラーレポート ..... 8-19，8-22，10-40
ネットワークファクス設定 10-42
濃度 4-34

は行

パスワード ..... 4-24，4-25，4-26
パスワード送信 4-58
発信元 10-12
発信元 / 受信情報 10-13
発信元 / ファクス ID 登録 10-12
発信元情報 10-13
パブリックユーザー 11-9
パワーセーブ移行 10-11
左エリア 2-6
日付／時刻 4-40
ファイリングナンバー 4-40
ファイル形式 4-31
ファイルパス ..... 4-24，4-25，4-26
ファクス 10-4
ファクス / スキャン初期設定 9-38
ファクス / スキャン設定 ..... 9-34，9-37
ファクス / スキャンプログラム 9-27
ファクス ID ..... 10-13，10-37
ファクス情報サービス 13-3
ファクス送信設定 10-12
ファクス転送 7-11
ファクス動作中画面 9-36
ファクス発信元設定 4-60
複数回線使用設定 10-36
ブックイレース 4-38
ブック連写 4-37
プリンター設定 11-17
プレビュー詳細－確認表示 4-11
プレビュー詳細－状態表示 4-11
プログラム宛先リスト 8-6
プログラム初期表示 9-34
文書名 ..... 4-49，4-54
閉域受信設定 10-26
ページ設定 4-32
ページ番号 4-42
ページ分割記録 10-22
ヘッダー / フッター 4-45
ヘッダー / フッター設定 10-8
変更禁止設定－ From アドレス変更 10-7
変更禁止設定－登録宛先変更 ..... 10-7，10-11
ポーリング 1-9
ポーリング受信 7-8
ポーリング受信結果レポート 8-14
ポーリング受信－掲示板 4-57
ポーリング受信－通常 4-57
ポーリング送信 7-8
ポーリング送信結果レポート 8-14
ポーリング送信後文書 10-22
ポーリング送信予約レポート 8-15
ポーリング送信－掲示板 4-59
ポーリング送信－通常 4-58
ホスト名 ..... 4-24，4-25，4-26

ボックス 11-12, 11-17
ボックス管理者 11-10
ボックス番号エラー動作 10-21
ボックス保存 1-7
本文 4-55

ま行

メールの暗号化 4-60
メニューツリー 4-14, 9-2, 10-4
メモリー代行受信 5-8
メンテナンス 11-15

や行

ユーザー設定 9-34
ユーザー操作禁止設定 10-11
ユーザー名 4-24, 4-25, 4-26
汚れ軽減モード 4-52
読込みサイズ 4-39
読込み設定 4-30
読込み設定内容 9-4
予約レポート 10-31

ら行

リスト 8-3
リダイアル 4-61
リモート受信 5-5
リモート受信設定 10-27
履歴から選択 4-27
留守番電話機能 5-4
留守番電話接続設定 10-18
レポート 8-2
レポート出力設定 10-30
連続読込み設定 4-35
ログアウト 11-8
ログイン 11-8

わ行

枠消し 4-37

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright
2007 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

A02E-9574-33

2008. 4